

しよーはんちよー 松藩廳 清國四川省、龍安府にあり。
 しよーぶ 邵武 邵武府 清國福建省の西北にあり。邵武縣 同府に屬す。

しよーふけん 祥府縣 清國河南省、開封府にあり。
 しよーぶけん 城步縣 清國山東省、曹州府にあり。
 しよーぶんけん 徐聞縣 清國廣東省、雷州府にあり。

しよーぶんけん 昭文縣 清國江蘇省、蘇州府にあり。
 しよーへいけん 昭平縣 清國廣西省、平樂府にあり。昭平縣 清國福建省、龍巖州にあり。

しよーへいけん 饒平縣 清國廣東省、潮州府にあり。
 しよーへいけん 昌平縣 「きんしゅー」を見よ。
 しよーほくもん 小北門 滿洲奉天府城の北門にして、同城内より北陵(清太宗皇帝の陵墓所在地)に至るの通路に當る、附近に自塔寺あり、現時寺は荒廢して、瓦磚製の多重塔のみ残る。

しよーほけん 漳浦縣 清國福建省、漳州府にあり。
 しよーほけん 漳浦縣 清國湖南省、辰州府にあり。城步縣 清國湖南省、寶慶府にあり。

しよーほーかく 翔鳳閣 滿洲奉天府宮殿内の一閣にして、崇政殿の前方にあり、飛龍閣と相對す、同閣とともに、もと右左翼王大臣朝議の所にして、今同宮殿所屬の寶物を藏む。

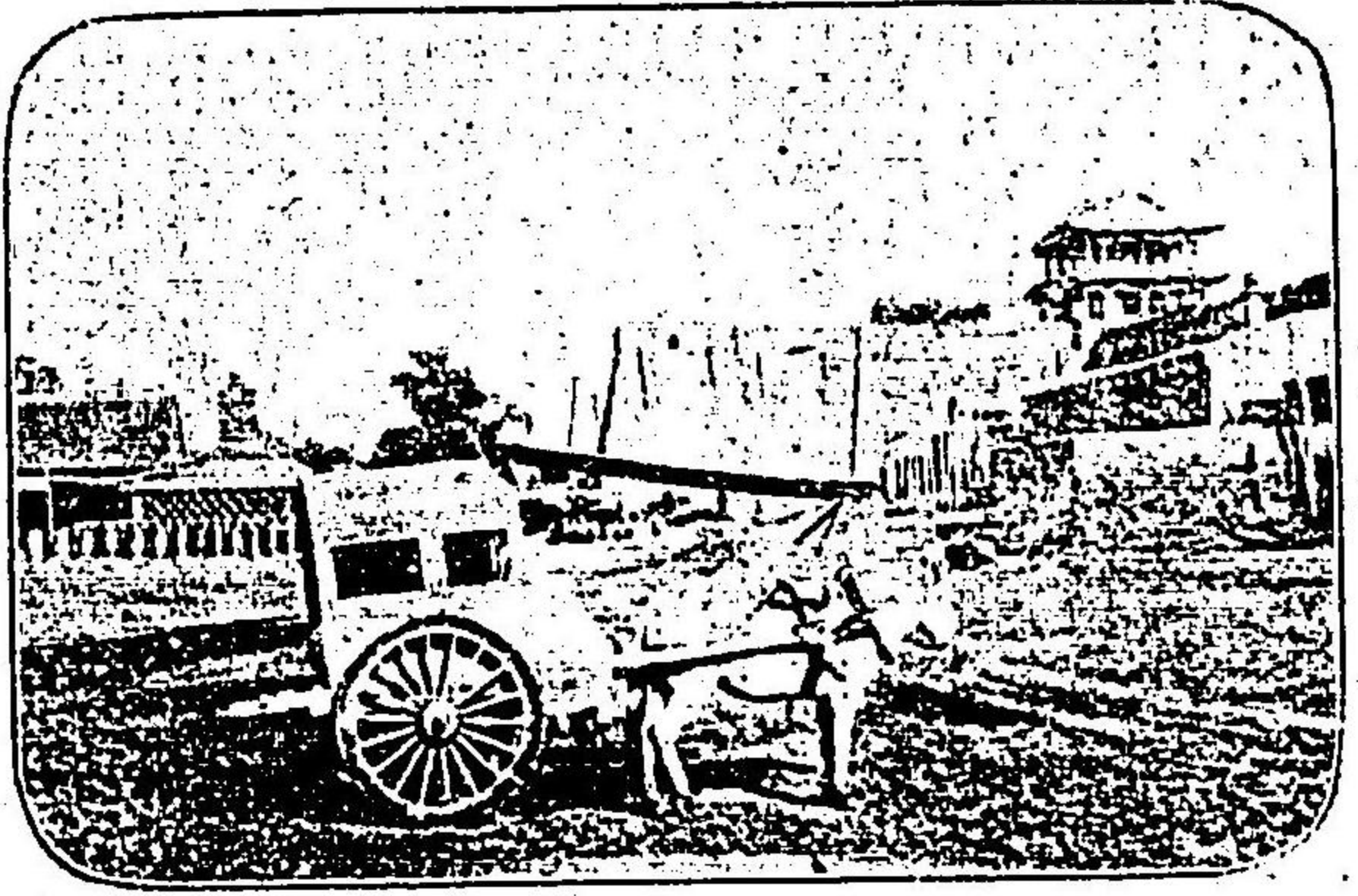
じーみん 常民 韓國の一階級にして、農、工、商等の實業に従事するものを云ふ。

しよーめいけん 昭明宮 清國江蘇省、江寧府にあり、もと太初宮内にありしものなり。

しよーめいけん 昭明縣 清國四川省、龍安府にあり。

しよーゆーけん 昌邑縣 清國山東省、萊州府にあり。
 しよーゆーけん 上猶縣 清國江西省、南安府にあり。

しよーゆーけん 襄陽 襄陽府 清國湖北省の北方、漢江の南岸にあり。襄陽縣 同府に屬す。



(門北小)

じよーけん

汝陽縣 清國河南省、汝寧府にあり。

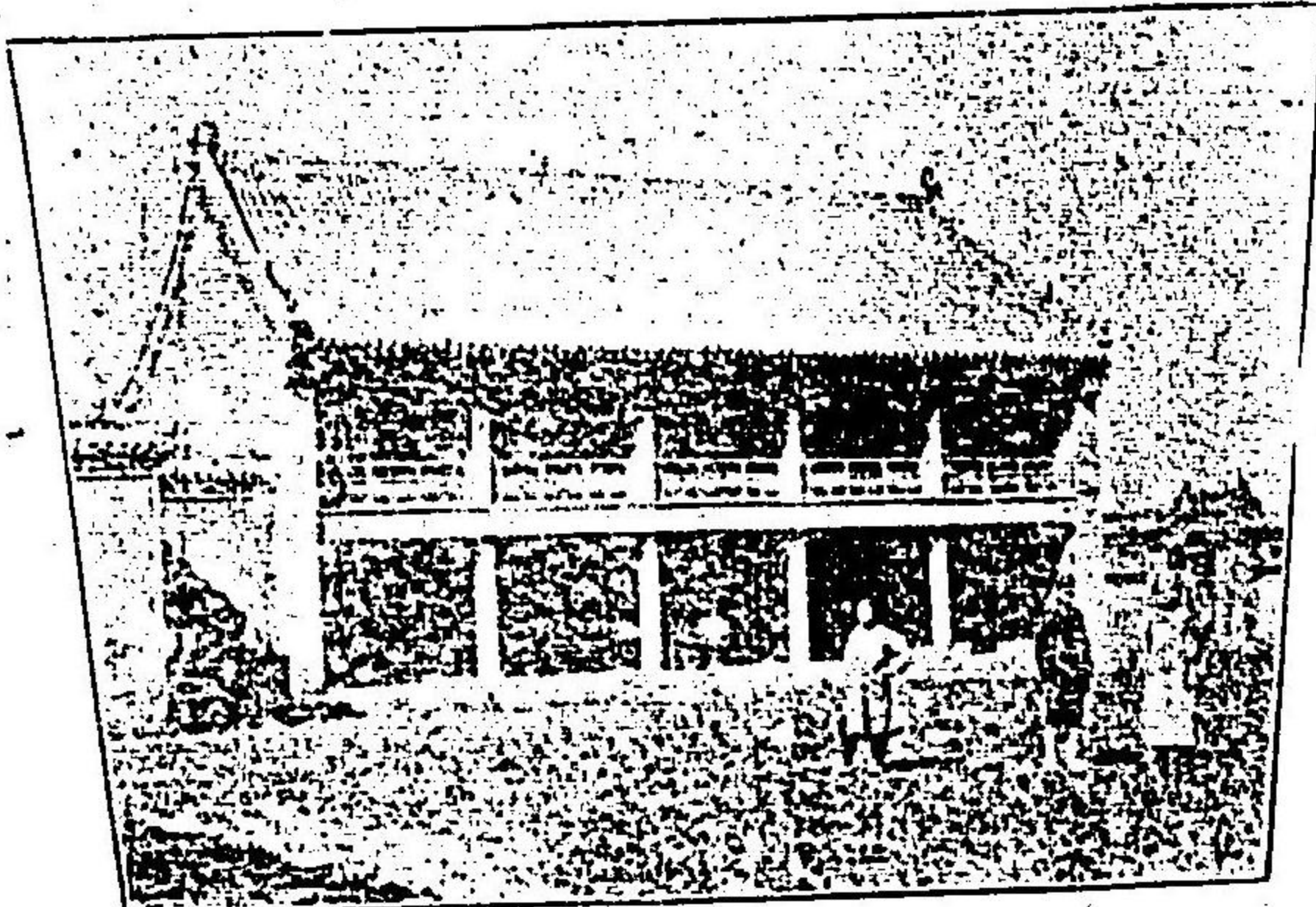
しよーよーけん 邵陽縣 清國湖南省、寶慶府にあり。

松陽縣 清國浙江省、處州府にあり。

正陽寺 韓國江原道、金剛山麓にある禪宗の大本山あり。

しよーらくけん 昌樂縣 清國山東省、青州府にあり。將樂縣 清國福建省、延平府にあり。

しよーりんけん 上林縣 清國廣西省、思恩府にあり。
 しよーりゅーしゅー 上龍州 清國廣西省、太平府の土州たり。



(閣鳳翔)

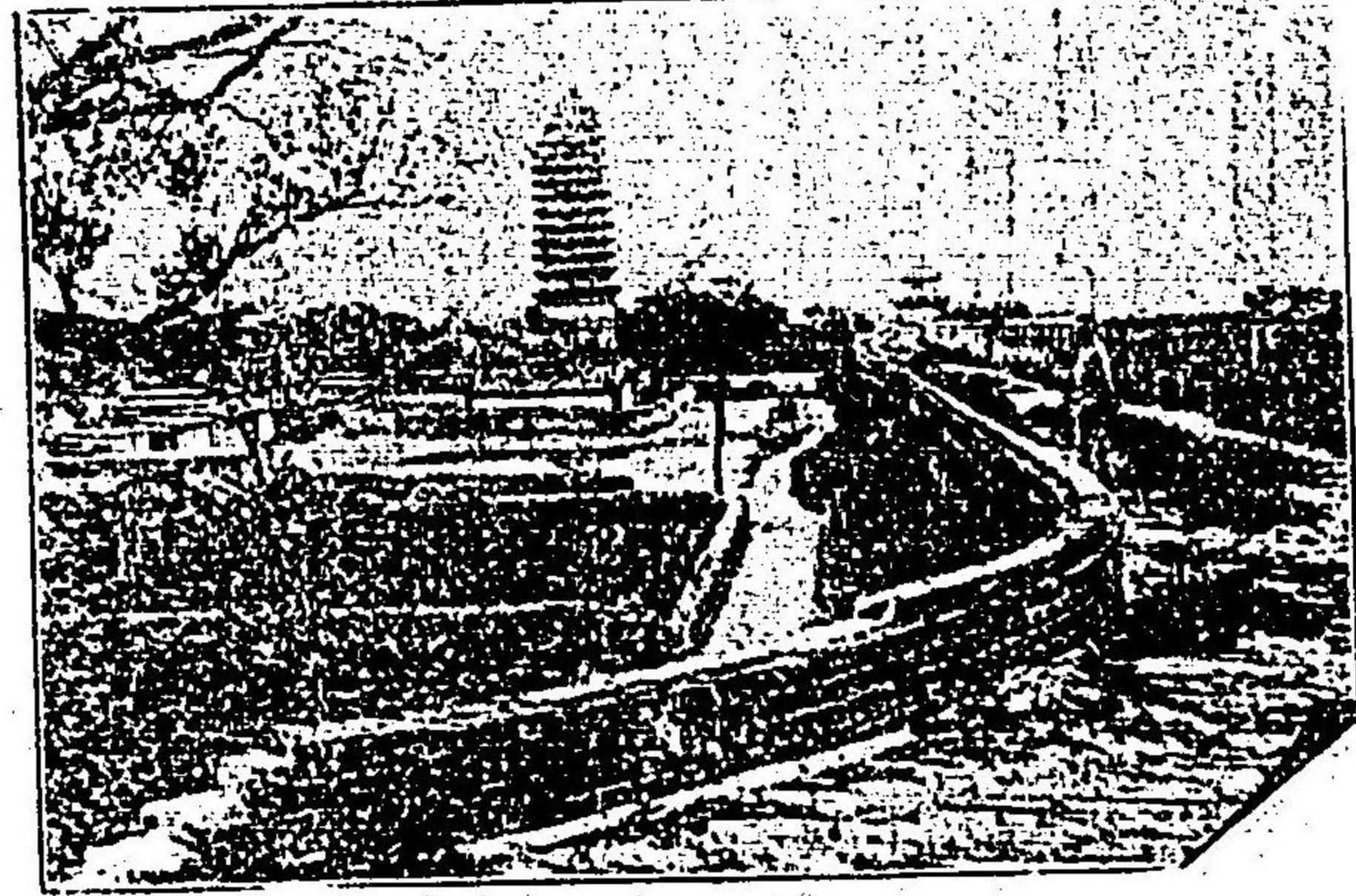
じー

じよーりょーけん 襄陵縣 清國山西省、平陽府にあり。
 しよーりょーけん 小遼水 滿洲渾河の別稱なり。こんが(渾河)を見よ。

しーれい 昌黎 清國直隸省、永平府内の縣名なり、漢の時交黎縣を置かれ遼西郡に屬す、後漢の時昌黎と改む、金の大定二十九年昌黎縣となし、元の至元七年に省置き、溧州に屬し、尋で永平府に隸す、城あり、周圍二十四町。

しよーれいけん 昌黎 清國直隸省、永平府内の縣名なり、漢の時交黎縣を置かれ遼西郡に屬す、後漢の時昌黎と改む、金の大定二十九年昌黎縣となし、元の至元七年に省置き、溧州に屬し、尋で永平府に隸す、城あり、周圍二十四町。

しよーれいけん 昌黎 清國直隸省、永平府内の縣名なり、漢の時交黎縣を置かれ遼西郡に屬す、後漢の時昌黎と改む、金の大定二十九年昌黎縣となし、元の至元七年に省置き、溧州に屬し、尋で永平府に隸す、城あり、周圍二十四町。



(城黎昌)

じーみ

山脉 陰山山脉の支脈にして、滿洲遼河以西山海關以東に連貫する山脉なり。

しよーち 鐘路 韓國京城市街の中央に位し、商業旺盛にして、人馬絡繹、行人織るが如し、辻の二隅に高さ一丈餘、周圍二丈餘の大鐘あるより鐘路の名あり。

しらぎ 新羅 「しんら」を見よ。
じりけん 慈利縣 清國湖南省、澧州にあり。

す

すいあんけん 瑞安縣 清國浙江省、温州府にあり。

すいえんじよー 綏遠城 清國山西省にあり。

すいきんけん 瑞金縣 清國江西省、寧都州にあり、もと贛州府に屬したりき。

すいけいけん 遂溪縣 清國廣東省、雷州府にあり。

すいけん 水原 (Suwon) 韓國京畿道の都府にして、一に華城府と稱す、京城の南七里に位し、戸數約三千、觀察使の駐在所にして、全羅、忠清二道に至る道路に當り、商業繁盛なり、此地三南第一の關門にして、四方城壁をめぐらす、壁の高さ一丈六尺、周圍一里、日本郵便局、巡查駐在所等あり、又光帝の陵あり。

すいしー 睢州 清國河南省、歸德府にあり。

すいしー 隨州 清國湖北省、德安府にあり。

すいしー 瑞州府 清國江西省の北西部にあり。

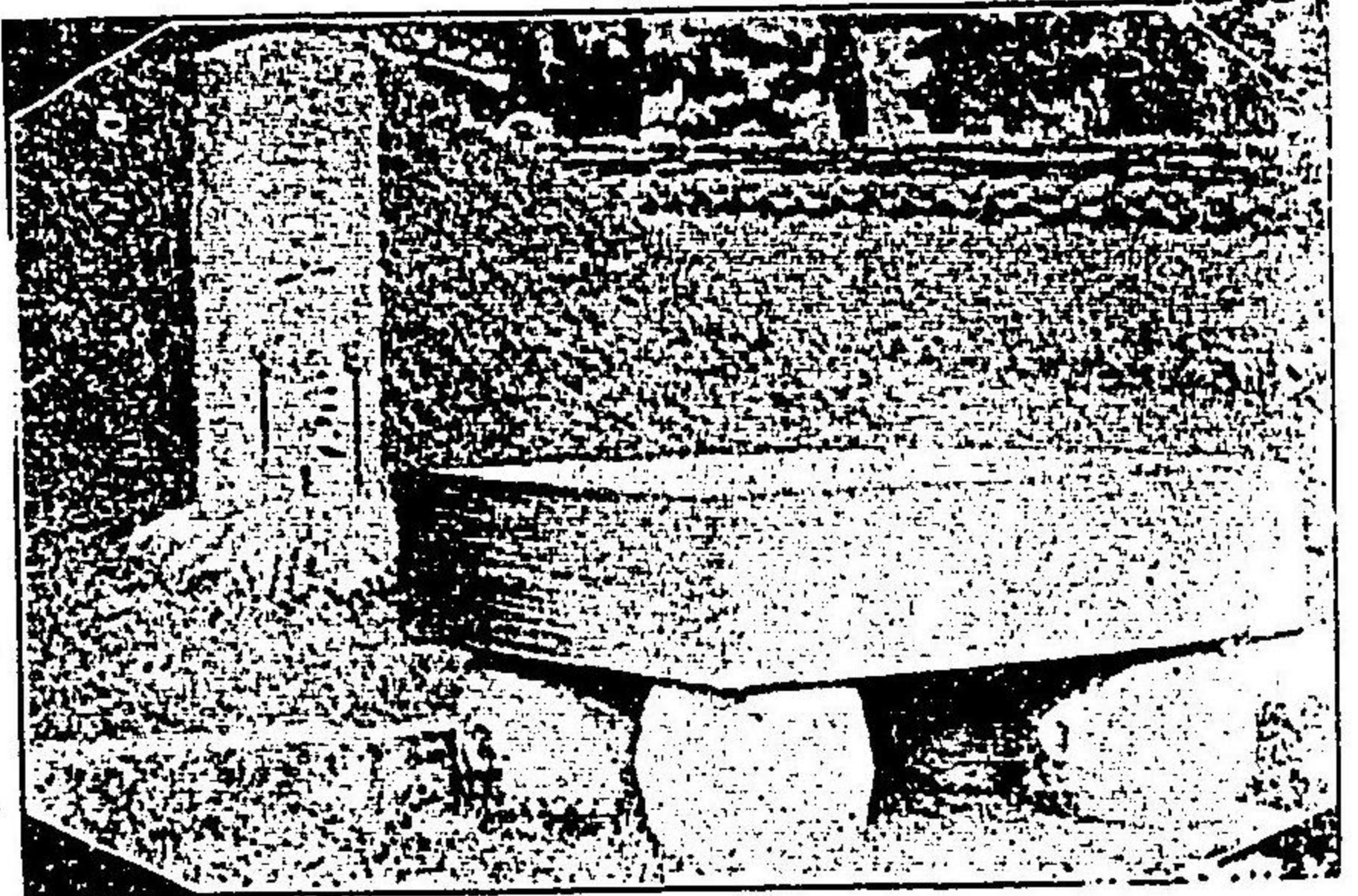
すいしー 遂昌縣 清國浙江省處州府にあり、府城の西方山中に位す。

すいしー 瑞昌縣 清國江西省、九江府にあり。

すいじー 水城廳 清國貴州省、大定府にあり。

すいせいじー

綏靖城 「ト
ニゲック」とい
ふ、清國新疆
省、塔爾巴哈
臺山の南麓に
あり、戸數約
六百、此地伊
犁將軍の支配
に屬し、二人
の清國官吏駐
在して、國境
を通過する貿
易事務を監督
す、守備兵營
あり、二千五
百人の守備兵あり、清兵及び滿州兵の混成隊なり。



(城の帝先國韓)

すいせいでん 崇政殿 奉天府の條下を見よ。

すいぢー 蘇州 (Su-chow) 「そしやう」を見よ。

すいぢー 綏定府 清國四川省の東方にあり。
すいぢー 綏德州 清國陝西省の直隸州なり。

すいぢー

すいねいけん 遂寧縣 清國四川省、瀘州府にあり。①綏寧縣 清國湖南省、靖州にあり。②睢寧縣 清國江蘇省、徐州府にあり。

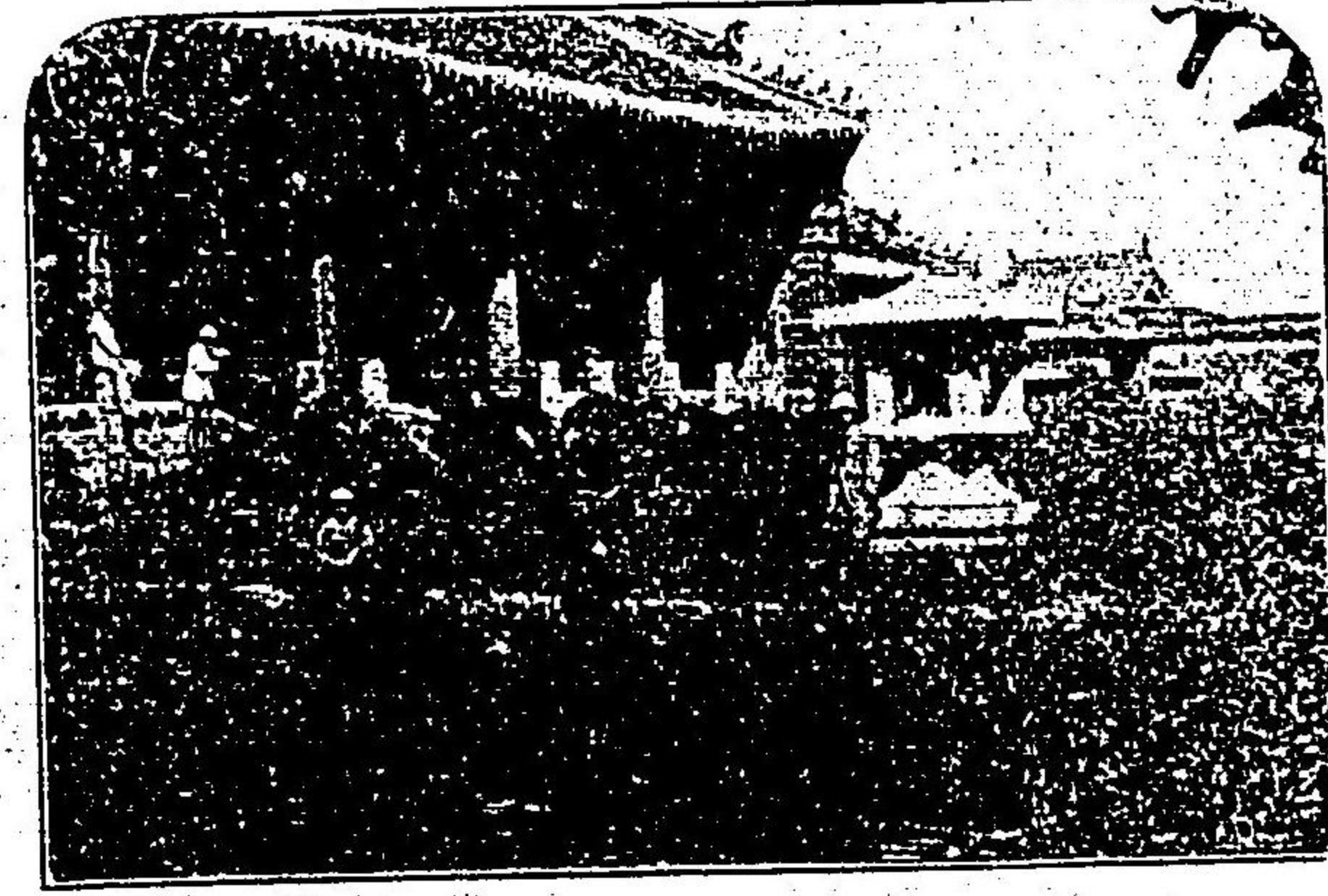
すいへいけん 遂平縣 清國河南省、汝寧府にあり。

すいよーけん 綏陽縣 清國貴州省、遵義縣にあり。

すいらいけん 綏來縣 清國甘肅省、岷州にあり。

すーけん 蘇州 清國山東省、兗州府にあり。③濰縣 清國河南省、河南府にあり。

すーけん 嵩山 (Shan) 一に中嶽と稱す、清國河南省、河南府の東にあり。



(殿政崇)

すいぢー

あり。

すーへいけん 鄒平縣 清國山東省、濟南府にあり。

すまお 思茅 (Si-mao) 「シマオ」を見よ。

すーめいしゅー 嵩明州 清國雲南省、雲南府にあり。

すわどー 汕頭 (Swatow) 清國廣東省の東北、韓江の北岸にあり、同省潮州府澄海縣に屬す、西元一八六〇年天津條約により開かれたる開港場にして、近く香港を控え該港との取引盛にして、且南洋方面との貿易地たるを以て、市況頗る盛なり、人口約三萬、此地他の開港場に比類なき風金免除の特點を有するを以て輸出入貿易品頗る多く、砂糖、煙草、夏布等は輸出品の主なるものにして、洋布、綿米、石油等は輸入品の主なるものなり。

せ

せいあん 西安 (Si-an) 清國陝西省の首府にして、同道巡撫駐紮す、渭水の南に位し、南に秦嶺山脈横はり、東に華山あり、函谷關を控え、最も險要の地たり、古は鎬京、長安と稱し、周、漢、唐の歴代の都せし所にして、遺跡甚多し、北清事變の際には皇帝、西太后の蒙塵せし地なり。

せいあんけん 成安縣 清國直隸省、廣平府にあり。 西安縣 清國浙江省、衢州府にあり。 靖安縣 清國江西省、南昌府にあり。

せいあんしゅー 正安州 清國貴州省、遵義府にあり。

せいえき 西域 匈奴の西、烏孫の南に在りし古國にして、漢武帝の時、始めて通ず、元三十六國ありしが、東漢の時分れて五十餘國となる、漢武帝の時、張騫西域に使してより、來買せり、宣帝の時、都護ル烏孫(伊犁の地方)、康居(イシク湖、アラル海の地方)等に置きしが、安帝の時皆背叛す、唐に至り再び來買す、武后大に吐蕃を破り、絲苙(新疆省、庫車)于闐、疏勒、碎葉の四鎮を復す。

せいえん 西苑 清國北京皇城内にあり、苑中には有名なる大液池、愛華島あり、又苑の東北に萬歲山ありて高く聳え、

風景絶佳の稱あり、一に煤山と稱す。

せいえんけん 清苑縣 清國直隸省、保定府にあり。 清遠縣 清國廣東省、廣州府にあり。 靖遠縣 清國甘肅省、蘭州府にあり、もと鞏昌府に屬す。

せいか 濟河 濟水と黄河との併稱なり、濟水は源を清國河南省、懷慶府濟源縣の玉屋山に發し、山東省に至りて海に注ぐ、黄河は「コウ」の條下を見よ。 清河 清國北京の北にあり、源を昌平縣に發し、雙塔河を合せ、又沙河に合して白河に入る。

せいかい 青海 (Kokonor) 「ハハのる」を見よ。

せいかいけん 靜海縣 清國直隸省、天津府にあり。

せいかいぶ 青海部 (Kokonor) 蒙古の一部にして、東北は甘肅省に、南は四川省に、西は西藏に接す、長江、黄河、二大流の水源地にして、内地一帯に、高原を成す、青海は周圍百二十五里の大湖にして、周圍山岳重疊す、全土の人口僅かに十五萬人に過ぎず、全土五部二十九旗に分る、五部落とは利礦特(はしよと)、緯羅斯(ちよろす)、輝特(ほいと)、土爾扈特(とるほと)、喀爾喀(かるか)是なり、其中土爾扈特主は近時我國に來りて留學中なるを以て、其名漸く世人に知らる。

せいがく 西嶽 華山(くわさん)を見よ。

せいかけん 棲霞縣 清國山東省、登州府にあり。 清河縣

清國直隸省、江平府にあり。 清國江蘇省、淮安府にあり。 濟河縣 清國山東省、濟南府にあり。

せいかんけん 清澗縣 清國陝西省、綏德州にあり。 せいざんしゅー 盛京省 (Shing-king) 滿州の西南部に在り、東は鴨綠江を隔てて韓國に接し、西北は直隸省に、東北は吉林省に接し、西南一帶渤海、黃海に瀕す、奉天將軍奉天府にありて全省を治む、面積約六萬平方哩、地勢自から東西兩部に分れ東部は鴨綠江沿岸地方にして、山岳重疊し、西部は遼河の流域地方にして、平野廣茫數十里に亘る、日清戦役及び日露戦役の戦場多し、南方遼東半島の地は、日清戦役の結果一たび我國の領土となりしが、三國干渉により之を清國に還附し、次で露國の勢力範圍内に入り、日露戦役の結果、再び我勢力範圍内に歸し、關東都督府其軍政民政の全權を握る。

せいぎやくちゅー 靖逆廳 清國甘肅省、鎮西府にあり、もと甘肅省に屬せしが今は亡し、靖逆衛は鎮西府にあり、靖逆廳に屬せしが共に亡びて今はなし。

せいきょーしゅー 盛京城 清國盛京省にあり、奉天府城の別名、「ほーてんふ」を見よ。

せいぐけん 西華縣 清國河南省、陳州府にあり。 西和縣 清國甘肅省、鞏昌府にあり。 政和縣 清國福建省、建寧

府にあり。

せいごん 成歡 (Songshan) 韓國忠清南道の東北部にあり、稷山郡に屬し、釜沙河の下流に臨む、安城渡津の南約一里に位す、日清戦役の際我軍の清兵を掃蕩せし所なり。

せいけいけん 清溪縣 清國四川省、雅州府にあり。◎貴州省、思州府にあり。◎井陘縣 清國直隸省、正定府にあり。

せいけん 成縣 清國甘肅省、階州にあり。◎崑崙 清國直隸省、天津府にあり。

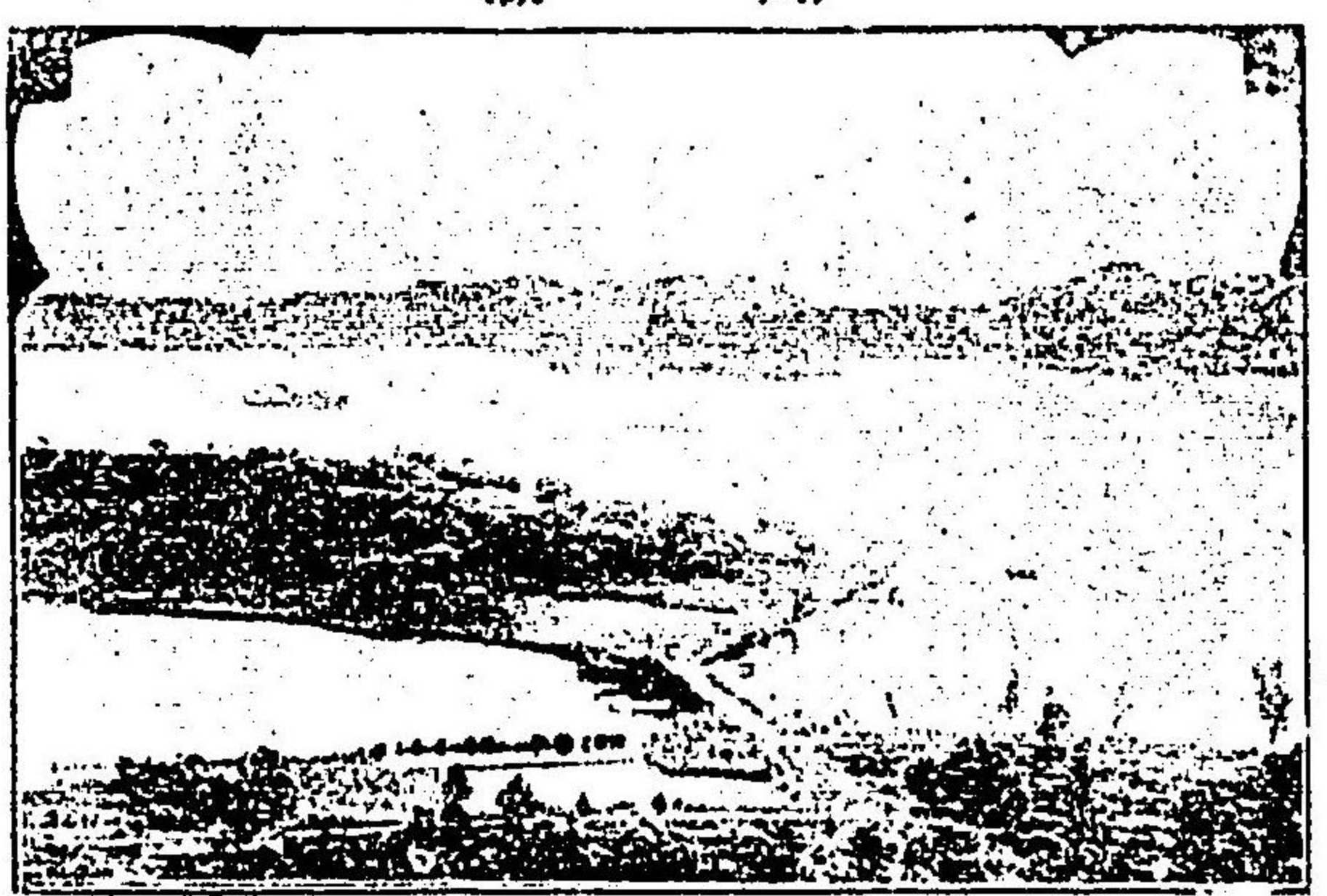
せいけんけん 井研縣 清國四川省、資州にあり。

せいけんけん 濟源縣 清國河南省、懷慶府にあり。

せいこ 西湖 清國浙江省杭州の近郊にあり、風光明媚にして、「上は天堂、下は蘇杭」の諺あり、古來歷朝の帝王を駐められしもの多く、湖山十景の賦あり、清の康熙帝此處に行幸の際、帝自から命じて石に刻せるものにして、十景とは、蘇隄殘雪、斷橋殘雪、雷峰夕照、麴院荷風、平湖秋月、柳浪聞鶯、花港觀魚、南屏晚鐘、三潭印月、兩峰插雲、是れなり。

せいこー 西江 清國雲南省の古生層中に發し、東流して廣西省に入り、諸流を併せ、潯江と會し、梧州を経て、廣州平原に入り、北江、東江と會し、廣大なる三稜洲をなして海に入る。

(湖 西)



せいこーけん 清江縣 清國江西省、臨江府にあり。

◎靖江縣 清國江蘇省、常州府にあり。

せいこーけん 西鄉縣 清國陝西省、漢中府にあり。

せいこーちやう 清江廳 清國貴州省、鎮遠府にあり。

せいざんから 西山駕洛 韓國慶尙道、星州の古稱なり。

せいざんごー 清山島 韓國全羅南道、莞島郡に屬す、我朝船の根據地にして、鯛、鮪、海鼠等の産多し。

せいしけん 星子縣 清國江西省、南康府にあり。

せいじーけん 茨城縣 清國山西省、解州にあり。

せいすいかちやう 青水河廳 清國山西省、泰州にあり。

せいすいけん 清水縣 清國甘肅省、秦州にあり。

せいすいら 西水羅 韓國最東北端の岬角にして、咸鏡北道に屬す、豆滿口を隔てて露領沿海州に接し、最も要衝の地點たり。

せいせいほ 西生浦 韓國慶尙道豆毛浦の北五、六里にあり、蔚山を距る五里、文祿の役我軍の據れる所にして、城址今猶存す、本邦漁人之を「上の太閤」と呼ぶ、城は山に靠り海に臨み、頗る形勝の地たり。

せいせん 成川 韓國平安南道にある一都會にして、東に劍鶴山聳え、西は沸流江に臨み、南平野に連り、極めて景勝の地たり、全國隨一の觀樓降仙樓の所在地として有名なり、人口二千許、人家宏壯ならざるも、茸くに背瓦を以てし、街路亦整然たり、住民多く商業を營む。

せいせんけん 清泉縣 清國湖南省、衡州府にあり。

せいせんごー 清川江 韓國平安道にあり、狼林山の南麓に發し、諸水を合せ西流して妙香山脈の南を流れ、安州の北を過ぎ、寧江を合せて海に入る、流域山地多く漕漈運輸の利少し。

せいあんけん 清鎮縣 清國貴州省、安順府にあり。

せいしんけん 青神縣 清國四川省、眉州にあり。

せいしゅー 靖州 清國湖南省にあり、直隸州たり。◎清州 一に青州とも書す、韓國忠清北道にあり、同道唯一の大市場にして、京城を距る東南三十里、巨大嶺の麓にあり、錦江の支流鶴川に臨む、附近平野開け地味肥沃にして、農産多し、此地京釜街道西路に沿ひ商業盛なり。◎星州 (Ginsu) 韓國慶尙道西部の要地にして、金島山の麓にあり、京城を距る五十三里、古の星山駕洛の地にして、市街城壁を繞らし、城の内外に人家あり、京城西路に沿ふを以て、人馬の交通するもの多く、商業亦殷盛なり、文祿の役我が小早川隆景、黒田長政等の通過せし地として知らる、其南に高靈あり、往古日本駐屯軍の占據して、新羅、百濟に對抗せし地たり。

せいじゅーけん 西充縣 清國四川省、順慶府にあり。

せいしゅーごー 濟州島 韓國第一の大島にして全羅道に屬す、古の耽羅國にして古來我國との交通頻繁なり、附近好漁業場多く目下我國人の出漁者多し、島中有名なる漢羅山あり、高さ六千餘尺、山中樹林蒼鬱として、常に航海者の目標とせらる。

せいしゅーふ 青州府 清國山東省にあり。

せいしゅーけん 西昌縣 清國四川省、寧遠府にあり。

せいじゅーけん 青城縣 清國山東省、武定府にあり。

せいしゅーけん 青州府 清國山東省にあり。

せいしゅーけん 西昌縣 清國四川省、寧遠府にあり。

せいじゅーけん 青城縣 清國山東省、武定府にあり。

せいていふ 正定府 清國直隸省にあり、北京を距る西南九十里、土地廣潤にして、物産豊かに、殊に梨棗の産出を以て名あり、京漢鐵道此地を過ぐ。

せいでんけん 青田縣 清國浙江省、處州府にあり。

せいと 成都 (Ching-ku) 清國四川省の首都にして、成都盆地の中央に位し、四川總督の駐在地なり、岷江に瀕り、人口約八十八萬、市街繁盛なり、絹布の産出地として名あり、東漢の末公孫龍が、三國の時、蜀の帝都となる、後禪帝の時、魏將、鄧艾等の陷るる所



(都 成)

となり、西晋の末季雄此地に據りて成都王と稱し、國を成と號す、雄没し、李壽自立して漢と稱せしが、其子勢に至り、終に東晋の將、桓温の併す所となる。

せいとー 青島 清國山東省膠州灣の東南角にあり、獨逸東洋艦隊の根據地にして、同國北京條約により此地を租借するや、一大商港となさんとして巨額の費を投じて、其經營に従事し、道路の開鑿、市街の整理、電燈、電話、水道及植木の設備よく整ひ、恰も歐州の港灣を望むが如し、市街青島及び大包島の二區に分れ、青島は外國人居留地にして、大包島は支那人街たり、山東鐵道此地より發して膠州府に至る。

せいとー 清道 韓國慶尙道清道郡にあり、人口約一千、清道城は古の伊西小國にして、城の西北約一里に京釜鐵道停車場あり、附近大概沃野にして、農産多し。④西道 韓國平安道、咸鏡道地方を云ふ。

せいとくけん 旌德縣 清國安徽省、寧國府にあり。

せいとーけん 齊東縣 清國山東省、濟南府にあり。

せいなん 濟南 韓國平安道、清川江以南を云ふ。④濟南 (Tsinan) 清國山東省の首都にして、北京を距る約百五十里、山を負ひ、平原を控え、風景絶佳、山東巡撫駐在地なり、黄河は其北を過ぎて渤海灣に入る、附近蘭、生絲等の産多し、山東鐵道膠州灣より來る、此地の南に曲阜縣あり、魯の

古都にして孔子の廟あり。

せいなんふ 濟南府 清國山東省にあり。

せいねい 西寧 (Sining) 清國甘肅省の都府にして、青海地方との貿易盛なり、西寧辦事大臣此處に駐在して、青海地方の政務を執る。

せいねいけん 正寧縣 ①清國甘肅省、慶陽府にあり。②清國直隸省、宣化府にあり。③甘肅省、西寧府にあり。④廣

東省、羅定州にあり。

せいねいしゅー 清寧州 清國山東省にある直隸州なり。①青寧州 清國山東省、兗州府にあり。②靜寧州 清國甘肅省、平涼府にあり。

せいねいへんぢだいじん 西寧辦事大臣 清國青海を統治する地方官にして、甘肅省西寧府に駐在して、政務を執る。

せいへいけん 清平縣 ①清國山東省、東昌府にあり。②清國貴州省、都勻府にあり。③西平縣 清國河南省、汝寧府にあり。

せいへんけん 靖邊縣 清國陝西省、延安府にあり、もと榆林府に屬す。

せいほく 清北 韓國平安道、清川江以北を云ふ。

せいほけん 青浦縣 清國江蘇省、松江府にあり。

せいほーけん 清豐縣 清國直隸省、大名府にあり。

せいもつほ 濟物浦 (Chemulpo) 韓國仁川港の埠頭に於て、日露戰役の時、我先發軍の上陸せし地點なり。

せいよーけん 濟陽縣 清國山東省、濟南府にあり。④正陽縣 清國河南省、汝寧府にあり。⑤晉陽縣 清國安徽省、池州府にあり。

せいよーたいがい 正陽大街 清國北京の最繁華なる一市街なり。

せいよーもん 正陽門 清國北京に在り、同門内に我公使館あり。

せいらくけん 靜樂縣 清國山西省、忻州にあり。

せいりんけん 西林縣 清國廣西省、泗城府にあり。

せいりー 西陵 清國湖北省、夷州の附近に西陵峽あり、湖廣の險要地なり。

せいりーがわ 西遼河 滿洲第一の大河たる遼河の西源にして、一に潢河と稱す、蒙古にて之を錫喇木倫(シラリムン)河と稱す、源を内蒙古克什克騰旗の四界百爾赫爾洪(ボルハホルホン)に發し、東北流して、諸流を合せ、札魯特

二旗の南部奈曼旗の北部を過ぎ、始めて東南に折れ、遂に二派となり數里にして、復合し、東南流して喀爾喀二旗の北を過ぎ、東流又東南流して盛京省に入り、赫爾蘇河(東遼河、遼河の東源)と合し、東南流して大遼河となり海に入る、尙遼

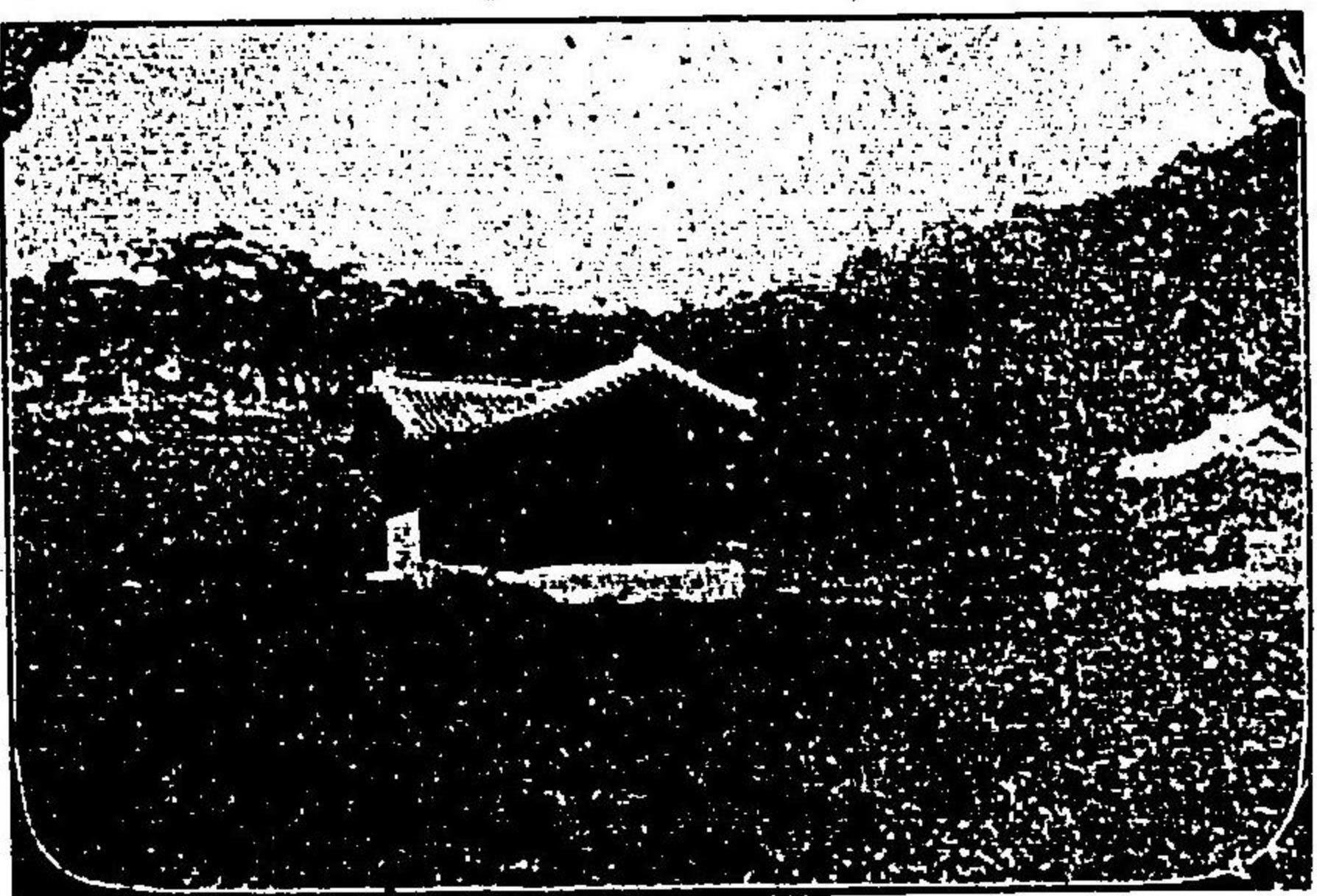
河参照。

せきやうじょう 清涼寺

清涼寺 清國江蘇省、江寧府(南京)に在り。

せいりょうり 清涼里

清涼里 韓國京城東大門外一里餘にあり、故閔後の洪陵所在地にして、附近風景佳なり、陵は境域數百町歩、陵殿高く聳え樹林蒼鬱として之を繞る、京城電氣鐵道の一線京城より此地に達す。



(墓の后閣)

せいりゅうけん 清流縣

清流縣 清國福建省、汀州府にあり。

せいりゅうしゅう 西隆州

西隆州 清國廣西省、泗城府にあり、直隸州たり。

せきへき 赤壁

赤壁 清國湖北省、武昌府嘉魚縣の附近にあり、昔吳孫權の臣周瑜が魏曹操の大軍を破りし古戰場なり。

せきほーけん 赤峰縣

赤峰縣 清國直隸省、承德府にあり。

せきほちやう 石浦廳

石浦廳 清國浙江省、寧波府にあり。

せきもんけん 石門縣

石門縣 清國浙江省嘉興府にあり、人口約一萬、市況稍殷盛なり、城の南門外に大東汽船會社の代理店あり。

せきもんちん 石門鎮

石門鎮 清國北京の東方に當る薊州の東にあり、山狹絶壁峻峻を極め、其中洞開く所俗之を石門口といふ、今石門鎮驛あり。

せきりやうけん 石梁縣

石梁縣 清國河南省、汝州にあり、もと許州府に屬せしが今は廢せらる。

せつえいとう 絶影島

絶影島 韓國釜山港口にあり、周囲七里、山岳多く平野少し、浦口に面したる所に、我海軍の石炭貯蓄所あり。

せつごう 浙江

浙江 清國浙江省の西境に發し、鐵塘灣に注ぐ、舟楫の便あり。

せつごうしやう 浙江省

浙江省 (Che-kiang) 支那本部の東岸にあり、北は江蘇に、南は福建に隣り、西は安徽、江西の兩省に接し、東一面支那海に臨む、北部は錢塘江の流域にして、地味豊饒、水運の便あり、杭州は其首府なり、面積三萬四千七百

せきん

せいりうちう 西路廳 清國直隸省、順天府にあり。

せきかんふ 石阡府 清國貴州省にあり。

せきかん 赤金 故州にして清國甘肅省、靖遠廳にあり。

せきけいけん 績溪縣 清國安徽省、徽州府にあり。

せきしゅけん 石首縣 清國湖北省、荊州府にあり。

せきじやうけん 石城縣 清國江西省、寧都州にあり。

せきすい 赤水 今の清國甘肅省、鞏昌府の少しく東方にある赤水之れなり。

せきせんけん 石泉縣 清國陝西省、興安府にあり、もと興安州に屬す。

せきたいけん 石埭縣 清國安徽省、池州府にあり。

せきちやうちやう 石柱廳 清國四川省、夔州府にあり。

せきごうじ 石頭城址 清國南京に在り。

せきはてい 石坡亭 韓國京城北門外にあり、故大院君の別墅にして、庭園廣く、奇樹怪石多く、溪水其間に流れ、極めて幽邃閑雅の地たり、秋期紅葉の候其景殊に佳なり。

せきんしゅう 石屏州 清國雲南省、臨安府にあり。

せんあんけん 遷安縣 清國直隸省、永平府にあり。

せんいしゅう 宣威州 清國雲南省、曲靖府にあり。

せんおんけん 宣恩縣 清國湖北省、施南府にあり。

せんかん 陝甘 清國陝西、甘肅の兩省を云ふ、陝甘總督、甘肅省の蘭州にあり、兩省を治む。

せんかれい 仙霞嶺 清國廣東省と江西省との間に屹立する山嶺にして、九連山より北向して、江西省に入り、廻轉して福建省に連亘する山脈なり。

せんきけん 仙居縣 清國浙江省、台州府にあり。

せんくわけん 善化縣 清國湖南省、長沙府にあり。

せんくわふ 宣化府 清國直隸省にあり、ここに宣化縣あり。

せんごうけん 潛江縣 清國湖北省、安陸府にあり。

せんざん 艾山 清國山東省、沂州府の西にあり、魯の隱公、齊公と會せし所として知らる。

せんざん 善山 韓國慶尙道にあり、尙州を距ること南六里、京城より四十九里、東洛東江に臨み、西に秋風嶺の峻を控ゆ、附近灌溉の利多く、農産物多し、京城街道に沿ふを以て

せんざん

人馬の交通頻繁なり、往古文學の士を出すこと多く、一時「韓國の人材半ば嶺南にあり、嶺南の人材半ば善山にあり」と言はるるに至れるも、今は衰微して又昔日の觀なし。

せんざんけん 潜山縣 清國安徽省、安慶府にあり。

せんざんさいちやう 前山寨廳 清國廣東省、廣州府にあり。

せんしんこー 蟻津江 韓國全羅道の大河にして、一に河

東江と稱す、蘆嶺山脈中の萬馬關邊より發し、南流更に東流して白雲山の北峽を過ぎて再び南下し、慶尙、全羅兩道の界を流れ、蟻津灣に注ぐ、其流域沃野多く、船舶の出入頻繁なり。

せんしやちやう 川沙廳 清國江蘇省、松江府にあり。

せんしじー 泉州 清國福建省南岸の一都會にして、晉江の左岸に沿ひ、泉州灣に臨む、人口十五萬と稱す、此地古くは刺桐城と稱し、唐代に泉州と改む、海外貿易港として名高く、元代に至り最も隆盛を極む、港内水深く船舶の碇繋に便なるも、嘗て長髮賊の亂に大被害を被り、加ふるに福州、廈門の開港以來、其商權全く奪はれ爾來萎靡して振はず。○
○ 陝州 清國河南省にある直隸州なり。

せんししー 全州 清國廣西省、桂林府にあり。○(Tsin-ju) 韓國全羅北道の首府にして、有名なる全州平原の中に位す、京城を距る四十四里、群山を距る十一里、東は威鳳山に據

り、近所に牛頭山あり。

せんぜん 鄱善 「タリム」河畔地の漢稱なり。

せんぞー 前藏 西藏の一區分にして、其東部にあり、首都拉薩此處にあり。

せんちんぎやう 善竹橋 韓國開城東大門外約四五町にある小溪の上に架せられたる一小石橋にして、李氏高麗を滅せる時、高麗の遺臣鄭夢周を此處に暗殺せる所として知らる。

せんごーけん 錢塘縣 清國浙江省、杭州府にあり。

せんごーこー 錢塘江 (Chun-tang) 清國安徽省、徽州府歙縣に發源し、東南流して浙江省の境を通じ、數多の小水流を合せ東北流して杭州府城の南を流れ、尙東流して杭州灣に注ぐ、其沿岸特に杭州府附近は、土地豊饒にして各種の物産に富み、清國の財源地と稱せらる。

せんへいけん 宣平縣 清國浙江省、處州府にあり。

せんめい 全茗 清國廣西省、太平府にあり、もとの土州たり。

せんゆーけん 仙遊縣 清國福建省、興化府にあり。

せんらんどー 全羅道 (Salla) 韓國半島の西南端、慶尙道の西、忠清道の南に在り、蟻津江、榮山江の流域は同國中最も豊饒の地なり、沿岸港灣に富み島嶼多し。

り、西北麒麟峯、乾止山を望む、綿産地の市場にして、米穀の産出亦多し、此地古くより知られ、新羅朝には完山府を置き、高麗朝には安南都護府を置き、李朝に至り初めて全州と稱す、此地の西北乾止山に李太祖の陵墓あり、東學黨の亂に其陷るる所となり、民家多く破毀或は焼失せらる、其西南古阜郡は同黨の巢窟たり。

ぜんししーへいや 全州平野 韓國全羅北道全州附近の平野を云ふ、廣袤十餘里、米産地として名あり。

せんししーわん 泉州灣 清國福建省の南岸、臺灣海峡に在り、灣内に泉州府あり。

せんじしーけん 宣城縣 清國安徽省、寧國府にあり。

せんししーけん 全椒縣 清國安徽省、滁洲にあり。

せんせいしー 陝西省 (Shan-shi) 支那本部の一省にして、山西省の西に在り、南は四川省、西は甘肅省に境し、北は蒙古に接す、渭水甘肅省より發して、本省に入り潼關に至り

黄河に合す、其流域は地味豊饒にして、所謂關中の地なり、本省は支那第一の要害地にして、古來覇者爭奪の地たり、面積七萬四千萬哩、人口八百四十五萬餘あり。

せんせいびよー 宣聖廟 清國山東省、曲阜にある孔子の廟名なり。

せんせん 陝川 (Shan-shyuan) 韓國慶尙道星州の南方にあ

せんらほくとー 全羅北道 韓國十三道の一にして、慶尙南道の北、忠清道の南に在り、首府を全州と云ふ。

せんらなんどー 全羅南道 韓國全羅北道の南、慶尙南道の西南に在り、首府を光州と云ふ。

せれんががわ 薛靈哥河 (S.Salenga) 源を土謝圖の北部に發して、バイカル湖に注ぐ、元代蔑兒乞部の據りし所なり。

そーあ

そ

そーあんけん 崇安縣 清國福建省、建寧府にあり。
 そーうんそーとく 漕運總督 清國南京地方より北京に米穀を輸送するを支配指導する官職なり。
 そーかこー 莊家口 清國盛京省、黃海沿岸にあり。
 そーきけん 崇義縣 清國江西省、南安府にあり。
 そくけん 息縣 清國河南省、光州にあり。
 そくぼくけん 即墨縣 清國山東省、萊州府にあり。
 そくろくけん 東鹿縣 清國直隸省、保定府にあり。
 そーけいけん 蒼溪縣 清國四川省、保寧府にあり。
 そーけいけん 蒼慶州 清國四川省、成都府にあり。
 そーけん 巢縣 清國安徽省、廬州府にあり。
 そーげんじ 莊嚴寺 清國江蘇省、江寧府の南にあり。
 そーごけん 蒼梧縣 清國廣西省、梧州府にあり。
 そーごてい 蘇公隄 清國浙江省、西湖にあり、宋の元祐年間蘇軾奏して湖を開き、南より北に長堤を造り通行に便す、兩岸に花柳を植ゑて中に天橋を造る、是より湖分れて二となり、其東を外湖と云ひ、西を裡湖と稱す、後十年呂雲卿奏して之を毀ちしが、南渡の後、改めて二高橋を造る、明の正徳

そーじ

年間補修して稍舊觀に復し、清の雍正年間修築して花木を植ゑ、大に其の美觀を増せり、蘇東坡此隱を作り、其成功を見て、一首を詠す、「六橋橫絶天漢上、北山始與南山通、勿驚二十五萬丈、老對席捲蒼烟空」。
 そーしんけん 崇信縣 清國甘肅省、涇州にあり、もと平涼府に屬す。
 そーじんけん 崇仁縣 清國江西省、撫州府にあり。
 そしゅー 蘇州 (Soochow) 清國江蘇省の首府にして、吳淞江の東岸に在り、太湖に臨み、運河の便あり、一に姑蘇或は吳郡と云ふ、江蘇撫巡の駐在地なり、馬關條約の結果として開港せし所にして、貨物の集散多く、附近商工業の中心地たり、上海と相距る二十八里、兩者の交通頻繁なり、市街廣闊にして、人民殷富、盛に絹帛を製造し、茶、生絲等を輸出す、日本領事館あり、吳の舊都にして、府外に楓橋、姑蘇山、寒山寺等の古跡あり。
 そーしゅー 滄州 清國直隸省、天津府にあり。
 そーしゅー 曹州府 清國山東省にあり、ここに曹州縣あり。
 そーしゅーけん 桑植縣 清國湖南省、永順府にあり。
 そーじゅーけん 增城縣 清國廣東省、廣州府にあり。
 そーじゅーたん 雙城站 滿洲吉林省伯都納の東四十餘里

六〇八

にあり、伯都納、阿楚略間の要路に當り、市の延長約二十餘町、二街路より成る、附近地味豊饒にして、煙草の産多し。
 そーせんけん 崇善縣 清國廣西省、太平府にあり。
 そーとく 總督 清國最高の地方長官にして、十八省中、山東、山西、河南を除き他の十五省に八人を置き、管内文武の大權を掌握す、通常二省或は三省を兼ね、唯直隸省は京畿の地なるを以て特に總督を置く。

省名	總督	駐在地
直隸	直隸總督	保定(天津)
陝西	陝甘總督	蘭州
江蘇	兩江總督	南京
安徽	湖廣總督	武昌
湖北	四川總督	成都
四川	雲貴總督	雲南
貴州	閩浙總督	福州
浙江	兩廣總督	廣州
福建		
廣東		
廣西		

そーせ

そーり

六〇九



(家民の梁草)

そーめいけん 崇明縣 清國江蘇省、太倉州にあり。
 そーめいどー 崇明島 清國揚子江口にあり。
 そゆーふ 楚雄府 清國雲南省にあり、ここに楚雄縣あり。
 そーよーけん 崇陽縣 清國湖北省、武昌府にあり。
 そーりーけん 雙流縣 清國四川省、成都府にあり。
 そーりー 草梁 韓國慶尙道にあり、東萊府に屬す、釜山浦日本居留地を距る一哩餘、後に株山を控え、前は釜山灣に臨む、京釜鐵道發起點とす、此地もと寂寞たる漁村なりしが、近時俄かに勃興して、一市街を

形造るに至れり、釜山海關支署、大阪商船會社、日本郵船會社の出張所等あり、近傍の丘上に古館城址あり、此處に津江上招魂の碑あり。

そーれー 葱嶺 清國新疆省と露領土耳其斯坦との境をなす山脈にして、其最高峯は一九〇〇呎に達す、有名なるパミール高原の東境に當り、唐代印度に使用する者常に此山を通過せり、此地方多く葱を産出するを以て此名ありと。

そーれいもん 崇禮門 韓國京城の南大門にして、壯煥雄偉、堅牢無比と稱せらる。

そーろーちやー ①莊浪縣 清國甘肅省、涼州府にあり。②莊浪縣 甘肅省、平涼府にありしも今は亡し。

た

たいあんふ 泰安府 清國山東省にあり、濟南府の南方に位置す、泰安縣之に屬す。

たいきちやー 臺棋廳 清國貴州省、鎮遠府にあり。

たいくわけん ①泰和縣 清國江西省、吉安府に屬し、府城の南方にあり。②太和縣 清國安徽省、潁州府にあり。③清國雲南省、大理府にあり。

たいくわんちやー 大關廳 清國雲南省、昭通府にあり。
たいくわんれい 大關嶺 韓國を縦斷せる山脈にして、少く東部に偏し、蜿蜒南方に連亘し、同半島の脊髄をなす。

たいげんけん 太原縣 清國山西省、太原府にあり、府城の西南、汾州府との間にあり。

たいげんざん 大劍山 清國四川省、保寧府、劍州の東北にあり、小劍山と相接して隘路をなし劍門關と云ふ、又幽勝の地たり。

たいげんふ 太原府 (Tai-Guen) 清國山西省の中央にありて汾水の左岸に位置す、同省の首府なり、古へ此地長城に近きが故に、塞外人の内地に入る者先づ此地を侵す、從て歷朝又尤も重要な地となせり、府の如き此地によりて國をなせり、

府城の北方に位置す。①大興縣 清國直隸省、順天府西路廳にあり。

たいござん 大孤山 清國盛京省、黃海沿岸にある港にして、大洋河口より十二里の上流に位置す、人口約八千、商業繁盛にして、木材の輸出地として名あり、日露戦役の際我が野津將軍の率ゐし第四軍の上陸地點として知らる。

たいござー 大公嶋 (Taikung-san) 清國山東省、膠州灣の南角威林岬の東南東十里の海上にあり、高さ三四一呎、其形圓形にして、恰も乾艸堆の如しと、其東北東四里半に小公島あり、平坦の二岩塊にして、高さ七十八呎許。

たいざん 泰山 (Taishan) 清國山東省、濟南府の東南泰安府の北約一里にあり、五岳の一にして、東岳又岱山と稱す、高さ六里、日觀、泰觀、越觀の三峰に分る、古來有名なる山嶺にして、就中古帝王の封禪を以て著はる。

たいざんがわ 大清河 (Taishan-ko) 清國直隸、山東兩省の界にあり、其東角大三口に一小嶼あり、島の四角に一村落あり、東角に小神廟あり、菡圃によるに此河は老黄河の北口に於て、其上流入里餘の所に土壘あり、戸數約三百餘、旅店、雜貨店等多く、市況稍々殷盛なり。

たいしが 太子河 遼河の支流にして、滿洲遼陽府附近を流る、日露戦役の際、我軍此河を渡りて露軍を撃破し、其名

現今毛氈の製出盛なり。

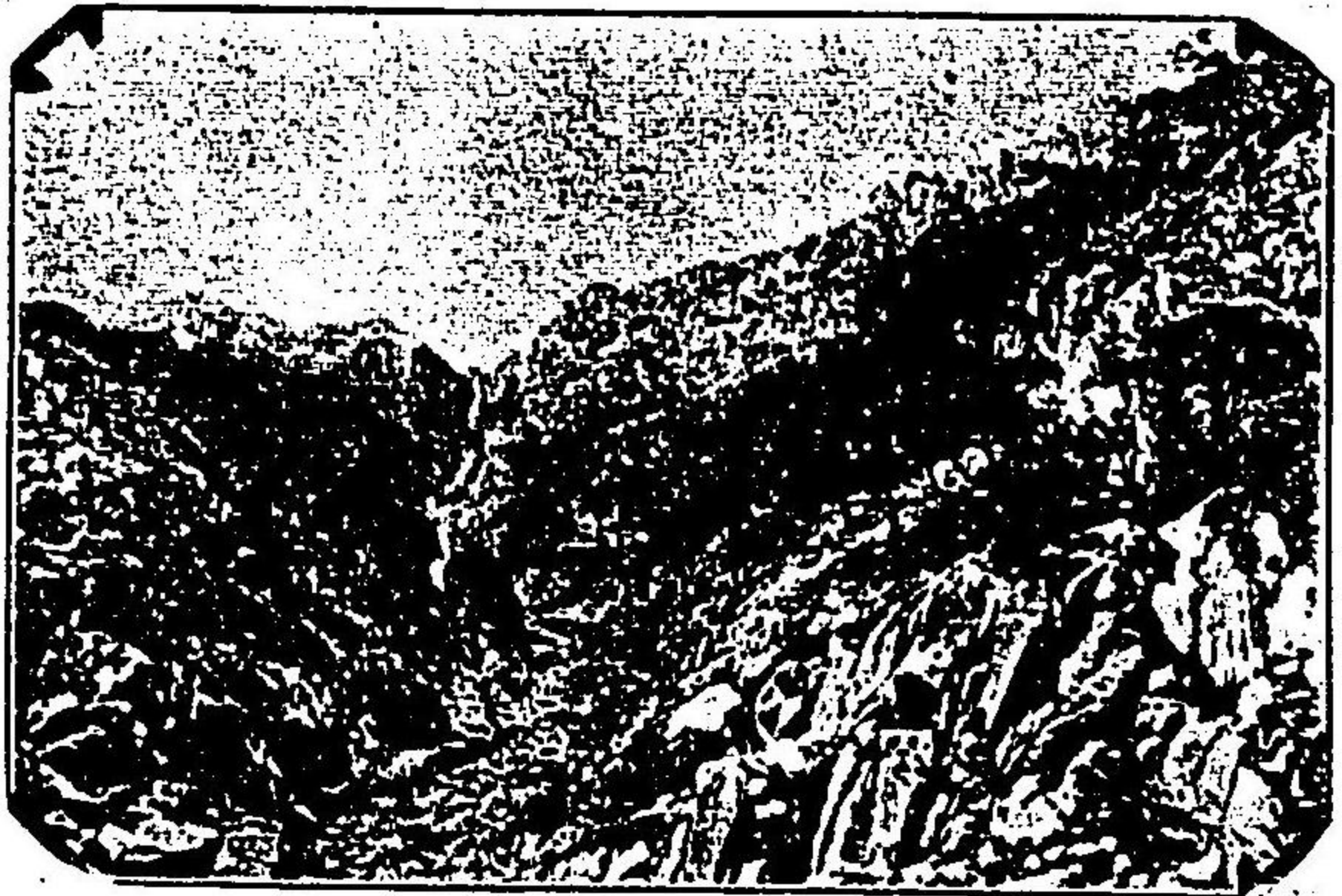
たいこ 太湖 (Tai-hu) 清國江蘇、浙江の兩省に跨る大湖にして、周回約八里、水量多く、湖口五あり、一に五湖と稱す、湖上風浪荒きも、水運の利多く、吳淞江及び楊子江等に通ず、沿岸風景佳にして所謂太湖石の奇石多し、有名なる楓橋夜泊の叙詩、即「月落烏啼霜滿天、紅楓漁火對愁眠」の詩句は此湖畔に於て詠せしなりと。①清國江蘇省、蘇州府に太湖あり。②安徽省、安慶府に太湖あり。

たいごー 大邱 (Taikoo) 韓國慶尙北道にあり、南韓第一の大都會にして、觀察使駐在所たり、洛東江の上流に在り、釜山を距る七十七哩、商業繁盛にして、春秋二季此地に開かるる大市は、同國風指のものにして、集合の商賈約一萬、取引極めて活潑なり、府城は二百年前の築城にして、城壁高さ二間餘、周圍二十町餘、東西南北に四門あり、四方曠野なる平野にして、田畝遠く連り、地味肥沃にして、農産豊かに、且水陸運輸の便多し、米、大豆、牛皮等の輸出多く、毎年約二百万圓に至る。①天江 楊子江の別稱。

たいごうけん 大谷縣 清國山西省、太原府にあり、今は亡し。

たいごうけん ①泰興縣 清國江蘇省、通州にあり、州の西、楊子江口の右岸にあり。②太康縣 清國河南省、陳州にあり、

(景眞の山泰)



河大洪水の際、同河の流域變じて大清河に合し、直隸灣に注ぐに至れり。

たいしー 蕪州 清國浙江省東部にあり、蕪州灣に臨む、生絲、茶、鹽等の産あり。 蕪州 清國江蘇省、揚州府にあり。 たいしー 代州 清國山西省にあり、直隸州なり。

漸く知らる。たいしんがわ

大清河 清國黄河の現流口にして、一に利津河と稱す、源を泰山に發し、西流すること三四十里、北四に折れ、魚山城鎮に至り北東流すること百十餘里にして海に入る、一八五四年の黃

たいしーふ 臺州府

清國浙江省にあり、椒江の右岸に位す。

たいじゅんけん 泰順縣

清國浙江省、温州府に屬し、府城の西南浙江省境の山中にあり。

たいしーわん 蕪州灣

清國浙江省の東岸に在り、其沿岸に蕪州府あり。

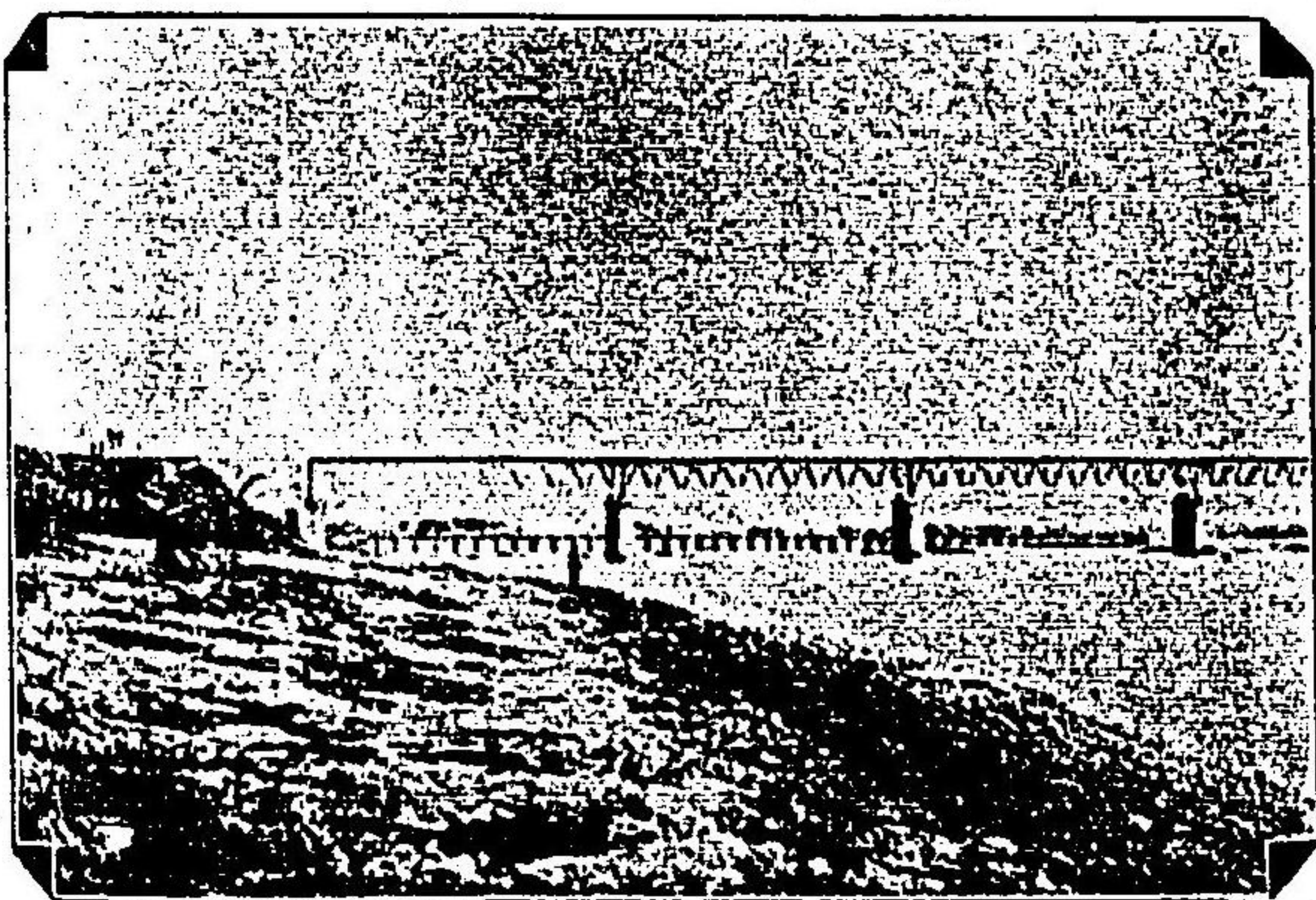
たいじゅけん 大城縣

清國直隸省、順天府南路廳にあり。

たいせいとー 大青嶋

韓國黃海道の四方海中にあり、元の文帝、順帝を流竄せし所にして、其宮室の遺址今猶在す。

(橋鐵の河子太)



て、一に通惠河と稱せらる。

たいつーけん 大通縣

清國甘肅省、西寧府にある故縣なり。

たいていふ 大定府

清國貴州省にあり。

たいでんけん 大田縣

清國福建省、永春州にあり。

たいとーこー 大東溝

清國盛京省、鴨綠江口の西岸にあり、港内淺瀬多く、汽船は海岸を距る數哩の大和島前に投錨す、人口約五萬、巨商少く、市街亦粗陋なり、木材の集散地として名あり。

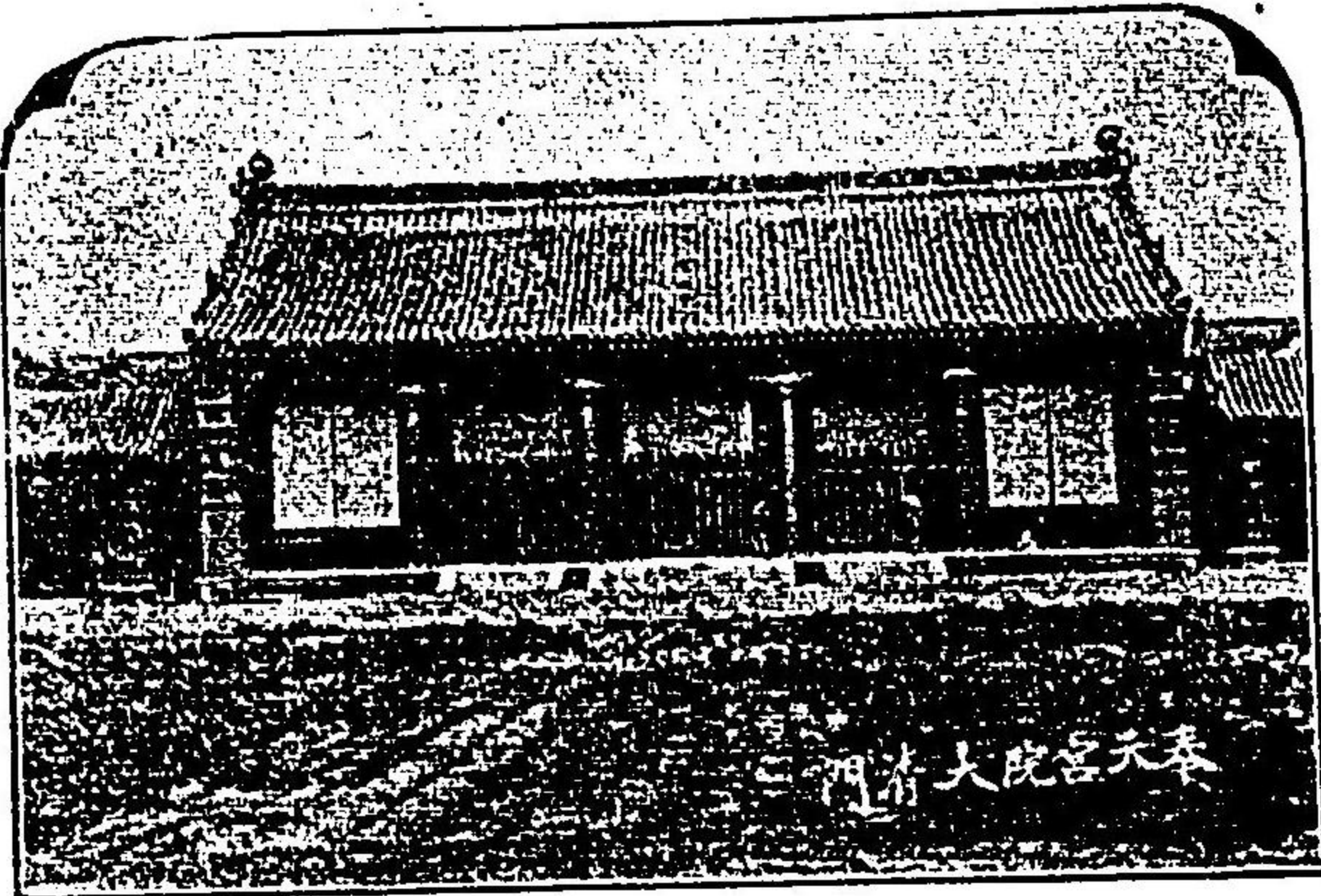
たいとーこー 大同江 (Ta-tong-kang)

一に溟水と稱す、韓國平安南道の東北境劍山附近に發し、南西流して平壤に至り、西流して黃海に注ぐ、長さ七十里、水深くして汽船を通ずるを得、其流域は廣き沃野をなす、十二月より翌年二月迄河水氷結す、慶應二年亞米利加の商船大同江を溯りて追害せられしことあり、又日清戰役の時、我軍此處に戦へり、河口に鎮南浦あり、開港場の一なり。

たいとーふ 大同府

(Ta-tung) 清國山西省にあり、長城の南方に位す、昔は冀州に屬し、遼の時大同府となし、宋の宣和五年雲中府と改め、後、明の洪武七年更に大同府となせり、府城の西門に遼、金の宮垣あり、府の東に白登山あり、漢の高祖匈奴の爲めに包圍せられたる所とす。

たいせいもん 大清門 滿洲奉天府城内金鷲殿の南門なり。 たいそー 岱宗 「たいざん」を見よ。 たいそくけん 大足縣 清國四川省、重慶府にあり。 たいそーけん 大度縣 清國江西省、南安府にあり。 たいそーしー 太倉州 清國江蘇省にあり、直隸州なり。 たいちくあん 大竹縣 清國四川省、綏定府にあり、もと順慶府に屬す。 たいつーが 大通河 清國直隸省の中央北京の東南にあり、通州の東方を南流し、天津の附近にて遂に白河に合す、舟楫の便大にし



(門清大殿宮天奉)

たいねいけん 大寧縣 清國山西省、臨州にあり。清國四川省、瀘州府にあり。泰寧驛 清國福建省、邵武府にあり。

たいへいふ 太平府 清國安徽省にあり、江蘇省に接し、揚子江岸に位す、蕪湖は同府下風指の開港場なり。

たいへんぼ 太邊浦 韓國慶尙道豆毛浦の西南にあり、釜山を距る約八里、港口南に開け前面に一小島あり、本邦漁船の寄港多し、人口約百五十。

たいほー 帶方 南京の別名なり。

たいほーおんじ 大報恩寺 清國南京にあり。

たいほけん 大埔縣 清國廣東省、潮州府にあり。

たいめいふ 大名府 清國直隸省にあり、ここに大名縣あり。

たいやけん 大冶縣 清國湖北省、武昌府にあり。

たいゆいけん 大邑縣 清國四川省、邛州にあり。

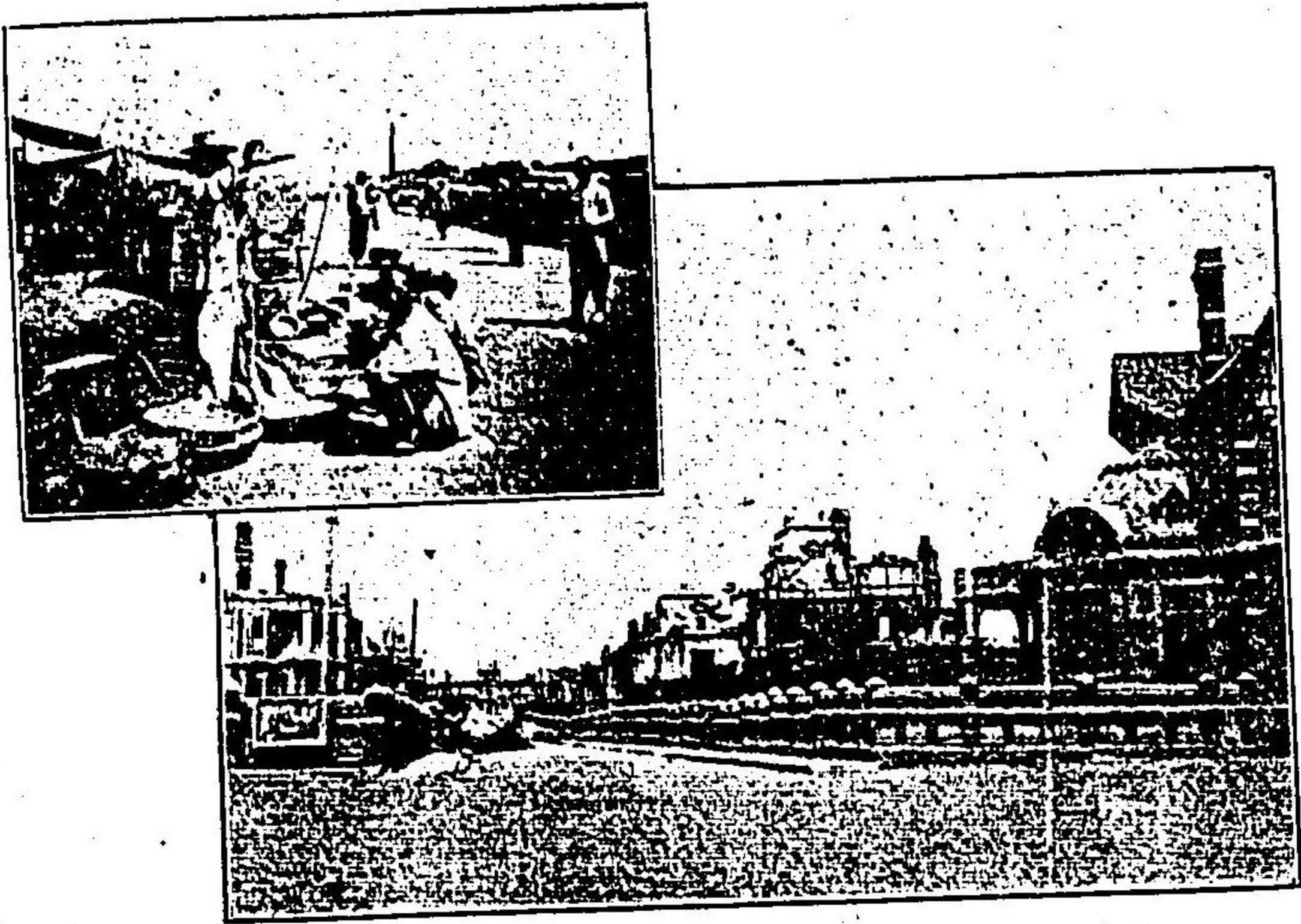
たいよけん 大姚縣 清國雲南省、楚雄府にあり、もと姚安府に屬す。

たいりこく 大理國 唐の南詔の地にして、今の清國雲南省にあり、唐末より獨立し、宋の世には全く化外の地なりしが、後、段智興、大理國王たりし時、西紀一二五三年終に蒙古の忽必烈の爲めに滅ぼさる。

たいりふ 大理府 (Dali) 清國雲南省の都府にして、大理國の舊都なり、河海の西岸に位す、パルマと商業取引上重要な地點にして、又同省内金銀の集散地たり、精良なる寒水石を産す、世に大理石と稱せらる。

たいれいけん 大荔縣 清國陝西省、同州府にあり。

たいれんし 大連市 遼東半島の南部、大連灣内の湖水套、即ちピクトリア灣頭にあり、海を隔てて柳樹屯(普通大連灣と稱する地)と相對す、此地もと荒蕪たる一村落に過ぎざりしが、一八九八年(我明治卅一年)露國此地を租借し、アジアに於ける一大商港となさんとし、名を「ダルニー」と改め、巨萬の資を投じ、大規模の設計を施し、市街の設備、港灣の修築を創め、其工事殆んど成らんとして、偶々日露戦役起り、終に我國の占領に歸し、再び大連と改稱せらる、面積約七十五露里平方(後更に二十露里平方を擴張す)、分つて歐羅巴區界、支那區界、官廳區界の三區とす、人口約四萬二千(明治三十六年一月調査)、市街概ね平坦にして、道路廣濶、街衢整然として分る、殊に其官廳區界の知き、巍然たる赤煉瓦造の大廈整然として聳を並べ、宛然歐洲の都市を見るが如し、行政機關よく備はり、今や我が關東民政署は、舊露國時代の政務を襲ひ、更に新たな方針を以て、若々政務の進捗を圖る、交通機關も亦よく備はり、郵便、電信、電話の設備悉く



(市 連 大)

整ひ、電燈は露國時代の發電所を使用す、南滿洲鐵道の起點

たる大連停車場は市内にあるも、貨物運搬の爲め其線路を

埠頭に延長す、埠頭は極めて大規模のものにして、數十艘の大船同時に碇繋するを得べく、東洋一の稱あり、氣候は冬季乾燥して、夏時濕氣多く、冬季は寒さ甚しきも攝氏十七度を下らず、極寒の候約二週間、海面薄氷を以て鎖さるるも、其厚さ四寸に至らず、歳により余く氷らざることあり、實に露國がアジアに於ける不凍港として、全力を盡して經營せる所、今や我が領土となり、近き將來に於て開放せられ、世界の自由港たらんとす、此地西紀一八六〇年英佛同盟軍の北京に逼りし時、英艦の占領せしことあり、日清戦役の際明治廿七年十一月我軍の占領に歸し、其後明治三十一年三月二十七日より二十五箇年間露國の租借地となり、日露戦役起るや、明治三十七年六月我が第二軍の一部隊之を占領せり。

たいれんわん 大連灣 清國盛京省の南部にあり、灣口東南に面して、方形をなし、長幅共に六海里、灣頭四に分る、西にあるを湖水套(Victoria Bay)と云ひ、水深五尋乃至三尋、大連市其灣頭にあり、中央にあるを河套(Junk Bay)東にあるを江涯套(Hand Bay)と云ふ、其西にある小半島は和尙島にして、其西岸に柳樹屯あり、もと大連灣と稱せし所なり、東方の一小灣は大崗口(Odin)にして、其口一海里あり。たいく 太沽 (Taikou) 清國直隸省、白河々口にあり、我長崎

港を距る一四九五哩、天津を距る鐵路二十七哩、汽船常に輻輳す、鐵道により又は白河を舟行して、天津に至るを得べし、此地北京の門戸を扼し、有名なる太沽砲臺ありて同河口を擁せしが、北清の役我軍の陥るる所となり、砲臺亦破壊せらる。

たくしゅー 涿州 清國北京の西南にあり、往古之を涿鹿の野と稱す、北京より保定府及河間府に至るの衝に當り、古より四達の隘として名あり。

たくしゅー 澤州府 清國山西省にあり。

たくじーけん 拓城縣 清國河南省、歸德府にあり、府城の西南に位す。

たくほーだい 太沽砲臺 清國直隸省、白河々口に在り、一八六〇年英佛聯合軍のために陥られ、後堅固の砲臺を設け、更に其守備を嚴にせしが、北清事變の際、主として日本軍の陥るる所となり、今は破壊せられて改築を禁ぜらる。

たしろんぶ 札什倫布 西藏薩摩府の四百二十餘哩にあり、「サンポー」河の南岸に位す、後藏の首府なり、札什喇嘛の居住地なり。

たせんろ 打箭爐 清國四川省の西部西藏に接する地にあり、もと西藏に屬せしが、康熙五十九年以來一帶の地を舉げて四川と雲南との兩省に編入せり、東西交通の衝路に當り

十里、魚族水禽等多く棲息し、漁獵の利多し。
たりのーるちー 多倫諾爾廳 清國直隸省にあり。
たろむがわ 塔里木河 (R. Tarim) 清國新疆省の河にして、其源流三あり、喀什喀爾、葉爾羌、和闐の三流にして、三河合流して塔里木河と稱せらる、下流沙漠を横ぎり、羅布湖に注ぐ、其流域は古の焉耆、龜茲、鄯善等、又は元の察合臺汗國の地なり。

だるにー (Darnie) 大連の露國名なり、たいれん(大連)を見よ。
たろーが 陶爾河 源を蒙古に發し、滿洲黑龍江省の齊々哈爾(チチハル)附近に至りて嫩江に合す。

たろーちちー 他郎廳 清國雲南省、普洱府にあり、府城の東北、萬里江の一支流の上流に位す。

百貨輻輳す。

たつけん 達縣 清國四川省綏定府にあり、故直隸州たり。
たぶそんちる 達布遜淖爾 蒙古語鹽湖の義、青海の西南にあり、周回十三里、莫和爾、察罕烏蘇の兩河此に注ぐ、此湖鹽分を含むこと多く、湖畔數寸乃至一尺餘の鹽層をなす、土人製鹽業に従事するもの多し。

たんけん 單縣 清國山東省、曹州府にあり。

たんこーちちー 丹江廳 清國貴州省、都勻府にあり。

たんしゅー 儋州 清國廣東省、瓊州府にあり。

たんすい 湛水 清國河南省より發源し、東南流して淮水に入る。

たんすいちちー 淡水廳 清國福建省、臺灣府にあり。

たんせき 丹浙 丹水、浙川の二流なり、清國河南省、南陽府、鄧州府、内郷、浙川二縣の境上にあり。

たんごけん 丹徒縣 清國江蘇省、鎮江府にあり。

たんよーけん 丹陽縣 清國江蘇省、鎮江府にあり、同府を距る三十七哩、常州府を距る三十二哩、人口約二萬、東門外運河に臨み、潮水干満の差三尺内外に及ぶと。

たんにちちー 丹陵縣 清國四川省、眉州にあり。

たりのる 達里諾爾 達里泊又捕魚兒海子とも稱す、内蒙古の東南部に位す、海拔四千二百尺の高地にあり、周回約三

ち

ちくけいけん 竹谿縣 清國湖北省、鄖陽府にあり。

ちくざんけん 竹山縣 清國湖北省、鄖陽府にあり。

ちくごー 竹島 韓國忠清道舒川郡にあり、郡山浦を距る十二哩、周回僅かに十餘町、全島殆んど山より成り平地少し、其開和島と相對する處一灣曲をなし、船舶の碇繫に便なり、近海漁獲多く、好漁場として知らる。

ちくへんごー 竹邊洞 一に竹邊とも稱す、韓國江原道蔚珍郡の海岸にあり、我國漁民の根據地にして、灣内稍廣く百噸内外の小汽船の碇繫に便なり。

ちくりんぼ 竹林浦 韓國巨濟島の西岸にあり、島中第一の良港にして、後に鷓籠山築え、前に蜂巖島横はり、港内廣く、水亦深くして、一時に十餘隻の軍艦を碇泊せしむるを得、艦に軍港となすに足ると。

ちけん 知縣 支那本部、及新疆省各縣に置ける地方官なり。

ちしゅー 知州 支那本部、及新疆省各州に任官する地方官なり。

ちしゅー 池州府 清國安徽省、揚子江の南にあり。

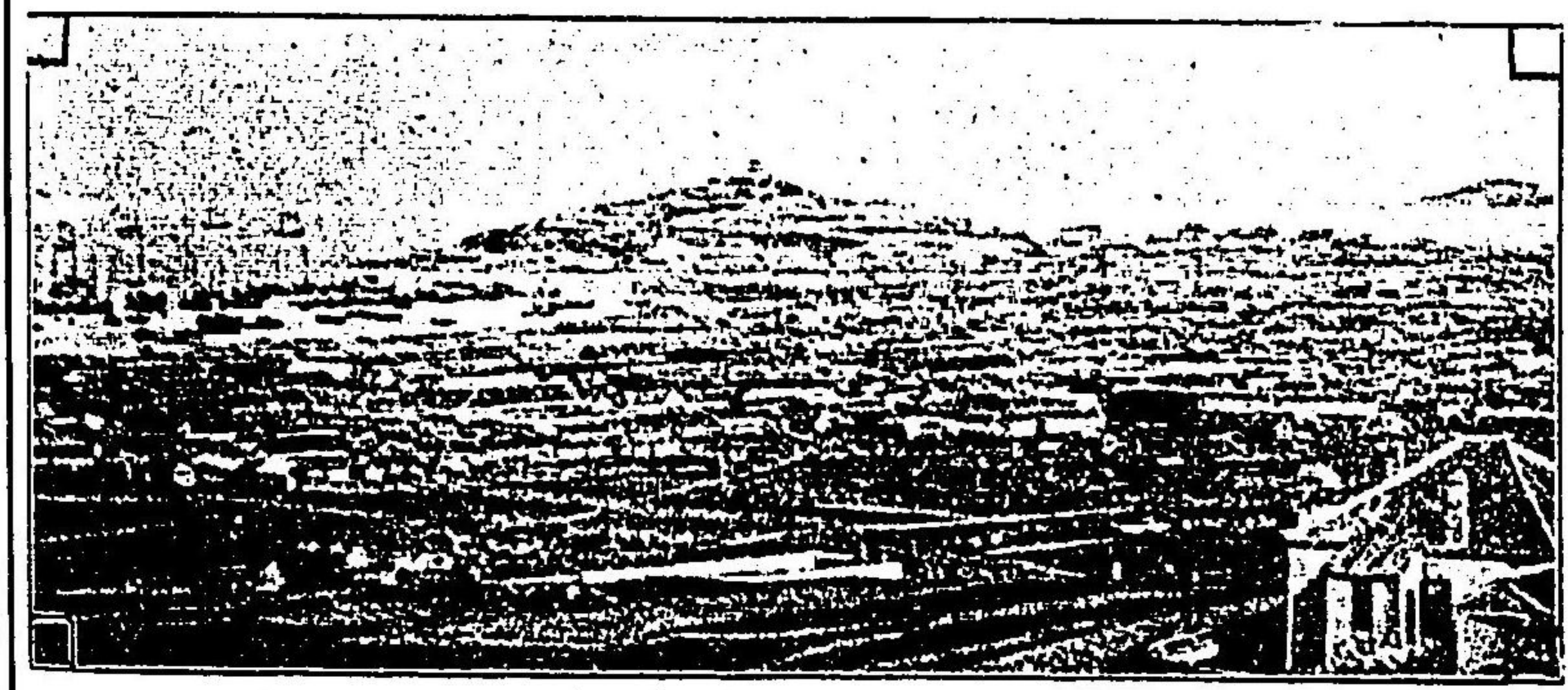
ちちる 齋々哈爾 滿洲黑龍江省の首府にして嫩江の左

岸にあり、土俗ト魁(ブーコワイ)と稱す、伯都納を距る七十九里、南方約七里に東清鐵道の停車場あり、此地北滿洲に於ける政治的及商業上の中心地にして人口約七萬、毎年九、十月の交歲市を開き取引頗る盛なり、城は清の康熙帝の時始めて築かれたるものにして、内外二重の城郭より成る。

ちん 智嶋 韓國全羅南道木浦の北四二十八里にあり、本邦漁船の好碇繁場なり。

ちん 知府 支那本部、及新疆省に於ける、各府の長官なり、但順天府と奉天府とは府尹を置く。

ちん 芝罘 (Chefoo) 本名、煙臺、北清第一の要港にして、山東省にあり、旅順口と相對して、渤海灣の咽喉を扼す、北、西、南の三面は丘陵を繞らし、灣口には小島點在し、灣内水深く、大船巨舶の碇繋に便なるも、北



(芝 罘 港)

四の烈風に堪へざる不便あり、西紀一八五八年英國先づ開港を約し、一八七一年日本亦此地を開港場となせり、本邦領事館あり、柞蠶糸、繭軸、麥稈、大豆、豆粕、桐材等を輸出す、此地渤海灣の咽喉にあり、重要地點を占め、既に明代に烽火を擧げ海上を警め、南北兩清の交通頻繁なるに従ひ船舶の寄港するもの多く、近世外國貿易開始せらるるや、天津、營口行の汽船の寄港地となり、俄然として北清諸港の第一位を占むるに至れり。

ちん 西藏 崑崙山脈と「ヒマラヤ」山脈との間にある一大高原地にして、清國版圖の西南隅にあり、東は雲南、四川の兩省に、西は印度の「カシミール」に、南は印度の「ネパール」、「ブータン」に、北は青海及び天山南路に境す、北緯二十八度より四十度に、東經七十九度より百三度に亘る。

面積十一萬方里あり、其高原は實に世界無比にして、高さ約一萬尺以上の平均なりと、此國唐の太宗の時初めて中國に通ず、清朝の時之を前藏、後藏に分ち駐藏大臣をして治めしむ、首府を拉薩とし、喇嘛教の本山あり。

ちん のしゅーきょー 西藏宗教 人民擧りて喇嘛教を奉ず、教主を達賴喇嘛と稱し、政教の最上權を有す、其次位に札什喇嘛あり、札什倫布の僧院長たり、次に數名の大喇嘛ありて、各地に散在す、其下に僧侶あり、其數極めて多く、全國に充滿し、拉薩府のみにて、已に二萬餘人ありと。

ちん のじゅーみん 西藏住民 蒙古人種中の西藏族にて、唐代の所謂吐蕃なり、昔は慍悍を以て知られしが、喇嘛教を信するに及び大に殺伐の氣風を減す、特別なる言語文字を用ふ、人口約六百四十萬と稱す、一妻多夫の奇習あり。

ちん あんけん 鎮安縣 清國陝西省、商州にあり。

ちん あんふ 鎮安府 清國廣西省にあり。

ちん えんふ 鎮遠府 清國貴州省にあり、恩州府の西に位す、湖南地方より來る貨物は一たび此地に集まり、更に貴陽方面に送らるるを以て、商業頗る活潑にして市街殷盛なり、方竹、棉花等の産あり。

ちん かい 鎮海 「ちんはい」を見よ。

ちん かいけん 鎮海縣 清國浙江省、寧波府にあり、府城の

東北海岸に位す、近く舟山島を控ゆ。

ちん かいわん 鎮海灣 韓國慶尙道馬山浦を距る陸路三里、海路二里の南方にあり、天然の良港にして、一萬噸以上の軍艦自由に碇泊するを得、鎮海港は戸數僅かに二百餘の漁村にして、米、豆等を産す、巨濟島に至る便船あり、此地風景絶佳にして、我陸前松島の景に似たりと。

ちん げんけん 鎮原縣 清國甘肅省、涇州にあり、もと平涼府に屬す。○鎮沅州 清國雲南省にあり、直隸州たり。

ちん こー 鎮江 (Chin-kiang) 清國江蘇省の開港場にして、一八五八年天津條約により開かる、長江と大運河との合點の南岸にあり、附近貨物の集散地にして、其繁榮長江沿岸中漢江に次ぐ、人口約十四萬、主として綢、絞綾等を産出し、日本より手巾、洋燈、洋傘、海産物を輸入す、我商船會社取扱店あり、府城は周圍一里九丁、城壁を繞らし、四門を設け、南北水關二關を置き、南關より西門に至る運河によりて天然の壑濠を爲す、一八四二年、鴉片戰爭の際英軍の占領する所となり、一八五三年、長髮賊の亂に賊軍に陥られ全市殆んど破壊せらる。○(Ching-kiang) 又錦江と稱し、韓國忠清全羅二道の交界にあり、豊饒なる内浦の野を貫流し、江口には群山浦ありて舟楫の便多し。

ちん こーけん 沈邱縣 清國河南省、陳州府の南方にあり。

ちん かいけん 鎮海縣 清國浙江省、寧波府にあり、府城の

ちんごう 鎮江府 清國江蘇省にある開港場なり、「ちん

ごう」を見よ。

ちんしんてつごう 鎮津鐵道 清國天津、鎮江間の鐵道にして、天津より山東省德州に至り、黄河を横きり濟南府を經、泰山を越え、沂州に至り、清江浦を経て鎮江に達す、延長三百二里餘、竣工期限五ヶ年とす。

ちんしゅう 陳州府 清國河南省にあり。

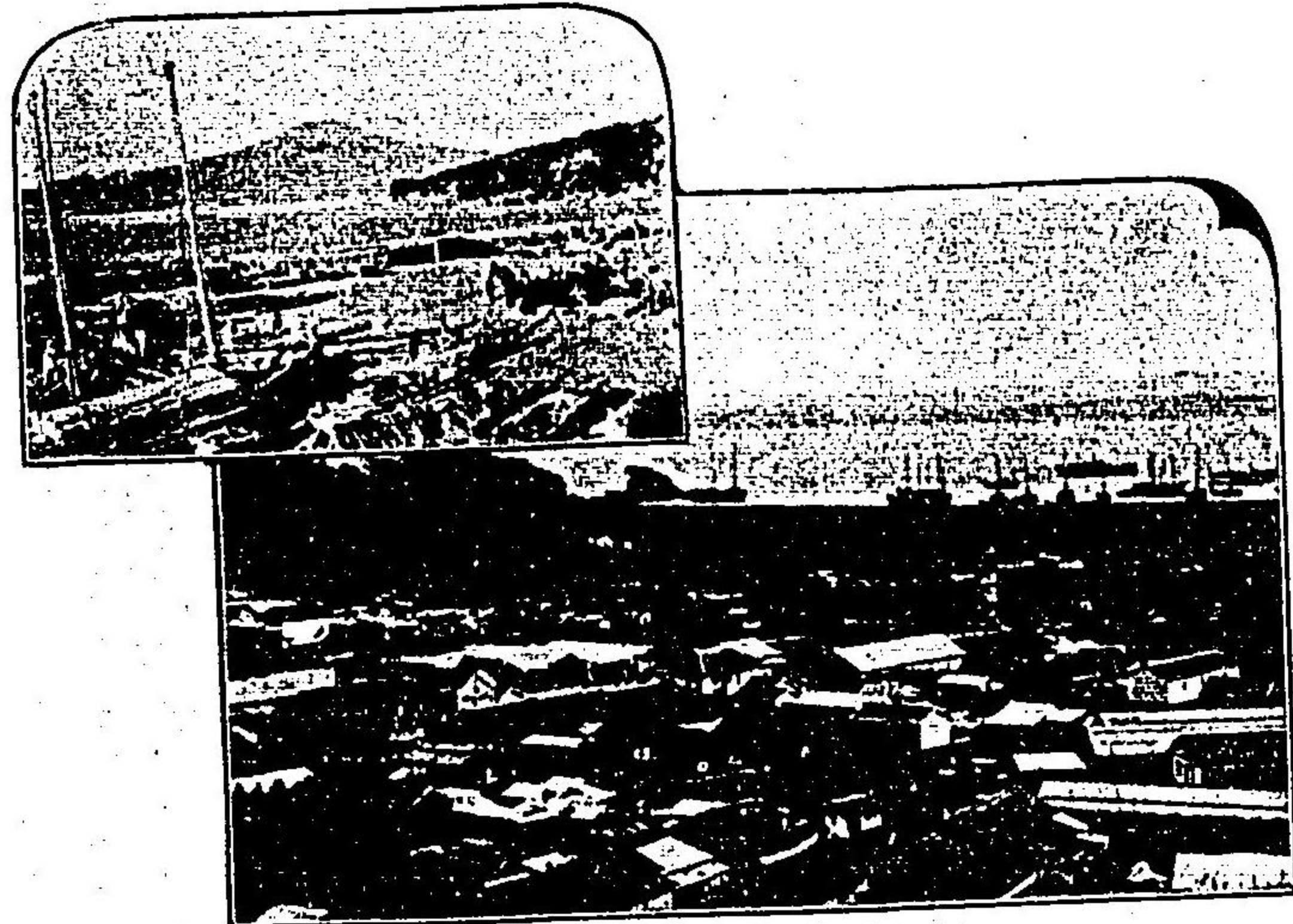
ちんせいふ 陳西府 清國甘肅省にあり。

ちんごう 珍島 韓國全羅道の西南海岸に在り、別名を沃州といふ、文祿の役李舜臣が我が水軍を嚮ましし所なり、沿海魚族多く、附近の長島は我が漁船の根據地たり。

ちんなんしゅう 鎮南州 清國雲南省、楚雄府にあり。

ちんなんほ 鎮南浦 (鎮南浦) 韓國平安道、大同江の北岸河口より上流六哩にあり、平壤を距る三十七哩、北韓西部の要地にして、毎年十二月末より二月末迄結氷するも灣内廣く、二千噸内外の船舶一時に四十隻を碇泊せしむるに足ると、明治三十年十月開港地となりてより、平壤の商權全く茲に移り、商業極めて盛なり、本邦領事館、及居留地あり、居留民多く、來遊者は一見して殆んど日本開港場に至れるの觀ありと、此地日露戦役に於て、日本軍先發隊の上陸根據地となり、其名大に知らる、又下流十三哩に日清戦役の際日本

海軍の根據地とせられたる魚陰洞あり。



(浦南鎮)

ちんねいしゅう 鎮寧州 清國貴州省、安順府にあり。

ちんはい 青海「チン」の「見」よ。 鎮海 (Yehink Hai) 清國浙江省、寧波府の一縣にして、西暦一八三九年鴉片戦争の時イギリス軍に陥らる。

ちんぱんけん 鎮番縣 清國甘肅省、涼州府にあり。

ちんぺいけん 鎮平縣 清國河南省、南陽府にあり。 清國廣東省、嘉應州にあり。

ちんゆうしゅう 鎮雄州 清國雲南省、昭通府にあり。

ちんよーけん 鎮洋縣 清國江蘇省、太倉州にあり。

ちんらごう 耽羅島 濟州島を見よ。

ちんりゅうけん 鎮留縣 清國河南省、開封府の南方にあり。

ちんざんざんけん 天山山系 (Tianshan Mts.) パミル高原より東北に延び、蒙古と支那トルキスタンの間を走り、阿爾泰山脈に連綴し、更に四比利亞と蒙古との境に、ヤブノロイ山脈を起し、更に延びてスタノボイ山脈となる。

ちんざんざんろ 天山南路 (回疆又は東土耳其斯坦) 所謂西域の地にして、天山山系以南新疆省の地を云ふ、此地方は天山、葱嶺、崑崙山脈等により圍繞せられ、東の一方は戈壁沙漠に連る、地勢皿の如く、内部は六方形を成す、塔里木河東西に貫流す。

ちんざんざんほくろ 天山北路 「しんきょーしよー」を見よ。

ちんりんかい 查靈海 青海蒙古の西南部にあり、周囲約五

十里、其水流れて查克喇峨山より發する諸水流を合せ、水滙して鄂靈海(ヨリン)となる、此湖は元史に所謂阿刺騰兒にして、湖水更に流出して黄河の上流となる。

ちんえいけん 中衛縣 清國甘肅省、寧夏府にあり。

ちんがく 中嶽 嵩山を見よ。

ちんごうけん 中江縣 清國四川省、潼川府にあり。

ちんくわ 中華 支那人の自から其邦を稱する語「しんく」を見よ。

ちんくわじん 中華人 漢人種の自稱にして、彼等は支那を開拓せし民族にして、主に支那本部に住し、總數の九割を占む。

ちんしけん 中原 清國黄河流域の地にして、支那史上根本の起源地なり、歴代の國都は皆此地に設けられ、東洋文明の中心地なりき、而して今の直隸、山東、山西、河南、陝西、甘肅の六省の地に相當す、今左に此六省に於ける興起の國號を擧ぐ、

- 直隸省に都せし國 黄帝、高陽氏、元、清、神農氏、金天氏、堯、舜、夏、
- 山東省 同
- 山西省 同
- 河南省 同
- 伏義氏、高辛氏、商、周、後漢、魏、後梁、後唐、後晋、後

漢(五代)、後周、宋、金、
前漢、隋、唐、
陝西省 同

ちしこく 中國 支那人が自國を中心として、四夷に對したる稱なり、されば其境域の如きは、一定せず、初は中原の地を以て之れに充て、後文化の擴張するに従ひ、揚子江流域に及び、終には支那十八省を含有するに至れり。

ちしさんぼ 丑山浦 韓國慶尙道海郡にあり、迎日灣を距る北方二十里、同道沿岸の最北に位す、海口東に向ひ港内廣く、水深く百噸許の船舶の碇繋に適す、本邦漁民の根據地たり。

ちしじん 中人 韓國人民間の一階級にして、兩班と常漢との間に位し、政治的の族制にあらざるも、職業によりて自ら一階級をなせるものとす、文人、學者等多く此種族に屬す、明治二十七年の改革以後官吏に任用せらる。

ちししち 忠州 (Chungju) 韓國忠清北道の首府にして、京城を距る東南二十八里、漢江の上流なる平地に位す、通商上の一要地なり、南方一里に北倉の地あり、京城より貨物輸入の埠頭たり。○清國四川省にあり、江道の要地にして大江に臨む、市街頗る殷盛なり。

ちしすいん 中樞院 韓國の至高顧問府なり。
ちしせいど 忠清道 (Chung-Tsang) 韓國京畿道の南、全

羅道の北にあり、四方一帯は黃海に臨み、地味豊饒にして、五穀の産多し、海岸風曲多く、島嶼に富み、港灣渺からず、百濟の故地にして、今南北兩道に分る。

ちしせいなんど 忠清南道 韓國京畿道の南、忠清北道の西、全羅北道の北に當り、西は黃海に臨む、公州に觀察使駐在して、全道を治む。

ちしせいぼくど 忠清北道 韓國京畿道及び忠清南道の東、慶尙北道の西、江原道の南にあり、忠州に觀察使駐在して全道を治む。

ちしぞーべんじたいじん 駐藏辦事大臣 清國政府より四藏に派遣せる官吏にして、拉薩府に駐紮し、其軍政、及外交の事を司る、然れども政治上の権力は喇嘛法王に屬す。

ちしてんちち 中甸廳 清國雲南省、麗江府にあり。
ちしど 中道 韓國京畿道、江原道地方を云ふ。
ちしおぶん 中部縣 清國陝西省、鄜州にあり。
ちしぼけん 中牟縣 清國河南省、開封府の西方にあり、黃河の流域に位す。

ちしあん 長安 今の清國陝西省西安府にして、黃河の支流渭水の南、關中平野に位す、周の武王が山河の固めによりて、西都とせられたる鎭京にして、隋、及唐此處に都し、往時支那文明の中心を成せり、尙西安府を見よ。

ちしえん 長淵 長潭と稱す、韓國黃海道海州の四十五里にあり、戸數約一千、附近大豆の産地として名あり。

ちしえんけん 長垣縣 清國直隸省の大名府にあり。

ちしえんか 張家口 (Kalgan) 清國直隸省にあり、北京の西北約三十五里に位し、塞外地方との陸路通商地にし



(城 長)

て、毛皮等を輸入し、磚茶等を輸出す、此地東西北の三面山岳連亘し、南方一面、平野に接す、市街南北に長く、殆んど一里に亘り、東西は短く、僅に七八町に過ぎず、市街は二大區に分る、南部を下堡と稱し、最殷盛の區にして銀行、茶商等多し、市北を上堡と稱し、小賣商多し、此地北部支那地方に

於ける一大陸路貿易地として、蒙古及び露領キヤクタ間の交通は、必ず該市を轉換場となすを以て商業頗る盛なり。

ちししち 直省 清國に於ける、支那本部十八省、新疆省及、東三省にして、共に中央政府の直轄地なり。

ちしえんしち 直隸省 (Chi-li) 支那本部十八省の一にして、現時中央政府の所在地たり、東は渤海に臨み、南は山東省に、西は山西省に、東北は滿洲、北は内蒙古、西南は河南省に接す、昔の燕、趙の地にして、後漢、金、元、明、及清の歴代此地に都城を奠む、面積五萬七千八百方哩、人口約二千九十三萬餘。

ちしえんわん 直隸灣 支那渤海の南海にして、灣内白河の上流十二里に天津港あり。

ちしえんかいきん 直隸海峡 支那直隸灣の南口即ち渤海の海口に在り、山東岬角、及金州半島によりて形成せらる、北隴城島、長山島、裏長山列島、外長山列島等其間に點布す。

ちしけい 肇慶 (Chao-king) 清國廣東省、廣東の西にあり、西江の北岸に位す、西江航路の一寄港場にして、三水の上流約十二里にあり、人口約五萬。

ちしけい 長江 揚子江の別稱。

ちしけい 長江艦隊 (江軍) 清國長江一帯九百

里間を防禦する任務を有し、兩江總督に屬する提督之れを統率す、此艦隊は成豐の亂後設置せしものなり。

ちよーこーいしほんえい 長江水師本營 清國長江艦隊の本營にして、楊子江口の狼山にあり。

ちよーさふ 長沙府 清國湖南省にあり、洞庭湖の南方、湘江の流域に位す、長沙縣之れに屬す。

ちよーざんけん 長山縣 清國山東省、濟南府にあり。

ちよーざんじょー 張三城 清國新疆省、喀喇沙爾城の東約四十里にあり、烏沙克塔爾の地にして、唐の時之れを設く、城址今尙存す。

ちよーざんれつどー 長山列島 清國直隸灣口にある列島列島中の一部にして、其中最大なるを長山島とす、其東部及び北部は險崖より成り、南部も亦山多し、海洋島の西北、大連灣の東、四十六海里に位す。

ちよーしけん 長子縣 清國山西省、潞安府にあり。

ちよーしゃ 長沙 (Chang-Sha) 一に三湖と稱す、清國湖南省の主府にして、湘江の右岸に位す、同省巡撫の駐紮地なり、湖南の大市場にして、船舶常に輻輳す、明治三十八年開港場となる、我が領事館あり、此地昔時湖南北方を通じて、廣東との交通盛なりしが、汽船の便ありてより、多く長江の水路により、其繁榮稍々衰へたる觀あり、長髮賊の亂

り、水深く大船の碇撃に便なり、漁船の風浪を避けて來り泊する者常に多し。

ちよーせん 朝鮮 かんこく(韓國)を見よ。

ちよーせんかいきょー 朝鮮海峽 朝鮮半島の南方、我が對馬との間にあり、日本海の海口にして軍事上並に商業上最も重要にして、我日本が東洋の海權を掌握せん爲めには、極力保護を要す。

ちよーせんしん 長箭津 韓國江原道通川郡にあり、本道沿岸唯一の良港にして、後に金剛山聳え、其脈岐れて灣の南北西三面を圍むを以て、港内浪程かにして汽船の碇撃に便なり、我邦漁民の根據地にして、且各國捕鯨船の重要なる碇泊場たり。

ちよーせんのがんご 朝鮮言語 地方により多少語調、訛言の差異あるも、普通用ひらるるは、「モンゴルター」と

日本語との中間語にして、其語法日本語と殆んど同一なり。
ちよーせんのはちこー 朝鮮八港 仁川の濟物、東萊の釜山、徳源の元山、沃溝の群山、昌原の馬山、務安の木浦、吉州の城津、三和の臨南の八港をいふ。

ちよーせんのはちごー 朝鮮八道 今の李朝にて置く所の行政區にして、京畿、忠清、全羅、慶尙、咸鏡、平安、江原、黃海の八道を云ふ、後ち建陽元年更に忠清、全羅、慶尙、咸鏡、

に賊の包圍を受く、城内に曾國藩、曾國荃、左宗棠の祀堂あり。

ちよーしー 潮州 清國廣東省の東北岸韓江の西にあり、唐代の文豪韓退之の佛骨表を奉り、罪を得て流竄せられし所なり。

ちよーしゅーけん 長州縣 清國江蘇省、蘇州府にあり。

ちよーしゅん 長春 滿洲吉林省にあり、伊通河の左岸に位す、吉林府を距る約二十三里、土俗寛城子と稱す、東清鐵道南部支線に沿ひ、南滿洲の要衝に當り、且黒龍江、吉林、蒙古等の物産多く此地に集まり、商業頗る盛なり、人口十萬餘、滿洲の金庫と稱せらる、日露戦役の結果、我日本は此地以南の鐵道占有權を奪取せり、此地もと蒙古郭爾羅斯の地にして、郭爾羅斯公恭額拉佈垣、私かに内地民人張立緒等を招きて地を開き、清の嘉慶四年、將軍秀山等兵を率ゐて、此に屯せしより、人口漸く多く、遂に今日の繁盛を見るに至れり、市街は南北に亘り長さ約一里半、兩側商店櫛比、鬻を并べ、商業頗る盛なり。

ちよーじー 長城 「ばんりのちよーじょー」(萬里の長城)を見よ。
ちよーすい 汝水 清國河南省、河南府嵩縣の附近にあり。
ちよーせいほ 長生浦 韓國慶尙道蔚山灣内の蔚々中央にあ

平安の五道を各南北二道に分ち現今十二道となれり、尙ほ詳細は各道條下に就て見よ。

ちよーせんのもじ 朝鮮文字 上流社界には漢文を使用し、普通には諺文を用ふ、諺文は其文法アルハベト流に構成せられ、母音十一、子音十四を結合して、百五十四音より成る、官文及び條令等には二者を混用す。

ちよーせんたごーかい 朝鮮多島海 韓國木浦の近海を云ふ、同近海には群山島、珍島、巨文島、濟州島等三百餘の島嶼點在せるを以て此名あり。

ちよーせんのごたいか 朝鮮五大河 圖們江、鴨綠江、大同江、漢江及び洛東江の五を云ふ、各條を見よ。

ちよーせんわん 朝鮮灣 韓國大同江口より鴨綠江に至る凹形の一大灣を云ふ。

ちよーたいけん 長泰縣 清國福建省、漳州府にあり、府城の東北九龍江の沿岸に位す。

ちよーたん 長湍 韓國京畿道、白鶴山麓にあり、京城を距る十二里、臨津江に臨む、附近大豆の産出多く、長湍大豆の名、有名なり、日清戦役平壤攻撃の際、我兵站地たり。

ちよーちけん 長治縣 清國山西省、潞安府にあり。
ちよーはくざん 長白山 滿洲と韓國との境上を走る大山脈にして、八七〇〇尺の高きに達し、鴨綠江、圖們江の如

き大河皆源を之れに發す、積雪九月より翌年五月に至るを以て、韓國にては白山又は白頭山と稱し、支那には太白山又は白山として古來有名なり、長白山の名は遼史、金史より起る所なりと云ひ、又清朝發祥の靈山として奉祀頗る厚しと。

○清國山東省、濟南府の南方より東に延びたる山脈なり。

ちーぶけん 長武縣 清國陝西省の邠州にあり、州の北方、甘肅省の境に位す。

ちんがー 總角 韓國未婚冠者にして、頭髮を辮垂す。

ちーれい 島嶺 韓國の南嶺と稱せらるる峻嶺にして、忠清北道と、慶尙北道との境に在り。

つーじーけん 通城縣 清國湖北省、武昌府にあり。
つーどーけん 通道縣 清國湖南省、靖州にあり。
づまんこー 圖們江 (豆滿江) 露清韓三國の境を劃せる韓國東岸唯一の大河にして、源を長白山脈の高峯白頭山の東南麓に發し、北東に流れ、樺城附近にて屈折して東南に向ひ、慶興灣の東にて日本海に注ぐ、長さ百餘里、江口廣く百噸内外の汽船、慶興府迄溯るを得し。
つんぐーすし 通古斯種 (Tungus) 韓國の北部より露領沿海州を経て、黒龍江附近の地に蔓延する人種にして、西北利亞人種に屬す、漢代以後の鮮卑、隋唐時代の靺鞨、及宋代の遼は皆是に屬す。

づもっほー 豆毛浦 韓國慶尙道の北岸にあり、灣口南に面し、漁船の出入多し、此地文祿の役に我軍の據る所にして、城址今猶存す、本邦漁民此地を下の大關と云ふ。

つるふん 吐魯蕃 (Turan) 清國新疆省にあり、古の車師の地にして、漢の西域三十六國の一なり、人口一萬六千餘、陸上の貿易盛なり。

つーいけん 通渭縣 清國甘肅省、鞏昌府にあり。

つーかいけん 通海縣 清國雲南省、臨安府にあり。

つーきけん 通許縣 清國河南省、開封府にあり、府城の南方に位す。

つーくわけん 通化縣 清國盛京省、鴨綠江沿岸にあり、市街城壁を以て圍まる、一八八七年の開設にして、廣袤一町半、商家は多く城外にあり、鹿角、人參等を販賣す、人口二千餘。

つーこーけん 通江縣 清國四川省、保寧府にあり。
つーこーし 通江子 清國盛京省、遼河左岸の一市にして、豆類の集散地なり。

つーざんけん 通山縣 清國湖北省、武昌府にあり、府城の南方江西省の境に近く位す。
つーしんいん 通信院 韓國にて交通のことを司れる官廳なり。

つーしゅー 通州 清國北京の東方に當り、金の天德三年始めて通州と稱す、大通河に臨みて漕運通濟の便あるに由ると云ふ。

て

てー 程 今の陝西省西安府、咸陽縣の東にある安陵城は、古の程の邑にして後郢と改む。○郢「シヤシ」の舊稱なり。

ていあんけん 定安縣 清國廣東省、瓊州府にあり。
ていえんけん 定遠縣 清國安徽省、鳳陽府にあり、府城の南方に位す。○四川省、重慶府にあり、府城の北、順慶との間に位し、嘉陵江に臨む。○雲南省、楚雄府にあり。

ていえんちやー 定遠廳 清國陝西省の南部、四川省の境にあり、漢中府に屬す。

ていかいけん 定海縣 清國、浙江省の東海、舟山列島中にあり、宋の時之を置く、「しゅーざんれつとー」(舟山列島)を見よ。

ていけん 泥岬 韓國京城の日本居留地にして、南山の麓にあり、其東南隅に我公使館あり、出入最も不便なれども、緩急事あるの日は、亦得易からざる好位地なり。

ていこーけん 定興縣 清國直隸省、保定府にあり。○呈貢縣 清國雲南省、雲南府にあり。

ていしゅー 定州 (Chong-jin) 韓國平安道の首府にして、平壤より義州に至る道程の半にあり、日清戦役の際兵燹に

樞り、爾來大に衰微せり。○清國直隸省にあり、京漢鐵道の要驛たり。○鄭州 清國河南省、開封府にあり。

ていしゅうふ 汀州府 清國福建省にあり。

ていじゅうけん 定襄縣 清國山西省、忻州に屬し、其東方にあり。

ていせん 堤川 (T'ui-ch'yun) 韓國忠清道にありて江原道に接す、其北方に方りて三國時代新羅の水を貯へて灌漑に供せし池塘ありといふ。

ていごーけん 定陶縣 清國山東省、曹州府にあり。

ていなんちゅう 定南廳 清國江西省、贛州府にあり。

ていばんしゅう 定番州 清國貴州省、貴陽府に屬す、府城の南方山中にあり。

ていへい 定平 (T'yang-P'yong) 韓國咸鏡道、咸興の南にあり、古へ女眞と高麗との境界地たり。

ていへんけん 定邊縣 清國陝西省、延安府にあり、もと榆林府に屬せり。

ていへんさふくしゅう 定邊左副將軍 外蒙古烏里雅蘇泰に駐紮し、外蒙古を統治す。

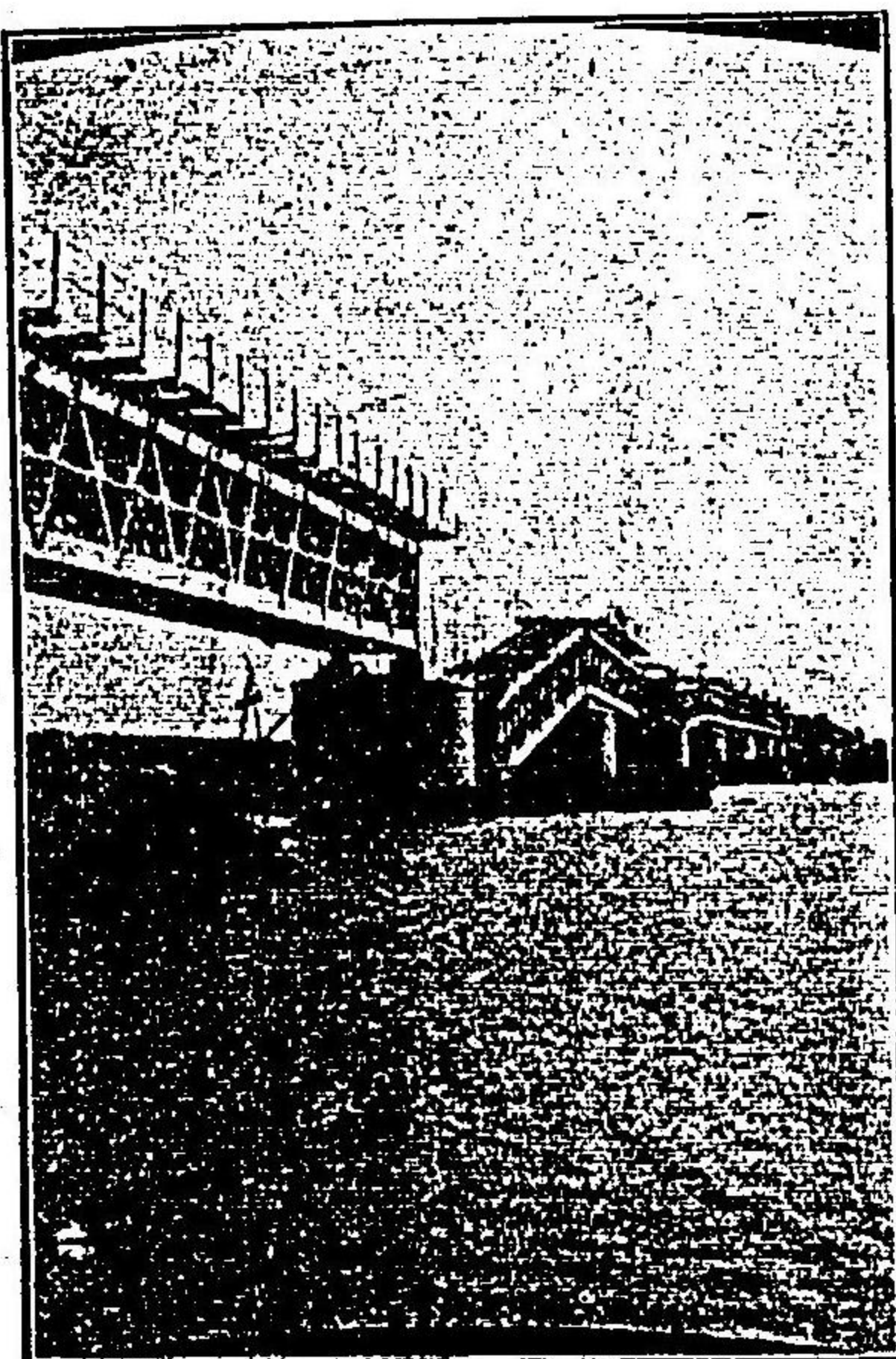
ていほうしゅう 貞豐州 清國江西省の興義府にあり。
てきしん 荻子嶋 韓國の南海珍島と濟州島との間にあり、鯖、鱈、鰻、鱒、烏賊等の産多し。

てきごーしゅう 狄道州 清國甘肅省、蘭州府にあり。

てくわふ 迪化府 (烏魯木齊) 清國新疆省城の所在地にして、巡撫駐紮す、天山北路にありて、四通八達の衝に當る、市街繁榮、店舖相列び、塞外の要地なり。

てつげん 鐵原 江原道にあり、京城を距る約十八里、戶數約一千、同道第一の米産地にして、又紬の名産地たり、附近鐵礦脈あり。

てつもんぐん 鐵門關 (T'ie mun kwan) 清國山東省、黃



(橋鐵川嶺鐵)

河口の村落より上流約十五里にあり、往古關門を置き瀕海の險要を扼せる所なり、一小村落あり、戶數僅かに三百戸

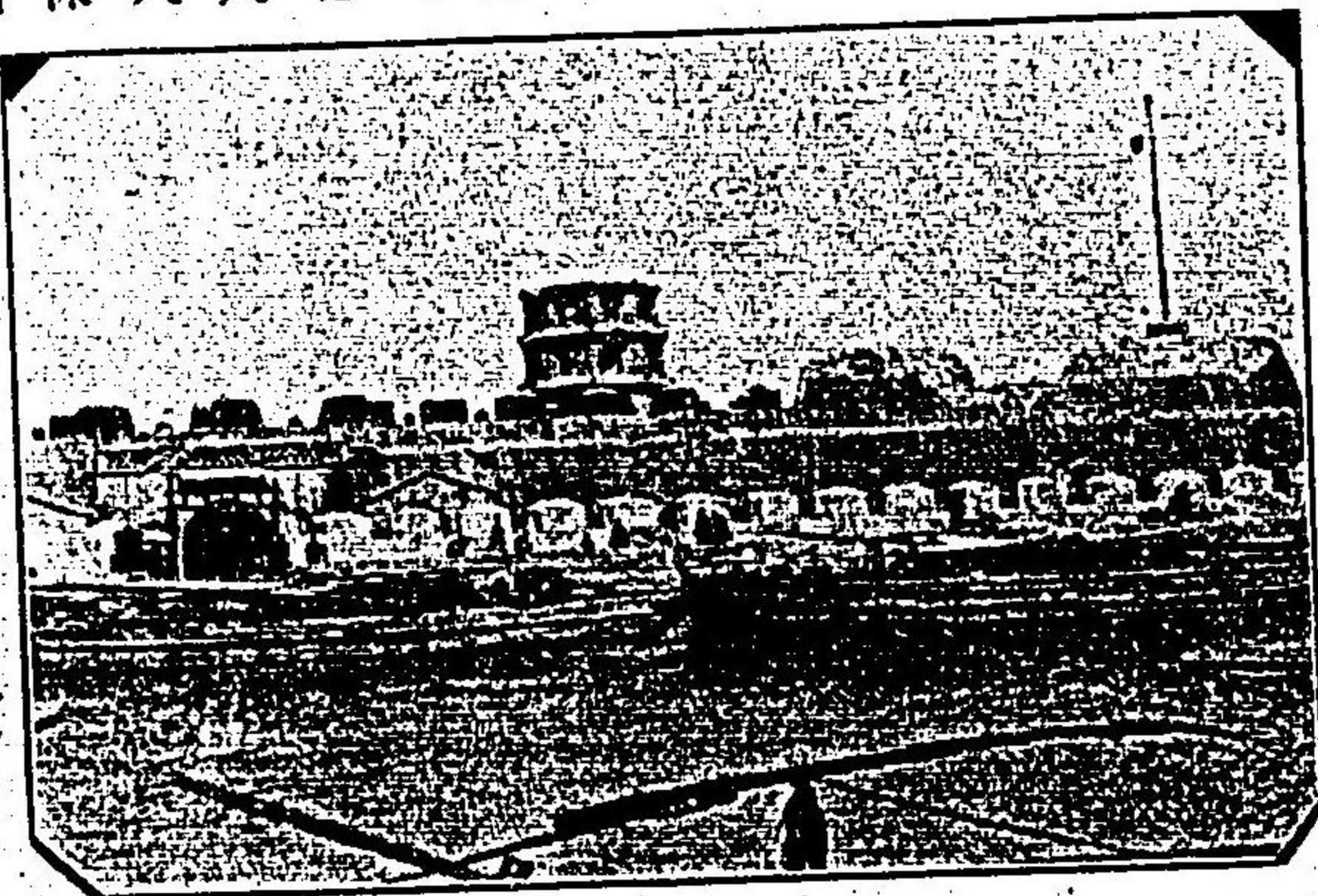
積一萬五千九十尺の高度にあり。

てんくわけん 肅化縣 清國山東省、武定府にあり。

てんくわんきく 曲園局 韓國京城外龍山停車場附近にあり、韓廷の造幣局なり。

てんさん 天山 「ちゃんざん」(天山)を見よ。

てんしん 天津 (Tientsin) 清國白河河口より二十七里の上流に位す、北京を距る二十九里、西紀一八五八年天津條約により開かれたる開港場にして、北清に於て北京に次げる大都會たり、人口六十萬、保定、大名、德州



(壘砲舊津天)

てんえきしゅう 霑益州 清國雲南省、曲靖府にあり。

てんが 天河 蒙古の都母連都騰葛里河を云ふ。

てんかけん 天河縣 清國廣西省、慶遠府にあり。

てんごりのる 騰葛里泊 (Teng-ge-li) 西藏第一の大湖にして、同國の殆んど中央に位す、廣さ二十里、幅十二里、毎歲十一月初旬より三月末まで氷結し、人畜其上を徒涉し得、土人此湖を神聖視し、其寒水に沐浴するを勤とす、此湖海

等の大市場を控え、水陸要衝の地にして、商業極めて殷盛なり、府は城壁を繞らし、四方に門を設け砲臺を備へしが、北清事變の際、悉く破壊せり、市街は城の内外に跨り、北門、及東門外最も繁華なり、城内狹隘にして、頗る不潔なり、直隸總督の衙門あり、又天津機器局、海光寺機器局等あり、盛に軍器を製造す、外國人居留地は白河の南岸紫竹林にあり、外人は概ね英佛二國の居留地に住す、日本總領事館、三井物産、正金銀行、日本郵船會社支店等あり、此地清の雍正年間天津師營を置かれ、専ら捕盜護漕の二事を管し、又天津河標營を置き専ら治水を管せり、李鴻章直隸總督となるに及び、大に此地を修め、東西機器局を起し、太沽砲臺を修築し、天津水師營を起し、設備漸く全きを待たり。

てんしんうんが 天津運河 萬里長城と共に支那の二大工事にして、隋の煬帝が數萬人を使役し、十數年を費して竣功せしものを、後世改鑿せしものなり、浙江省の杭州府に起り、江蘇、山東、直隸の諸省に亘り、天津に於て白河に合す、幅十五間、乃至百尺、水深九尺以上にして、全長三百二十五里、江浙の米穀は毎年此運河によりて北京に運搬せらるるもの四百萬石を下らす。

てんしんぐんだん 天津軍團 清國の常備軍たる綠旗軍十八軍團の一にして、最も精銳と稱せられ、新式の訓練を經、

精銳なる武器を有し、太沽天津其他の砲臺に據り防禦に従事す、其數三萬五千あり、直隸總督に屬す。

てんしゅー 田州 清國廣西省、思恩府にあり。

てんじゅさん 天壽山 清國直隸省、順天府(北京)、昌平州の東北にあり、明の十三陵のある所として名あり、尙「みんのじゅーさんりょー」(明十三陵)の條を見よ。

てんしんじゅー 天津城 清國天津、白河と永定河と大運河との三水相會流する三岔口と稱する地點にあり、一方は北京通州に通じ、一方は大運河を通じて遠く揚州に向ふ、城は東西南北の四門を有し、堅牢なる城壁を以て圍まれしが、北清事變の際、獨逸元帥「ワルデルゼー」の命令により城壁悉く破壊せられ、垣々たる馬車道となれり。

てんしよーたい 田庄臺 滿洲遼河の左岸にあり、營口の西北約十里餘、嘗て南滿洲に於ける重要なる商港たりしも、營口の開かれてより大に廢頽せり、人口約二萬、日清戦役の激戦地てにし、明治二十八年二月九日我軍此地を陥れ、市街悉く兵燹にかかる。

てんせいきょー 天生橋 清國貴州省、銅仁府の北にあり、石崖峭立し、溪上橋の如し、依て此名ありと。

てんせんしゅー 天全州 清國四川省、雅州府にあり。
てんそーが 天倉河 今の青海蒙古の洮資河を云ふ、肅州志

に所謂天倉河といふもの之れなり。

てんだいけん 天台縣 清國浙江省、台州府にあり、天台山の東方に位す。

てんだいさん 天台山 清國浙江省、臺州府、天台縣にあり、天台宗根原の地にして、隋の煬帝、天台大師(智者大師即ち智顛)の爲めに創建せし國清寺のある所にして、今も尙存すといふ、我國の留學僧の如きも此處に行きたるもの多し。

てんち 滇池 清國雲南省にあり、周回約七十二里、山脈の斜曲間に湛へたるものにして、瑞西の諸湖と其成因を同うすと云ふ、其水流れて螻螂川となり楊子江に注ぐ。

てんちんけん 天鎮縣 清國山西省、大同府にあり。

てんちんけん 天柱縣 清國貴州省、鎮遠府にあり、府城の東南、湖南省の境に近く位す。

てんちんけん 天長縣 清國安徽省、泗州にあり、府城の東南、江蘇省の境に近く位す。

てんねーじ 天寧寺 陝西省にあり、隋の文帝厚く佛を信じ周の武帝の廢寺を再興す、現今天寧寺に藏する塔婆も亦隋代のものにして、當時の様式手工を徵するに足るといふ。

てんぱくけん 碾伯縣 清國甘肅省、西寧府に屬し、府城の東方に位す、大通河の支流の沿岸にあり。

てんぱくけん 電白縣 清國廣東省、高州府にあり、府城の

てんた

てんも

南方、廣州灣の沿岸に位し吳川縣に隣る。

てんぱくけん 天保縣 清國廣西省、鎮安府にあり。

てんぱくけん 天封塔 清國浙江省、寧波府に在り、宏壯を以て著はる。

てんもんけん 天門縣 清國湖北省、安陸府にあり。

と一あけん 東阿縣 清國山東省、泰安府にあり、黄河の左岸に位す、北京街道の要路に當る。

と一あんけん 東安縣 清國直隸省、順天府南路にあり。

と一あんけん 同安縣 清國福建省、泉州府に屬す、府城の西南、同府と漳州府との間にあり。

と一あんちやう 東安廳 清國湖南省、永州府にあり。○廣東省、羅定府にあり。

と一いんけん 湯陰縣 清國河南省、彰德府にあり。

と一えー 統營 韓國慶尙道にあり、同道の最南端に突出せる固城半島の海角に位す、馬山浦を距る南十四里、巨濟島、閑山島と近く相對す、此地昔て忠清、全羅、慶尙三道の水軍統營城を置かれたる所なるを以て統營の名ありと、城は山に靠り城郭を繞らし頗る險要の地たり、市街は城外にあり、人口約一萬七千餘、毎月六回の定期開市あり、其港亦良港にして船舶の出入多く、慶尙道沿岸中第一と稱せらる、此地附近は文祿の役に於て彼我水軍の激戦ありたる所たり。

と一えつちやう 騰越廳 清國雲南省、永昌府にあり。

と一かゝ 東海 (Tung hai, or Eastern Sea) 支那本部の

ふを以て法とす、始め之を修するものを道家と稱し、又之に神仙術を加味したるものを方士と稱し、兩者の間に稍々異なるものありしが、北魏の寇謙之と云ふ者兩者を合せて始めて道教と稱す、魏晉に至り清談流行するに及び益盛となり、唐代に至りては一種の宗教と見做さるるに至り、現今尙支那の下流に最も行はれ、修養、仙丹、神符等の術ありて之を修むるものを道士と云ひ、黄衣を著し、肉食妻帯は其禁する所なり。

とくあんふ 德安府 清國湖北省にあり、漢江の支流漢水の流域に位す、又江西省、九江府に德安縣あり。

とくくけん 德化縣 清國江西省、九江府にあり。○福建省、永春州にあり。

とくけい 德慶 清國廣東省、肇慶府にあり、西江の北岸に位す、一八九七年「ビルマ」條約により開かれたる開港場に於て、西江航路の寄船場たり、上流約八十里に梧州あり、下流約二十里に肇慶あり、商業稍々盛なり、人口四萬餘。

とくげん 德源 韓國咸鏡南道元山の北三里許にあり、戸數僅かに二百餘に過ぎざるも、元慶街道に當り、人民多く元山に往來して、商業を營む。

とくげんわん 德源灣 韓國の東部、永興灣の一支灣にして、灣口に大江島横はり、灣内に元山津あり。

東、琉球諸島の西、臺灣島の東北にあり、北は黄海に通じ、東南太平洋と界す、颶風起り易く、冬季暴風雪あるも、概して平穩にして、夏季尤も穩かなり、海流不規律にして、東部に日本海流(黒潮)あり、北東、太平洋に向て流る。

と一かく 東嶽 「たいざん」(泰山)を見よ。

と一きやう 岩渠 清國、四川省、順慶府、廣安

州、宕渠縣の東北に宕渠の故城址あり。

と一きやう 東京 韓國慶州の別稱なり。

と一きやう 道教 もと支那老子の教を祖とし、其道徳教によりて、清淨無爲、欲を制し心を養

とくこーけん 德興縣 清國江西省、饒州府にあり。

とくさんしやう 獨山州 清國貴州省、都勻府にあり。

とくしん 獨津 韓國咸鏡北道にあり、鏡城の貨物出入港にして、船舶常に輻輳し、我國人の來住するもの多し。

とくしやう 德州 清國山東省、濟南府にあり。

とくしやうけん 獨松關 今の清國浙江省、杭州府、餘杭縣の西北にあり、浙江省の要嶮となす。

とくせいけん 德清縣 清國浙江省、湖州府にあり。

とくせきやう 獨石口 清國直隸省にある縣名なり。

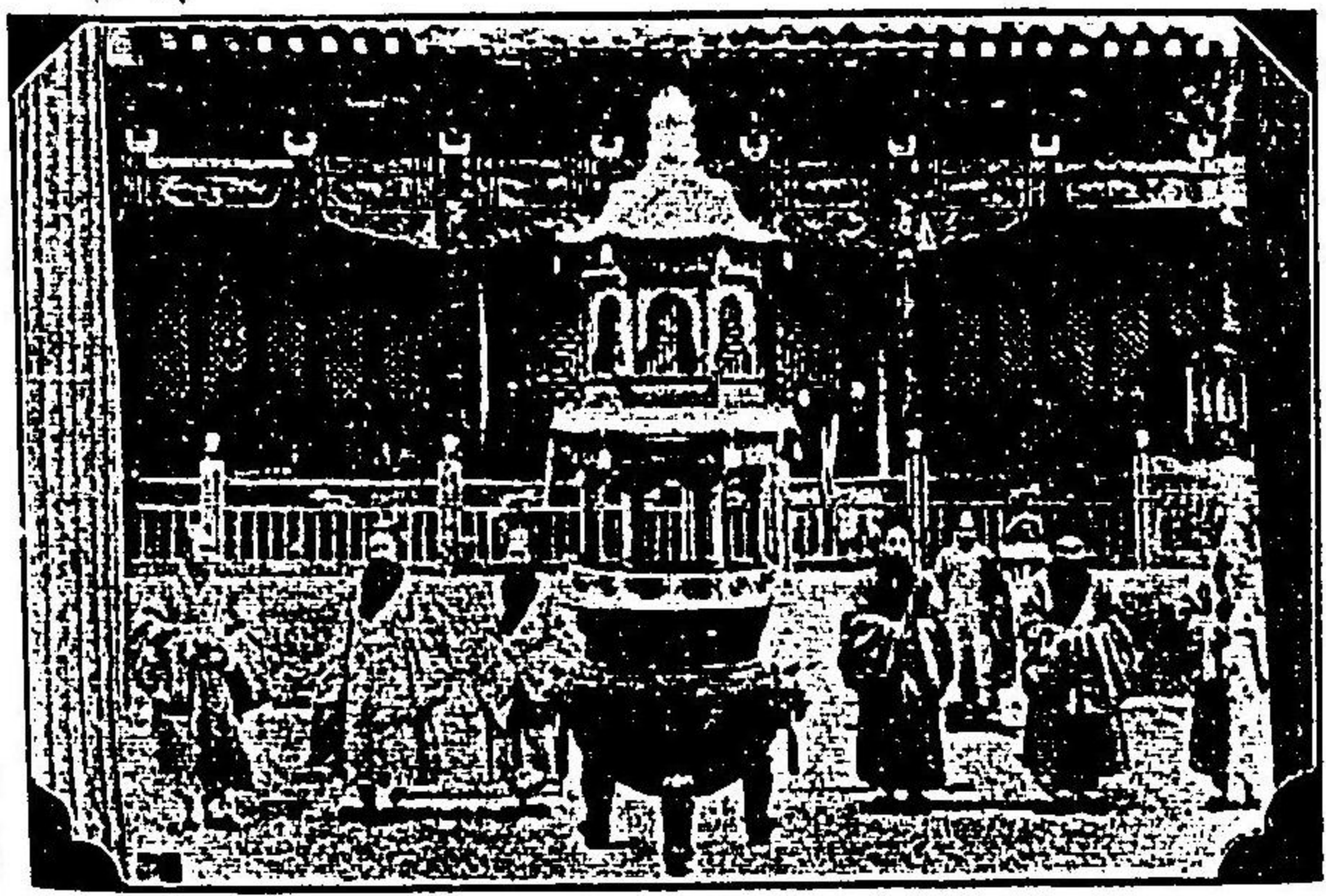
とくへいけん 德平縣 清國山東省、濟南府にあり。

とくよーけん 德陽 清國四川省、綿州にあり。

とくりじ 得利寺 清國盛京省、復州の東にあり、明治三十七年六月十四日、十五日、我が第二軍露軍の南下を此地に遮へて激戦し、露軍大敗して七千の兵を失ひ、砲十六門を捨て、蓋平方面に走る。

とくりしもん 獨立門 韓國京城、西大門外の義州街道にあり、もと此處に清の勅使を迎ふる爲めの迎恩門ありしが、日清戦役の結果、今帝三十一年其獨立を自覺し、迎恩門を壞ちて之を建つ、げいおんもん(迎恩門)を見よ。

とくりーちん 獨流鎮 清國直隸省、天津の東北十五六里にあり、天津より、山東、河南方面に至るの要路たり、人口約



(宮清大外門西小)

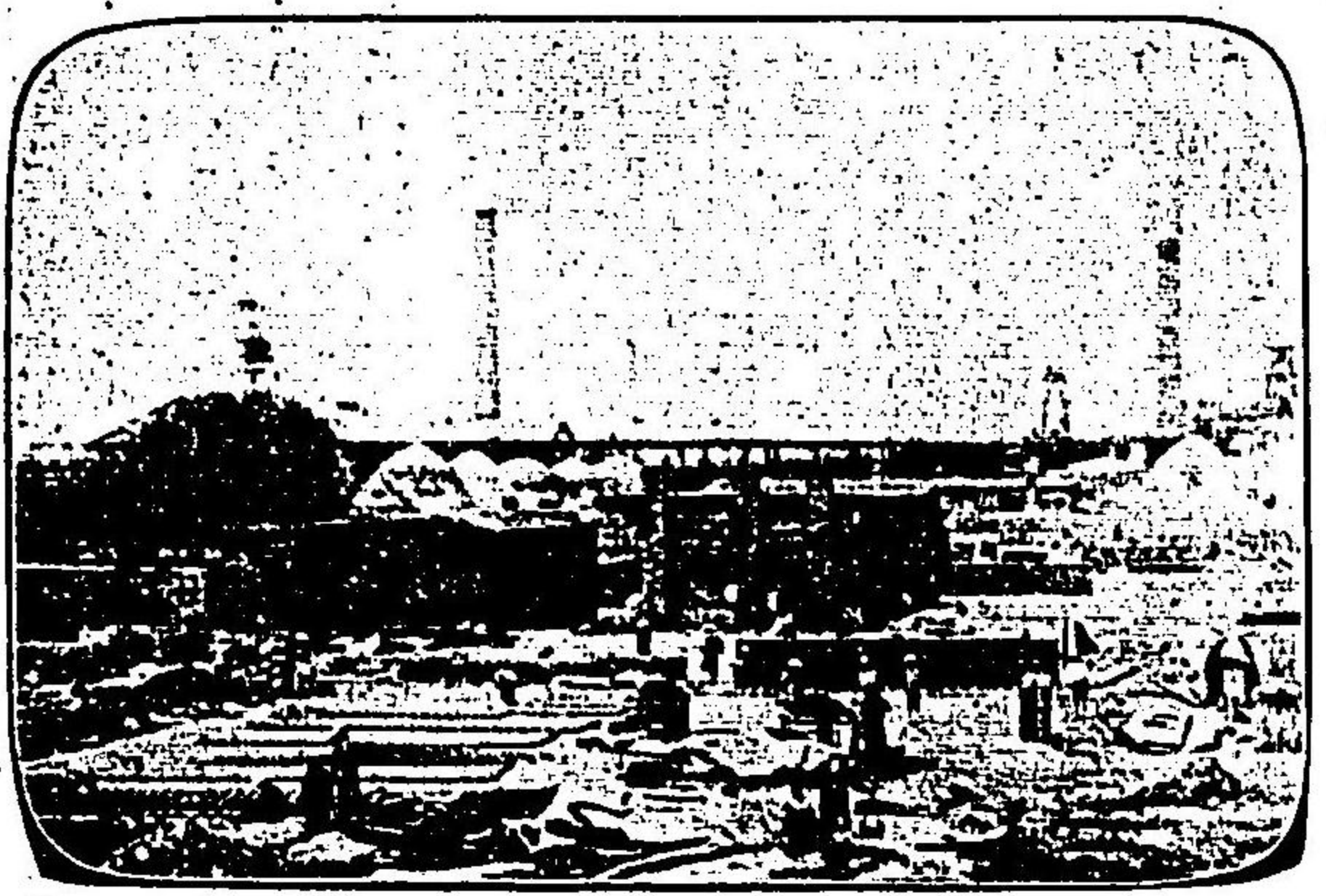
一千五百、城
壘あり、城は
明の中葉に築
く所なるも、
前に長髮賊の
亂に焚かれ後
義和團匪の亂
あり、市街頗
る荒廢せり、
此地を距る五
里に王家口あ
り、人口五千
許、團匪の際
長張徳成の斃
れし所なり。



(寺 利 得)

館 韓國釜山にある我居留地市街の稱なり。
東莞縣 清國陝西省、同州府華陰縣の東、潼關廳の
東南、古桃林にありて、山河の險要を以て名あり、魏曹操、馬
超を此地に破る。
東莞縣 清國廣東省、廣州府にあり。

同官縣 清國陝西省、西安府にあり、もと
耀州に屬せり。
潼關廳 清國陝西省、同州府にあり。
湯溪縣 清國浙江省、金華府にあり。
唐縣 清國直隸省、保定府にあり。①河南省、南
陽府にあり。②藤縣 清國山東省、兗州府にあり。③藤縣
清國廣西省、梧州府にあり。
桃源 清國湖南省、洞庭湖畔の一名勝地にして、
古來有名なり。
桃源縣 清國江蘇省、淮南府にあり。④湖
南省、常德府にあり。
都結州 清國廣西省、太平府にあり。
塘沽 「たんく」を見よ。
怒江 「ろく」を見よ。
東江 さん、(三江)の條を見よ。
道口 清國河南省にあり、衛河の沿岸に位し、天
津に通ずる水路貿易の咽喉地たり、道口鐵道此地より發す、
附近貨物の集散地にして、商業稍々殷盛なり。
東湖縣 清國湖北省、宜昌府にあり。
東光縣 清國直隸省、河間府にあり、大運河
の東方に位す。



東郷縣 清國江西省、撫州府にあり。①四川
省、綏定府にあり。
桐鄉縣 清國浙江省、嘉興府にあり。
都康州 清國廣西省、鎮安府にあり。
都江廳 清國貴州省、都勻府に屬す。

都 清國
察院 清國
中央政廳の一
部、官民の非
違を檢察する
所にして、立
法、司法、行政
の監督權を掌
握す、左都、右
都御史、御史
等五十餘人よ
り成る。
唐山 清國直隸省、
永平府にあ
り、開平を距

る數哩に位する一小村落にして、附近炭礦多く、日々
額約三千噸に至る、世に開平炭と稱するもの之れなり。
唐山縣 清國直隸省、順德府にあり。
銅山縣 清國江蘇省、徐州府にあり。
東三省 滿洲の別稱なり、滿洲は今の清朝
發祥の地なれば、清の康熙年間始めて盛京、吉林、黑龍の三
省を置き、而も他の十八省と行政の法を同じうせず。
湯山城 一に五營と稱す、清國盛京省にあ
り、安東縣と鳳凰城との間に位す、高麗邊門を距る五里、漢
同に一土壘あり、古の湯山城址なりと、營の近傍に民屋數十
戸あり。
桐梓縣 清國貴州省、遵義府にあり。
唐津 (Tong-tsin) 韓國忠清道、大浦の北にある半
島にて、古名は代首又は只夫只と稱し、唐に通ずるの要津た
りき。
東清鐵道 露國の經營せる滿洲鐵道の
名稱なり、日露戰役の結果、長春以南我が領有に歸せり。
銅仁府 清國貴州省、思南府の東南にあり、湖
南の境に近く位し、交通の衝に當るも、道路險峻にして商業
振はず。
都勻府 清國貴州省、貴陽府の東南に位す、廣西

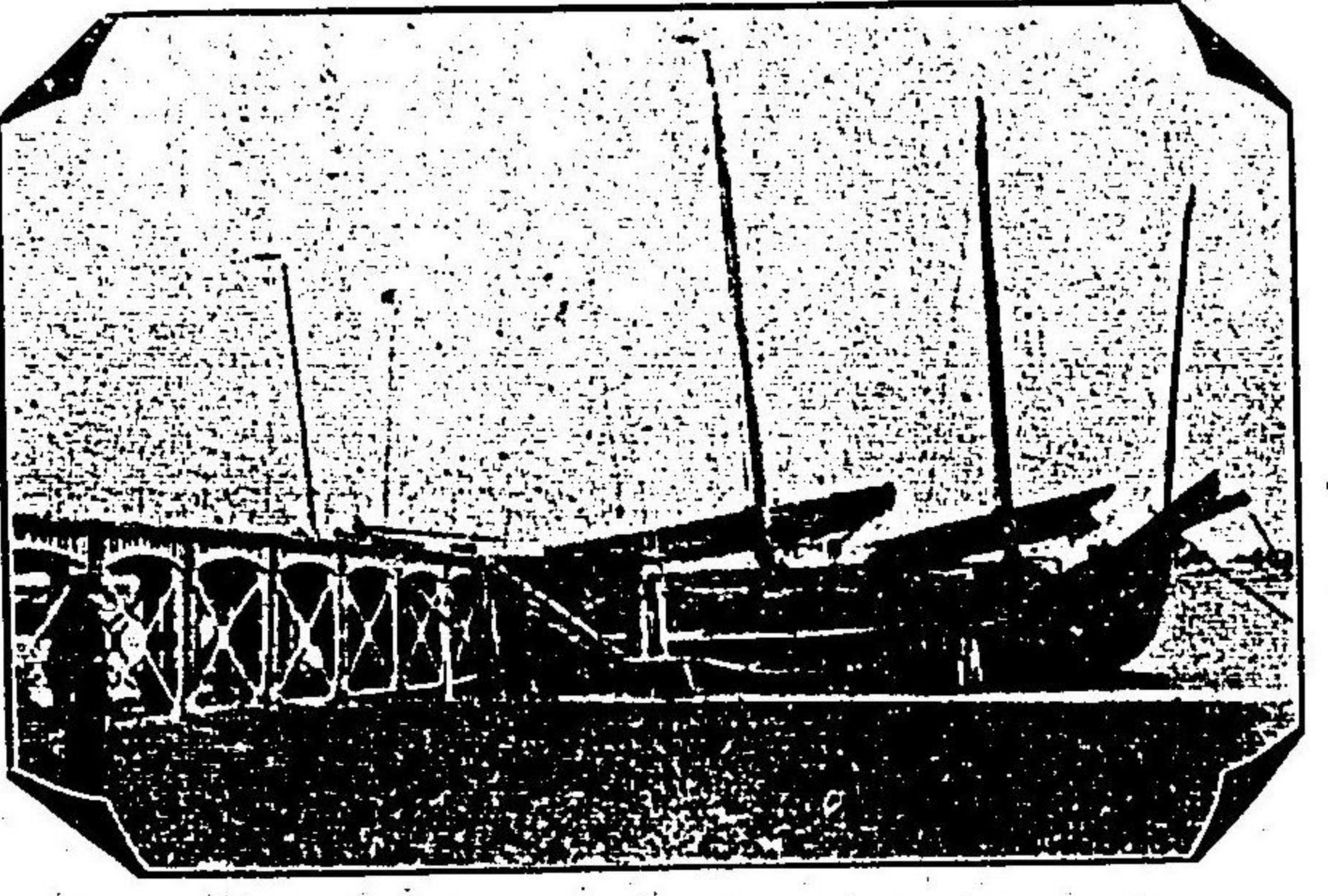
街道の衝に當るを以て、古來重要地點となり、北に平定關、西に威鎮關を設け出入を監視す。

とーしゅー 登州 (Tongshan) 清國山東省、山東半島の北岸にあり、嘗て天津條約により開港地とせしむ貿易場に適せざるを以て、芝罘を以て之に代ふ、港は水淺く船舶を入るに便ならず、日清戦役の時、我陸軍の榮城灣に上陸するや、我艦隊は牽制の爲め、同府を砲撃せり、此地三面地勢險峻、府城は外観堅固にして、一水門を設け以て端州港に至るの口とす、港内に支那船の來泊するもの多し。 清國河南省、南陽府にあり。 洮州 清國、甘肅省、鞏昌府にあり、古(洮陽又臨洮の稱ありしが、唐宋に至りて洮州と稱す。

とーしゅー 道州 清國湖南省、永州府にあり。
とーしゅー 同州府 清國陝西省の東方、山西省に近く、潼關の北方に位す。
とーしゅー 岩昌 清國甘肅省、鞏昌府、岷州の西にあり、故の宕州之れなり。
とーしゅー 都昌縣 清國江西省、南康府にあり。
とーしゅー 桐城縣 清國安徽省、安慶府にあり。
とーしゅー 東昌府 清國山東省にあり、運河及び黄河の西方に位す。
とーせんしゅー 鄧州 清國雲南省、大理府にあり。

とーはくけん 桐柏縣 清國河南省、南陽府にあり。
とーはん 東班 ぶんぱん(文班)を見よ。
とーふしゅー 土富州 清國雲南省、廣南府にありしが、今廢せらる。
とーへいしゅー 東平州 清國山東省、泰安府にあり、府城の西方に位す。
とーほくのろくちん 東北六鎮 韓國圖們江の沿岸にある茂山、會亭、慶興、慶源、羅城、及鐘城を云ふ。
とーほーけん 登封縣 清國河南省、南陽府にあり。
とーまんこー 豆満江「づまんこー」を見よ。
とんきんわん 東京灣 清國の最南部、廣東省雷州半島及海南島を以て限らるる支那海の内灣なり。
とんくー 塘沽 清國直隸省にあり、白河々口を遡る三哩、其北岸に位し、大沽と相對す、津榆鐵道の要所にして、棧橋倉庫等の設けあり、又日本郵便局、日本郵船會社出張所等あり。

とーせんふ 東川府 清國雲南省の北東面、四川省の境に近く、金洲江の一支流の上流に位す。
とーせんふ 瀘川府 清國四川省にあり、成都府の東北、同府と保寧府との間に位す。
とーだい 道臺 清國各開港場に駐在する地方官なり。
とーだいけん 東臺縣 清國江蘇省、揚州府にあり。
とーだいまん 東大門 韓國京城興仁門の別稱にして、南大門(崇禮門)とならびて壯煥雄偉、堅牢無比と稱せらる。
とーち 同知 清國の一地方官にして、各廳に置かる。
とーさんどー 突山嶋 韓國全羅南道麗水郡の前面に横はる一大島にして、南方金鰲島及び二三の小嶋と相擁して、一港灣を造る、港内水深く、大艦巨舶の碇繫に適す、島の西南方に突山邑あり、郡衙あり、附近の諸島を管す。
とーていこ 洞庭湖 (Tongting) 支那本部第一の大湖にして、湘江、沅江、資江等の諸流多く之れに注ぐ、長さ三十里、幅十五里、深さ凡そ四尋、其水流れて楊子江に注ぐ、湖中看龍山、石門山、明山、君山の諸島嶼在り、湖畔風光佳にして、洞庭秋月の如き尤も著はる。
とーとけん 當塗縣 清國安徽省、太平府にあり。
とーとーのじゅーさんじゅー 塔洞十三重塔「けいじゅー」のじゅーさんじゅー(京城の十三重塔)を見よ。



とんこーけん 敦煌縣 清國甘肅省、安西州にあり。
とんりゅーけん 屯留縣 清國山西省、潞安府にあり。
とーめいけん 東明縣 清國直隸省、大名府にあり、府城の南方河南、山東の兩省に近く黄河の右岸に位す。
とめんち 特們池 蒙古札薩克圖汗部にあり、小岳を隔てて委裘池と相對す。
とーゆーけん 堂邑縣 清國山東省、東昌府にあり。
とーよーけん 東陽縣 清國浙江省、金華府にあり。 當陽縣 清國湖北省、荊門州にあり、もと安陸府に屬せり。
とーよーこー 東陽江 一に婺江と稱す、源を清國浙江省金華府の東南十八里なる大益山に發し、流れて錢塘江となる。
とーらいおんせん 東萊温泉 韓國慶尙道、東萊府の東北約半里にあり、消化器病、婦人病等によし、此地後に金井山脈を貫ひ、風光明媚の地として知ら

る。

とららふ 東萊府 韓國釜山の北約二里にあり、古くは長山國又萊山國とも稱せり、城は北に山を背ひ、山頂より南下して平城に達す、城壁高さ二間、周圍一里、市街は城の内外にあり、人口約四千八百、府の東北約半里に東萊温泉あり、又其二里許に梵魚寺あり、有名なる巨刹たり。

とらんしゅー 東蘭州 清國廣西省、慶遠府にあり。

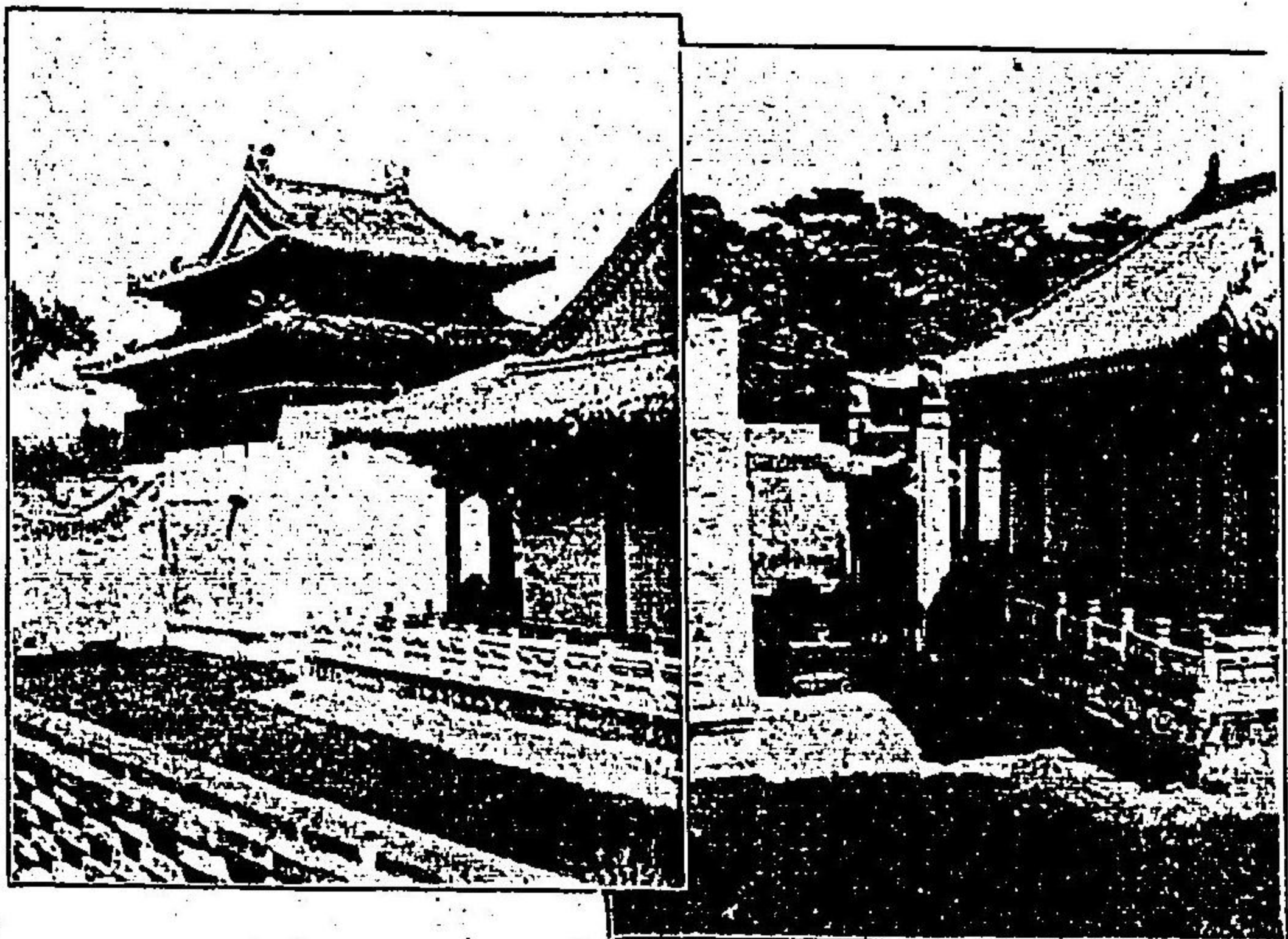
とりのけん 東流縣 清國安徽省、池州府にあり。

とりのよー 東陵 一に福陵と稱す、滿洲奉天府の東三里、天柱山上にあり、清朝創業の皇帝、太祖武皇帝努爾哈齊の山陵たり、山上一面に松柏鬱然として生ひ茂り、南門を入りて路の左右に獅子、馬、駱駝等の石像あり、百數十階の石段を登れば、殿堂欄閣纒然として整え、正面に隆恩殿あり、四方甃瓦にて築き上げたる城壘を回らし、其後に山陵あり、塚土を圓形に積み上げたる大土饅頭にして、頂上に榆樹一株寂びしげに枝を交ふ、此地近く山麓に渾河の流を控え、遠く微かに奉天城を眺むるを得、風景極めて佳なり。

とりのけん 桐廬縣 清國浙江省、嚴州府にあり。

とろちー 東路廳 清國直隸省、順天府にあり。

とろばんちー 吐魯番廳 清國甘肅省、安西州にあり。



とろんのる 多倫諾爾 元内蒙古の地なりしが、今施政上支那本部の直隸省に編入せらる、馬匹の賣買盛なり。

な

ないごーけん 内江縣 清國四川省、資州にあり。①内邱縣 清國直隸省、順德府にあり。②内黃縣 清國河南省、彰德府にあり。

ないごーけん 内郷縣 清國河南省、南陽府にあり。

ないもーこ 内蒙古 清國吉林、黑龍江二省の西、盛京省の西北、直隸、山西、陝西三省の北、甘肅省の東北、外蒙古の南に在り、土地概ね高燥なれども、地味肥沃なり。

なち 那地 土州にして清國廣西省、慶遠府にあり。

なんあん 南安 ①清國江西省に安南府あり。②清國雲南省、楚雄府に南安州あり。③清國福建省、泉州府に南安縣あり。

なんあんふ 南安府 清國江西省の最南端に位し、南昌府の西南百五十里にあり、東粵に通ずる門戸にして、船舶の出入多し。

なんえつ 南越 印度支那族に屬し、百越、又は楊越と云ふ、今の兩廣、及佛領東京の地に據れり、秦の時、勢盛にして、屢邊境を犯せしを以て、秦始皇帝は之れを征して、桂林、南海、象の三郡を置き、謫民五十萬を徙して、楚と雜處せしめ、爾

後秦の威南方に振ふに至れり。

なんえん 南苑 清國北京永定門の南約三里にある御苑なり、樹林蒼鬱として境内幽邃閑雅、北京郊外の勝地として知らる。

なんおーちー 南澳廳 清國廣東省、潮州府にあり。

なんかい 南海 支那本部南方の海をいふ、東は臺灣より西は海南島に至るまでを含む。

なんかいけん 南海縣 清國廣東省、廣州府にあり。

なんかいどー 南海島 韓國慶尙道固城半島と巨濟島との間にあり、南北十里、東西七里許にして、韓國五大島の一たり、島の東西に南海邑あり、今郡衙を置く。

なんかく 南岳 支那五岳の一にして、一に衡山と號す、「こざん」を見よ。

なんかんじゅー 南漢城 韓國京畿道廣州の舊稱なり、同條下を見よ。

なんかんちほー 南韓地方 三南地方の別稱なり。

なんきん 南京 (Nanking) 清國江寧府の俗稱にして、北京に對して其名ありと、「こーれーふ」を見よ。

なんきーけん 南宮縣 清國直隸省、冀州にあり。

なんきー 南京 清國開封府の俗稱、同條下を見よ。

なんけいけん 南溪縣 清國四川省、敘州府にあり。

なんげん 南原 韓國全羅道の東部馬耳山下にあり、附近平野多く米穀の産多し、又近傍鳳洞、泉石、華岩、蒸谷、星園等の奇勝あり、壬辰の役宇喜田秀家等が明將楊元等を撃破せし地なり。

なんこー 南江 即ち贛江にして清國、江西省、贛州府の北より北流して鄱陽湖に入る。南康 清國江西省の北部鄱陽湖の西岸にあり、埠頭あり、支那船の往來するもの多し、廬山茶の産地として名あり。

なんこーけん 南康縣 清國江西省、南安府にあり。南江縣 清國四川省、保寧府にあり。

なんこーふ 南康府 清國江西省にあり、鄱陽湖の西岸に位す、長港にあらざるも巨大なる埠頭ありて、支那船の出入頗る多し、廬山茶の産地なり。

なんざんざんみやく 南山山脉 崑崙山系の本派に屬し、支那本部と蒙古との間に在り。

なんじんあん 南潯鎮 清國浙江省、湖州府烏程縣にあり、湖州府城を距る東十二里、江蘇、浙江の省界に位す、市街運河に跨り、水運の便極めて多し、此地海運の經過する所なるを以て南潯の稱あり、元の至正十三年張士誠城を此に築きしが、明の洪武二年に之を廢せり、人口二萬、富豪、巨商多し、附近地味肥沃にして、農産饒多、蠶桑の利殊に大なり。

なんじゅーけん 南充縣 清國四川省、順慶府にあり。

なんしー 南詔 雲南省大理に都せし支那の西南夷なり、唐の時、雲南に六詔あり、詔とは、蠻語、王の謂なり、南詔は六詔中最南に位す、其酋長皮邏閣、雄略ありて、他の五詔を併せ、唐の封冊を受けて、雲南王と稱したりしが、後叛きて唐の南境を侵し、後又沙陀、及唐と通ぜり、王六世の孫會龍は遂に帝を稱し、國號を大理國と改む、元に至り憲宗の併す所となれり。南昌 (Nanchang) 清國江西省の首府にして、本省巡撫駐在の地なり、贛江の下流に位す、水運の便あり、北京を距る七百餘里。

なんしーけん 南召縣 清國河南省、南陽府にあり。南漳縣 清國湖北省、襄陽府にあり。

なんじーけん 南城縣 清國江西省、建昌府にあり。なんしーふ 南昌府 清國江西省にあり、ここに南昌縣あり。

なんせーけん 南靖縣 清國福建省、漳州府にあり。

なんせんけん 南川系 清國四川省、重慶府にあり。

なんたい 南堂 清國福建省にあり、閩江の右岸に位す、福州の外國人居留地にして、日、英、米、佛、葡、西、蘭等諸國の領事館あり。

なんたいもん 南大門 「モーレーもん」(崇禮門)を見よ。

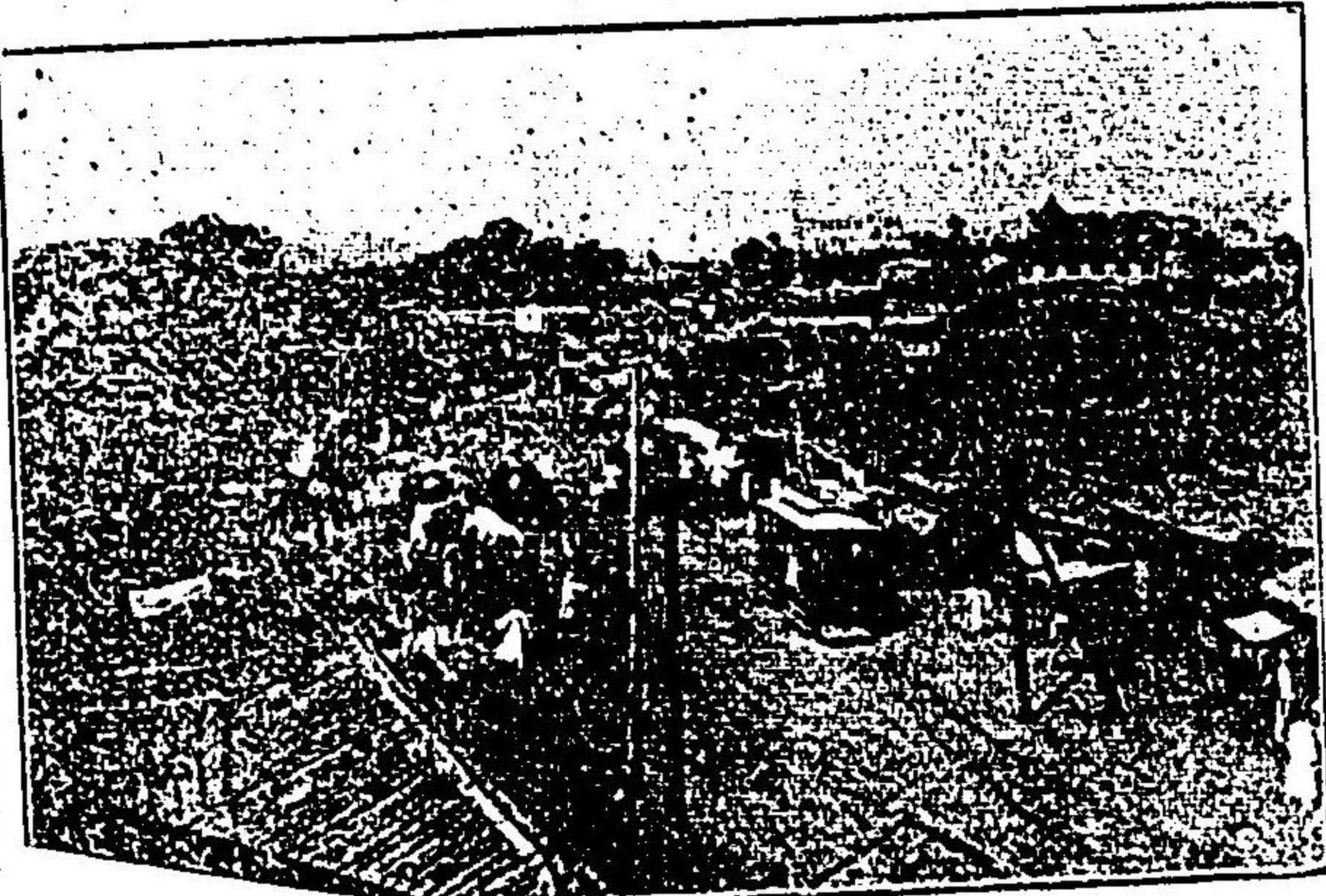
なんたん 南丹

清國廣西省、慶遠府にある土州なり。

なんぢん 南尋

清國浙江省、湖州府烏程縣に屬し、江蘇、浙江兩省の境界に位し、府城を距る東約六里、西北約一里を隔てて大湖に瀕す、市街湖州及び烏鎮より來る

(通門火南)



運河に跨り、四面平坦にして、水路縦横に交錯す、人口約二萬、富豪巨商極めて多し、生糸、茶、綿布、木材等の産多し。

なんていけん 南鄭縣 清國陝西省、漢中府にあり。

なんねい 南寧 (Nanning) 清國廣西省の開港地にして、西江の上流北岸に位す、廣西南部の中心地にして、梧州及び龍

州へ舟楫の便あり。

なんねいけん 南寧縣 清國雲南省、曲靖府にあり。

なんねいふ 南寧府 清國廣西省にあり。

なんひけん 南皮縣 清國直隸省、天津府にあり。

なんぶけん 南部縣 清國四川省、保寧府にあり。

なんべいけん 南平縣 清國福建省、延平府にあり。

なんほーけん 南豐縣 清國江西省、建南府にあり。

なんゆーしー 南雄州 清國廣東省にある直隸州たり、舊府は廣東省にあり。

なんよー 南陽 清國河南省に在り、汝寧府の西に位す、昔、諸葛孔明の耕せし所として知らる。南陽 (Nanyang) 韓國、京畿道にあり、南陽郡、或は益州、江寧等の別名なり、今帝二十二年以來清國艦隊の碇泊せし處なりき。

なんよーかんたい 南洋艦隊 清國四水師の一にして江蘇、浙江兩省の沿岸を管す、南洋海軍提督(兩廣總督に屬す)の指揮に屬す。

なんよーけん 南陽縣 清國河南省にあり。

なんよーふ 南陽府 清國河南省の西南部にあり、漢江の支流漂河の流域に位す。

なんらくけん 南樂縣 清國直隸省、大名府にあり、省の最南隅、山東省の境にあり。

なんり **南陵縣** 清國安徽省、寧國府にあり、府城の西方、背弋河の流域に位す。

なんれい **南嶺** 崑崙山系の一支脈にして、揚子江と珠江との間に連亘せるものを云ふ、衡山等之れに屬す。

なんろ **南籠** 清國貴州省にある苗府なり。

なんろち **南路廳** 清國直隸省、順天府にあり。

なんわいけん **南匯縣** 清國江蘇省、松江府に屬し、同省の東南端、吳淞の南方、沿岸にあり。

なんわけん **南和縣** 清國直隸省、順德府に屬し、府城の南方、河南、山西兩省の境に近く、順德府と邯鄲州との間にあり。

なんわん **南灣** 清國遼東半島の西方、金州灣の一支灣なり。

にしん

にしん **西興安嶺** 滿洲黒龍江省の西北に在る山脈にして、西南の陰山に起り、東北して紫岳爾濟山、雅克嶺となり、興安嶺に連り、北に向ひて伊勒呼里山脈となる。

にしり **西遼河** 滿洲遼河の四源にして、蒙古にては四拉木倫河と云ふ、蒙古と直隸省との間を東流し、盛京省に入りて東遼河に合す。

にんぐた **寧古塔** (Ninguta) 滿洲吉林省の名邑にして、胡爾哈河の左岸に位し、吉林府を距る東九十二里にあり、清の康熙年間に至る迄は北滿洲の行政中心地なりき、今は毛皮貿易の中心地として人口約二萬、市街及び其附近には毛皮製造所、製鋼所、榨油場、製粉所等あり、東清鐵道の通路に當る、昔、女真族の雄飛せし地にして、舊蹟少からず、又其四方四千餘里なる覺羅村は清朝始祖の發祥地と稱せらる、或は云ふ、此地往古隆盛を極めたる渤海の古都なりと。

にんけん **任縣** 清國直隸省、順德府にあり。
にんこけん **任邱縣** 清國直隸省、河間府にあり。
にんせん **仁川** 「じんせん」を見よ。
にんへいけん **荏平縣** 清國山東省、東昌府にあり。

ね

にんぽ **寧波** (Ning-po) 又一に四明と稱す、清國浙江省にあり、一八四二年南京條約により開かれたる開港場にして、杭州の東南にあり、南江の下流より十三裡に位す、人口約二十五萬、商業頗る盛なり、組織、紫檀細工を産し、茶、棉花、生絲を輸出す、有名なる天封塔、圖書館等あり、此地唐代には明州と稱し、日本人及び葡萄牙人の互市を通ぜる所にして、古來海外貿易港として知らる、我國往時の遣唐使は多く此處より上陸せり。

にしんけん **乳原縣** 清國廣東省、韶州府にあり。

にしん **牛莊** (New-chwang) 滿洲盛京省、牛莊城の所在地にして、遼河の左岸にあり、人口八千内外、營口を去る一里半に位す、此地とも海港なりしも、遼河の沖積作用により、今は全く内地に退き、牛莊港即ち營口の發達を見るに至れり。

ねい **寧遠** ① 韓國平安道大同江の上流に位し、關西第一の險障と稱せらる。② 清國四川省に寧遠府あり。③ 同國山西省、朔平府に寧遠縣あり。④ 同國湖南省、永州府及び甘肅省登昌府に寧遠縣あり。⑤ 清國盛京省、遼東灣の西岸に寧遠州あり、錦州府を距る約四十里、市街城壁を繞らし、商業の盛地たり、北京より山海關を経て奉天に至る要衝に當る。

ねい **寧海** 清國山東省、登州府に寧海州あり、同國盛京省、奉天府及び浙江省台州府に寧海縣あり。

ねい **寧河縣** 清國直隸省、順天府東路廳にあり。

ねい **寧夏府** 清國甘肅省にあり、同省北部の都會にして、往古寧夏將軍の駐在せし地なり、寧夏縣之れに屬す。

ねい **寧羌州** 清國陝西省、漢中府にあり。

ねい **寧化縣** 清國福建省、汀州府にあり。

ねい **寧鄉縣** 清國湖南省、長沙府及び山西省、汾州府にあり。

ねい **寧國縣** 清國安徽省、寧海府にあり。

ねい **寧朔縣** 清國甘肅省、寧夏府にあり。

ねい **寧河縣** 清國雲南省、普洱府にあり。

ねいしんけん 寧津縣 清國直隸省、河間府にあり。○寧
晉縣 清國直隸省、趙州にあり。

ねいしゅー 寧州 清國甘肅省、慶陽府にあり。○雲南省
臨安府にあり。○もと江西省南昌府にありしが、今亡びて
なし。

ねーせんちやう 寧陝廳 清國陝西省、西安府にあり。

ねいど 寧都 直隸州にして、清國江西省にあり。○江西
省、贛州府に寧都縣あり。

ねいさくけん 寧德縣 清國福建省、福寧府にあり。

ねいぶけん 寧武縣 清國山西省、寧武府にあり。

ねいへん 寧邊 韓國平安北道にあり、同道の首府にして、京
城を距る六十八里、安州へ四里、九龍江の清川江に合流する
中間にあり、高麗の時既に邑を置きて延州と稱せられたる
地にして、附近米穀の産多く、又砂金の産出を以て名なり。

ねいめいしゅー 寧明州 清國廣西省、太平府にあり。

ねいよーけん 寧陽縣 清國山東省、兗州府にあり。○寧
洋縣 清國福建省、龍巖州にあり。

ねいりょーけん 寧陵縣 清國河南省、歸德府にあり。

ねいか 熱河 (Nihoo) 承德府を見よ。

の

のーあんけん 農安縣 清國吉林省、吉林府の西北伯都納
り寛城子に通ずる大道に沿ひ、寛城子(長春)の北方約二十
里にあり、市街城壁を繞らし、市況殷盛なり、人口約二萬、附
近、粟粟及び燕の産多し。

のーけいけん 納谿縣 清國四川省、瀘州にあり。

のんこー 嫩江 (Nun-kiang) 滿洲の河にして、魁江(ブク
イジャン)と稱す、黒龍江省の山中興安嶺の伊勒庫里山に發
源し、南流して齊々哈爾を過ぎ蒙古を過ぎり、吉林省に入り
松花江に合す、古くは雞水又雞河と呼び、那河とも云ふ。

は

はあほい 北海 (Pah-loi) 「ほくかい」を見よ。

はいけん 沛縣 清國江蘇省、徐州府にあり。

はいしゅー 涪州 清國四川省、重慶府にあり。

はいすい 涪水 源を清國四川省、松潘衛の北山、分水嶺に
出で瀘川府の東に沿つて流れ、合州に至つて嘉陵江に入る。

はいたりくがわ 拜塔里克河 蒙古庫々嶺の南麓に發し、
南流して查克河を合せ、庫冷白兒察爾を経て察罕殿木兒河
と會し、西尼河を合せ、西南流して察罕泊となる、察罕泊は
一大湖にして周同約十里。

はいなんかききょー 海南海峡 (Hainan Strait) 「かいな
んかいききょー」を見よ。

はいらるじゅー 海拉爾城 一に呼倫貝爾(ホレンケル)と
云ふ、清國黒龍江省の西北部にあり、齊々哈爾を距る百四十
二里、海拔約二千百呎、市の西北一里に東清鐵道の停車場あ
り、其外郭は濕潤なる沼澤地にして、街路の兩端に支那風の
大門あり、城壁なきも四方堅牢なる木柵を以て圍む、副都統
の官衙あり、市の四方四十里、蒙古に近き處に「カンヂェー
ル」と稱する一村あり、毎年八、九の兩月市場を開く。

はあほ

はえんじゅー 巴燕戎格廳 清國甘肅省、西寧府
にあり。

はかん 馬韓 三韓の最大部に於て、其西部に位す、北は桀
浪、南は倭と接し、東は辰韓に隣る、初め朝鮮國王準、衛滿の
爲めに攻められ走つて此地を略し、自立して韓王と爲る、
後、馬韓人代りて辰王となる、漢の靈帝の末、韓濊並に盛な
り、獻帝の建安中、韓濊を伐ち、馬韓遂に帶方郡に屬せり。

はくうんさん 白雲山 清國遼東、遼河の東にあり。

はくえんせい 白鹽井 清國雲南省、楚雄府にあり。

はくか 白河 (Paiho) 一に北運河と稱し、源を直隸省赤
城縣の東方、長城外の五郎海山に發し、東南流して北京、天
津を經、太沽に至りて海に注ぐ、河水涸渇して、味噌汁の如
く、冬季は四ヶ月間氷結す、吃水十呎の船舶は天津迄航行し
得べしと、河口の南北兩岸に太沽砲臺あり、英佛聯合軍の砲
臺及び北清事變に於て名高し。

はくかけん 白河縣 清國陝西省、興安府にあり、もと興安
州に屬せしが、今國府に隸せり。

はくがこーちやう 白河口廳 清國湖北省、鄖陽府にあり。

はくこーが 白溝河 清國直隸省、保定府、雄縣の北約五里
にあり、宋と遼と戦つた地たり。

はくこーけん 博興縣 清國山東省、青州府にあり。

はえん

はくごーけん 柏郷縣 清國直隸省、趙州にあり。

はくざんけん 博山縣 清國山東省、青州府にあり。

はくしゅー 亳州 清國安徽省、潁州府にあり。

はくすいけん 白水縣 清國陝西省、同州府にあり、もと耀州に屬せり。

はくすいこー 白水江 清國四川省、龍安府、岷州の東にあり、東西往來必經の道たり。

はくせん 白川 韓國黃海道にあり、龍成江の西岸に位す、京城を距る十八里餘、米、大豆の産地として、且附近貨物の集散地たるを以て市況稍々盛なり、此地文祿の役黒川長政軍兵を以て明軍三萬を撃退せし所なりと。

はくせん 博川 韓國平安道の一都會にして、安州と定州との中間に位す。

はくせん 白頭山 (Baik-tu-san) 韓國咸鏡道の北境、茂山附近にある長白山脈の高峯にして、高さ八千七百餘尺あり。

はくせん 白登山 清國山西省、大同府の東に在り、漢の高祖が匈奴に圍まれし地なり。



(圖の興乘司郡川博)

はくごーじ 白塔寺 清國北京城内の阜城門街にあり、遼の燕隆の頃の建立にかゝる、是後屢々修理し又改名したり、白塔寺の名は燕隆二年釋迦の佛舍利を藏むるに方り、白塔を建てたるによるといふ。

はくなん 漠南 蒙古のゴビ砂漠以南一帶の地を云ふ。

はくはくけん 博白縣 清國廣西省、麟州にあり。

はくはくかん 白馬關 清國直隸省、正定府の西北にあり、滹沱河に臨み、近傍に白馬岡あるを以て此の稱あり、今尙戍兵を置く。

はくはくじ 白馬寺 清國河南省、河南府の東にあり、漢の明帝の時、西域より白馬經を傳へ、始めて創立せるものにして、同國に於ける僧寺の嚆矢たり。

はくはくけん 博平縣 清國山東省、東昌府にあり。

はくはく 漠北 漠南に對してゴビ砂漠以北一帶の地を云ふ、漠北、漠南の名は北方蠻族の名と共に古史に屢々見ゆる

らし、大江を帯び最も形勝の地たるを以て頗る史實に富む、諸葛孔明の劉備に説くに、益州は險塞にして沃野千里、所謂天府の地となせしは實に此地を云へるなり。

はくはく 馬息嶺 韓國元山と平壤との間に在り。

はくはく 八里溝 清國直隸省、張家口にあり、英佛聯合軍の侵入し來りし時、僧格林沁之に據りて防ぎしが、遂に英軍の破る所となる、(西紀一八六〇年)。

はくはく 八旗兵 清國陸軍の一種にして、旗色によりて入つに區分す、每旗又之れを滿洲、蒙古、漢軍の三に分つ、各旗に都統一人、副都統二人あり、其兵數總計三十萬人と稱す、れども、實際戦時の兵員に加はり得るものは十萬を出でず、全國の各要地に駐屯す。

はくはく 八塞廳 清國貴州省、都勻府にあり。

はくはく 馬蹄銀 清國通貨の一種にして、其形馬蹄に似たるより其稱あり、清國にて之を元寶銀と云ふ、一個の分量五百三十五匁に相當する馬蹄形の銀塊なり。

はくはく 巴東縣 清國湖北省、宜昌府にあり。

はくはく 馬尾港 清國福建省にあり、福州の外港にして、船政局の所在地なり、港内水深く大船巨舶の碇繫に便なり、一八八五年清佛戦役に清國艦隊、佛將クルールの率ゑる水雷艇の爲めに撃沈せられし所なり。

所なり。

はくはく 博野縣 清國直隸省、保定府にあり。

はくはく 白揚茂 滿洲吉林省にあり、松花江の右岸を距る約二十町、同江口の上流約四十里にあり、三姓副都統の管轄に屬す、松花江により白彦蘇々、呼蘭城地方に供給する薪材の埠頭たり。

はくはく 博羅縣 清國廣東省、惠州府にあり。

はくはく 白翎島 韓國黃海道に屬する島にして、古來兩班の配流地たり。

はくはく 白蓮教 清の乾隆年末より起り、治病持齋の名を假りて經典元文を偽作し衆を惑はし財を貪り、其教を號して白蓮教と云ひ、其徒四川、陝西、湖北の地に跋扈せしが、嘉慶中政府屢々兵を送りて之を征し、五年劉之協を河南に遣し、六年首領餘德天を誅し、七年悉く四川、陝西、湖北の餘賊を平げたり、之を白蓮の亂といふ。

はくはく 馬港廳 清國福建省、泉州府にあり。

はくはく 馬山浦 「まさんぼ」を見よ。

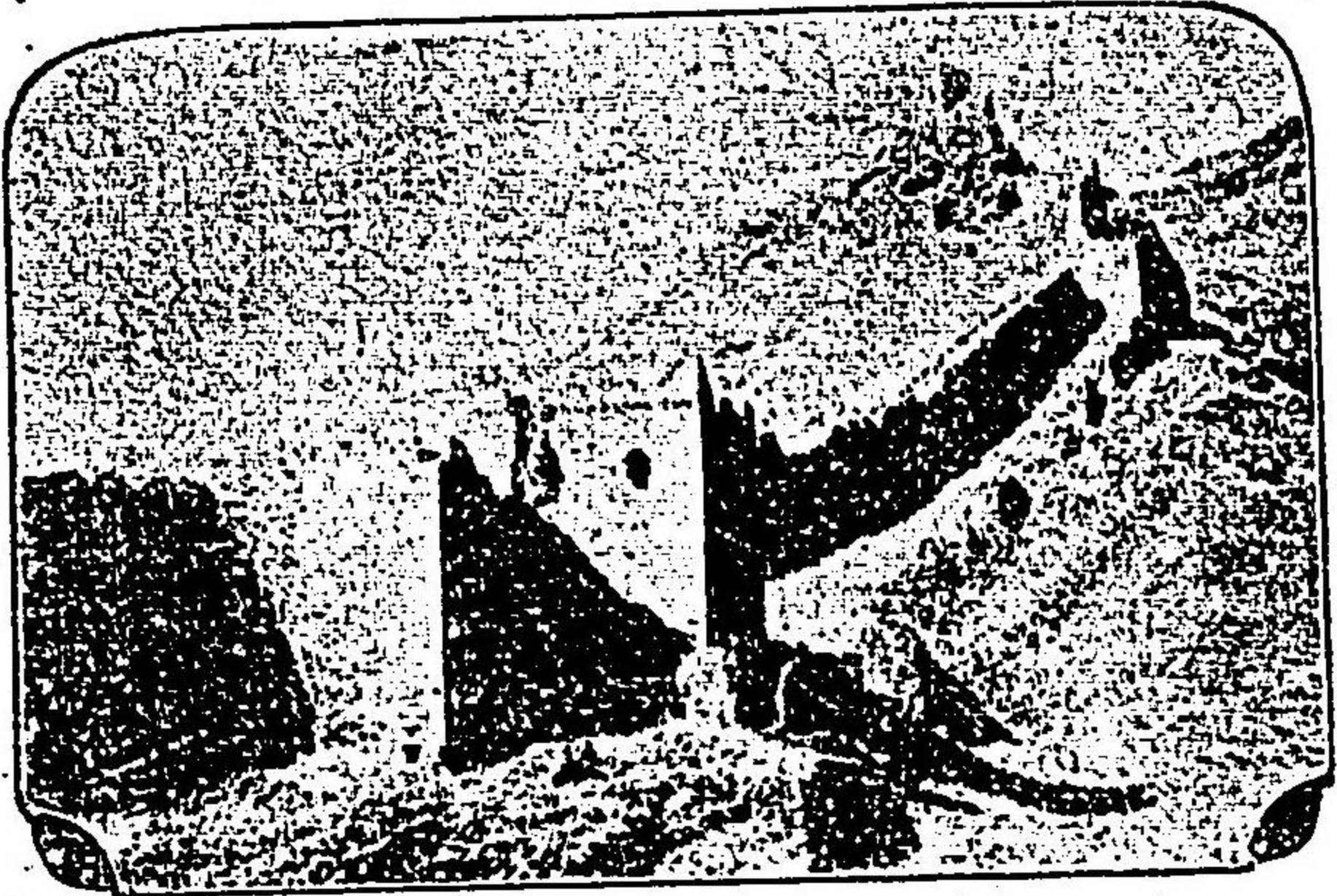
はくはく 霸州 清國直隸省、順天府南路廳にあり。◎巴州 清國四川省、保寧府にあり、又同省重慶府に巴縣あり。

はくはく 巴蜀 巴は今の清國、四川省の重慶、保寧、順慶諸府の地、蜀は同省成都、雅州等諸府の地なり、四方皆山を繞

ばいけん 馬平縣 清國廣西省、柳州府にあり。
ばいんちやう 馬邊廳 清國四川省、叙州府にあり。
はみ 哈密 清國新疆省の東北蒙古の境にあり、支那本部より、嘉峪關を経て天山南北路に至る要路にあり、行商、隊商の集散する所にして、百貨輻輳商業極めて盛なり。
はんあいさん 汎愛山 外蒙古の中央に連亘する山脈にして、唐努山脈の東脈なり。
ばんあんけん 萬安縣 清國江西省、吉安府にあり。
はんこー 漢口 (Hankau) 「かんこー」を見よ。
はんかこ 興凱湖 (Khanka) 露領沿海州と滿洲との境に在り、面積千七百方哩、魚族に富む。
ばんぐーけん 萬昌縣 清國廣東省、廣州府にあり。
はんけん 范縣 清國山東省、曹州府にあり。
ばんさいけん 萬載縣 清國江西省、袁州府にあり。
ばんしゅー 萬州 清國廣東省、瓊州府にあり、又同國四川省、夔州府に萬縣あり。
ばんしゅー 萬承 清國廣西省、太平府にあり。
はんしゅーけん 繁昌縣 清國安徽省、太平府にあり。
はんすいけん 汜水縣 清國河南省、開封府にあり。
ばんせんけん 萬泉縣 清國山西省、蒲州府にあり。
ばんぜんけん 萬全縣 清國直隸省、宣化府にあり。

ばんぢけん 繁峙縣 清國山西省、代州にあり。
ばんでんり (Khan-Tengri) 天山を見よ。
ばんねんけん 萬年縣 清國江西省、饒州府にあり。
はんぶきい 藩部旗兵 蒙古、青海に於ける一種の民兵にして、各地方の警備に従事す。
ばんよーけん 鄱陽縣 清國江西省、饒州府にあり。
ばんよーこ 鄱陽湖 (Poyang) 清國江西省の北部にあり、古の彭蠡湖にして、隋の煬帝の時、今の名に改む、長さ四十三里、幅六七里、周囲約八十里、水運の便多し、湖中に大孤山、康郎山、鞋山の諸島あり、湖水流れて楊子江に注ぐ。
ばんりのちんじゅー 万里長城 (Great Wall of China) 清國直隸省山海關に起り、甘肅省嘉峪關の南端に終る、其二重なるものを延長せば、凡て千六百七十余里、春秋戰國の世燕、趙、韓、魏の諸國邊寇を防かんが爲め各々修築する所あり、秦の始皇帝匈奴の侵入を防がん爲め、其臣蒙恬をして臨洮より榆中迄新たに壁を築かしむ、其後魏の泰常八年、及明代に増築せり、高さ二丈より三丈に及び厚さ一丈五尺、六十間毎に堡塞の設あり。
ばんんからんみやく 巴顏喇山脈 (Bayankara) 崑崙山脈の東に連れる山脈にして、清國青海の西部にあたりて東西に延びたり、其東北麓より出る諸川は、實に黄河の源を

(城長の里萬)



なすものなり。
ばゆーけん 馬邑縣 もと清國山西省、朔平府にありしが、今廢せらる。
ばよーとー 馬養島 韓國咸鏡南道新浦の前面海上にあり、洪源郡に屬す、島は四南より東北に延び長さ約一里、島上二百戸許の民家あり、北、西面に數個の良港灣あり。
はらほむ 和林 (Harakorum) 外蒙古おろくえん河の上流にあり、元倫の西南十里、突厥以來會長の居住地にして、元朝數代の帝都たりしが、今や全く荒廢して砂磧深く英雄

の遺跡を止むるのみ。
ばりしゅー 馬龍州 清國雲南省、曲靖府にあり。
はりよーけん 巴陵縣 清國湖南省、岳州府にあり。
はるく 巴里坤 清國新疆省、哈密の北にあり、蒙古の境に位す、哈密より新疆に入る要路に當り、鎮西廳の所在地たり、氣候極めて寒冷の地として知らる。
はるこ (Palti Lake) 西藏拉薩府の南方に在り、牙木魯克海(やんむろく)と稱す。
はるびん 哈拉賓 滿洲吉林省にあり、吉林府を距る七十餘里、松花江の南岸に位す、もと金人の勃興地なり、近年東清鐵道中央停車場となり、旅順、及浦鹽斯德線の分岐點たり、露國經營の停車場、寺院、官衙、兵營、製造所等の大建造物多く、市街規模安大、北滿洲に於ける大都會たるに至らんとす。

ひけん

ひ

ひけん ① 穀縣 清國山東省、沂州府の西北山中にあり。② 郛縣 清國四川省、成都府にあり。

ひけん 郿縣 清國陝西省、鳳翔府にあり。

ひけん 肥郷縣 清國直隸省、廣平府の東南にあり、山東省の境に近く位す。

ひしくわ 皮子窩 清國盛京省、黃海沿岸に在る港にして、金州の東北十五里に位す、人口八千、商業繁盛なり、港灣良好なるも水淺く、船舶の碇繋に適せず、西南鹽大灣の地は日露戦役に我第二軍の上陸地點にして、東北花園口の地は日清戦役に我が軍の上陸地點たり。

ひしゆー眉州 清國四川省にあり、直隸州たり。

ひじゅーけん 肥城縣 清國山東省、泰安府の西北にあり。

ひすい 淝水 清國安徽省、廬州府、合肥縣の西南紫蓬山に發し、北流して分れて二となり、一は東南流して巢湖に入り、一は西北流して淮水に入る、晋の孝武帝太元八年、晋將謝安謝玄大に前秦の苻堅を破りたる有名なる古戰場なり。

ひたんけん 涓潭縣 清國貴州省、平越州にあり。

ひっせつけん 畢節縣 清國貴州省、大定府にあり。

ひんせい 閩清 清國福建省、福州府の西北、閩江の流域にあり。

ひんせつ 閩浙 清國浙江省、福建兩省の稱にして、閩浙總督福州にありて兩省を治む。

ひんせんしー 賓川州 清國雲南省、大理府の東北にあり、金沙江の一支流の上流に位す。

ひんせつ 百濟 所謂三韓の一にして、高句麗の東明聖王の子溫祚の建設せし國にして、今の忠清、全羅兩道を領し、初め漢山に都せしが、後内憂外患交々起り、近肖古王の時都を北漢山に移せり、我神功皇后の時、征討せられて朝貢する、と數十年、其後幾多の變遷を経て、第三十世義慈王の時に至り、唐將蘇定方に破られ國遂に滅ぶ。

ひやくしきちやー 百色廳 清國廣西省、思恩府にあり。

ひやくえつしー 苗越種 支那、太古蠻民の遺族にして、雲南、貴州兩省地方に住す、もと支那内地に居住し、中國の患をなすこと大なりしが、後漸次漢の爲めに驅逐せられ、其分布極めて狭く、僅かに湖南省の南部、貴州、雲南兩省の山地に居住するのみ。

ひやくごーけん 萍鄉縣 清國江西省、袁州府にあり。

ひやくしーしー 憑祥州 清國廣西省、太平府にあり。

ひやくれーしー 廟島列島 (Miyama) 渤海灣口にあり、

ひんせ

ひんし

六五〇

ひつよーけん 泌陽縣 清國河南省、南陽府にあり。
ひのでがおか 日出ヶ丘 韓國木浦論遂山の東麓にあり、本邦人の命名にして、風景頗る佳なり。

ひんあんれー 興安嶺 海喇喀山より起り東北に走り、支脈數條を派出し、嫩江、松花江の間に東興安嶺あり、黒龍江の對岸に外興安嶺を起し、滿洲方面に於ては長白山、千山山脈等となる。

ひんけん 閩縣 清國福建省、福州府にあり。

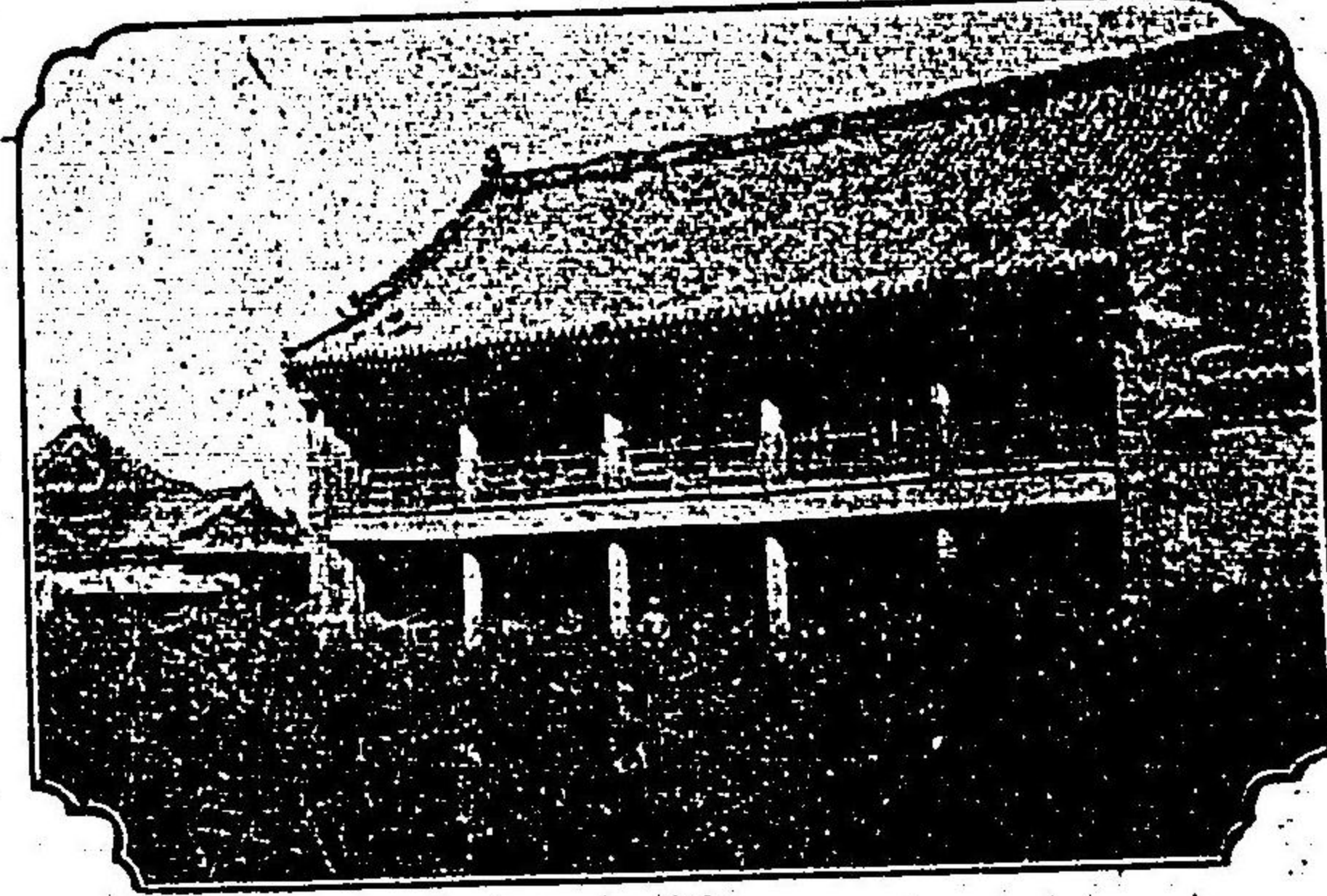
ひんこー 閩江 清國福建省の北隅に發し、諸水を合せ東流し、支那海に注ぐ、其下流沿岸に福州府あり、小汽船航行するを待、上流には建寧、延平等の諸都邑あり。

ひんざん 岷山 清國四川省、成都府、茂州の西北に當り、四川、甘肅兩省の界をなす、其南麓に發する岷江は南流して叙州に至り、楊子江に入る。

ひんしー 賓州 ① 滿洲吉林省にあり、松花江の右岸に位す、阿楚略の東約十九里、三姓より阿楚略に至る大道に沿ふ。② 清國廣西省、思恩府にあり。③ 賓州 清國山東省、武定府にあり。

ひんしー 岷州 清國甘肅省、鞏昌府、岷州の地なり、もと溢の地にして西羌の住地なり、元に至りて岷州を置き、清亦之に因る。

十五島より成り、清國山東省登州より偏北に向ひ、約三十五里の間に羅列し、黃海と渤海とを分つ、北に北隍城島、南に長山島あり、裏長山、外長山の二列島に連る、該列島の最南群島には良好の鰐豚根據地あり、候布漣と稱す、一八六〇年英國艦隊此に屯集せり、北隍城島と遼東半島の尖端老鐵山との間を老鐵水道と云ひ、幅僅かに十七里なるも直隸灣内航海の船舶は多く之れにより、又長山島と大欽島との間を直隸海峽、或は廟島海峽と云ふ、幅約五十里あり。



(圖 龍 飛)

ひりーかく 飛龍閣

ひり

六五一

洲奉天府内の宮殿の一隅にして、崇政殿の前方にあり、鳳翔閣と東西に相對す、二層の樓閣にして、もと左右翼王大臣朝議の所たり、今は同宮殿所屬の銅器、弓矢、馬具、刀劍等を藏む。

びろくけん 彌勒縣 清國雲南省、廣西州に屬し、州の西方、魯部川支流の上游にあり。

ふ

ぶあんけん 武安縣 清國河南省、彰德府にあり。

ぶあんちやう 普安廳 清國貴州省、興義府にあり。

ぶあんぺんざん 扶安邊山 韓國全羅北道群山鎮の南方約十三里扶安郡の海岸にあり、群峰より成る、周遊すれば殆んど十三里、來蘇寺、仙溪寺、開慶寺、實相寺、隱寂庵、地藏庵、青蓮庵、獅子庵、月明庵等此中にあり、就中月明庵は風景絶佳、邊山中の白眉と稱せらる。

ぶいけん 武威縣 清國甘肅省、涼州府にあり。

ぶいしやう 撫彝廳 清國甘肅省、甘州府にあり。

ぶいあしやう 撫彝廳 清國甘肅省、甘州府にあり。

ぶいふいぎやう 回々教 又マホメット教、或はイスラム (Islands) 教と稱す、唐初アラビヤのムハメットの創唱する所にして、唐末大食國人あり傳播して天山南路に入り、漸次支那内地に信者を出すに至れり、其回教又は回々教と稱するは、回教人の崇信するによりて此名ありといふ。

ぶいん 府尹 清國地方官にして、廣州、開城、江華、仁川、德源(元山)、慶興、三和(鎮南浦)、務安(木浦)、東萊(釜山)の九府の長官なり。

ぶきんけん 武山縣 清國直隸省、深州府にあり。
ぶくわんけん 福安縣 清國福建省、福寧府にあり。
ぶくきんけん 伏羌縣 清國甘肅省、鞏昌府にあり。
ぶくざんけん 福山縣 清國山東省、登州府にあり。
ぶくしやう 復州 滿洲盛京省の一都會にして、營口の南三十餘里、復州河の北岸にあり、商業地にして、人口二萬五千餘、漁業亦盛なり、日清戦役の古戰場たり、其東方得利寺驛は日露戦役の激戦場にして、我第二軍、敵軍數千を鏖殺せる所とす。①福州 (Fuchan) 清國福建省の首府にして、閩江に臨み海口を距る約三十五哩、一に榕城と稱す、四記一八四二年江寧條約を以て開かれたる開港地にして、商業極めて盛なり、茶、及砂糖の輸出多し、人口約六十萬、閩浙總督、及福建巡撫此地に駐紮し、又本邦領事館あり、此地周代の所謂七閩の地にして唐の時長樂府と稱し、明初福州府と改む、臺灣海峡を隔てて、我が臺灣島と相對し、古來兩者の關係最も密にして、我が對清貿易上最も重要地點たり。

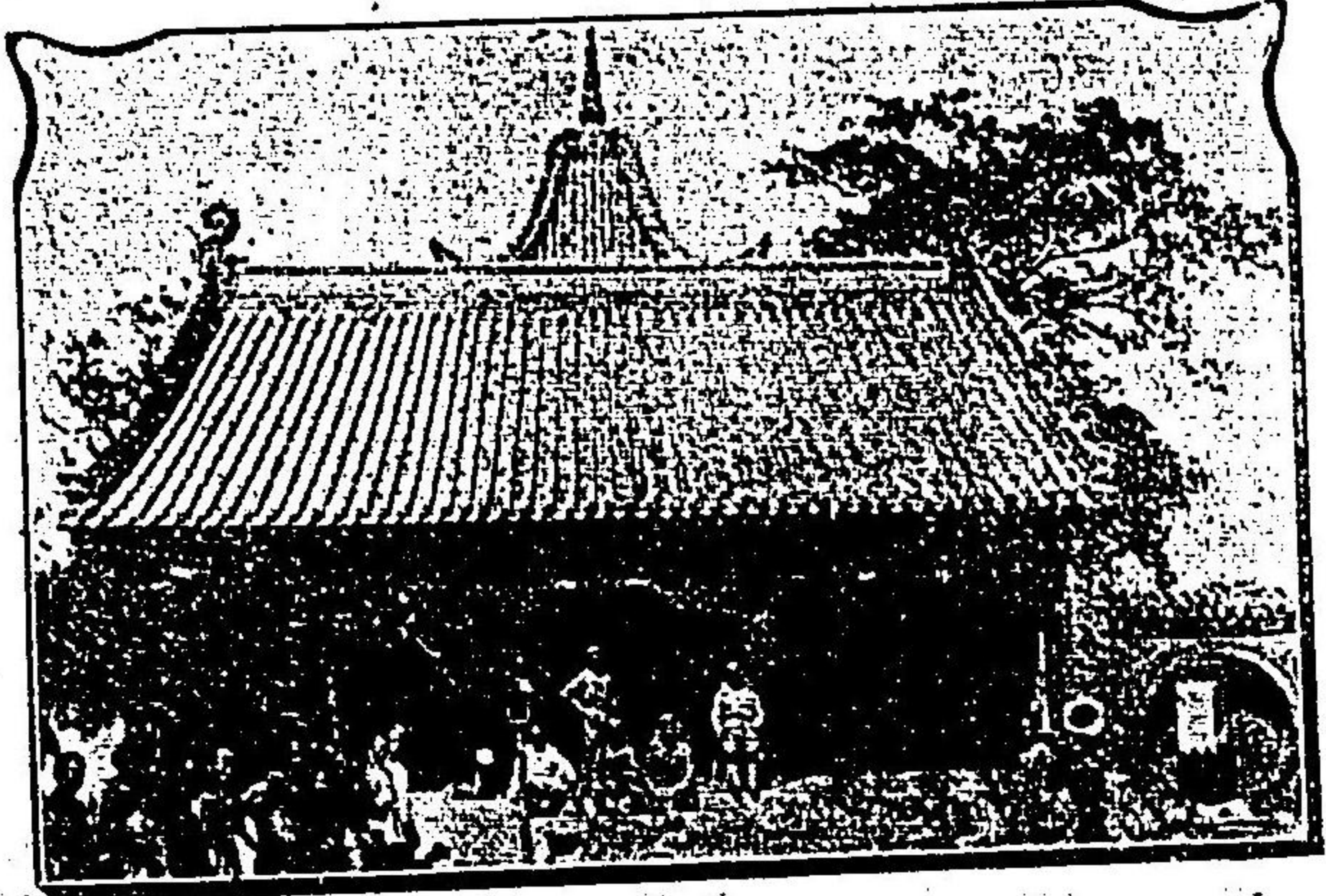
ぶいんるる貝

爾池 清國黑龍江省の四北部にあり、古名は捕魚兒海(ウニルハイ)と云ひ魚髓及鹽を産す、尙ふるんのる」の條を見よ。

ぶえんけん 武緣縣 清國廣西省、思恩府にあり。

ぶかがわ 布喲

河 上流を喀喇錫納河と稱す、阿木尼々枯山の南麓に發し、南流して英額池の水を併せ、更に東南流、又東北流七十餘里にして、布喀河と稱し、青海に入る。



(寺 拜 禮 東)

ぶきけん 武義縣 清國浙江省、金華府にあり。

ぶきんけん 無極縣 清國直隸省、正定府にあり。

ぶくしやう 福州灣 清國福建省に在り。

ぶくせいけん 福清縣 清國福建省、福州府にあり。

ぶくせんけん 福泉縣 清國江蘇省、松江府にありし縣名なりしが今は亡し。

ぶくていけん 福鼎縣 清國福建省、福寧府にあり。

ふくねーふ 福寧府 清國福建省、福州府の東北に位す、茶の名産地にして、又其附近に鐵、銀、銅等の産地あり、一八九八年開放せられし互市場たり。

ふくろー福陵 「とーりょー」(東陵)を見よ。

ふげんけん 婺源縣 清國安徽省、徽州府にあり。

ふこ 蕪湖 清國安徽省にあり、揚子江の南岸に位す、上海を距る約百三十里、開港場にして、運河により安徽省の各地と連絡し、米穀の取引盛なり、又生糸、絹織物、煙草等の産出多し。

ふこけん 府谷縣 清國陝西省、榆林府にあり、同省の最北部に位し、長城を隔てて内蒙古の境に接す、もと葭州に屬せしが、今同府に隸す。

ふこけん 蕪湖縣 清國安徽省、太平府にある開港場なり。

ふこけん 扶溝縣 清國河南省、陳州府にあり。◎早康縣 清國甘肅省、迪化州にあり。

ふこけん 武康縣 清國浙江省、湖州府にあり。◎武功縣 清國陝西省、乾州にあり。

ふこけん 武鄉縣 清國山西省、沁州にあり。

ふこけん 武岡州 清國湖南省、寶慶府にあり。

ふこけん 布庫里山 清國滿洲長白山の東にありて、其下に布勒湖里池あり、清朝發祥の地と傳ふる所なり。

の如き明治三十六年度末の調査によれば、一萬餘人を算するに至れり、日露戦役の結果韓國の我勢力範圍に歸してより、我移住民頗る多く、此地の發展實に驚くべきものあり、特に京釜鐵道の開通以來長足の進歩をなし、從來の居留地域は狭小にして、居留民を收容する能はず、遂に四萬餘坪の埋立工事を行ふに至れり、港は東、南の兩灣に分れ海底深く汽船の碇泊自由なり、我が郵船會社及び商船會社の定期航海あり、殊に山陽鐵道會社は海上常に二隻の汽船を浮べ、下ノ關、釜山浦間を往復せしめて、京釜鐵道との連絡を圖る、此地又韓海に於ける本邦漁業者の集合地にして、其往復必ず此地に寄港す、京釜鐵道停車場は釜山鎮の北に在り、

◎巫山 一に巫峽と云ひ、清國四川省、夔州府の東に當り、揚子江の四川、湖北兩州の交界を流るる所を云ふ、三峽の一にして古より形勝險要の地として名あり、其十二峰の下に神女廟ありといふ。

ふさんげん ◎巫山縣 清國四川省、夔州府にあり。◎浮山縣 清國山西省、平陽府にあり。

ふさんちん 釜山鎮 韓國釜山浦の東方にあり、東萊府に屬し、釜山灣勢の北に極まる所にあり、人口約千五百、其北方に京釜鐵道停車場あり。

ふしふ 普沔府 清國雲南省にあり、もと普沔縣ありて普沔府に屬せしが今廢せらる。

ふしんけん 武進縣 清國江蘇省、常州府にあり。

ふしー 邳州 清國江蘇省、徐州府にあり。

ふしー 撫州府 清國江西省にあり。

ふしんけん 富順縣 清國四川省、敘州府にあり。

ふしーけん 武陟縣 清國河南省、懷慶府にあり。

ふしーけん 阜城縣 清國直隸省、河間府にあり。

ふしーけん 武城縣 清國山東省、臨清州にあり、もと東

ふさん ◎釜山 (Busan) 韓國慶尙道の東南岸、洛東江の東方に在り、港灣は東方に開け、絶影島南方を掩ひ、港内水深く、大船巨船の投錨に適し、我對馬と相距る十八里、殆んど應呼の間在り、人口三萬、日本專管居留地あり、廢表十萬餘坪、北に録臺山を負ひ、南絶影島に對す、市街の設備家屋の構造全く日本風にして、我が理事廳を始め、郵便電信局、電話交換局、居留地役所、商業會議所、小學校、圖書館、病院、寺院、銀行、會社等の諸建造物悉く備はり、宛然日本の一都會を見るが如く、其の人口



(釜山港)

が今廢せらる。

ふしんけん 武進縣 清國江蘇省、常州府にあり。

ふしー 邳州 清國江蘇省、徐州府にあり。

ふしー 撫州府 清國江西省にあり。

ふしんけん 富順縣 清國四川省、敘州府にあり。

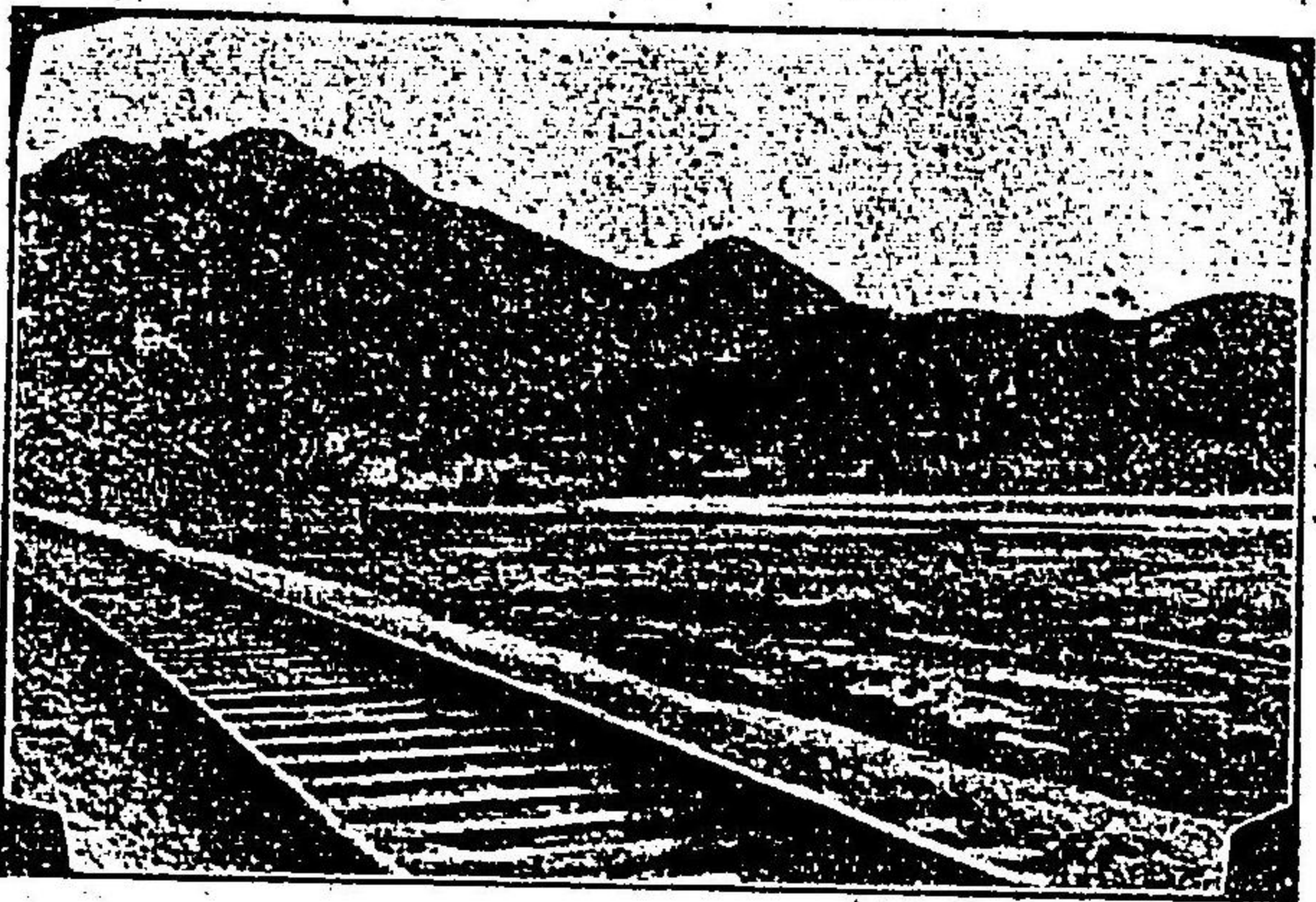
ふしーけん 武陟縣 清國河南省、懷慶府にあり。

ふしーけん 阜城縣 清國直隸省、河間府にあり。

ふしーけん 武城縣 清國山東省、臨清州にあり、もと東



(三峽巫山)



(銅山登)

絲局、湖北銀元局等あり、附近湖沼多く、城北一里半に漢粵鐵道の起點あり、水陸運輸の便多し。

●武清縣 清國直隸省、順天府東路廳にあり。
●武宣縣 清國廣西省、潯州府にあり。
●婺川縣 清國貴州省、思南府にあり。

昌府に屬す。

昌府 (Wang-chang) 清國湖北省の首府にして、楊子江の南岸に在り、湖廣總督、及本省巡撫の駐紮地なり、對岸なる漢口又漢陽府と相鼎立す、江漢書院、武備學堂、湖北織布官局、湖北礦

富川縣 清國廣西省、平樂府にあり。

福州 (Fuchow) 「ふくしゅう」を見よ。

福建艦隊 福建省福州を根據地とせる清國四水師の一にして、其長官福建海軍提督は閩浙總督に屬す。

福建省 (Fukien) 支那本部の一省にして東南部を占め、北は浙江省に隣り、南は廣東及支那海に、西は江西省に界す、東は臺灣海峡を隔てて我臺灣と相對し、我邦と最も密接の關係あり、往年我政府が福建不割讓を清國に約せしめしは之れが爲めなり、地勢一般に山岳多く平野少し、面積四一、三〇〇方哩、人口二二、八七六、五四〇あり。

佛山鎮 清國廣東省、惠州府にあり。四領の一なり。

佛坪廳 清國陝西省、漢中府にあり。

阜定縣 清國貴州省、安順府にあり。

普定府 今の清國、貴州省、普定縣の地、元の時普定府となす。

武定府 清國山東省の北西方黃河流域の北方にあり。●同國雲南省にあり、直隸州なり。

福建「ふくしゅう」を見よ。

●普寧縣 清國廣東省、潮州府の西南にあり、南粵江の流域に位す。●阜寧縣 清國江蘇省、淮安府にあり。

●武寧縣 清國江西省、南昌府にあり。●清國湖南省、常德府にありしも今はなし。●撫寧縣 清國直隸省、永平府にあり。

●武班 韓國の一階級、兩班の一にして、文班と共に政府最高の位置を占め、政府、并に社會上最も勢力を有するものなり。

●扶風縣 清國陝西省、鳳翔府にあり。●阜平縣 清國陝西省、西安府にあり。

●武平縣 清國福建省、汀州府にあり。●瑚瑪爾河 一に呼馬拉、呼馬兒に作る、清國黑龍江省、伊勒呼里山脈に發し黑龍江に入る、清の康熙中露人雅克薩に城くによりて、清軍亦呼瑪拉に築きて之と相對すと

いふ、黑龍江城の北百三十里にあり。●富民縣 清國雲南省、雲南府にあり。

●文安縣 清國直隸省、順天府南路廳にあり。●汾曲 汾水の曲にして清國山西省、太原府の西及其西南大原縣の東に至る地を名く。

富陽縣 清國浙江省、杭州府にあり。

舞陽縣 清國河南省、南陽府にあり。

呼蘭城 滿州黑龍江省にあり、松花江の支流呼蘭河の左岸に位す、鐵道線を距る約十里にあり、人口約四

文山縣 清國雲南省、開化府にあり。●汾州府 清國山西省にあり。

●汾西縣 清國山西省、平陽府にあり。●汝分宣縣 清國江西省、袁州府にあり。●汝川縣 清國四川省、茂州にあり。

●文登縣 清國山東省、登州府にあり。●文班 韓國の一階級、兩班の一にして、武班と共に政府最高の位置を占む。

●汾陽縣 清國山西省、汾州府にあり。●武邑縣 清國直隸省、冀州にあり。

●阜陽縣 清國安徽省、潁州府にあり。●富陽縣 清國浙江省、杭州府にあり。

●舞陽縣 清國河南省、南陽府にあり。●呼蘭城 滿州黑龍江省にあり、松花江の支流呼蘭河の左岸に位す、鐵道線を距る約十里にあり、人口約四

●汾水 (Fen-ho) 清國山西省にあり、南流、更に西南に流して黃河に注ぐ。●分水縣 清國浙江省、嚴州府にあり。

●汾州府 清國山西省にあり。●汾西縣 清國山西省、平陽府にあり。

●汝分宣縣 清國江西省、袁州府にあり。●汝川縣 清國四川省、茂州にあり。

●文登縣 清國山東省、登州府にあり。●文班 韓國の一階級、兩班の一にして、武班と共に政府最高の位置を占む。

●汾陽縣 清國山西省、汾州府にあり。●武邑縣 清國直隸省、冀州にあり。

●阜陽縣 清國安徽省、潁州府にあり。●富陽縣 清國浙江省、杭州府にあり。

萬(或は七萬といふ)焼酎、豆油、小麥、黍、荳餅等を輸出す。滿州衛兵の兵站部ありて大倉庫の設備あり。

ぶりー 武陵 清國湖南省、洞庭湖畔の一名勝地にして、常德府桃源縣にあり、有名なる武陵桃源の地なり。

ぶりーけん 浮梁縣 清國江西省、饒州府にあり。

ぶりーけん 武陵縣 清國湖南省、常德府にあり。

ぶらんのも 呼倫池 清國、黒龍江省の極西にあり、又(Dobanor)に作り、明には闊溧海(フランハイ)と稱す、水源は蒙古の聖持(ケント)山の陽にあり、東流して克魯倫河となり、ゴビ砂漠の北方に沿うて流れ、烏爾孫河(貝爾池より發す)を合せて呼倫池となる、五色鹽を産す。

ぶらんべーる 呼倫貝爾 清國、黒龍江省の西北隅にある一市にして其西北に呼倫池あり、其西南に貝爾池あり、清初此間に屯兵を置き、池名によりて之を呼倫貝爾と呼べり。

へ

へいあんどう 平安道 韓國の西北部を占め、鴨綠江を以て滿洲と境し、東は咸鏡道に隣り、西方一帶黄海に臨む、東北山嶽重疊するも、西南平野多く、豆稔の産多し、至る所嶺脈に富み、金銀の産多く、有名なる殷山、雲山の金嶺あり、山中樹林蒼鬱として、鴨綠江上流の大森林の如き、殊に木材の饒多を以て知らる、木道の中央を流るる清川江により、以南を平安南道と稱し、以北を平安北道と云ふ。

へいあんなんどう 平安南道 韓國黄海道の北部にあり、清川江により平安北道と隣る、首府を平壤と云ふ。

へいあんほくどう 平安北道 韓國平安南道の北に位し、清川江により平安南道と分る、同國十三道の一なり、首府を定州と云ふ。

へいけん 平穉縣 清國雲南省、曲靖府にあり。

へいけん 平陰縣 清國山東省、泰安府にあり。

へいせんしゅー 平越州 清國貴州省にあり、もと府たりしが、後直隸州となる。

へいえつふ 平越府 清國貴州省、鎮遠、貴陽の中間にあり、馬場江の西岸に位す、廣西地方に通ずる道路の分岐點に當

草、陶器等を輸入し、砂金、大豆、小豆、米、牛皮等を輸出す。

り市街稍々盛なり。

へいえんしゅー 平遠州 清國貴州大定府にあり、又廣東省、嘉應府に同名の縣あり。

へいけん 平和縣 清國福建省、漳州府にあり。

へいけん 平原縣 清國山東省、濟南府にあり。

へいけん 平谷縣 清國直隸省、順天府北路にあり。

へいけん 平湖縣 清國浙江省、嘉興府にあり。

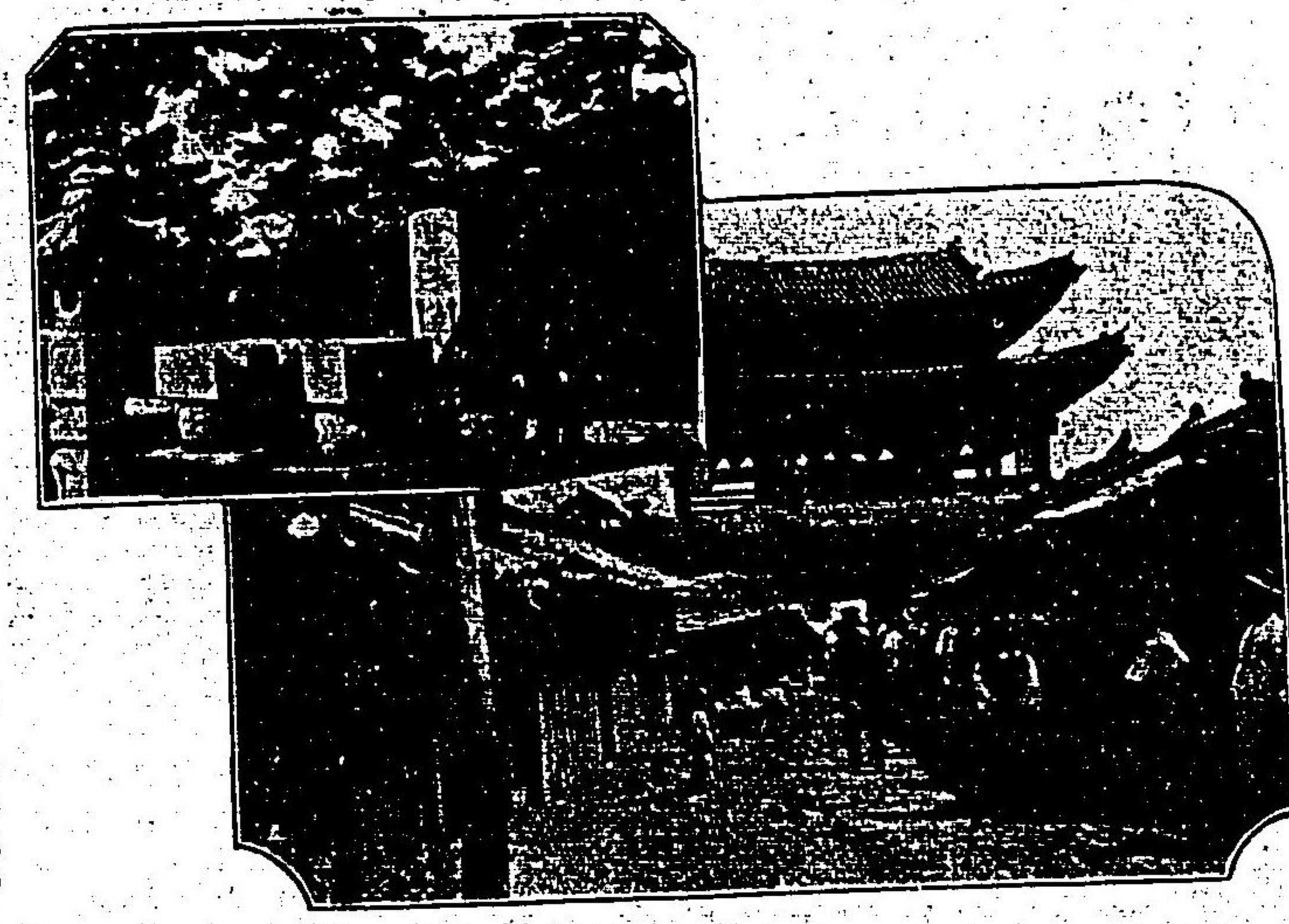
へいけん 平江縣 清國湖南省、岳州府にあり。

へいけん 平鄉縣 清國直隸省、順德府にあり。

へいけん 屏山縣 清國四川省、叙州府にあり。○平山縣 清國直隸省、正定府にあり。

へいけん 米脂縣 清國陝西省、綏德州にあり。

平壤 (Pienng-yang) 韓國平安南道の首府にして、箕氏九百年の舊都なり、大同江に臨み、後に山を背ひ、前に平野を控え極めて險要の地たり、京城を距る北五十餘里、驍州街道の要路に當る、豊大開征韓の役、小西行長此地に入り、明將李如松と戦ひ、日清戦役の際、我軍清軍一萬五千を此地に撃破し、近く日露戦役には、七星門外に於て、始めて彼我兩國兵の交戦あり、人口約三萬、本道觀察使此地に駐在す、我が明治三十一年始めて此地を開放し、我國人の居留者多く、概ね商業に従事す、紡績糸、和金巾、石油、燐寸、巻煙



(葛の子箕と門同大)

毎月一、六の日市を開き、平均一日五千人以上の人出あり、

商品の取引極めて盛なり、妓生及び素麵は當地の名物にして、妓生の如き其養成のために特に妓生學校の設備ありと、對岸船橋里の地は日清戦役に我大島旅團の苦戦せし所にして、同旅團兵戦死者の記念碑あり。

へいそくかん 米倉關 今の清國陝西省、漢中府の西南約百二十餘里米倉山の南にありし關なり、宋の時蒙古軍の侵入せし三道の一として名あり。

へいたく 平澤 韓國牙山の西四里にあり、忠清道に屬して京畿道に接す、一に彭城とも云ふ。

へいていしゅー 平定州 清國山西省にあり、直隸州たり。

へいどしゅー 平度州 清國山東省、萊州府にあり。

へいなんけん 平南縣 清國廣西省、潯州府にあり。○屏南縣 清國福建省、福州府にあり。

へいはんけん 平番縣 清國甘肅省、涼州府にあり。

へいぶけん 平武縣 清國四川省、龍安府にあり。

へいようふ 平陽縣 (Pingyang) 清國山西省、太原府の南にあり、汾水の東岸に位す、太原より西安方面に至る要衝に當る、舜の故都にして、晉の劉淵帝號を稱して此地に據れり。

へいようけん 平遙縣 清國山西省、汾州府にあり。

へいようふ 平樂府 清國廣西省にあり、同名の縣之れに屬す。

へいらけん 平羅縣 清國甘肅省、寧夏府にあり。

へいりくけん 平陸縣 清國山西省、解州にあり。

へいりけん 平利縣 清國陝西省、興安府にあり、もと興安州に屬せり。

へいりょうふ 平涼府 清國甘肅省にあり、同名の縣之れに屬す。

へいりるのる 貝爾諾爾 蒙古軍臣汗(チヨチンハン)部にあり、一に布伊爾湖と稱し、又布育里鄂模とも云ふ、滿洲の界に跨る、東西十三里、東北より西南に至る二十五里、喀爾喀河の水流此處に匯す、湖水流出して、烏爾順河となり呼倫湖に入る。

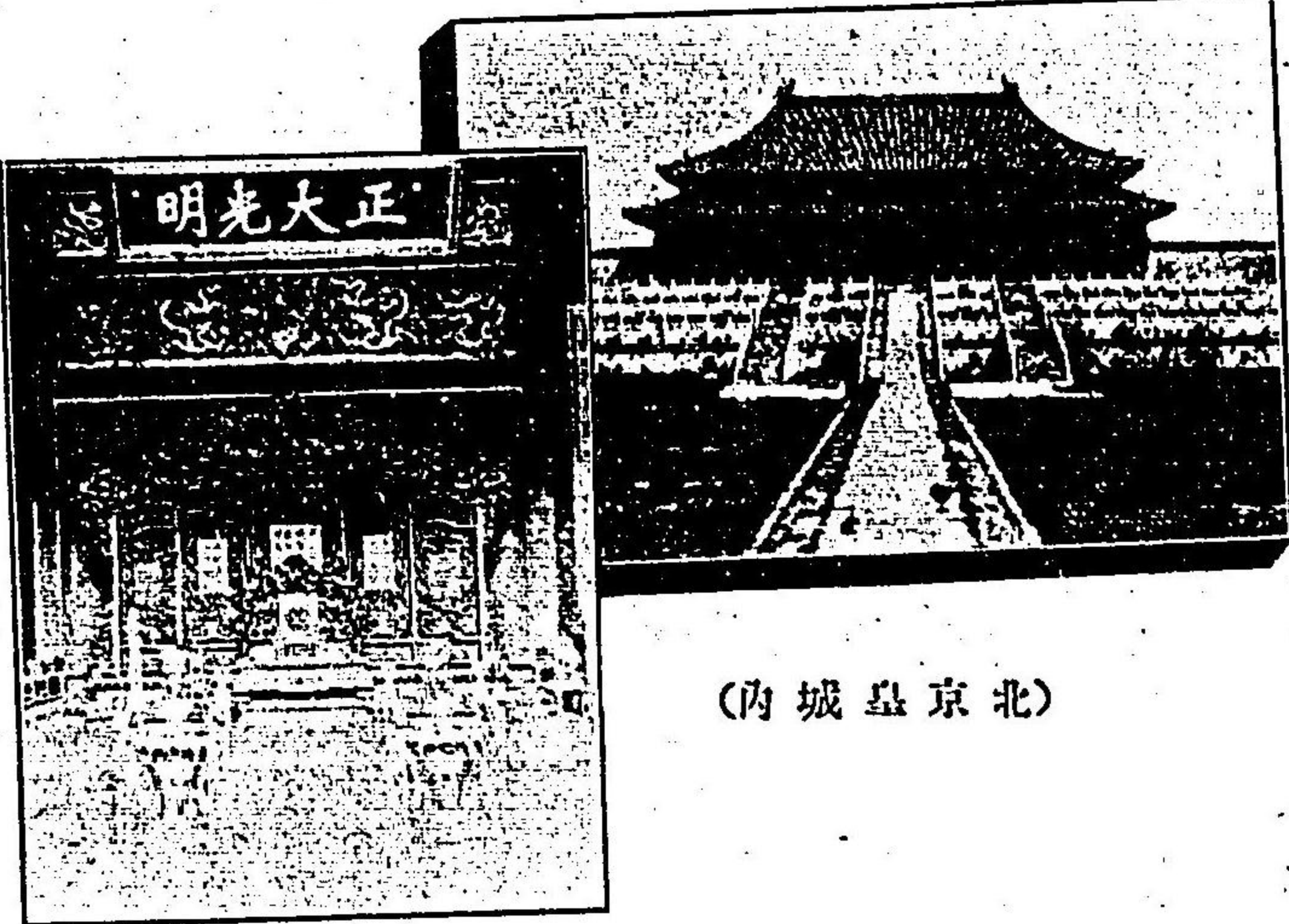
へいりけん 平魯縣 清國山西省、朔平府にあり、府城の南方に位す。

へきていかん 碧蹄館 韓國京城の西北三里に在り、豊公征韓の役に小早川隆景明兵十萬を鏖殺せし所なり。

へきざんけん 璧山縣 清國四川省、重慶府にあり。

へきん 北京 (Peking) 順天府、又は燕京と稱す、清國の首府にして、直隸省の殆んど中央にあり、四周堅牢なる城壁を以て圍み、内外の二城に分る、人口約百七十萬、氣候夏時炎熱燻くが如く、冬季沍寒肌を劈くが如し、溫和の氣候極めて

少く、降雨期には泥路脚を没し、炎天には黄塵萬丈咫尺猶辨



(内城皇京北)

(座玉后太西内城)

せず、世界首都中最不潔の地たり、内城は一に包城と稱す、

正方形にして、城壁を以て圍まれ周囲約六里、四面皆門あり、西南を正陽門と云ひ、其門内は所謂菜盤街にして、貨物の集散場なり、東方に朝陽門あり、北清事變に我軍給火藥を以て破壊し、突入せし門なり、内城には内閣以下の諸官衙及び各國公使館等あり、其中央に皇居あり、別に一廓をなす、外城は明の嘉靖二十三年の築造にして、内城の南にあり、長方形にして、東西に廣がる、城壁の高さ二丈、四方に城門を開く、正南を永定門とし、北京府の出入口にして、京津鐵道門内に達す、城内二條の大路あり、東西に通ずるを廣寧大街と云ひ、南北に通ずるを正陽大街と稱し、内城正陽門に通ず、其附近は北京城中最繁華の地にして、商賈多し、琉璃廠は其中殊に殷盛にして、商賈軒を並べて書畫、骨董、珍寶、珠玉等を販ぐ、皇城は内城の中であり、城郭正方形にして、周圍二里半、城壁の高さ約二丈、赤色に塗抹す、四面に城門あり、正門は南にあり、天安門と稱す、南隅に南華園あり、西に四苑あり、苑中有名なる大液池あり、北に景山あり、高さ百五十尺、五峰に分る、何れも景勝の地として知らる、城内更に一郭あり、大内即ち紫禁城にして、皇帝の宮殿所在地なり、城壁赤色を以て塗り、覆ふに赤瓦を以てす、高さ三丈、東西八町、南北六町餘あり、四方に門あり、正門は南にあり、午門と云ひ、東に東華門、西に西華門、北に神武門あり、中に大和、中

和、保和の三股を初め、乾清、坤寧、寧壽、景壽等の諸宮、養心、武英、文華等の諸殿約一千一百、費を並べ、結構壯麗目を眩せんばかりなり、此地幾代の幽都の地にして、其後燕の地となり、遼、金、元等の諸朝皆此處に都す、遼時代には今の城郭よりも稍西南にあり、金朝にては今の外城方面即ち南方に據がり、元朝にては其北方に據がる、今の北京城は明の永樂七年の建設にかゝる、其一に燕京と稱するは、明の元を破り金陵に都するや其庶子を燕王となし、此地に封す、後ち燕王其甥建文帝を亡ぼし、姚廣孝をして新に城を築かしめ、(今の北京城)たるより起れるなりと、清の世祖明軍を破り一擧して北京城を陥れ順治元年都を此地に其めてより爾來歴世の帝都となり、四紀一八五九年英佛聯合軍進んで北京城に迫り、城の東北隅を陥れ、文宗皇帝熱河に蒙塵せり、一九〇〇年北清に義和團起し、同年八月各國聯合軍進んで北京を陥れ皇帝、四太后とともに離れ山西省太原府に避く、北京全く無政府の状態に陥り、市街多く兵燹に罹り、皇城亦各國兵の掠奪する所となれり。

へきんさんさん 北京三山 清國北京の近郊なる萬壽山、玉泉山、香山の勝地を云ふ。

へんごな 伯都納 (Peituna) 滿洲吉林省の都會にして、松花江の右岸にあり、一に新城と稱し、長春の北約五十里、人

口約四萬、松花江流域の一中心市場なり、商估多く、豆餅、木材、毛皮、小麥等を輸出す。

へいほー 白河 「はくが」を見よ。

へんかん 辨韓 古への三韓の一にして、今の韓國慶尙道の西南部に韓人の建設したる國なり、西漢の末に新羅の朴赫居世の爲めに併せらる。

へんくわんけん 偏關縣 清國山西省、寧武府にあり。

へんごーちやう 下江廳 清國貴州黎平府にあり。

へんちけん 涇池縣 清國河南省、河南府にあり。

へんねいけん 冕寧縣 清國四川省、寧遠府にあり。

へんそそ 白彦蘇々 滿洲吉林省、哈爾濱の東、松花江の北岸約二里にあり、人口三萬、工業市として知らる。

へるる 葱嶺 (Behar Tagh) 「そーれい」を見よ。

ほ

ほわんしー 保安州 清國直隸省、宣化府にあり、又陝西省延定府に同名の縣あり。

ほーほー 海口 (Hoiho) 「かい、こー」を見よ。

ほーおーけん 寶應縣 清國江蘇省、揚州府にあり。

ほーおーじやう 鳳凰城 滿洲盛京省にあり、九連城の東北に當り、鳳凰山の麓に位す、奉天、及牛莊等より韓國義州に至る要地にして、日清戦役の時、我軍此地を占領し、日露戦役の際我が第一軍九連城を陥れて後、六日にして占領せり。

ほーぎしー 奉議州 清國廣西省、鎮安府にあり。

ほきんけん 蒲圻縣 清國湖北省、宜昌府にあり。

ほきよほ 鮎魚浦 韓國慶尙道、蔚山灣口の北岸にあり、本邦漁船の碇泊所たり。

ほくえんのたき 朴淵瀑 韓國開城の北方四里、朴淵山の山腹にあり、高さ數丈、其勢壯大にして、附近の景、亦頗る幽邃なり。

ほくが 北河 はくが(白河)を見よ。

ほくかい 北海 (Paiho) 清國廣東省の南部にあり、東京

ほわん

灣に臨む、一八七六年の開港地にして、港内水深く、漁船の碇繫に便なり、人口二萬五千、佛領東京地方との貿易盛にして、綿布、毛織物、石油、阿片等を輸入し、藍汁、牛皮、水牛皮、落花生等を輸出す。

ほくがく 北嶽 「こーざん」を見よ。

ほくかんざん 北漢山 韓國京城の北門外約三里にあり、一に三角山と稱す、白雲、圓峯、仁壽の三峰に分る、頂上遠く仁川港より更に其海面を望み、近く漢江の流を眺め、京城の市街亦悉く一眸の中に集まり、風光極めて佳なり。

ほくかんちやう 北韓地方 韓國の北部、即黃海道、平安道及咸鏡道の地を云ふ、其中、黃海、平安の兩道は高句麗の故地にして、咸鏡道は沃沮の故地なり。

ほくくわん 北關 韓國咸鏡南道、及同北道の地を云ふ。

ほくくわん 奉化縣 清國浙江省、寧波府にあり、府城の西南に位し、羅山の麓にあり。

ほくしんてい 北清鐵道 清國左記の鐵道を云ふ。

關外鐵道 (營口、山海關間) 榆津鐵道(山海關、天津間)……距離百四十七哩。

關内鐵道 蘆津鐵道(天津、北京間)……距離八十哩。

ほくしんてい 北清里程 左の如し。

ほくし

海

營口	四十二里	鐵嶺	十六里
北京	百七十五里	復州	七十五里
遼陽	十五里	天津	百七十里
金州	百〇六里	吉林	九十一里
山海關	九十九里	旅順口	百廿一里
寧古塔城	百五十五里	浦潮斯德	二百六十三里
鳳凰城	五十三里	庫春	二百五十五里
京城	二百〇一里	九連城	六十八里
三姓	二百十九里	平壤	百卅六里
開原	二十三里	伯都訥	百五十四里
義州	六十九里	錦州	六十一里
齊齊哈爾城	二百九里		
○自營口至各要地			
奉天府	四十二里	鐵嶺	五十八里
伯都訥	百九十六里	復州	三十三里
遼陽州	二十七里	齊齊哈爾城	二百五十一里
金州	六十四里	吉林	百卅三里
北京	百六十一里	旅順口	七十九里
寧古塔城	百九十七里	天津	百五十六里
開原	六十五里	庫春	二百五十七里
山海關	九十四里	錦州	四十七里

海

三姓	二百六十一里	浦潮斯德	三百五里
○自旅順口至各要地			
奉天府	百廿一里	金州	七十五里
錦州	百廿六里	營口	百卅七里
九連城	百〇四里	鐵嶺	百卅七里
復州	四十六里	開原	百四十四里
遼陽州	百〇六里	吉林	二百四十二里
齊齊哈爾城	三百卅里	京城	二百卅七里
寧古塔	二百七十六里	北平	二百四十二里
平壤	百七十二里	庫春	三百卅六里
天津	二百卅五里	義州	三百卅六里
三姓	三百四十二里	山海關	百〇五里
伯都訥	二百六十五里		百七十三里
○自九連城至各要地			
奉天府	六十八里	鐵嶺	八十四里
北京	二百四十三里	金州	八十九里
遼陽州	五十三里	天津	二百三十八里
旅順口	百〇四里	吉林	百五十九里
山海關	百六十七里	鳳凰城	十五里
寧古塔城	二百廿三里	京城	百三十三里
開原	九十一里	伯都訥	二百廿二里

六六四

海

平壤	六十八里	錦州	百廿九里
○自北京至各要地			
奉天府	百七十五里	開原	百九十八里
墨爾根城	五十七里	營口	百六十一里
錦州	百四十四里	天津	二十九里
復州	百九十四里	鐵嶺	百九十一里
太沽	四十三里	金州	二百廿五里
吉林	二百六十六里	山海關	七十七里
旅順口	二百四十里	寧古塔城	三百卅里
浦潮斯德	四百卅八里	鳳凰城	二百廿八里
庫春	三百九十一里	京城	三百七十六里
九連城	二百四十三里	三姓	三百九十四里
平壤	三百四十五里	義州	二百四十四里
○自山海關至各要地			
奉天府	九十九里	鐵嶺	百十五里
京城	三百里	營口	九十四里
吉林	百九十里	平壤	二百卅五里
復州	百廿七里	寧古塔	二百五十四里
義州	百六十八里	金州	百五十八里
庫春	三百十四里	旅順口	百七十三里

海

三姓	三百八十八里	鳳凰城	百五十二里
○自天津至各要地			
奉天府	百七十里	鐵嶺	百八十六里
營口	百五十六里	吉林	二百六十一里
復州	百八十九里	寧古塔	三百廿五里
金州	二百二十里	庫春	三百八十五里
旅順口	二百卅五里	三姓	三百八十九里
○自齊州至各要地			
浦潮斯德	三百六十一里	鐵嶺	八十五里
奉天府	六十九里	金州	九十里
北京	二百四十四里	天津	二百三十九里
遼陽州	五十四里	吉林	百六十里
旅順口	百〇五里	鳳凰城	十六里
山海關	百六十八里	京城	百三十二里
寧古塔	二百廿四里	庫春	二百廿三里
九連城	一里	伯都訥	九十二里
平壤	六十七里	開原	
齊齊哈爾	二百七十八里		
○自天津至各要地			
奉天府	百七十里	鐵嶺	百八十六里
營口	百五十六里	吉林	二百六十一里
復州	百八十九里	寧古塔	三百廿五里
金州	二百二十里	庫春	三百八十五里
旅順口	二百卅五里	三姓	三百八十九里

六六五

ほくし

鳳凰城 二百卅三里 齊々哈爾城 三百七十九里
 九連城 二百卅八里 北 京 二十九里
 開原 百九十三里 太 沽 十四里
 錦州 四百〇九里 山海關 七十二里
 浦潮斯德 四百卅三里 京 城 三百七十一里
 平 壤 三百四十里 綏 州 百卅九里
 ほくしー 樸州 清國山東省、曹州府にあり。
 ほくせい 北青 (Puk-oheng) 韓國咸鏡南道、東岸の一部
 邑なり。
 ほくしーおーまき 牧東應岬 韓國永興灣頭にある岬名な
 り。

ほくしー 北江 清國廣東省、珠江の下流に在り。
 ほくしーかんたい 北洋艦隊 清國四水師の一にして、渤
 海の沿岸を警備し、其長官北洋水師提督は直隸總督に屬す、
 一時東洋に雄飛せし有力なる艦隊なりしが、日清戦役の際、
 黄海の役及び威海衛の陥落によりて全滅し、現今は畿かに
 當時歐洲に注文せし五隻の巡洋艦を有するに過ぎず、又北
 清事變の際には四水雷艇を失ひ、爾來微々として存はず。
 ほくしーけん 北流縣 清國廣西省、鬱林州にあり。
 ほくしー 北陵 一に昭陵と稱す、清國盛京省、奉天府城の
 北一里餘、隆業山上にあり、清の太宗文皇帝の山陵あるを以

ほくり

て此名あり、永陵、東陵と相並んで、清朝發祥の地に於ける、



(陵 北)

最神聖の地と稱せらる、門を入れば道の左右に有名なる石
 馬あり、路の盡くる所、殿堂樓閣巍然として聳え、四周、壁を

繞らし、樓門あり、正面に隆恩殿あり、太宗皇帝の靈位を祭
 る、其後に土饅頭の山陵あり、隆恩殿の前面左右に數個の建
 造物あり、何れも結構壯麗にして、神威自から高きを覺ゆ、
 城内松林蒼鬱として古樹老幹枝を交へ、境内自から幽邃、蓋
 し奉天附近に於ける唯一の靈場たり。
 ほくれい 北嶺 崑崙山脈の一支脈にして、黄河と楊子江と
 の間に連亘す、華山、嵩山等の諸山嶺之れに屬す。
 ほくろちー 北路廳 清國直隸省、順天府にあり。
 ほくろち 奉化 韓國慶尙道の北部に在り、金銀鑛山の所在
 地として有名なり。
 ほくろちけん 奉化縣 一に寶賈街と云ふ、滿洲盛京省、昌
 圖府の東北約十七里にあり。
 ほくしーけん 蓬溪縣 清國四川省、潼川府にあり。○安綿
 縣 清國陝西省、鳳翔府にあり。
 ほくしーけん 寶慶府 清國湖南省、衡山の四方にありて、資
 江の上流に位す。

ほけん 保縣 故縣にして、四川省茂州にあり。
 ほけん 彭縣 清國四川省、成都府にあり。○鳳縣 清國
 陝西省、漢中府にあり、府城の北方に位し、同府と鳳翔府と
 の間にあり。○豐縣 清國江蘇省、徐州府にあり。
 ほけん 房縣 清國湖北省、隕陽府にあり。

ほくれ

ほらん

ほけんけん 奉賢縣 清國江蘇省、松江府にあり。
 ほくしー 浦項 韓國慶尙道の北海岸迎日灣の西端にあり、入
 口一千五百餘、西南に山を負ひ、北に河を帯び、東方一帯海
 岸に接す、灣内巨船を泊するに難きも、風浪を避くるに足る
 を以て、漁船の出入常に多し、住民多く漁業及び農商に従
 事す、此地釜山以北に於ける製鹽地にして一箇年の製造高
 約一萬六千餘石に達す、毎月一、六、四、九の日市場を開く。
 ほくしーけん 保康縣 清國湖北省、隕陽縣にあり。○浦江縣
 清國浙江省、金華府にあり。○浦江縣 清國四川省、邛州にあ
 り。
 ほくしーけん 封邱縣 清國河南省、衛輝府にあり、もと開
 封府に屬せしものなり。
 ほくしーけん 望江縣 清國安徽省、安慶府にあり。
 ほくしーもん 法庫門 清國盛京省の一部にして、長糧の一
 門たり、奉天府の北約二十里に位す、此地蒙古より滿洲に通
 する大路にある唯一の商業都會にして、滿洲に来る蒙古物
 産の大部は皆此市を通過す、蒙古人の居住者多く、同地方に
 對する重要地點たり、日露戦役の際、我第三軍の占領地にし
 て、同戦役勝利の際、第三軍司令部所在地たり。
 ほくしーちー 懋功廳 清國四川省にあり。
 ほらんけん 保山縣 清國雲南省、永昌府にあり。

ほーさんけん 〇豊山縣 清國江蘇省、太倉州にあり。〇彭山



(門 康 法)

縣 清國四川省、眉州にあり。〇鳳山縣 清國福建省、臺灣縣

にあり。

ほーさんけん 房山縣 清國直隸省、順天府の西路廳にあり。

ほーじさん 帽兒山 清國奉天府の東約三十五里、含金山地にある一都邑にして鴨綠江の沿岸に位す、住民は支那人と朝鮮人との雜居より成る。

ほーしんけん 奉新縣 清國江西省、南昌府にあり。

ほーしー 蒲州 (Puchow) 清國山西省、西南部に在り、舜の故都蒲坂の地なり。

ほーしー 〇蓬州 清國四川省、順慶府にあり。〇澧州 清國湖南省にあり、直隸州たり。

ほーしー 〇蒲州府 清國山西省の西南端にあり、陝西省西安府に至る要路に當る、又同省隰州に蒲縣あり。

ほーじんけん 〇豊酒縣 清國直隸省の遵化州にあり、もと永平府に屬せり。〇豊順縣 清國廣東省、潮州府にあり。

ほーしーけん 保昌縣 故縣にして、廣東省、東雄府にあり。ほーじーけん 〇蒲城縣 清國陝西省、同州府にあり、もと華州に屬せり。〇蒲城縣 清國福建省、建寧府にあり。

ほーじーけん 〇襄城縣 清國陝西省、漢中府にあり。〇豊城縣 清國江西省、南昌府にあり。

ほーしー 〇鳳翔府 清國陝西省にあり、鳳翔縣之れに屬す。

す。

ほーすいけん 彭水縣 清國四川省、酉陽州にありて、もと黔彭縣に屬せり。

ほーせいけん 保靖縣 清國湖南省の永順府にあり。

ほーせきさん 寶石山 清國浙江省、杭州府錢塘門の西にあり、塊石の如きを以て、一に石飯山とも稱す、山頂に保叔塔あり、山麓に秦皇樓船石あり。

ほーせつけん 奉節縣 清國四川省、夔州府にあり。

ほーせんけん 封川縣 清國廣東省、肇慶府にあり。

ほーだいけん 蒲臺縣 清國山東省、武定府にあり。

ほーだいけん 鳳臺縣 〇清國安徽省、鳳陽府にあり。〇山西、澤州府にあり。

ほーたくけん 彭澤縣 清國江西省、九江府にあり。

ほーたん 和闐 (Khotan) 清國新疆省、天山南路にあり、和闐河に臨む、養蠶、紡績の業行はる、第十六世紀頃繁榮せし千國の故地なり。

ほーたんだい 牡丹臺 韓國平壤の北方にあり、大同門通より約一里、日清戦役の際、敵軍の根據地となり、我軍全力を盡して之を攻撃し、大激戦のありたる所として名あり。

ほーちんちー 豊鎮廳 清國山西省、大同府にあり。

ほーかい 渤海 一に北海と稱す、黄海の一部にして、直隸海

峽によりて黄

海に通す、南

に山東半島あ

り、北に遼東

半島ありて海

口を扼す、支

那沿海中最も

深き海入にし

て、中に遼東、

直隸の二支線

あり。

ほーいふ 保定

府 (Baoding)

〇 清國直隸

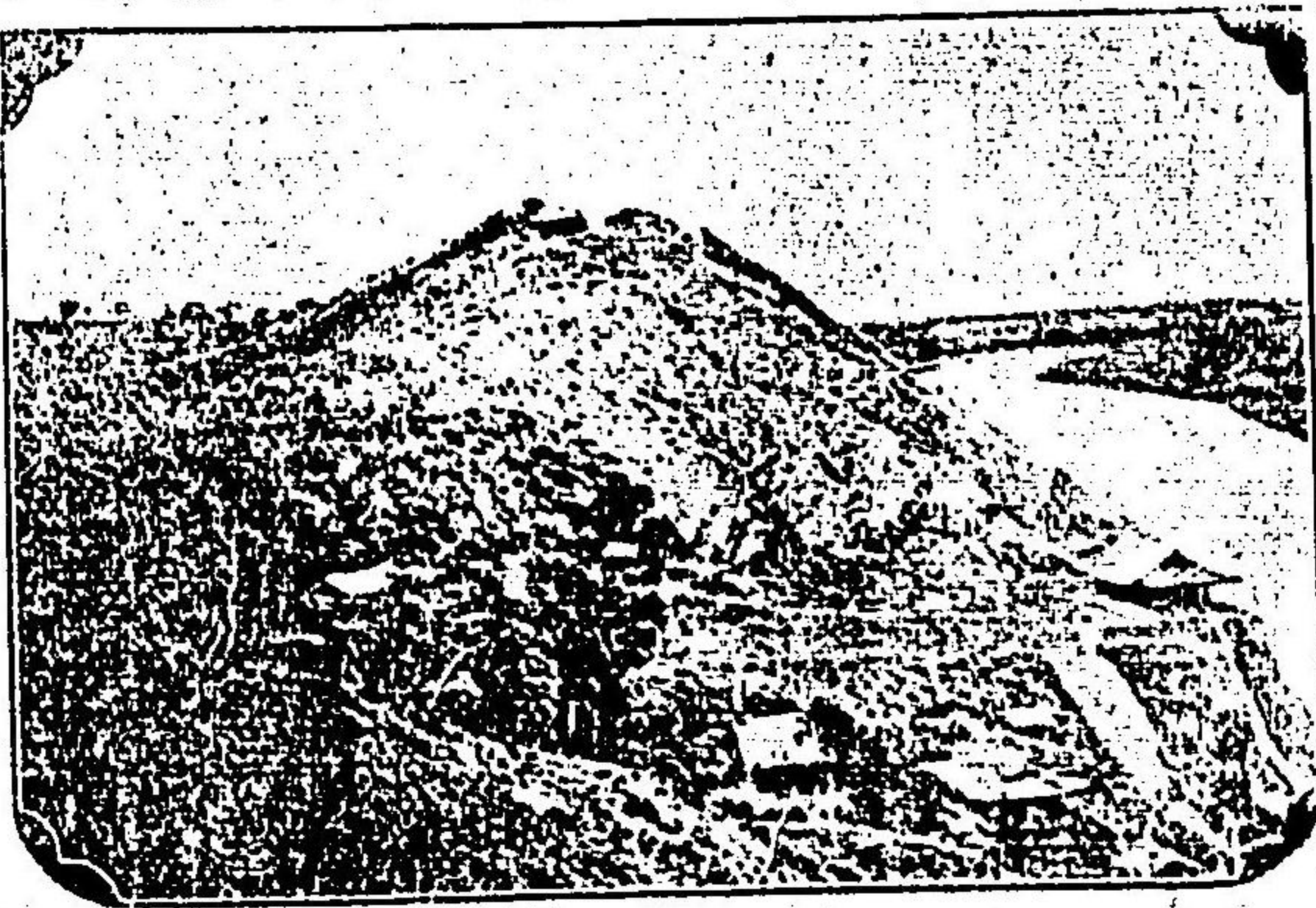
省、北京の西

南八十八哩に

あり、直隸省城の所在地にして、直隸總督此地に駐在す(氷

解の季節には天津にあり)、蘆漢道(北京漢口間)の一驛たり、市街殷盛にして、百貨輻輳し、商業頗る盛なり、人口十萬餘、近時師範學堂の設立あり。

ほーいけん 寶坻縣 清國直隸省、順天府の東路廳にあり。

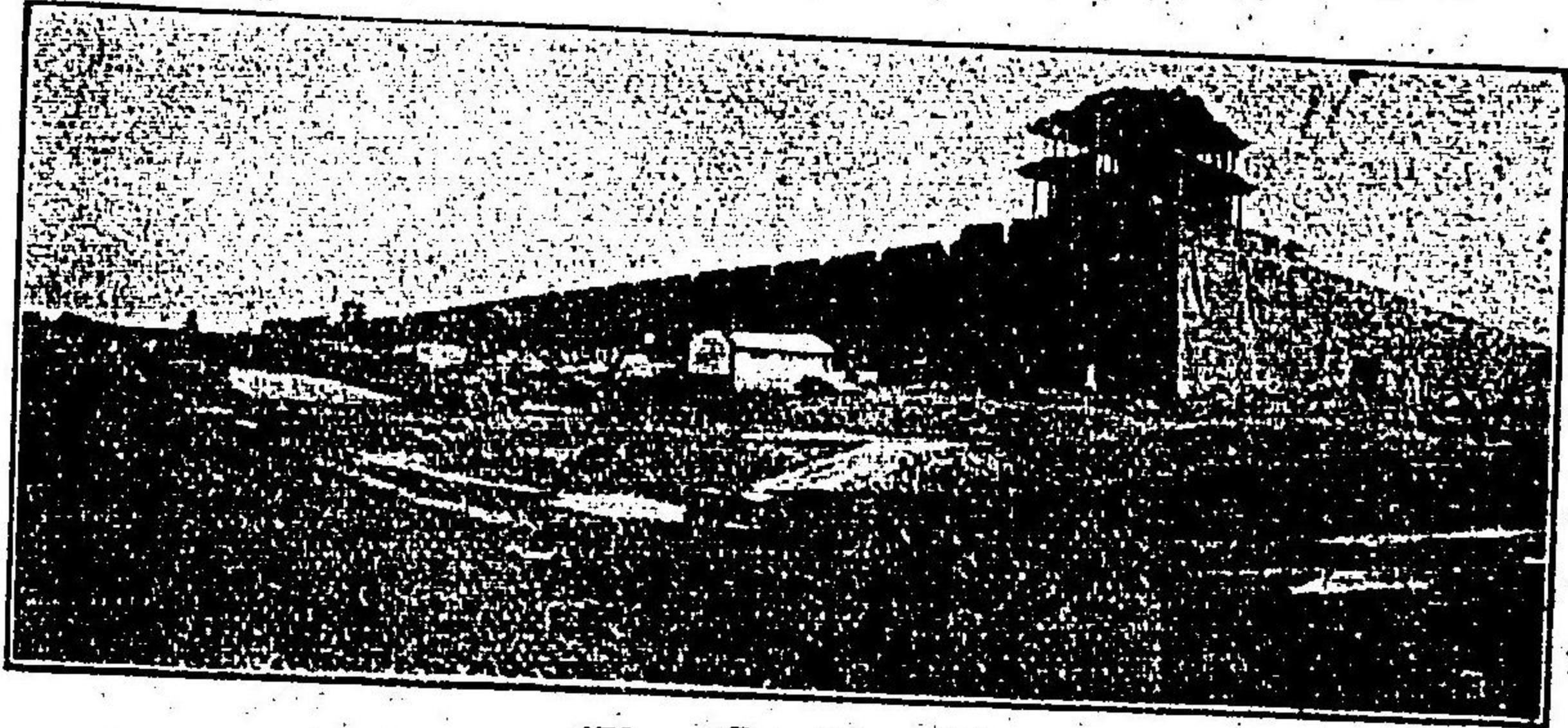


(益 丹 牡)

ほてんげん 蒲田縣
清國編建省、興化府
にあり。

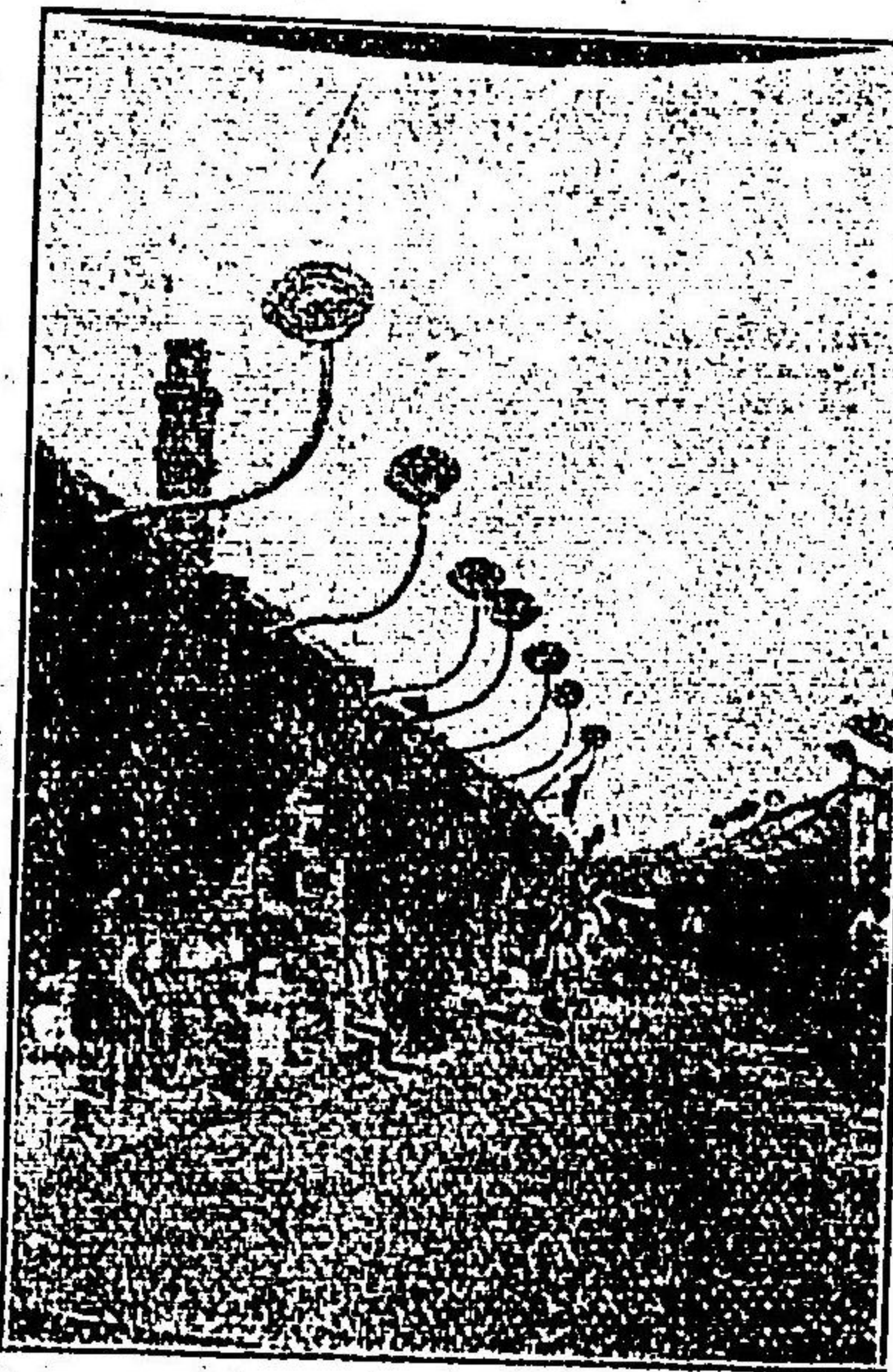
ほてんしよ 奉天
省 滿洲盛京省の俗
稱なり、「せいさんし
よー」を見よ。

ほてんふ 奉天府
(Mukden) 滿洲盛
京省の首府にして、
滿洲唯一の大都會な
り、一に盛京と云ふ、
土俗瀋陽と稱す、東
南に遼河を帯び、西
南に遼河を控え、茫
々たる平原の中に位
し、附近の貨物悉く
此地に集まる、清太
祖天命十年都を遼陽
より徙して帝都と



(壁城天奉)

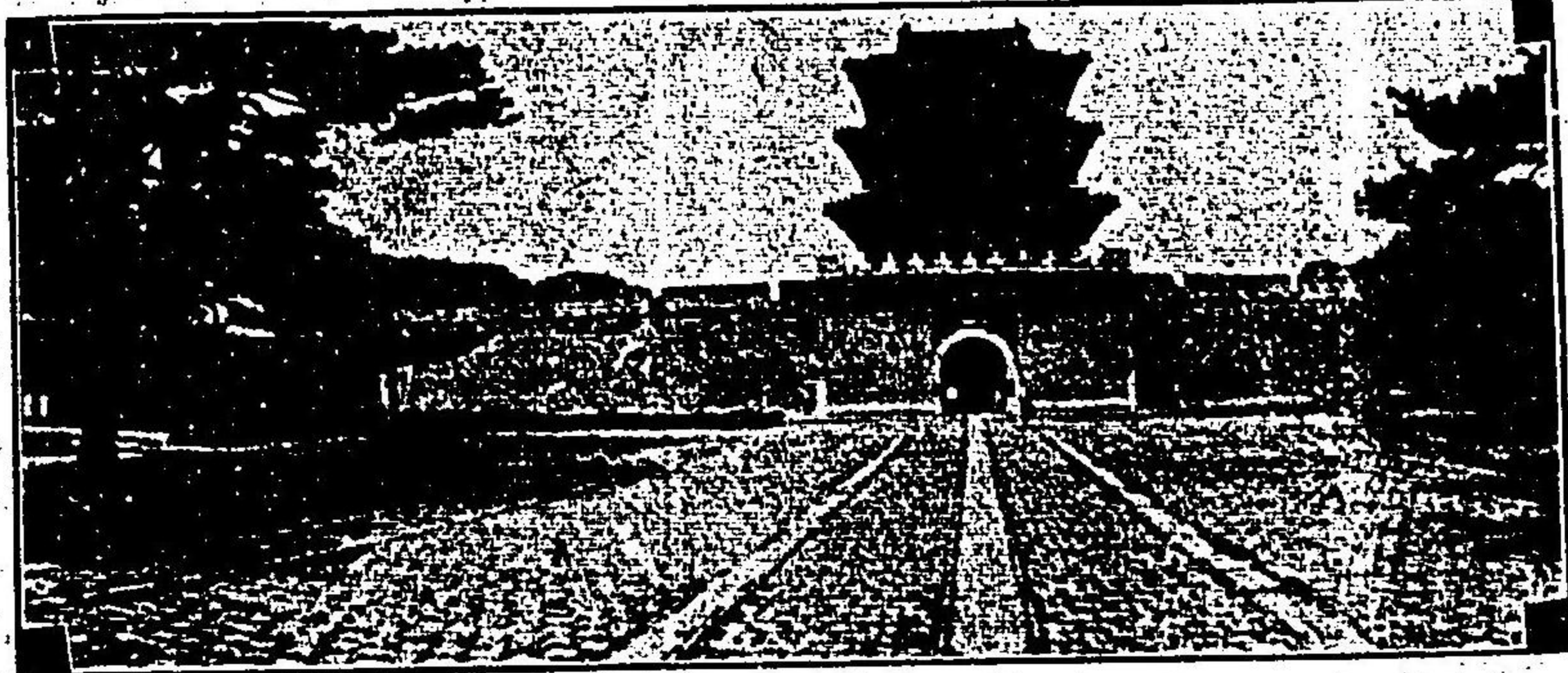
し、其子太宗の天聰五年土工を起して城郭を築けるもの
にして、城は内外二郭よりなり、各々城壁を以て之を分つ、各
壁各八門を備へ、門頭に門櫓あり、至る所砲門を備ふ、外壁
高さ一丈餘、周圍約十哩、内壁は外壁を去る半哩餘にあり、
黒色の甌石を以て築かれ、高さ四丈、幅約一丈五尺、周圍約



(内城天奉)

三哩、外郭は多く商估の居住する所にして、雜貨商、吳服商
毛皮商、藥舖、書肆等備比す、内城は將軍府、都統衙門、戸部、
禮部、刑部、兵部、工部等の各部及び其他の諸官衙あり、内城
の中央に宮殿あり、金鑪殿と稱す、昔時滿洲朝の宮殿にし
て、宮殿の中央大清門を入れば中央に崇政殿あり、一に萬善

(陵北)



殿と稱す、崇徳六年(我
寛永十四年)の築造に
かかり、約二十歩四方
の方形建造物にして、
殿中玉座あり、壁も柱
も天井も悉く悉く龍と
雲との彫刻を施し、金
光燦爛として、其技の
妙を極む、殿の東に飛
龍閣あり、西に鳳翔閣
あり、左右翼王大臣朝
議の所とす、殿後の中
央を鳳凰樓と云ふ、金
銀を鑲め丹背を凝らせ
るの跡、今尙燦然とし
て餘影を止む、樓を挾
んで東に師尊府、日華
樓、西に協中齋、霞綺樓
あり、之を進めば清寧
宮あり、もと太宗皇帝
の殿殿と稱せらる、純

然たる滿洲建造物たり、其西に崇徳閣あり、總恩齋、保極宮
此に續く、其西には有名なる文淵閣あり、清帝室の圖書を藏
する七閣の一にして、四庫全書三萬六千餘冊を藏す、閣後に
仰熙齋、嘉隆堂あり、右に衍慶宮、闡雅宮、左に永福宮、麟趾
宮あり、所謂五歩に一閣、十歩に一宮あるも、今や全く荒廢
して金殿傾き玉樓倒れ、頗る慘狀を呈す、商估の多くは外城
にあるも、内城内の鐘樓、鼓樓の邊を以て最も殷盛の地と
す、府の中心四平街此處にあり、各種の商店軒を並べ、車馬
絡驛、行人輻輳が如し、此地建都以來三百年、名所古蹟の訪
ふべきもの少きも、宗教はあらゆる派を擧げて其根據を求
むるを得べく、佛教、喇嘛教、道教、回教、儒教及耶穌教等
の寺院堂閣悉く備はり、寶寺、黑寶寺、得雲寺、長安寺、大萬
壽寺、天齊宮、天后宮、太清宮等の名利多し、又東門外東三里
に、清太祖武皇帝の山陵たる福陵あり、北門外約一里に太宗
文皇帝の昭陵(北陵)あり、西南に黑溝臺の戰場あり、東南に
撫順の大炭坑あり、滿洲鐵道の停車場は、西門外約廿六七町
に位す、日露戦役に於て露軍此地に據り、遼河を隔てて日本
軍と相對し、全力を盡して、防禦に力めしも精英なる日本軍
の攻撃に堪へがたく、時は明治三十八年三月十日、古今未曾
有の大敗を取り約二十萬の死傷と、山の如き軍器、軍需品と
を委棄して惶惶退軍せり、所謂奉天附近の大合戦之れなり、

戦後日本は此所に領事館を置き、領事を派遣して、對滿洲の事務に執掌せしむ、府の西門外約里許に滿洲鐵道の主要驛たる奉天停車場あり、其附近一里四方はもと露國の租借地として、戦後日本の權利の下に移れり。

ほーとー 豊島 韓國仁川の西南約二十六里の海中にあり、清國芝罘、旅順口等より、牙山に達する航路に當り、近傍水深く、岩礁少し、明治二十七年七月日清兩國韓國問題に關し、風雲頗る急なるの際、我が吉野、浪速、秋津洲の三艦其筋の命を含んで韓國に向ひ、本島附近に至れる際、清國軍艦に邂逅し、戦端遂に開け、激戦の後、大に清艦を破り、濟遠號を走らし、廣乙艦を壞り、次で來れる操江號を捕獲し、巡送船高陞號を沈めたり、爾來其名漸く世に知らる。

ほーとーしー 保德州 清國山西省にあり、直隸州たり。
ほーとーけん 鄆都縣 清國四川省、忠州にあり。
ほーとーけん 望都縣 清國直隸省、保定府にあり。
ほーとーはみるごん 波美留敦港 (Port Hamilton) 韓國濟州島の洋名、「せーしゅー」島を見よ。

ほーねーけん 寶寧縣 清國雲南省、廣南府にあり。○豐寧縣 清國直隸省、承德府にあり。
ほねーふ 保寧府 清國四川省、順慶府の北にありて嘉陵江の東岸に位す、府の北方に劍門山あり。

同府下の接下は漢の劉邦が楚の項羽を圍みし地として有名なり。

ほーらいつけん 蓬萊縣 清國山東省、登州府にあり。
ほーれいこ 彭蠡湖 清國鄱陽湖の舊稱なり、「ばんよー」湖を見よ。
ほろんこ 呼倫湖 蒙古、滿洲、西比利亞の界に近き所におり、周圍約一百里、克魯倫、喀爾喀等の諸大河北に匯し、其水流れて額爾古納川となり、東北流して黒龍江に注ぐ。

ほはん 蒲阪 「ほしゅー」(蒲州)を見よ。
ほーほーけん 寶豐縣 清國河南省、汝州にあり。○甘肅省、寧夏府にあり。

ほんけーこ 本溪湖 清國盛京省、奉天府の東南約二十里にある一小村邑にして、商業稍盛なり、明治三十七年十月日露兩軍の激戦地として名あり。

ほんごん 香港 (Hongkong) 清國廣東省、珠江口の東に在る面積僅かに三十方哩の一小島にして、九龍と相對す、東北、ライモン水道に依て、大陸を距る、僅かに半哩、市街海に沿ひ山麓を繞り、大廈高樓相重なり、結構壯麗にして、風光亦佳なり、此地もと香山と稱し清領なりしが、西紀一八四一年南京條約の結果、イギリス領となる、東洋無比の良港にして、港内水深く大船巨舶の碇泊に便なり、歐、米、滿洲等より東亞に至る船舶は必ず當港に碇泊す、我長崎を距る千七十哩、英國東洋艦隊の根據地にして、對岸九龍に砲臺あり、商業極めて盛にして、諸官衙、學校、病院等の設備悉く備はる、主要なる貿易品は鴉片、砂糖、棉花、綿布、麵粉等なり、日本領事館、正金銀行、三井物産、日本郵船、東洋汽船會社等の各支店あり、人口約廿九萬、香港總督其行政權を掌握す。
ほーよー 鳳陽 (Fengyang) 清國安徽省の北部にあり、蘆州府の北方、淮水の右岸に位す、明の太祖勃興の地なり、又

まいまちん 賈買城 (Jaimachin) 露清兩國の境にある外蒙古の一大市場にして、アルタイ山中に位す、恰克圖(キヤフタ)と相對し、露國との陸上貿易盛にして、販茶の貿易殊に盛なり、人口約四千。

まかお 澳門 (Macao) 清國廣東省、珠江口の一小島に在る要港にして、我徳川時代に交通せし媽港、又は天川の地なり、人口約七萬八千、市街莊麗にして、氣候最も健康に適し、溫度は平均七十三度なり、重に鴉片の貿易營まる、西紀一五五七年明の武宗の時、葡人始めて來航して通商を許され、一五八六年以來ポルトガル領となり、東洋貿易の中心地として、一時頗る繁盛を極めしが、後本國政府の衰ふるとともに漸次衰微し、殊に香港の開港以來商權全く其地に移り、其勢全く振はず。

まじーしー 麻哈州 清國貴州省、都勻府にあり。
まさんかく 馬山角 (Mahan Point) 清國山東富角の頸地を横断せる山脈の突角にして、其西約一哩に馬鞍山あり、白雲を産す。

まさんじーし 馬山城址 韓國慶尙南道、馬山浦港を距る

一里餘の北方、天柱山脈の丘上にあり、文祿の役、昌原府城を築きし處にして、城址今猶存す。

まろんぼ 馬山浦 (Ma-san-po) 韓國釜山の西南十四里餘に位し、加徳島、巨濟島其前面を掩ひ、一大灣を成す、明治三十二年の開港にして、人口五千、米、大豆、棉花等を輸出す、高麗王朝時代の合浦にして、元寇の艦隊の發着所たり、又倭寇の根據地として有名なり、又嘗て日露兩國此地に專管居留地を得んとして、激しく競争せしことあり、我邦の居留民多く、理事廳、郵便局、學校、銀行



(浦 山 馬)

會社等あり、其外灣を鎮源灣と稱す、此地を距る北方一里餘、舊馬山の北數町に馬山城址あり、文祿の役我軍の據れる所たり、此地海には我大阪商船會社の定期航海船の寄港あり、陸には京釜鐵道の支線たる嶺南鐵道の敷設あり、交通極めて便なり。

まじえけん 麻城縣 清國湖北省、黃州府にあり。

まろんぼい 馬息嶺 韓國元山の西方にあり、平壤に出づる要路に當り、壬辰の役に加藤清正、日清戰役に元山支隊共に艱難を極めし所なり。

まてんれい 摩天嶺 清國盛京省、鳳凰城より奉天府に至る間の第一の險路にして、連山關より王家庄、花子鋪子、李家鋪子等を経て五峯觀に至り、是より、嶮峻なる坂路を経て摩天嶺に達す、峻山幽谷、嵯峨として相連り、極めて天嶮の地たり、日露戰役に於て露軍此地に據り防備を堅うせしが、我が其一軍の突撃に遇ひ、戰破れて遂に退却せり。

まつしま 松島 嶺南島の別稱、「まつりよとー」を見よ。

まつかつ 鞞鞞 周の世には肅慎、漢魏の頃には挹婁、後魏には勿吉、三韓隋唐には鞞鞞と云へり、今の滿洲人の祖先にして、粟末(又は粟末)、伯咄、安車骨、拂涅、號室、黑水、白山の七部に分る、粟末鞞鞞は初め高句麗に屬せしが、高句麗の滅亡後部酋大祚榮出で漸く版圖を擴大し、今の滿洲全部を併

せ、渤海國王と稱せり、黒水鞞鞞是に屬せしが、渤海國の滅亡後熱女眞、生女眞の二に分れ遂に屬せり、後女眞と改む、金の祖先函普は此生女眞より出づ。

まろんぼい 摩尼山 韓國江華島の北部に築ゆ、上古檀君の天を祭りし處と稱せらる。

まほ 麻浦 韓國漢江に沿へる貨物集散地なり。

まんげつたい 満月臺 韓國開城府にあり、もと高麗王宮殿のありし所にして、今滅びて僅かに其遺趾を存するのみ、其北一里半に太祖の陵墓あり。

まんけん 萬縣 清國四川省にあり、宜昌、重慶間水路の中心に當り、貨物の中繼所たり、人口約十五萬、商業頗る盛なり。

まんごーこー 万項江 韓國全羅道の東北隅なる富貴山に發し、西流して金州の北を過ぎ、益山、臨陂等の各邑を貫き海に入る。

まんしゅー 滿洲 (Manchuria) 支那本部の西北に位し、北緯三八、四〇の金州半島旅順岬に起り、同五三、三〇の黒龍江右岸に達し、又東經一一七、五〇の長城に接する地より、同二三、二〇の黒龍、烏蘇里兩江の合點に達す、面積六三、六六二方里、盛京、吉林、黒龍江の三省に分ち、各將軍ありて統治す、滿洲はもと滿珠に作り、滿洲源流考の記する所によれ

ば、毎歲四歳より滿洲朝廷に獻する丹書の中に「曼珠師利大皇帝」との尊稱あり、而して「曼珠」とは妙吉祥の義にして、一に曼室利とも作る、曼珠室利は毘盧遮那の本師にして、殊と殊と同音、室と師とは一音なり、滿洲の名義は實に曼珠室利に出づ、其滿洲と書くに至れるは曼は滿にして、殊は洲と相通す、是を以て遂に假用して地名とせるなり、現今歐洲にて滿洲をマンチュリア (Manchuria) と稱す、もと偶然に出でしならんも、却て本來の音を保てるは、頗る面白し。

まんしゅーのえんがん 滿洲沿岸 滿洲の沿岸は鴨綠江口より旅順岬に至る迄三百三十六裡、其より山海關迄、二百四十裡あり、遼東灣一帶の沿岸は淺瀬多く良港灣極めて少く、唯遼河口の營口あるのみ、然るに南方沿岸は良港灣頗る多く、最西端に旅順口、遼いで、大連港等あり、何れも大船巨船の碇繋自山なり、東海岸には良港灣少く、皮子窩、花園口、莊家口、大孤山、大東溝等あるも、大東溝を除きては安全なる汽船の碇繋場少し。

まんしゅーもじ 滿洲文字 清の太祖努爾哈赤滿洲を征服し、一帝國を形成するや滿洲に一の文字なきを患ひ、有司に命じ、蒙古文字に基き新に新文字を作らしむ、滿洲語は二十五韻(母音六、子韻十九)より成り文字も亦之に相當す、其書法、紙面の上端より下端に直線を引き、記すべき文字首語の



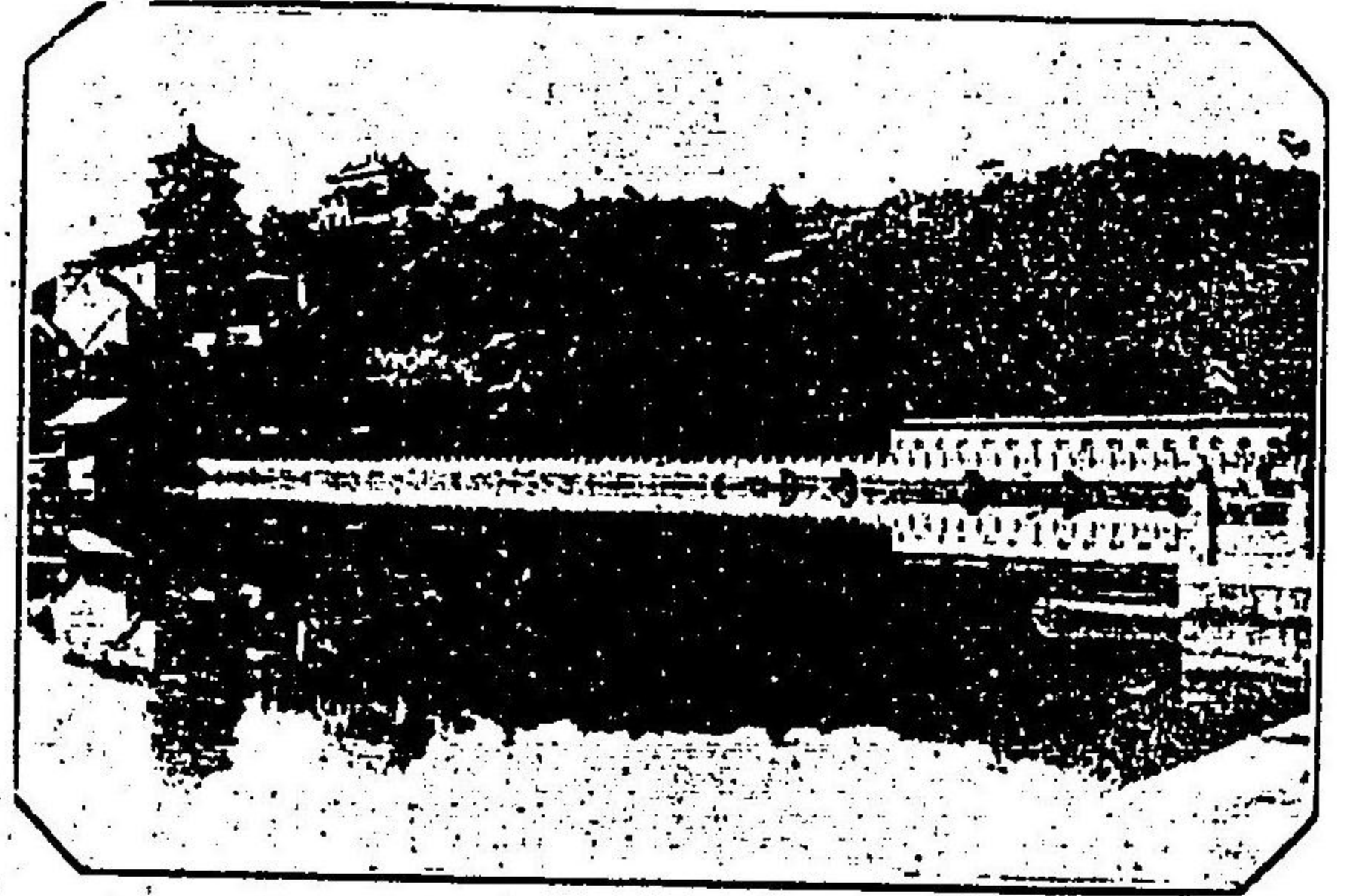
(字 文 洲 滿)

形を作るに必要な並線曲線を、支那筆を以て直線の兩側に附加す、其言語文字共に單純にして、唯一の性を有するのみ、其讀み方も、紙面の左の上端より下方に讀む。

まんじゅさん 万壽山 清國北京の西北三里にあり、昆明湖に臨み風光頗る佳にして、北京近郊第一の勝地と稱せらる、四太后の好んで臨遊せられし所にして今離宮あり、苑内の設備極めて壯大なりと、もと此地に有名なる圓明苑ありしが、英佛同盟軍の北京攻撃の際兵火に罹り、今其遺址を存す。

まんじゅーのころそー 滿洲穀倉 松花江、及烏蘇里江の

(山 壽 萬 京 北)



境「マンチュリア」より「ハルビン」を経て、ニコリスク、滿洲國境線の一端グロデコフに達せしめ、一方にはハルビンより旅順、大連に至らしめしものにして、一に東清鐵道と稱す、而して、其工事は一八九六年に始まり、一九〇二年に落成し、延長約一七二〇哩、工事費約三億八百萬圓と稱せらる。

流域地方を云ふ、蓋し此地方は地味肥沃にして、五穀の産多きより此名あるなり。

まんじゅーてつ

どー 滿洲

鐵道 露國

が馬關條約に

干渉せし結果、清國より

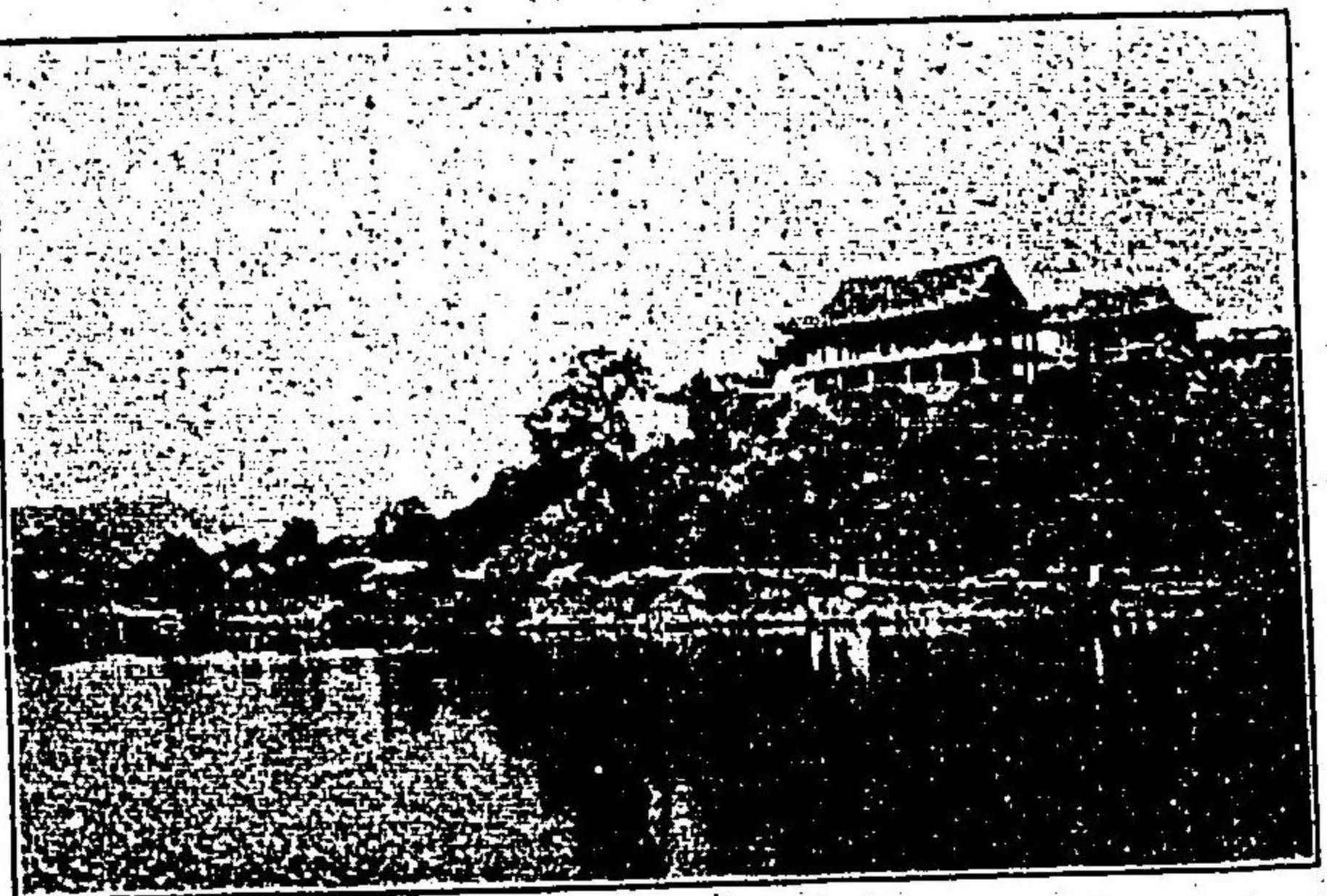
同鐵道敷設權を得しに基

き、滿洲の國

みつうんけん 密雲縣 清國直隸省、順天府の北路廳にあり。

みつけん 密縣 清國河南省、開封府にあり、もとは許州府に屬したるものなり。

みつよーふ 密陽府 韓國慶尙北道にあり、釜山鎮を距る約三十哩、東西北の三面山を亘ひ、南は一帶平野に接す、戸數約八百、



(光 風 の 陽 密)

戸數約八百、

る、今や日露戦役の結果として、長春以南悉く我が國有に歸し、其經營として、南滿洲鐵道會社の創立を見、朝野の紳士數十名、其創立委員として任命せらる。

まんじょーけん 滿城縣 清國直隸省、保定府にあり。

まんごごさん 滿徳山 韓國元山津を距る西北約二里、文祿の役、加藤清正京城より威鏡道に進撃の際此地に築ける所にして、周回十餘町、石壘今猶存す、背後に道路あり、麓より六町餘にして山頂に達す、山頂の眺望極めて佳なり。

まよーけん 麻陽縣 清國湖南省、沅州府にあり、もと辰州府に屬したるものなり。

府城の東十五
六町に京釜鐵
道停車場あ
り、城内の中
央に郡衙あ
り、日本憲兵
駐在所、電信
隊屯所等あ
り。

みんぎん 閔

江 (Ming-
Kiang) 「びん

こー」を見よ。

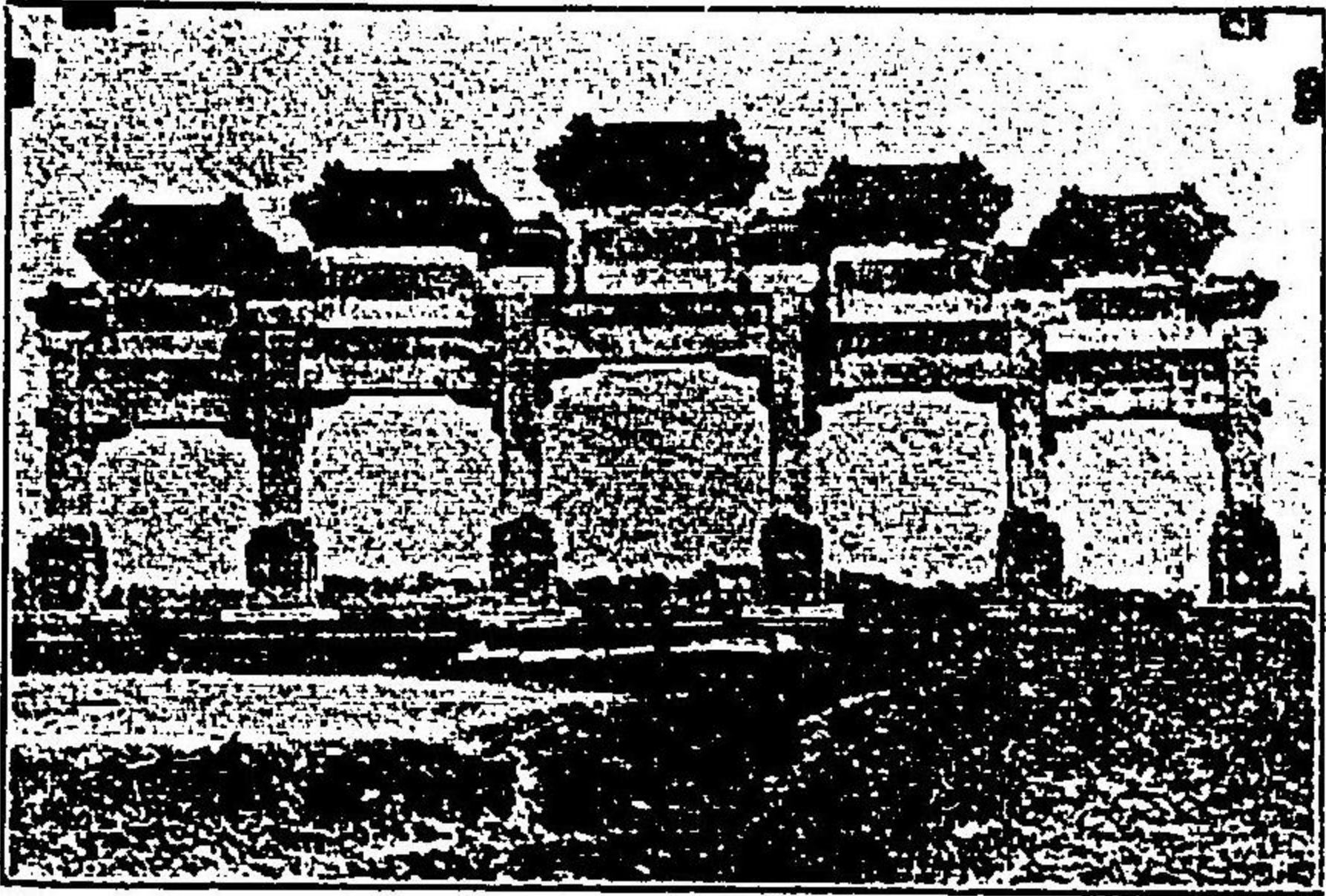
みんのじょーさ

んりょー 明

十三陵 清

國直隸省、順天府昌平州の正北に在り、明の永樂以來十四世
(内重祚一)の陵墓にして、其十二は明代の經營に係る。

みよーこーさん 妙香山 韓國平安道价川にあり、檀君のあ
りし所として知らる。



(陵三十朝明)

錫山と稱す、蘇州を距る十三里、大運河の咽喉に當り、水運
の便多し、附近地味肥沃にして、農産物多く、米、麥、豆等の
産地として古來有名なり、近時又養蠶地として繭糸の集散
省内第一位を占む、人口約十萬、市街繞らすに城壁を以て
す、規模小なるも清潔の點に於て蘇州府に勝る。

む

むあん 務安 韓國木浦の別稱、「もつほ」を見よ。

むくでん 奉天府 (Mukden) 奉天府の木名、滿洲語にて盛
字の意なりと、「ほーてんふ」を見よ。

むこ 蕪湖 (Wuhan) 清國安徽省にあり、揚子江の南岸に位
し、上海を去る二百五十八哩、南京を距る約五十哩、一八七
七年芝罘條約により開かれたる開港場にして、舟楫の便多
く、附近の産物多く此處に集散し、商業稍盛なり、土地高燥
にして街衢整然、人口約四十萬、故李鴻章一家の住家あり、
城内の家屋多く其所有にして、李氏の之によりて利する所
極めて莫大なりと、米、麥、豆、絹織物等を産出す、米の産出
一ヶ年約三百萬兩にして、年々増加の傾ありと。

むーさん 茂山 韓國の最北豆滿江の上流にあり、京城を距
る百三十四里、有名なる大森林の所在地たるを以て北韓に
於ける最重要地點たり、露國嘗て此森林採伐權を得て盛に
伐採せることあり、此地より江流に沿ひ下ること三十餘里
にある會寧府は、文祿の役加藤清正韓國二王子を生擒せる
の地として知らる。

むしやく 無錫 清國江蘇省にあり、太湖の北方に位す、一に

め

めいえーしー 茗盈州 清國廣西省、太平府にあり。

めいこーちー 明江廳 清國廣西省、太平府にあり。

めいざんけん 名山縣 清國四川省、雅州府にあり。

めんけん 沔縣 清國陝西省、漢中府にあり。

めんざんざんみやく 綿山山脉 韓國の嶺南山脉なり。

めんしー 綿州 清國四川省の直隸州たり。

めんちやくけん 綿竹縣 清國四川省、綿州に屬す。

めんつゝ 蒙自 (Montze) 「もーこ」を見よ。

めんねーけん 緬寧縣 清國雲南省、順寧府にあり。

めんよーしー 沔陽州 清國湖北省、漢陽府にあり、もと
安陸府に屬せしものなり。

も

もいんけん 蒙陰縣 清國山東省、沂州府にあり。

もくすい 沐水 清國山東省、沂州府、臨朐縣の沂山に發し、江蘇省、淮安府、安東縣に至りて淮水に入る。

もくよーけん 沐陽縣 清國江蘇省、海州府にあり。

もくちやー 蒙化廳 清國雲南省、普洱府にあり。

もーけん 蒙縣 清國河南省、懷慶府にあり。

もー 蒙古 (Mongolia) 支那の外藩にして、支那本部の北部にあり、北緯三七、より同五二、一〇に至り、東經八六、より同一二七、に亘る、東は嫩江により滿洲に境し、西は甘肅及び新疆省に隣り、南は直隸、山西、陝西等の諸省に接し、北はアルタイ山脈を以て四比利亞と界す、面積約二十四萬八千四十七方里にして、我國の約十倍あるも其の三分一は沙漠なり。

もーこのじゅーみん 蒙古住民 「カルカ」、「カルマック」、「ウリアンハイ」、「ツングース」、「トングアン」の五種にして、就中「カルカ」人最も多く、人口の殆んど三分二を占む、圓顔にして頬骨秀で、身體強壯にして、性極めて慍悍なり、往古雄壯絶倫の聞え高く、嘗て歐亞の天地を蹂躪し、膨大なる支

那帝國を一統せしが、漢人種と混合するに至り、其性變じて、貪婪、懶惰となるに至れり、遊牧の民多し。

もさん 茂山 (Mohan) 「むーさん」を見よ。

もーじ 蒙自 (Mengze) 清國雲南省の東南隅、盤江の上流に位す、一八八六年に開かれたる開港場にして、東京地方との陸上貿易盛なり、人口約一萬、海拔四千五百餘呎の高原に位す、氣候溫和なるも瘴氣多く、疫病流行の畏あり。

もーしんけん 孟津縣 清國河南省、河南府にあり。

もーしやー 茂州 清國四川省の直隸州たり。

もーじやーけん 蒙城縣 清國安徽省、潁州府にあり。

もーぼ 木浦 (Mokpo) 韓國全羅南道の西端、榮山江の河口に在り、明年三十年に開かれたる開港場にして、前に多島海あり、漁業の利多く、後に湖南の平野を控え、農産豊かなり、我領事館、及大阪商船會社出張所あり、在留邦人は重に米の取引に従事す、其港又極めて良好にして、水深七尋乃至十二尋あり、特に深く灣入するを以て風浪の患なし、市街數區に分れ、領事館通、東海岸通は尤も殷盛にして、商賈軒を並べ、賣買取引極めて盛なり、居留地は港の西方險遼山の麓にあり、面積約三十萬坪、榮山江及び其支流に臨む、居留民は日本人最も多く、明治三十七年六月の調査によるに千三百餘人あり、我が理事廳、郵便局、警察署、居留民役所、商

業會議所、病院、小學校等あり、日本郵船會社、大阪商船會社、大韓共同郵船會社等の汽船の定期航海あり、輸出品の重なるものは、米、大小豆、海草、牛皮等にして、輸入重要品は金巾類、紡績糸、天然木綿、石油等なり。

もめいけん 茂名縣 清國廣東省、高州府にあり。

や

やんづきん 揚子江 (Yangtziang) 「よーすん」を見よ。

やんぱん 兩班 韓國の貴族にして、文班(東班)、及武班(西班)の別あり、政府最高の位置を占め、政府、及社會に於て最も勢力を有するものなり。

やるかんと 葉爾羌 清國新疆省、天山南路喀什噶爾の東南にあり、商業上の中心地にして、露領トルキスタン及びカシミルとの貿易盛なり、市街繁榮にして、人口多く、寶石、皮革、馬、絹布等の産多し、領隊大臣茲に駐在す。

ゆ

ゆきわん 雄基灣 韓國の最北部豆満江口の南、遼山灣の西端にあり、灣口東南に開き灣内廣く、水深五尋乃至十二三尋、大船巨船の碇繋に便なり、此灣は露領ホシエットに接近し、且つ浦沙斯徳へ交通の便あるを以て、外船の來泊するもの多し、灣の北岸に雄基里あり、戸數百五十許の一小部落たり。

ゆくかん 榆關 山海關を見よ。

ゆいけいけん 尤溪縣 清國福建省、延平府にあり。

ゆひん 榆縣 清國直隸省、永平府にあり。

ゆいけん 融縣 清國廣西省、柳州府にあり。◎雄縣 清國直隸省、保定府にあり。

ゆじけん 榆次縣 清國山西省、太原府にあり。

ゆしんてつとー 榆津鐵道 清國太沽、天津より山海關に至る鐵道にして、光緒七年(我明治十三年)清國鑛業會社の經營にして、白河々口北塘より、開平炭鐵道敷設せし同國最古の線路にして、清國鐵道の先驅をなせしものなり、其後天津より太沽を経て唐山に及び、光緒十六年遂に山海關に至り、次で榆津鐵道と命名せり。

ゆしけん 榆社縣 清國山西省、遼州に屬す。

ゆいしゅー 裕州 清國河南省、南陽府にあり。

ゆいすい 洧水 清國河南省、禹州の四方に發し、同省陳州府の附近にて潁水に入る。

ゆせん 榆川 韓國慶尙道清道郡にあり、西北山を貫ひ、東南川に臨み、交通の便多く、古來慶尙道樞要の驛邑にして、密陽大邱間の通路必ず此處に依る、此地の北方數十町に京釜鐵道停車場あり。

ゆいせんけん 洧川縣 清國河南省、開封府にあり。

ゆたつざん 諭達山 韓國全羅南道木浦の附近にあり、山高からざるも、峻巖絶壁、鏡鏡として聳え、山上の風景殊に佳なり。

ゆいへい 勇兵 清國に於て、國家危急の際に當り、召集する義勇兵にして、咸豊の亂後、綠旗兵の缺乏を補ひしに由來し、現今は各省より募集して、不虞に備ふ。

ゆいよーしゅー 西陽州 清國四川省の直隸州なり、もと四川省の黔陽廳に屬せしものなり。

ゆりん 榆林 清國陝西省に榆林府あり。◎榆林縣は同府に屬す。

よ

よーあんかん 陽安關 今の清國陝西省、漢中府、寧羌州、褒城縣の西北にあり、一に陽平關又は漢陽關と稱し、古ハ蜀漢の三關の一にして重嶮とせし所、漢魏攻争の地なり。

よかんけん 餘干縣 清國江西省、饒州府にあり。

よききくけん 陽曲縣 清國山西省、太原府にあり。

よきじょーけん 翼城縣 清國山西省、平陽府にあり。

よきせん 沃川 韓國忠清道の西南隅にありて、京釜鐵道線路中の一驛なり。

よきそ 沃沮 往古韓國咸鏡道に據りし國なり。

よきちどー 欲知嶋 韓國慶尙道にあり、統營を距る約八里の海中にあり、本邦人之を鹿島と稱す、東海岸にある東港は、港内廣く、水深約九尋、大艦巨船の碇繋に適し、極めて良港たり。

よきちちん 陽花鎮 韓國京畿道にあり、曾て日本は之を開市場とせんとせしが、後ち英國の發議によりて、之を同道龍山に移すこととせり。

よきくかん 陽關 清國、四川省、涪州の西にあり、夔州魚腹縣の江關、峽州巴山縣の捍關と共に三關と稱せらる。

よきよーけん 弋陽縣 清國江西省、廣信府にあり。

よけいけん 餘慶縣 清國貴州省、平越州にあり。

よーけん 容縣 清國廣西省、梧州府にあり。◎葉縣 清國河南省、南陽府にあり。◎洋縣 清國陝西省、漢中府にあり。

よーこくけん 陽穀縣 清國山東省、兗州府にあり。

よこくけん 餘杭縣 清國浙江省、杭州府にあり。

よこけん 陽湖縣 清國江蘇省、常州府にあり。

よーこーけん 陽高縣 清國山西省、大同府にあり。◎陽江縣 清國廣東省、肇慶府にあり。

よーこーふ 沃溝府 韓國全羅北道にあり、群山浦を距る二里、全州街道にあり、此地もと沃溝郡なりしが、群山の開港とともに府に改稱し、府衙を置く。

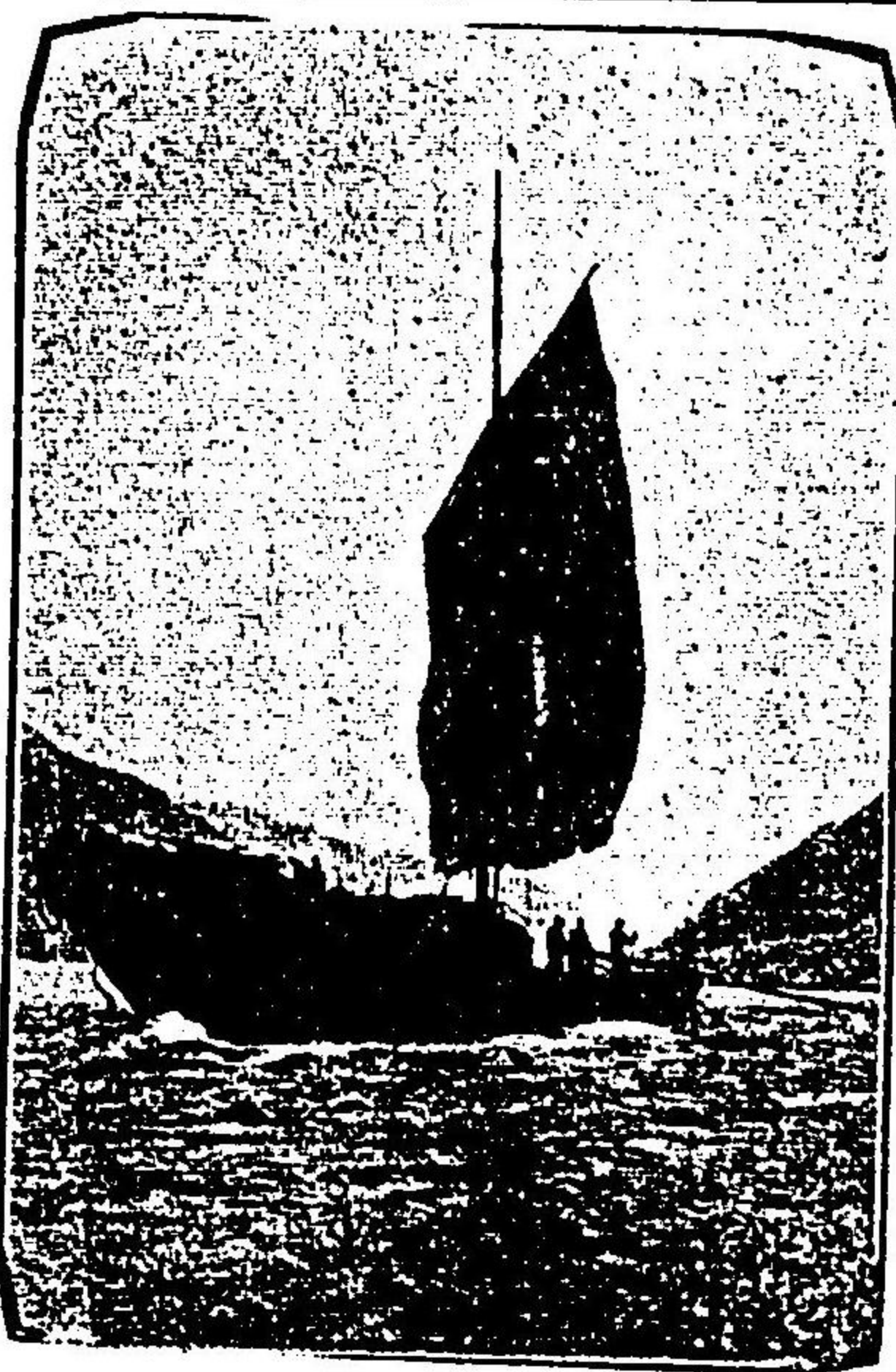
よーさくけん 陽朔縣 清國廣西省、桂林府にあり。

よーさんけん 陽山縣 清國廣東省、連州にあり。

よーしんけん 陽信縣 清國山東省、武定府にあり。

よーしゅー 楊州 (Yang-chau) 清國江蘇省南部の一都會にして、鎮江の北に在り、民俗華奢にして佚惰なり、附近名勝畫蹟多し。◎姚州 清國雲南省、楚雄府にあり、もと姚安府に屬す。◎梧州 清國廣西省、西安府にあり、もと直隸州たり。◎揚州 韓國京畿道にあり、其清涼里に今帝の妃閔后の

陵あり。
 よーじよーけん 陽城縣 清國山西省、澤州府にあり。◎容城縣清國直隸省、保定府にあり。
 よーすこー 楊子江 (Yang-tze-kiang) 亞細亞洲第一の巨流にして、世界に於て第三位を占む、上流を金沙江と云ひ、



(江子楊)

重慶府附近以下を長江、又は大江と稱し、南京より下流を楊子江と云ふ、源を西域の北部哈齊地方に發し、東南流して本部に入り、雲南、四川を貫き、左岸に涇江、嘉陵江を入れ、右岸に烏江を併せ、湖北省に入り、湖南省洞庭湖に出で、江四省を過ぎて鄱陽湖を合せ、安徽、江蘇の野を貫流して黃海に

注ぐ、全長一千五百里、其三分二は舟楫の便あり、航洋汽船漢口迄(下流より六百八十哩)溯航するを得べく、通常の汽船は宜昌迄至るを得べし、されば本支流に沿へる開港場は、十一ヶ所の多きに及ぶ、沿岸地味膏腴にして、農産豊かに支那の富源は此所に集合すと云ふも過言にあらざるなり。
 よーすこーりよーえきちほー 楊子江流域地方 清國四川、貴州、湖南、湖北、江西、安徽、浙江、福建の九省を云ふ。
 よーぶけん 陽武縣 清國河南省、懷慶府にあり。
 よーまん 陽方 故分州にして清國廣西省、思恩府にあり。
 よーりけん 餘姚縣 清國浙江省、紹興府にあり。
 よーりしー 養利州 清國廣西省、太平府にあり。
 よーわきしー 養和宮 清國北京府の東北、北京内城内の東北にあり、喇嘛の大神院にして、黄色の瓦を以て葺き東閣、西閣の二に分れ結構壯麗なり、本寺は清の雍正帝即位の後創立せるものなり。

ら

らゐんけん 來安縣 清國安徽省、滁洲にあり。
 らいしーはんごー 雷州半島 (Dien-tan) 清國廣東省の西南部にあり、西は東京灣に瀕し、東は支那海に臨み、南は海南海峡を隔てて海南島と相對す。
 らいしーふ 萊州府 清國山東省にあり、萊州灣に臨む、沿岸貿易をなすも、未だ樞要の地たる能はず、附近に砲臺あり。◎雷州府 清國廣東省、雷州半島にあり、附近平野多く、地味亦肥沃なり。
 らいしーわん 萊州灣 (Lai-chau Bay) 清國山東省、萊州府の沿岸にあり、直隸灣の南首にして、直經四十五哩、其北部非常に淺くして、海上五洲の處、猶一尋に過ぎず、新河、華河の兩河、此に注ぐ、萊州府の附近に一砲臺あり。
 らいすいけん 深水縣 清國直隸省、易州にあり。
 らいはちやー 雷波廳 清國四川省、敘州府にある故衛なり。
 らいひんけん 來賓縣 清國廣西省、柳州府にあり。
 らいぶけん 萊蕪縣 清國山東省、泰安府にあり。
 らいほーけん 來鳳縣 清國湖北省、施南府にあり。

らゐよーけん 萊陽縣 清國山東省、登州府にあり。◎來陽縣 清國湖南省の一都會にして、衡州府に屬す、湘潭の南に在り、有名なる石炭の産地なり。
 らくあんけん 樂安縣 清國江西省、撫州府にあり。◎清國山東省、青州府にあり。
 らくくわいけん 樂會縣 清國廣東省、瓊州府にあり。
 らくげつごー 落月嶋 韓國木浦の西北海中、智島の近海にある小島にして、近海蝦族の産多し。
 らくさんけん 樂山縣 清國四川省、嘉定府にあり。
 らくしけん 樂至縣 清國四川省、潼川府にあり。
 らくしーけん 樂昌縣 清國廣東省、韶州府にあり。
 らくすい 洛水 (Lo-tse) 清國河南省を流るる黃河の一支流にして、源を家嶺山に發し東流して豫縣に至り黃河に注ぐ、其流域土地豊饒にして五穀の産多し。
 らくせいけん 樂清縣 清國浙江省、温州府にあり。
 らくせんけん 洛川縣 清國陝西省、鄜州にあり。
 らくていけん 樂亭縣 清國直隸省、永平府にあり。
 らくごー 洛東 韓國、慶尙道洛東江の上流にあり、江流舟航の最終點にして、此地より十二里嘉興に至り、漢江の水運により京畿地方に通ず、故に征韓役及日清戦役ともに糧道の一一起點となれり。

らくごーろー 洛東江 (Rakto-jo-kan) 韓國慶尙道の大
河にして、源を太白山に發し、南流して、數多の支流を入れ、
金海に至りて海に注ぐ、全長七十里、其流域は重要なる農産
地にして、河水又運輸の便に富む、江口に加徳島及び其他の
島嶼あり。

らんなんけん 淮南縣 清國陝西省、商州にあり。
らくへいけん 樂平縣 清國江西省、饒州府にある故縣な
り。 清國山西省、平定州にあり。

らくよーろ 洛陽 韓國尙州の別稱、尙州(しよーしゅー)を
見よ。 清國河南省の古稱、「かなんふ」を見よ。

らくよーけん 洛陽縣 清國河南省、河南府にあり。 羅容
縣 清國廣西省、柳州府にあり。

らくりょーけん 樂陵縣 清國山東省、武定府にあり。

らくけんけん 羅源縣 清國福建省、福州府にあり。

らくごーけん 羅江縣 清國四川省、綿州にあり。

らんせんけん 羅山縣 清國河南省、汝寧府にあり。

らくじけん 羅次縣 清國雲南省、雲南府にあり。

らしんわん 羅津灣 韓國咸鏡北道沿岸の最北、雄基灣の南
方にあり、北緯第一の真港灣にして、灣内廣く、且水深くし
て大艦巨船の碇繋自由なり、明治三十二年英國東洋艦隊十
餘艘碇泊せしことあり、灣の東角西北面に羅津里あり。

に起り、祈禱、禁咒を主とす、現時西藏、伊犁、蒙古、滿洲地方
に行はる、もと西藏に發達せしものにして、紅、黃二教あり、
黄教は明の永樂成化の頃、宗喀巴なるもの、紅教の腐敗せる
を慨し、新に開けるものにして、今日の喇嘛教は多く之れな
り、今四支に分る。 ①西藏の拉薩即ち布達拉(達賴喇嘛の
系)。 ②西藏の札什倫布(班禪喇嘛の系)。 ③外蒙古の庫倫
(哲卜尊丹巴胡圖克圖の系)。 ④内蒙古の多倫諾爾(章嘉胡圖
克圖の系)是れなり。

らまほーおー 喇嘛法王 達賴喇嘛と云ひ、喇嘛教の法主
にして、西藏の拉薩に駐す、且西藏に於ける實權を掌握し、
清廷より派せる駐藏辦事大臣は只之れを監するに過ぎず。

らんか 樂河 (Lan-ka) 清國直隸省北部の山中に發源し、東
南流し、長城を貫きて關内に入り、南流して渤海に注ぐ。

らんぎけん 蘭儀縣 清國河南省、開封府にあり。

らんけいけん 蘭谿縣 清國浙江省、金華府にあり。

らんけん 嵐縣 清國山西省、太原府にあり。

らんざんけん 蘭山縣 清國山東省、沂州府にあり。 藍山
縣 清國湖南省、桂陽州にあり。

らんしゅー 濠州 新舊の二あり、一は遼の天贊二年に匿
く所にて、今の清國直隸省遵化州の南沙路にあり、一は同省
永平府に屬し、府の南約七里に位す、明の永樂元年二月沙路

546

らしゅー 羅州 韓國全羅道にあり、木浦を距る約十五里、東
に光州、南に靈岩あり、北に錦城山、東南榮山江に沿ひ、
江を隔てて渺茫たる大平野に接し、地味肥沃にして、農産物
極めて多く、五穀、綿、牛皮等の産多し、此地新羅時代の著名
の地にして、當時支那地方へ航する船舶の發航地點たりき。

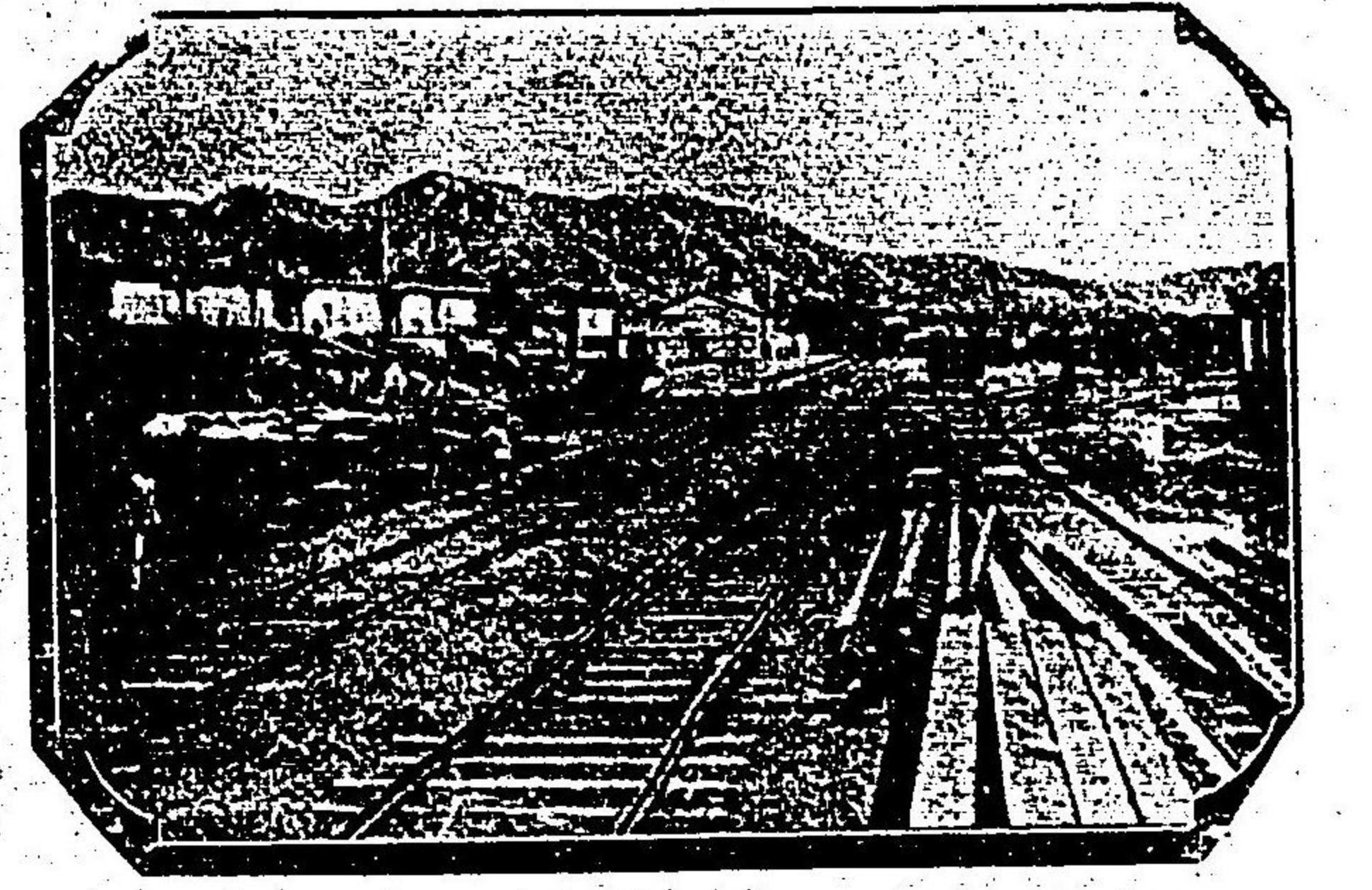
らんじょけん 羅城縣 清國廣西省、柳州府にあり。
らんざ 拉薩 (Lasa) 西藏の首府にして、前藏にあり、「サ
ムポー」河の支流「キチウ」河に臨む、周圍約三里、市街後に
鯨魚山を負ひ、前に九龍山及牛頭山を控え、市内廣濶にし
て、且頗る清潔なり、人口約五萬、内僧侶二萬内外ありと、商
業殷盛にして、市街熱鬧す、宮殿寺院等多く、又駐藏欽差大
臣の政廳あり、市街の中央に喇嘛教の總本山あり、大招待
と稱す、此國最古の佛寺にして、清國、印度方面より來る僧
侶頗る多し、市の西北、約一哩許の布達拉山に達賴喇嘛の大
宮殿あり、同國の政教の全權此の地より發す。

らていしゅー 羅定州 清國廣東省にある直隸州たり。
らでんけん 羅田縣 清國湖北省、黃州府にあり。
らばくけん 羅白縣 もと土縣にして清國廣西省、太平府
にあり。

らへいしゅー 羅平州 清國雲南省、曲靖府にあり。
らまほー 喇嘛教 (Lamanism) 佛教の一派にして、西藏

より徙す所な
り。 蘭州
(Lan-chau) 清
國甘肅省の首
府にして、黃
河の南岸に位
し、新疆省に
通する要路に
當る、煙草、鴉
片、石炭を産
す、陝甘總督
此地に駐紮
す。

らんじょけん 樂城縣 清
國直隸省、正
定府にあり。
らんそーろー 瀾滄江 (Lan-sau-kiang) 清國雲南省に在
り、メコン河の上流なり。
らんでんくわん 藍田關 清國陝西省、西安府にあり、秦の世
の峻關にして、漢高祖此地を繞りて秦軍を擊破せし所にし



(場車停州瀾)

547

六八七

て、頗る險峻の地たり、韓退之の名句「雲橫秦嶺家何在、雲擁藍關馬不前」は此地につきて詠せるなりと。

らんてんけん 藍田縣 清國陝西省、西安府にあり。

らんよしけん 蘭陽縣 清國河南省、開封府にある故縣なり。

らよけん 羅陽縣 清國廣西省、太平府にあり。

らりんじょー 拉林城 清國吉林省、阿楚喀の南約十餘里にあり、松花江の支流拉林河の流域に位す、吉林、阿楚喀間の要路に當る、市街正方形の大壁を繞らす、人口約二萬、住民概ね滿洲人なり。

らわんが 羅灣河 清國河南省、沙河と體河との交會點に位す、東漢鐵道停車場を距る十町、水陸交通の便多し、人口約二萬。

りくあんしゅー 六安州 清國安徽省にある直隸州たり。

りくごーけん 六合縣 清國江蘇省、江寧府にあり。

りくすいけん 溧水縣 清國江蘇省、江寧府にあり。

りくせんけん 陸川縣 清國廣西省、鬱林州にあり。

りくほしけん 陸豐縣 清國廣東省、惠州府にあり。

りくりしゅー 陸涼州 清國雲南省、曲靖府にあり。

りざん 隴山 今の清國陝西省、西安府、臨澆縣の地、周の幽王、犬戎に殺されし地なり。

りしんがわ 利清河 大清河の一名、「たいしんがわ」を見よ。

りしんけん 利津縣 清國山東省、武定府にあり、もと東昌府に屬す、此地黄河に臨み海を距る、こと約二十一里、舟行の便あり、其上流約六里に三分村あり。

りしゅー 驪州 韓國京畿道にあり、府城を距る東南十九里、漢江に臨み舟楫の便あり、戶數約四百、附近貨物の集散地たり、此地國族の郷國にして、故閔后の故地として知らる。

りせんけん 利川縣 清國湖北省、施南府にあり。

りつよーけん 溧陽縣 清國江蘇省、鎮江府にあり。

りんごーふ 臨江府 清國江西省にあり。
りんし 臨淄 今の清國山東省、青州府臨淄縣の地にして、春秋の時、齊の都せし地なり。
りんしんけん 臨晉縣 清國山西省、蒲州府にあり。
りんしんごー 臨津江 韓國咸鏡道の馬息嶺に發し、江原道の西北端を流れ京畿道に入り諸水流を合せ、西流して、豐徳の南に至り漢江と合して海に入る。
りんしゅーけん 臨漳縣 清國河南省、彰徳府にあり。臨漳縣 清國湖南省、岳州府にあり。
りんじょーけん 臨城縣 清國直隸省、趙州にあり。
りんすいけん 鄰水縣 清國四川省、順慶府にあり。
りんせいしゅー 臨清州 清國山東省にある直隸州たり、清國山東省、東昌府にあり。

りんごー 裡島 (Lian Island) 清國山東省の東部、山東高角の南四十裡半にある一小島にして、裡島灣の南側に位し、沿岸貿易盛にして、支那ジャンクの來泊するもの多し。

りはんいん 理藩院 清國中央政府の一部にして、尙書二人、左右侍郎各一人より成り、外藩部の事務を處理す、

りぶ 吏部 (内務) 清國六部衙門の一にして、管理事務一名、尙書二名、侍郎四名、郎中、員外郎、堂主事、主事、司官、部守司庫、司務、部院庫使、司獄、司匠等の諸官より成る、

りへいふ 黎平府 清國貴州省の東南隅にあり、山間の小都會たり、往古五代の時、田氏の根據地たり。

りんあん 臨安 清國杭州の古稱なり、「リンシー」を見よ。

りんあんふ 臨安府 清國雲南省にあり。清國浙江省、杭州府にあり。

りんえいけん 臨穎縣 清國河南省、許州にあり、もと許州府に屬す。

りんかいけん 臨海縣 清國浙江省、臺州府にあり。

りんくけん 臨朐縣 清國山東省、青州府にあり。

りんけん 臨縣 清國山西省、汾州府にあり。

りんけいけん 臨桂縣 清國廣西省、桂林府にあり。

りんごーけん 臨高縣 清國廣東省、瓊州府にあり。

りんせんけん 臨川縣 清國江西省、撫州府にあり。

りんごーけん 臨潼縣 清國陝西省、西安府にあり。

りんごーふ 臨洮府 清國甘肅省の舊府なり。

りんぶけん 臨武縣 清國湖南省、桂陽州にあり。

りんぶん 臨汾 今の清國山西省、平陽府、臨汾郡の地にして唐の高祖の兵を起して攻略せし所なり。

りんぶんけん 臨汾縣 清國山西省、平陽府にあり。

りんゆくわん 臨榆關 山海關を見よ。

りんゆいけん 臨邑縣 清國山東省、濟南府にあり。臨邑縣 清國陝西省、鳳陽府にあり。

りんわいけん 臨淮縣 清國安徽省、鳳陽府にある故縣なり。

りもんとー 履門島 清國福建省の沿岸に在り。

りくよーけん 略陽縣 清國陝西省、漢中府にあり。

りーあんけん 隆安縣 清國廣西省、南寧府にあり。

りーあんふ 龍安府 清國四川省にあり。

りーえい 龍英 清國廣西省、太平府にあり。

りーかこー 劉家口 清國直隸省、永平府、遷安縣の北にあり。

りーかん 龍巖 清國福建省にあり、直隸州たり。

りーかんぼ 龍巖浦 韓國平安道、鴨綠江口にあり、義州の南九里餘に在り、其港水深十七尺あるも干潮の際僅かに五尺にすぎず、干満の差殆んど十五尺に及ぶ、平安道沿岸中鎮南浦に次ぐの良港にして、數年前露國は早くも此地に着目し、本港の占領を企て、兵營、倉庫等を建設し、殆んど傍若無人の舉動ありたるは、猶吾人の記憶に新たなる所とす。

りーしけいけん 龍溪州 清國福建省、漳州府にあり。

りーしー 柳溝 清國甘肅省、鎮西府にある故衛にして、もと安西廳に屬す。龍崗 韓國鎮南浦を距る四里、同地とす。

城を距る三里にあり、戸數僅かに八十内外なるも、附近より産出する金、地金の賣買地として、市況頗る盛なり。

りーしーけん 隆昌縣 清國四川省、敘州府にあり。

りーしーけん 柳城縣 清國廣西省、柳州府にあり。

りーしーちん 龍勝廳 清國廣西省、桂林府にあり。

りーせんけん 龍泉縣 清國江西省、吉安府にあり。

浙江省、處州府にあり。清國貴州省、石阡府にあり。龍川縣 清國廣東省、惠州府にあり。

りーちん 隆中 今の清國湖北省、襄陽府の西に隆中山あり、三國の時劉備、孔明を三顧せし處として知らる。

りーとくけん 隆德縣 清國甘肅省、平涼府にあり。

りーなんけん 龍南縣 清國江西省、贛州府にあり。

りーはちー 留壩廳 清國陝西省、漢中府にあり。

りーび 龍尾 「リウー」を見よ。

りーへいけん 隆平縣 清國直隸省、趙州にあり。

りーもんかく 龍門閣 清國四川省、保寧府、廣元縣の北にあり、始め懸崖に架するに木を以てし、棧を作り、恰も門の如くなりしが、後石を鑿て佛像をつくり、漸く道を開きたり。

りーもんかきー 龍門峽 清國直隸省、順天府(北京)遵化縣の南にあり、其山上合して下開く所高き一丈餘、水は懸崖

平壤間の街路に沿ふ、市街石壁を以て圍む、戸數三百、北方に孔子、孟子の廟あり。

りーこー 劉公島 清國山東省、威海衛港口に在り、日清の役、我が艦隊の攻撃を以て名あり。

りーざん 龍山 韓國京城の西約一里にあり、漢江の東北岸に在り、同國開市場の一なり、往古より八道の貢米を輸集するの要津にして、大倉庫ありて常に糧餉を貯ふ、文祿の役我軍此處に米穀を貯へ、日清戦役にも兵站部を置く、此地京城仁川間の汽船の發着點にして、又京仁、京釜兩鐵道の沿線に當り、且京義鐵道の起點として將來有望の地たり。

りーざんけん 龍山縣 清國湖南省、永順府にあり。

りーしー 龍首 韓國釜山の山名、釜山の我居留地は龍首、及龍尾兩山の麓に在り。

りーしー 柳州 清國廣西省の都會にして、柳江に臨み、本省の殆んど中央に在り、湖南、貴州方面への要路に當る、良材の産出を以て有名なり。龍州 清國廣西省にあり、佛領東京の境に接し、陸上貿易行はる、然れども盛大ならず。

りーしーちん 龍州廳 清國廣西省、太平府にある開港場なり。

りーしーふ 柳州府 清國廣西省にあり、象江に沿ふ。

りーしー 笠場 韓國忠清北道にあり、稷山郡に屬す、安

より傾瀉し石に觸れて奔瀉す、一に固門といふ、自然の門をなすを以て此名ありと。

りーもんけん 龍門縣 清國直隸省、宣化府にあり。

りーゆーけん 龍遊縣 清國浙江省、衢州府にあり。

りーゆーけん 龍陽縣 清國湖南省、常德府にあり。

りーりけん 龍里縣 清國貴州省、貴陽府にあり。

りーりちん 龍陵廳 清國雲南省、永昌府にあり。

りーりてん 遼 清國山西省にある直隸州なり。

りーらんけん 凌雲縣 清國廣西省、泗城府にあり。

りーか 遼河 (Liao-ho) 滿洲西部の大河にして、遼東の名之に基く、内蒙古、及直隸省に發源し、東流して盛京省に入り、遼河、沙河、太子河等を併せ南流して渤海に入る、水勢急激、一時間約六海里の速力を有す、河水は運輸の便あり、此流域は日露戦役に於て我軍の奮闘せし地にして、至る所古戰場あり。

りーきん 良郷縣 清國直隸省、順天府西路廳にあり。

りーきん 綠旗兵 清國常備軍の一種にして、綠旗を有す、漢人を以て編制し、支那本部、及邊境に屯し、外敵を防

(河 運)



ぎ、内亂を鎮定す、分ちて十八國となし、各一國は各省總督の下に在り、全兵員六七十萬と稱す、然れども川ふるに足るべきもの甚少く、其精銳と稱すべきは、唯三萬五千の天津軍團あるに過ぎずと。

りよーけん 陵縣 清國山西省、濟南府にあり。

りよーこ 菱湖 清國浙江省、湖州府城の東南約七里にあり、杭州より約六時間にして達す、人口約一萬と稱す、城郭なく、街衢の見るべきなきも、各地への水路四通八達して、運輸交通の便多し、生糸の産出多く、其額約一萬包以上に達し、其産額同地方に冠たり。

りよーこ 菱湖鎮 清國浙江省、湖州府歸安縣に屬し、湖州府を距る六里、菱湖の湖畔にあり、運河交錯して、水路縱横市街を貫き、水路は寧ろ街道の觀あり、人口約一萬、養蠶業の盛地にして、其産額湖州府下に冠たり。

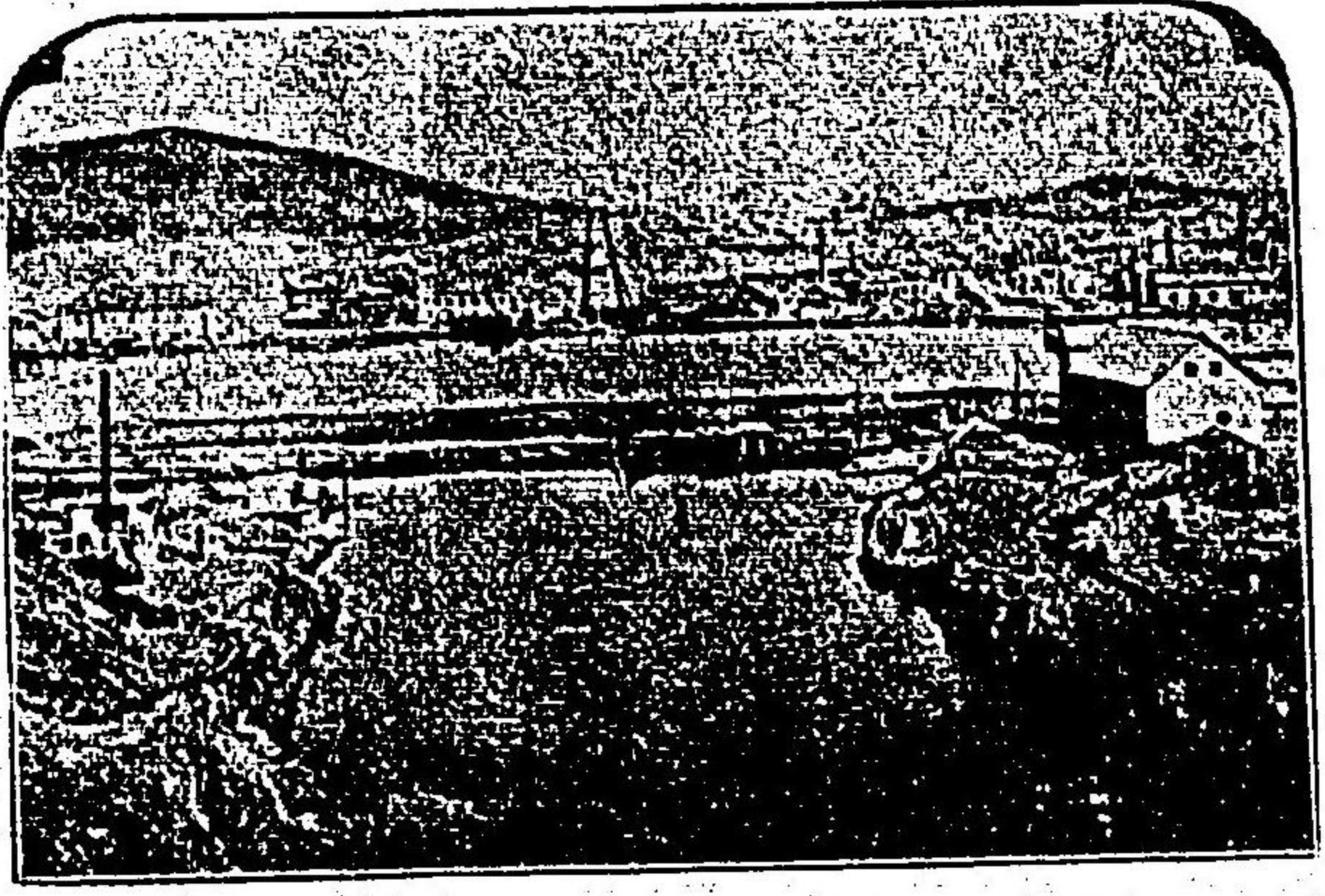
りよーさん 梁山 二あり、一は清國安徽省、太平府の西南にありて東梁山と稱し、一は同和州の南にありて西梁山と稱し、楊子江を夾て相對峙し、門の開くに似たるを以て一に天門山と云ひ、又岷眉山と云ふ、古來天嶮の要地として其名高し。

りよーさんけん 梁山縣 清國四川省、忠州にあり。

りよーしー 涼州府 清國甘肅省、蘭州府の西北二十里にあり、府下鎮番縣の東南に蘇武山あり、漢の蘇武の故事を以て著る。

りよーじんこー 旅順口 (Port Arthur) 滿洲盛京省、金州半島の南端に位し、威海衛と共に渤海の鎖鑰をなす、英人アーサー氏の發見なるを以て「ポート、アーサー」と稱す、嘗て清國北洋艦隊此軍港に據り、天嶮無比の軍港と頼みしが、日清戦役の際、我軍の陥るる所となり、次で露國は大連灣と

共に之を租借し、舊城壁の址跡につきて盛んに改築修理を加へ、港内正面の白玉山を中心とし、黄金山、椅子山、二〇三高地、松樹山、二龍山、盤龍山、東鶴冠山、白銀山等に堅牢なる砲臺を築き、完全無缺の最良要塞とし、其港は又修めて軍港とし精銳なる露國太平洋艦隊の根據とし、陸に東清鐵道の支線を敷設し、海に海底電線を設け、關東大總督府を置き、海陸の全權を掌握せしむ、然るに日露戦役の結果、此金城鐵壁も日軍の精銳に敵しがたく、籠城數ヶ月の後要塞陥り艦隊滅び、守將ステッセル以下日軍の軍門に降る、日本直ちに此地を租借し、軍港を設け、關東都督府を置き、戦後の經營に任ず、港口東南に面し、廣さ二町半、港内東四三海里、南北十四町、東西兩港に分る、市街地も亦東西に分れ、東にあるを舊市街とし、西にあるを新市街とす、新市街は露國の經營せる所のものにして、西港の北岸に當り、白玉山の西南に位す、停車場は西市街の中間にあり、日



露戦役の際の旅順包圍攻撃は古今未曾有の大戦にして、海には港口閉塞の壯舉あり、陸には要塞攻撃の大激戦及び大惨事あり、數萬の人命を損し、攻城八閱月にして遂に開城す、新市街の北方里許に水師營あり、旅順水道源地にして旅順開城の際彼我兩司令官の會見せる所たり。

りよーしーけん 聊城縣 清國山東省、東昌府にあり。

りよーすいけん 陵水縣 清國廣東省、瓊州府にあり。

りよーせんけん 陵川縣 清國山西省、澤州府にあり。

りよーちゅーけん 閬中縣 清國四川省、保寧府にあり。

りよーちー 理縣 清國廣東省にあり。

りよーこーかいわん 遼東海灣 清國遼東半島の南西端、老鐵山高角の南西端より約七里の間の海灣にし

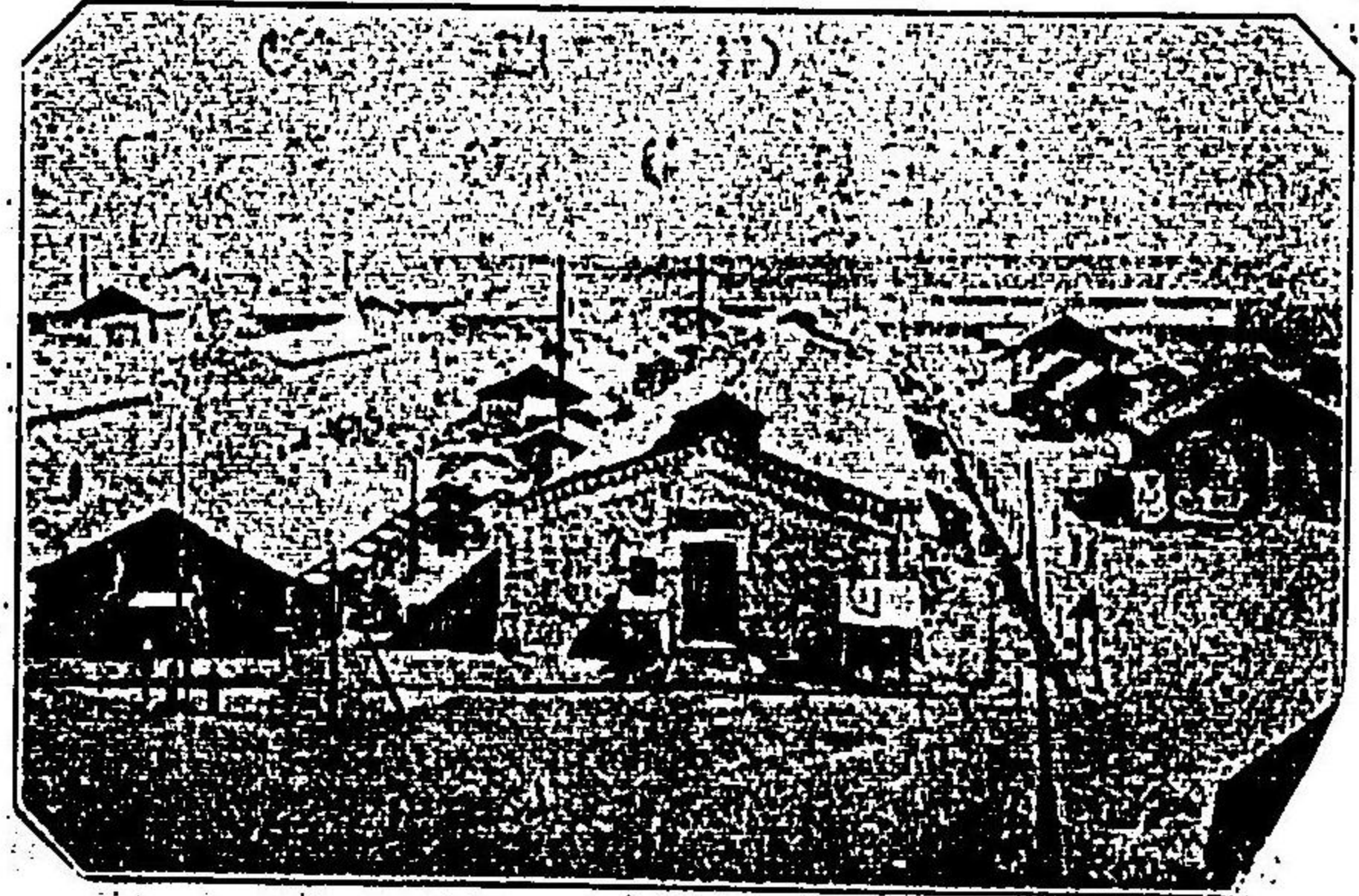
て、南北兩灣に分る、南にあるを鳩灣(洋頭凹)と云ひ、北にあるを雙島灣(ロイサ灣)と云ふ。

りーとーけん 兩當縣 清國甘肅省、秦州にあり。
りーとーはん 遼東半島 (Liao-tung) 清國直隸省の南方、渤海灣に突出せる半島なり、日清戦役後、馬關條約により我國の版圖となりしが、露、獨、佛三國の干渉により、償金五千萬兩を収めて、清國に還附す、次で露國は清國にせまり之を租借し、東清鐵道を敷設し、大連、旅順の經營をなし、全く其勢力範圍内に收めしが、日露戦役後、日本の租借地となり、關東都督府を置きて之を治む。

りーとーわん 遼東灣 清國盛京省の西南に在り、渤海の一支灣たり。
りーはん 兩班 韓國族制の第一位に位するものにして同國の貴族なり、文班及び武班の二班に分る、社會の上流に居り、土地を所有し、地租の外納税の義務なく、高貴の官職を壟斷し、頗る專横を極む、多く京城に住し、其人口の殆んど二十分一を占む、閔、趙、金、李、崔、鄭、安等の諸族尤も著はる。

りーふ 犁平府 清國貴州省にあり。
りーよー 遼陽 (Liao-yang) 清國盛京省の一市にして、太子河に臨む、奉天府の南方約十四里に在り、人口約七萬、市街城壁を以て圍まる、街衢二十五街より成り、縱横四通殆んど基盤の如く、東門より西門に通ずる阿は、殊に殷賑に著はる。

して、人馬絡繹織るが如く、同省中奉天府に次ぐ殷盛なる大都邑たり、此地渺茫たる平野の中に位し、交通の便多く、商業繁盛なり、市街の四に鐵道停車場あり、滿洲鐵道の主要驛たり、露國の滿洲を經營するや、此地を以て一大策源地とし、日露戦役の際、此處に主力を集めて日本軍を禦せんとせしむ、日本軍の精銳に敵しがたぐ、二萬五千餘の死傷者と多火の軍器、軍需品とを委棄して奉天方面に退却せり、遼陽大會戦之れなり。



(街市陽遼)

れ

れいけん 禮縣 清國甘肅省、秦州にあり。◎縣 清國湖南省、衡州府にあり。◎縣 清國直隸省、保定府にあり。
れいこーけん 靈邱縣 清國山西省、大同府にあり。
れいこーふ 麗江府 清國雲南省にあり、ここに麗江縣あり。

れいざんけん 靈山縣 清國廣東省、廉州府にあり。
れいしゅー 靈州 清國甘肅省、靈夏府にあり。
れいじゅけん 靈壽縣 清國直隸省、正定府にあり。
れいすいけん 麗水縣 清國浙江省、處州府にあり。
れいすいゆー 麗水邑 韓國全羅南道順天郡より突出せる岬角の南東にあり、二に左水營と稱す、往古海南郡の右水營とともに全羅海上の重鎮たる左水營の所在地にして、城址今尙存す。

れいせいこー 禮成江 韓國黃海道咸惡山脈中に發し、南流して、黄海、京畿兩道の境を流れ、漢江、臨津口と合して黃海に入る。
れいせきけん 靈石縣 清國山西省、潞州にあり、もと平陽府に屬す。

れん

れいせんけん 醴泉縣 清國陝西省、西安府にあり。◎靈川縣 清國廣西省、桂林府にあり。
れいたいけん 靈臺縣 清國甘肅省、涇州にあり、もと平涼府に屬す。
れいどけん 靈都縣 清國江西省、贛州府にあり。
れいなん 嶺南 韓國慶尙南道、及同北道地方の總稱。
れいなんてつごー 嶺南鐵道 京釜鐵道の支線にして、本線の三浪津より南下して馬山浦に至る、延長二十六哩、明治三十八年開通せり。
れいはけん 荔波縣 清國貴州省、都勻府にあり。
れいへきけん 靈璧縣 清國安徽省、鳳陽府にあり。
れいほく 嶺北 清國陝西省、醴泉縣の西北にある九峻山脉の以北を嶺北と云ふ。
れいほけん 荔浦縣 清國廣西省、平樂府にあり。
れいほーけん 靈寶縣 清國河南省、陝州にあり。
れいりょーけん 靈陵縣 清國湖南省、永州府にあり。◎醴陵縣 清國湖南省、長沙府にあり。
れきじょーけん 歷城縣 清國山東省、濟南府にあり。
れんぐん 練軍 清國陸軍の一種にして、直隸、江蘇兩省に駐在す、こは歐洲將校の訓練にかかり、新式の銃砲を備へて、防備に従事す。

れんくちちー蓮花廳 清國江西省、吉安府にあり。
 れんこーけん連江縣 清國福建省、江州府にあり。
 れんざんちちー連山廳 清國廣東省、連州にあり、もと廣
 東に屬す。
 れんしー 廉州 清國廣東省にある州府なり。○連州 清
 國廣東省にあり、直隸州たり。
 れんぺいけん 樂平縣 清國直隸省、承德府にあり。
 れんぺいしー 連平州 清國廣東省、惠州府にあり。

ろ

ろめんふ 潞安府 清國山西省にあり。
 ろえんしー 琅鹽州 清國雲南省、楚雄府にあり。
 ろきーけん 浪穹縣 清國雲南省、大理府にあり。
 ろきよしよん 狼居胥山 外蒙古喀爾喀地方にあり、漢
 の武帝の時、將軍霍去病沙漠を渡り、此山に至りて凱旋せ
 し所なり。
 ろくくけん 祿勸縣 清國雲南省、武定州にあり。
 ろくどーけん 鹿頭關 今の清國四川省、成都府、漢州、德
 陽縣の北約六里にあり、四川の重嶮なり。
 ろくばんざん 六盤山 今の清國、甘肅省、平涼府、固原州の
 西にあり、蒙古の鐵木真(テムジン)の歿せし所として有名
 なり。
 ろくほーけん 祿豐縣 清國雲南省、雲南府にあり。
 ろくゆーけん 鹿邑縣 清國河南省、歸德府にあり。
 ろけいけん 濶溪縣 清國江西省、建昌府にあり。○清國
 湖南省、辰州府にあり。
 ろーけん 婁縣 清國江蘇省、松江府にあり。
 ろこー潞江 (Lu-kiang) 清國雲南省に在り、「サルウイン」

川の上流なり。

ろこーきー 盧溝橋 清國北京の西南を流るる盧溝河に
 架する橋なり、河は迅雷奔馬の如く渡るべからず、橋の長さ
 二百餘歩と稱し、一に廣利橋と稱す。
 ろこーけん 廬江縣 清國安徽省、廬州府にあり。
 ろざんけん 魯山縣 清國河南省、汝州にあり。○廬山縣
 清國四川省、雅州府にあり。
 ろしけん 盧氏縣 清國河南省、陝州にあり。○盧施縣 清
 國陝西省、延安府にあり。
 ろしんてい 老人亭 韓國京城南山の東南方にあり、もと
 閔一族の別墅にして、明治二十七年七月十五日、我が大島公
 使、韓廷に向つて要求せる改革問題を商議せし所なり。
 ろしんてつどー 蘆津鐵道 清國北京、天津間、三十一里九
 町の鐵道にして、明治二十一年、當時の直隸總督李鴻章の發
 議に成りしが、後種々の事情あり、其敷設を見るに至らざり
 しも、日清戦役後工事に着手し、明治三十年六月遂に竣工せ
 り。
 ろしゅー 瀘州 清國四川省にあり、直隸州たり。○廬州
 清國安徽省にある州にして、且州府なり。○荊州 清國山東
 省、沂州府にあり。○蘆州 清國安徽省の中央にあり、蕪江
 の西北に位し、各省に通ずる交通の要衝に當り、市街繁盛な

り、此地の東北に合肥縣あり、李鴻章の生地として知らる。

ろしー 隴州 清國陝西省、鳳翔府にあり。
 ろじーけん 潞城縣 清國山西省、潞安府にあり。
 ろせいけん 隴西縣 清國甘肅省、鞏昌府にあり。
 ろたいちちー 郎岱廳 清國貴州省、安順府にあり。
 ろつご 羅布湖 (Lobnor) 蒙古ゴビ沙漠中の一湖なり、
 タリム河は西より來りて此湖に注ぐ。
 ろてつざん 老鐵山 清國遼東半島の最南端に位し、高
 さ一五二二呎、遠望丸も島の如し、山腹に洞坑あり、山麓に
 石崖あり、山の南面高陞角を成す、高角の南四坡上に燈臺あ
 り、一等白色閃光燈にして、燈高さ三一五呎、光二十五裡に
 達す。
 ろなんしー 路南州 清國雲南省、潞江府にあり。
 ろいはがわ 老哈河 源を察罕河と云ふ、蒙古喀喇沁の南
 明安山に發し、巴圖察罕和碩の東北を経て和爾和克河を併
 せ、北流して巴爾哈河と合し、舊大寧城の南を繞り、五巴河、
 昆都倫河及び其他の諸水流を合せ、奈曼旗と喀爾喀左翼旗
 の北部を過ぎ潢河に會す、長さ約百三十里。
 ろいはくおー 浪白濤 清國廣東附近の小島にして、明の
 正徳の頃、ホルトガル人の居留地に充てし所なり。
 ろいはんぐん 樓煩郡 今の清國山西省、太原府靜樂縣の

ろもん

地にして、隋の煬帝の置く所、汾陽宮を置かる。

ろもん 鷺門 清國福建省、廈門の別稱。

ろーや 瑯耶 清國山東省、青門府城諸縣及び沂州府の東境の地を稱す。

ろりゅうけん 盧龍縣 清國直隸省、永平府にあり。

ろりーさい 盧龍塞 清國直隸省、永平府盧龍縣にあり、土色黒色にして、山勢龍形なるを以て此名ありと。

ろりー 露梁 韓國、慶尙道の固城の海上にあり、文祿の役日本の水軍の敗れし所なり。

ろりーけん 廬陵縣 清國江西省、吉安府にあり。

ろれいさんみやく 廬嶺山脉 韓國に在る一横断山脉なり。

わいな

六九八

わ

わいあんふ 淮安府 清國江蘇省にあり。

わいいん 淮陰 今の清國江蘇省、淮安府の附近にして、同府の西北約七里に淮陰城址あり、漢の韓信の封せられし地なりと。

わいか 淮河 (Waiho) 清國楊子江と黄河との間を流れ、安徽省の北部を灌漑し、數多の水流を合せ東流して、海に注ぐ、上古淮夷徐戎の據りし所なり、楊子江と並稱して淮水と云ふ。

わいしー 淮河口 今の清國江蘇省、淮安府、清河縣の南、泗水と淮水との合流點にして、一に清口と稱す、漢代吳楚七國の亂に争抗ありし地なりと。

わいすい 淮水 「わいか」を見よ。

わいせい 淮西 今の清國河南省、汝寧府にして、唐の代に此處に淮西節度使を置かれ、蔡、申、光、安等の諸州を領し、蔡州に治し、淄齊とともに河南の二鎮と稱せらる。

わいなん 淮南 清國淮水の南方の地の總稱にして、漢初に九江、廬江、衡山、豫章の四郡ありしが、後に九江、豫章の二郡となる。

わきくしー 和曲州 故州にして清國雲南省、武定府にあり。

わしーたい 倭將臺 韓國京城内にある小丘にして、丘上京城全部の光景を望み、眺望極めて快豁なり、傳へ云ふ、文祿の役我が増田長盛の築く所の城砦にして、當時一千五百の兵此處に屯營せしと云ふ、今京城唯一の日本公園地たり。

わいねいけん 淮寧縣 清國河南省、陳州府にあり。

わいよー 淮陽 清國安徽省、鳳陽府濉州の東北、約十七里にあり。

わかん 倭館 韓國慶尙道仁同郡にあり、西北に山を頂ひ東は洛東江に臨み、南は一帶平野に連る、人口約五百、龜浦、釜山等に舟楫の便あり、對岸石田に京釜鐵道停車場あり。

清韓地理辭典終

わくわ

わし

六九九

三重縣	三宅島	四四六	上川平野	一一四	大島帽子岳	七七	大島神社	四八九
三笠山	三宅村	四四六	上諏訪町	一一五	大江山	七七	大野川	四九〇
三方原	三次川	四四六	上中村	一一五	大垣町	七七	大野町	四九〇
三方湖	三輪町	四四六	上山町	一一五	大神山	七八	大濱町	四九〇
三上山	三輪山	四四七	上野國	一七二	大國魂神社	七八	大原町	四九〇
三河國	三河縣(清)	四四七	上野鐵道	一七二	大久保村	八〇	大原野村	四九二
三木町	三峽(清)	四四七	上野三山	一七二	大阪三大橋	八二	大原野神社	四九二
三國山脈	三原縣(清)	四四七	上野三碑	一七二	大阪府	八二	大仁	四九二
三國町	三江(清)	四四八	上海(清)	一七三	大阪城	八二	大平川	四九二
三國港	三水(清)	四四八	上映州(清)	五八五	大阪府	八三	大平山	四九二
三崎町	三沙(清)	四四八	上下凍(清)	五八九	大阪平野	八三	大府	四九二
三朝溫泉	三水縣(清)	四四八	上虞縣(清)	五八九	大阪港	八三	大曲町	四九二
三島江	三水縣(清)	四四九	上元縣(清)	五八九	大崎上島	八三	大間嶼	四九二
三島神社	三姓(清)	四四九	上高縣(清)	五九〇	大崎下島	八三	大港	四九三
三島町	三臺縣(清)	四四九	上杭縣(清)	五九〇	大島海峽	八三	大三島	四九三
三角線	三都(清)	四四九	上思州(清)	五九〇	大島諸島	八四	大峯山	四九三
三角港	三角(清)	四四九	上饒縣(清)	五九一	大島郡	八四	大宮町	四九三
三田尻村	三哈屯(清)	四四九	上猶縣(清)	五九二	大鹽川	八四	大宮郷	四九三
三津濱町	三門灣(清)	四五〇	上龍州(清)	五九四	大洲町	八四	大牟田町	四九三
三津濱港	三浪津(韓)	四五〇	大洗嶼	五九五	大隅國	八五	大森町	四九四
三原町	上野公岡	四五〇	大洗磯前神社	七五	大洲町	八五	大村町	四九四
三原山	上野町	四五〇	大磯町	七五	大聖原山	八五	大村灣	四九四
三保松原	上總國	四五六	大分縣	七五	大多喜町	八六	大山町	四九六
三諸山	上鶴社	四五七	大分町	七六	大津市	八六	大湍	四九六

大雲院	大佛殿	二六四	大清河(清)	六一二	小松川村	七九	小松川村	一七八
大王崎	大菩薩嶺	二六四	大城縣(清)	六一二	小松島村	八一	小松島村	一七八
大覺寺	大木溪	二六四	大青島(清)	六一二	小倉山	八一	小御門神社	一七九
大姑隘	大稔降街	二六四	大足縣(清)	六一三	小栗	八一	小港	一七九
大黒島	大寶城	二六四	大瘦縣(清)	六一三	小粟栖	八一	小向梅園	一七九
大湖口	大滿寺山	二六四	大通河(清)	六一三	小磯川	八一	小港	一七九
大興寺	大無間山	二六七	大通縣(清)	六一三	小高町	八七	小諸町	一八〇
大興河原	大谷川	二六七	大定府(清)	六一三	小樽區	八七	小矢部川	一八三
大乘寺	大融寺	二六六	大田縣(清)	六一三	小樽港	八七	小夜中山	一八三
大聖寺川	大龍寺	二六六	大東滿(清)	六一三	小田原町	八七	小豆島	二〇五
大聖寺町	大蓮花山	二六六	大同江(清)	六一三	小濱町	八八	小水里邑(清)	二〇五
大泉寺	大甲	二六六	大同府(清)	六一三	小濱溫泉	八八	小西門(清)	二〇五
大山寺	大和國	二六六	大寧縣(清)	六一三	小濱溫泉	八八	小鎮安(清)	二〇五
大傳法院	大和神社	二六六	大報恩寺(清)	六一四	小御所	九一	小北門(清)	二〇五
大德寺	大和三山	二六六	大埔縣(清)	六一四	小金山	九一	小澗水(清)	二〇五
大肚溪	大關嶺(清)	二六七	大名府(清)	六一四	小金山	九一	下淡水河	二〇六
大稻埕	大關嶺(清)	二六七	大冶縣(清)	六一四	小金井	九一	下市町	二〇六
大屯山	大劍山(清)	二六八	大姚縣(清)	六一四	小金原	九一	下鴨	二〇六
大日川	大邱(韓)	二六八	大理國(清)	六一四	小河原沼	九二	下京區	二〇六
大日嶽	大谷縣(清)	二六八	大理府(清)	六一四	小坂村	九二	下御鏡社	二〇六
大日本帝國	大興縣(清)	二六八	大新縣(清)	六一四	小佛嶺	九三	下總國	二〇六
大龜山	大孤山(清)	二六八	大連市(清)	六一四	小佛嶺	九三	下諏訪町	二〇六
大佛	大孤島(清)	二六八	大連灣(清)	六一五	小牧町	九三	下館町	二〇六
	大三河(清)	二六九	小笠原島	六一七	小牧山	九三	下田町	二〇七

水木町	一三二	手取川	三二五	中仙道	三四四	戶瀨瀨の湯	三三〇	日本三公園	三六六
本船城址	一三三	手取山	三二五	中仙道六十九驛	三四四	戶瀨瀨山	三三〇	日本三古魂	三六六
水瀨	一七五	手宮驛	三二五	中津町	三四四	勿來關	三三〇	日本三大湯	三六六
水浦(韓)	六八〇	丹後國	二九四	中通島	三四五	斗南半島	三三〇	日本寺	三六六
火山	一五三	丹後半島	二九四	中海	三四五	斗六	三三〇	日本無海國	三六六
火燒嶼	一五三	丹澤山	二九四	中島	三四五	仁尾村	三六一	日本五港	三六六
火國	四〇一	丹波國	二九六	中之島公園	三四五	仁尾寺	三六一	日本第一高川	三六六
元興寺	一五九	丹波市町	二九七	中野町	三四六	仁淀川	三六〇	日本第一高山	三六六
元和縣(清)	五六〇	丹生川	三六五	中村町	三四六	仁懷縣(清)	五八一	日本條約國	三六七
元江州(清)	五六〇	丹江驛(清)	五六〇	中山	三四七	仁化縣(清)	五八二	日本大湖	三六七
元山(韓)	五六〇	丹浙(清)	五六〇	中衛縣(清)	六二一	仁壽縣(清)	五八三	日本第一長流	三六七
元山津(韓)	五六〇	丹徒縣(清)	六六六	中嶽(清)	六二一	仁川(韓)	五八三	日本土地	三六七
元山里(韓)	五六〇	丹陽縣(清)	六六六	中江縣(清)	六二一	仁川八景(韓)	五八三	日本道路	三六八
元氏縣(清)	五六〇	丹陵縣(清)	六六六	中華(清)	六二一	仁光街道	五八四	日本貿易港	三六八
元城縣(清)	五六〇	中越鐵道	三〇四	中華人(清)	六二一	日光山	三六四	日本砲臺	三六八
元謀縣(清)	五六〇	中央火山脈	三〇四	中原(清)	六二一	日光線	三六四	日本半島國	三六八
支笏湖	二二二	中央山脈	三〇四	中國(清)	六二二	日向	三六五	日本橋	三六八
不忍池	二二二	中國	三〇四	中人(韓)	六二二	日向瀨	三六五	日本吉神社	三六八
不動瀧	二二二	中國街道	三〇四	中樞院(韓)	六二二	日向町	三六五	日本高川	三六八
不破野	二二二	中國山脈	三〇四	中甸廳(清)	六二二	日坂村	三六五	日本高見國	三六八
不破關	二二二	水無瀨宮	四三三	中道(韓)	六二二	日原	三六五	日出町	三六八
心齋橋	二二二	水俣村	四三三	中部縣(清)	六二二	日本	三六五	日詰町	三六八
手越河原	二二二	水尾山	四三三	中牟縣(清)	六二二	日本火山脈	三六五	日野川	三六八
手賀沼	二二二	水原(韓)	四三三	戶隱山	六二二	日本三急流	三六五		

日野町	四〇一	水島灘	四五二	介休縣(清)	五二六	文水縣(清)	六五七	四川省(清)	五八〇
日御崎神社	四〇二	水戸公園	四五二	化州(清)	五二六	文登縣(清)	六五七	四平街(清)	五八〇
日峰	四〇二	水戸市	四五二	公安縣(清)	五二六	文班(韓)	六五七	四明(清)	五八一
日向瀨	四〇四	水戸八景	四五二	公州(韓)	五二六	分水縣(清)	六五七	尼崎城址	五八一
日向國	四〇四	水口町	四五三	戈壁沙漠(清)	五二七	分宜縣(清)	六五七	尼崎町	五八一
日向山	四〇四	水無瀨宮	四五三	支那(清)	五二七	下江廳(清)	六六二	牙山(韓)	五八一
日和山	四〇四	水尾山	四五三	支那四鎮(清)	五二七	尤溪縣(清)	六八二	牙山灣(韓)	五八一
日和佐村	四〇四	水城島(清)	四五三	支那平原(清)	五二七				
日照縣(清)	四〇四	壬生寺	四五三	支那本部(清)	五二七				
日出夕岳(韓)	四〇四	壬生町	四五三	十仿縣(清)	五二七				
比井郡	三九四	六玉川	四五三	非經縣(清)	五二七				
比叡山	三九四	六浦村	四五三	非研縣(清)	五二七				
北真山	四〇七	六連島	四五三	丑山浦(韓)	五二七				
脇川	四〇〇	六條河原	四五三	屯留縣(清)	五二七				
引間野	三九六	六郷川	四五三	巴燕戎格廳(清)	五二七				
引田村	三九六	六條河原	四五三	巴川(清)	五二七				
夫須美神社	四一七	六波羅密寺	五〇三	巴東縣(清)	五二七				
分水山脈	四二二	六角堂	五〇三	巴顏哈喇山脈(清)	五二七				
分階河原	四二二	六甲山	五〇四	巴陵縣(清)	五二七				
方廣寺	四三七	六方野	五〇四	巴里坤(清)	五二七				
水晶宮	二四一	六安州(清)	六八八	文安縣(清)	六五七				
水天宮	二四一	六合縣(清)	六八八	文縣(清)	六五七				
水城村	四五一	六盤山(清)	六八八	文山縣(清)	六五七				
水澤町	四五一	毛越寺	四七〇	文昌縣(清)	六五七				

平澤(清)	六六〇	田原本町	二九八	布噶河(清)	六五三	矢大神山	四七七	安藝國	五九八
平定州(清)	六六〇	田州(清)	六三〇	布原里山(清)	六五四	矢田川	四七七	安藝町	九八
平南縣(清)	六六〇	田生臺(清)	六三〇	半田銀山	三八九	矢田地藏	四七七	安居川	九
平香縣(清)	六六〇	只見川	二八七	半田町	三九〇	矢作川	四七八	安積山	一〇
平武縣(清)	六六〇	立石岬	二八九	半田村	三九〇	山井濱	四八四	安積沼	一〇
平陽縣(清)	六六〇	立科山	二八九	水川公園	三九六	山北町	四八五	安宅町	一〇
平遙縣(清)	六六〇	立山	二八九	水川神社	三九六	山布岳	四八七	安達太郎山	一六
平樂府(清)	六六〇	立山山脈	二八九	氷見町	四〇二	由良海峽	四八八	安達原	一六
平羅縣(清)	六六〇	玉前神社	二九二	弘前市	四〇八	由良川	四八八	安土町	一七
平陵縣(清)	六六〇	玉島町	二九二	本覺寺	四三〇	由良海	四八八	安津津	一八
平利縣(清)	六六〇	玉島港	二九二	本宮山	四三〇	由良町	四八八	安倍川	二〇
平涼府(清)	六六〇	玉造川	二九二	本國寺	四三一	右玉縣(清)	四八八	安城村	二〇
平谷縣(清)	六六〇	玉造村	二九二	本州	四三一	巨濟島(清)	五一七	安平	二二
打狗	六六〇	玉津島神社	二九三	本州中部	四三一	巨文島(清)	五一七	安養寺	二二
田倉崎	二八二	玉環(清)	二九三	本莊町	四三一	左雲縣(清)	五五一	安樂院	二二
田川溫泉	二八二	玉山縣(清)	二九三	本能寺	四三一	左州(清)	五五二	安立町	二二
田越川	二八三	玉山縣(清)	二九三	本妙寺	四三一	申江(清)	五五二	安樂寺	二二
田名部町	二八五	玉屏縣(清)	二九三	木牧岬	四三一	代州(清)	五五二	安岳溫泉(清)	二二
田邊城址	二九〇	玉門關(清)	二九三	木門寺	四三一	打前嶺(清)	五五二	安房神社	二二
田邊町	二九一	玉門縣(清)	二九三	本溪湖(清)	四七一	他耶(清)	五五二	安岳溫泉(清)	二二
田邊	二九一	他里霧街	二九三	目黒不動	四七一	汀州(清)	五五二	安遠縣(清)	二二
田村神社	二九四	布引溪	二九七	目白臺	四六九	皮子高(清)	五五二	安化縣(清)	二二
田谷穴	二九七	布勢	三七一	矢板町	四七三	六安(清)	五五二	安慶府(清)	二二
田原坂	二九八	布真岬	四一七	矢口渡	四七四	六安(清)	五五二	安慶縣(清)	二二

六畫

安市城(清)	五二二	有馬溫泉	二五	伊萬里川	五二	印江(清)	五一六	西安縣(清)	五九八
安仁縣(清)	五二二	有松町	二六	伊萬里町	五二	西表島	五一六	西城(清)	五九八
安州(清)	五二二	有馬村	二六	伊萬里港	五二	西海道	一八八	西嶽(清)	五九八
安肅縣(清)	五二二	有馬山	二六	伊部村	五二	西京	一八八	西山嶽(清)	五九八
安順府(清)	五二二	有珠岳	二六	伊豫國	五三	西教寺	一八八	西華縣(清)	五九八
安城(清)	五二二	有波瀆	二六	伊豫郡	五三	西郷町	一八八	西和縣(清)	五九八
安塞縣(清)	五二二	有年川	二六	伊豫鐵道	五四	西國三十三番札所	一八八	西湖(清)	五九八
安定縣(清)	五二二	有耶無耶關	二六	伊豫富士	五四	西條町	一九〇	西江(清)	五九八
安東(清)	五二二	伊王島	二六	伊其胡岬	五四	西條山	一九〇	西鄉縣(清)	五九八
安東縣(清)	五二二	伊賀國	二六	伊陽縣(清)	五五	西大寺	一九〇	西固城(清)	五九八
安南縣(清)	五二二	伊香保町	二六	伊豫(清)	五五	西大寺川	一九〇	西光縣(清)	五九八
安寧州(清)	五二二	伊井諸神社	二六	伊豫河(清)	五五	西大寺町	一九〇	西昌縣(清)	五九八
安福縣(清)	五二二	伊勢國	二六	伊豫盆地(清)	五五	西湖	二五五	西水羅(清)	五九八
安平州(清)	五二二	伊勢崎町	二六	池田川	三三	西荒井	二五五	西生油(清)	五九八
安邊(清)	五二二	伊勢大廟	二六	池田の油	三三	西大川	二五五	西道(清)	五九八
安奉鐵道(清)	五二二	伊勢海	二六	池田村	三三	西尾町	二五五	西寧(清)	五九八
安陽縣(清)	五二二	伊丹町	二六	池州府(清)	三三	西島	二五五	西寧(清)	五九八
安陸府(清)	五二二	伊豆國	二六	糸貫川	三三	西成鐵道	三三	西寧(清)	五九八
旭川	一一	伊豆山村	二六	因幡國	三三	西別海	三三	西遼河(清)	五九八
旭夕岡(清)	一一	伊豆七島	二六	因幡藥師	三三	西宮町	三三	西隆州(清)	五九八
有明海	一一	伊豆半島	二六	因幡山	三三	西本願寺	三三	西路廳(清)	五九八
有明山	一一	伊那町	二六	因幡島	三三	西山	三三	西藏(清)	五九八
有田町	一一	伊那佐山	二六	印旛沼	三三	西山御坊	三三	西藏宗教(清)	五九八
有田川	一一	伊吹山	二六		三三	西安(清)	三三	西藏住民(清)	五九八

七畫

赤石山	四	足尾町	一二	延平縣(清)	五二三	岐阜縣	一三一	佐土原村	一九九
赤岩山脈	四	足利學校	一二	男鹿半島	七八	岐阜市	一三一	佐保川	二〇一
赤川	五	足利城址	一三	男山	八九	吸江灣	一三四	佐和山	二〇六
赤城山	五	足柄山	一三	男山八幡宮	八九	佐原山	一三四	坂井港	二〇六
赤倉山	五	足助町	一四	男里川	九〇	佐市	一五一	坂本	一九三
赤坂城址	五	足羽川	一四	男體山	九五	吳服山	一五一	作並溫泉	一九五
赤坂離宮	五	足羽山	一四	沖繩縣	七九	吳市	一五一	沙々賣神社	一九六
赤嶽山	六	足羽神社	一四	沖繩人種	七九	吳濱(清)	一五一	沙流川	一九七
赤嶽山	六	吾妻橋	一四	沖永良部島	八〇	吳橋縣(清)	一五一	沙河(清)	一九七
赤間沼	七	吾妻山	一八	尾去澤	八〇	吳江(清)	一五一	沙林(清)	一九七
赤間關	七	吾孫子線	二〇	尾上村	八三	吳江縣(清)	一五一	沙縣(清)	一九七
赤間宮	七	吾孫子町	二〇	尾道海峽	九〇	吳川縣(清)	一五一	沙市(清)	一九七
赤目瀧	七	夷隅川	二〇	尾道市	九〇	吳楚咽喉(清)	一五一	里垣村	一九七
赤安山	七	夷守缺	二二	尾鷲町	九六	吳縣(清)	一五一	志賀島	一九九
赤湯溫泉	八	夷陵(清)	二二	尾張國	九六	吳江縣(清)	一五一	志賀郡址	一九九
赤穂城址	九	忌部神社	二二	尾西鐵道	九七	佐伯灣	一九九	志賀山	一九九
赤穂町	九	芋塚	二二	忍町	八四	佐賀縣	一九九	志賀神社	一九九
赤山	二五二	延曆寺	二二	忍岡	二一八	佐賀市	一九九	志太溫泉	二〇〇
赤金(清)	六〇四	延岡町	二二	牡鹿半島	八四	佐賀關町	一九九	志染村	二〇〇
赤城縣(清)	六〇四	延安(韓)	二二	牡蠣島	九四	佐須奈港	一九九	志度浦	二〇〇
赤水(清)	六〇四	延慶府(清)	二二	牡丹社	九四	佐世保市	一九九	志度寺	二〇〇
赤壁(清)	六〇五	延津縣(清)	二二	牡丹臺(清)	六六	佐世保線	一九九	志度町	二〇〇
赤峰縣(清)	六〇五	延川縣(清)	二二	角田町	九四	佐多岬	一九九	志摩國	二〇〇
足尾銅山	六〇五	延長縣(清)	二二	我入道	一一一	佐渡國	一九九		

志摩半島	二二一	豆相人車鐵道	三一〇	那智瀑	三五二	身延山	四五五	攸縣(清)	五八七
芝浦	二二九	豆相鐵道	三一〇	那智浦	三五二	村上町	四六七	秀山縣(清)	五八七
芝公園	二二九	豆南諸島	三一〇	那霸區	三五九	村松町	四六六	秀水縣(清)	五八八
芝罘(清)	六一八	豆田町	四四四	那霸港	三六〇	夜見波	四九六	巡撫(清)	五八八
尖道湖	二二三	豆毛浦(韓)	六二七	那地(清)	六三九	瓦牛岳	五〇四	即曇(清)	六〇八
吹田村	二四一	豆滿江(清)	六三七	走水	三八三	杞縣(清)	五〇四	東鹿縣(清)	六〇八
吹上御苑	二四二	局嶽	三一二	走湯權現	三八三	峇溪縣(清)	五〇四	沈邱縣(清)	六一九
杉田	二四三	利島	三二六	阪鶴鐵道	三八九	汲縣(清)	五〇四	呈貢縣(清)	六二七
助川	二四三	利根川	三三一	坂下町	三九九	夾河(清)	五〇四	狄道州(清)	六二八
住吉	二四七	利尻島	四九九	坂東	三九〇	夾江縣(清)	五〇四	扶安邊山(韓)	六五二
住吉神社	二四七	利清河(清)	六八八	坂東太郎	三九〇	完縣(清)	五〇四	扶溝縣(清)	六五二
柚山	二六三	利津縣(清)	六八八	兵庫縣	四〇四	含山縣(清)	五〇四	扶風縣(清)	六五三
妙油	二七四	利川縣(清)	六八八	兵庫町	四〇四	沅江縣(清)	五〇四	貝爾池(清)	六五三
妙覺寺	四六〇	那珂川	三五一	佛光寺	四二〇	沅州府(清)	五〇四	貝爾諾爾(清)	六五三
妙義山	四六一	那賀川	三五一	佛岡廳(清)	六五六	沅陵縣(清)	五〇四	巫山縣(清)	六五三
妙國寺	四六一	那須溫泉	三五一	佛坪廳(清)	六五六	克魯倫河(清)	五〇四	汾州府(清)	六五三
妙高山	四六一	那須川	三五一	佛子村	六五六	孝感縣(清)	五〇四	汾水(清)	六五三
妙心寺	四六一	那須火山脈	三五一	別府町	四二二	孝豐縣(清)	五〇四	汾西縣(清)	六五三
妙法院	四六一	那須七島	三五一	別府灣	四二二	枝江縣(清)	五〇四	汾陽縣(清)	六五三
妙本寺	四六一	那須野原	三五一	別府村	四二二	辰韓(韓)	五〇四	汾州(清)	六五三
妙滿寺	四六一	那須國造神	三五一	伯耆國	四二二	辰州(清)	五〇四	汶川縣(清)	六五三
妙香山(韓)	六七八	那須野原	三五一	伯都納(清)	六六二	沁源縣(清)	五〇四	沔陽縣(清)	六五三
但馬國	二八七	那智	三五一	坊津港	四三〇	沁州(清)	五〇四	沔陽州(清)	六五三
紀河原	二八七	那智川	三五一	見附町	四三〇	沁水縣(清)	五〇四	沐水(清)	六五三
谷汲寺	二九一	那智山	三五一	見沼川水	四三〇	車嶺山脈(韓)	五〇四	沐陽縣(清)	六五三
伽島	三〇八								

西陽州(清)	六八二	奇神縣(清)	六〇一	阿蘇神社	一五	東海道鐵道	三二〇	東嶽(清)	六三二
沃沮(韓)	六八三	青州府(清)	六〇一	阿寺七瀧	一九	東京市	三二一	東京(清)	六三二
沃津府(韓)	六八三	青城縣(清)	六〇一	阿仁合町	一九	東京府	三二二	東館(韓)	六三三
其鄉縣(清)	六八三	青水河廳(清)	六〇一	阿武隈川	二〇	東京灣	三二二	東莞縣(清)	六三四
八		青田縣(清)	六〇二	阿武隈山脈	二〇	東港	三二四	東江(清)	六三四
青根溫泉	三二	青島(清)	六〇二	阿部野	二〇	東郡池	三二四	東湖縣(清)	六三四
青野原	三二	青寧州(清)	六〇三	阿彌陀池	二二	東港溪	三二四	東光縣(清)	六三四
青野山	三二	青浦縣(清)	六〇三	阿彌陀峯	二二	東山道	三二五	東鄉縣(清)	六三五
青葉城址	三三	青陽縣(清)	六〇三	阿波國	二六	東寺	三二五	東三省(清)	六三五
青葉山	三三	明石海峽	六〇三	阿波鳴門	二八	東尋坊	三二六	東清鐵道(清)	六三五
青森縣	三三	明石城址	六〇三	阿(清)	五一	東照宮	三二六	東昌府(清)	六三六
青森市	三三	明石町	六〇三	阿古蘇(清)	五一	東大寺	三二八	東川府(清)	六三六
青森港	三三	明光浦	六〇三	阿楚略(清)	五一	東福寺	三三二	東蠶縣(清)	六三六
青柳谷	三四	明神嶽	六〇三	阿槍村(清)	五一	東武鐵道	三三三	東大門(清)	六三六
青山御所	三四	明星嶽	六〇三	阿槍斯科(清)	五一	東北三條山脈	三三三	東班(清)	六三七
青蓮院	二五一	明十三陵(清)	六〇三	阿寧州(清)	五一	東岩瀨町	三三三	東平州(清)	六三七
青海(清)	五九一	明江廳(清)	六〇三	阿巴噶部(清)	五一	東大川	三三三	東京灣(清)	六三七
青海郡(清)	五九九	阿寒湖	六〇三	阿巴哈納爾部(清)	五一	東本願寺	三三三	東明縣(清)	六三七
青縣(清)	六〇〇	阿寒溪	六〇三	阿勒蘇喀(清)	五一	東山溫泉	三三三	東陽縣(清)	六三七
		阿久利川	六〇三	東國	一八	東阿縣(清)	三三二	東萊府(韓)	六三七
		阿猴街	六〇三	東海道	三一	東安縣(清)	三三二	東萊溫泉(韓)	六三七
		阿公店街	六〇三	東海道五十三次	三一	東安廳(清)	三三二	東蘭州(清)	六三八
		阿蘇山	六〇三		三一	東海(清)	三三二	東流縣(清)	六三八
								東陵(清)	六三八

東路廳(清)	六三八	岩國川	五五	岡崎町	七七	金戒光明寺	一三二	金山(清)	五四六
姉川	一九	岩國町	五五	岡部町	七八	金開寺	一三二	金沙江(清)	五四六
雨龍川	二二	岩倉村	五五	岡部村	七八	金花山	一三三	金州(清)	五四六
雨花壑(清)	六七	岩倉實相院	五五	岡山市	七八	金峯山寺	一三三	金州牛島(清)	五四七
板橋町	四〇	岩代國	五五	岡豐村	七八	金北山	一三四	金州灣(清)	五四七
和泉國	四〇	岩槻町	五五	往生院	八六	金峯神社	一三四	金泉(韓)	五四七
和歌浦	五〇	岩手縣	五五	近江國	九三	金刀比羅神社	一三四	金門島(清)	五四七
和歌山市	五〇	岩手山	五五	近江鐵道	九三	金剛山	一七四	金陵(清)	五四七
和氣町	五〇	岩內町	五五	近江入景	九三	金剛山寺	一七四	河南鐵道	五四七
和田峠	五〇	岩內嶽	五五	近畿地方	九三	金剛寺	一八〇	河北鴻	一一一
和納村	五〇	岩沼町	五五	近津神社	九三	金剛證寺	一八〇	河口湖	一一二
和州(清)	五〇	岩根山	五五	金井澤碑	九三	金剛福寺	一八〇	河內國	一一三
和順(清)	五〇	岩船町	五五	金石町	九三	金剛茶寺	一八〇	河陰縣(清)	一一三
和林格爾城(清)	五〇	岩見澤村	五五	金崎	九三	金剛寶寺	一八〇	河間府(清)	一一三
和州(清)	五〇	岩越鐵道	五五	金澤神社	九三	金剛堂	一八〇	河源縣(清)	一一三
怡土村	五〇	岩手山	五五	金澤市	九三	金地院	一八〇	河口(清)	一一三
妹背山	五〇	波上宮	五五	金澤八景	九三	金龍寺	一八〇	河津縣(清)	一一三
岩井溫泉	五〇	波止濱村	五五	金澤文庫	九三	金龍寺	一八〇	河州(清)	一一三
岩木川	五〇	波太島	五五	金光神社	九三	金家也(清)	一八〇	河內縣(清)	一一三
岩木山脈	五〇	波羅牟知島	五五	金谷町	九三	金鷲島(韓)	一八〇	河池州(清)	一一三
								河東河道總督(清)	一一三
								河南省(清)	一一三

河南府(清)	五三一	郟縣(清)	五四四	來島	一五〇	定陶縣(清)	六三八	武庫浦	四六四
河北(清)	五三一	郟州(清)	五四四	來迎寺	四九七	定南縣(清)	六三八	武藏國	四六四
河內縣(清)	五三一	郟門縣(清)	五四七	來安縣(清)	六八五	定番州(清)	六三八	武藏野	四六四
河陽縣(清)	五二二	郟陽縣(清)	五五〇	來賓縣(清)	六八五	定平(清)	六三八	武昌(清)	五二七
劉谷町	一一一	郟連山(清)	五五一	來陽縣(清)	六八五	定邊縣(清)	六三八	武安縣(清)	六五二
兩谷關(清)	五三三	奇臺(清)	五五五	花連港	一五七	定邊左副將軍(清)	六三八	武威縣(清)	六五二
岢嵐州(清)	五三三	屏府縣(清)	五五一	花咲牛島	三六六	知庄岬	二三八	武強縣(清)	六五三
宜昌(清)	五二五	岸和田	一一六	花咲山	三八六	周家口(清)	五八六	武功縣(清)	六五四
宜鳥縣(清)	五二五	杵築宮	一一九	花卷町	三八六	周防灘	二四二	武強縣(清)	六五三
宜君縣(清)	五二五	京都	一三七	花園江(清)	五五三	周村(清)	五八八	武岡縣(清)	六五四
宜禾縣(清)	五二五	京都五山	一三八	花屋	一五九	彼杵牛島	二六二	武進縣(清)	六五五
宜興縣(清)	五二五	京都御所	一三八	兒島牛島	一六九	宗谷海峽	二六三	武陟縣(清)	六五五
宜黃縣(清)	五二五	京都鐵道	一三八	兒島山	一六九	容谷岬	二六三	武城縣(清)	六五五
宜山縣(清)	五二五	京畿鐵道(清)	一三八	庚申山	一八九	宗像神社	四六六	武昌府(清)	六五五
宜春縣(清)	五二五	京畿鐵道(清)	一三八	昆陽野	一八三	宗忠神社	四六六	武清縣(清)	六五五
宜昌峽(清)	五二五	京津鐵道(清)	五五五	舍利濱	三三〇	空知川	二六三	武宣縣(清)	六五五
宜寧縣(清)	五二五	京仁鐵道(清)	五五六	定義溫泉	三三二	武雄町	三三三	武定府(清)	六五五
宜城縣(清)	五二五	京城(清)	五五七	定安縣(清)	六二七	武豐町	二八四	武寧縣(清)	六五五
宜川(清)	五二五	京城電氣鐵道(清)	五五七	定邊縣(清)	六二七	武生町	二八四	武班(清)	六五五
宜都縣(清)	五二五	京城十三重塔(清)	五五八	定興縣(清)	六二七	武甲山	四一四	武平縣(清)	六五五
宜賓縣(清)	五二五	京釜鐵道(清)	五五九	定州(清)	六二七	武庫川	四六三	武邑縣(清)	六五五
宜蘭	一三九	忽那島	一四四	定襄縣(清)	六二八	武庫山	四六三	武陵縣(清)	六五八
宜爾溪	一三九	風斜路湖	一四四						

忠海町	二八七	長崎縣	三四二	長井(清)	六二四	初瀬町	三六六	松尾崎	四三八
忠州(清)	六二二	長崎市	三四二	長城(清)	六二四	肥後國	三九六	松尾寺	四三八
忠清道(清)	六二二	長崎線	三四二	長生浦(清)	六二四	肥後平野	三九七	松川浦	四三八
忠清南道(清)	六二二	長崎港	三四二	長箭津(清)	六二五	肥前國	三九八	松倉村	四三八
忠清北道(清)	六二二	長篠村	三四三	長泰縣(清)	六二五	肥前縣(清)	六五〇	松坂町	四三九
垂井町	二九八	長洲町	三四三	長淵(清)	六二五	肥城縣(清)	六五〇	松島	四三九
垂水町	二九八	長田神社	三四四	長治縣(清)	六二五	枚岡神社	四〇六	松島灣	四三九
知多線	三〇二	長門國	三四四	長白山(清)	六二五	枚方町	四〇六	松代町	四三九
知多半島	三〇二	長野縣	三四五	長武縣(清)	六二五	府中	四〇六	松平町	四三九
知夫里島	三〇三	長野市	三四五	所澤町	三二四	府中町	四〇六	松戶町	四三九
知縣(清)	六二七	長濱町	三四六	所安島(清)	五八九	府尹(清)	六五二	松任町	四三九
知州(清)	六二七	長瓦川	三四七	栃木縣	三二八	府谷縣(清)	六五二	松尾神社	四三九
知府(清)	六二七	長谷山	三四七	栃木町	三二八	芙蓉峰	四二二	松尾村	四三九
長講堂	三〇五	長谷寺	三四七	虎御前山	三三八	法金剛院	四二二	松尾山	四三九
長者原	三〇六	長安(清)	三三八	虎崎峽(清)	五八七	法隆寺	四二二	松崎町	四三九
長府	三〇六	長淵(清)	三三八	奈古浦	三三八	法華寺	四二二	松本平	四三九
長福壽寺	三〇六	長垣縣(清)	三三八	奈古島	三三八	法庫門(清)	四二二	松木町	四三九
長保寺	三〇六	長江(清)	三三八	奈良市	三三八	房州街道	四二二	松山市	四三九
長樂寺	三〇六	長江艦隊(清)	三三八	奈良大佛	三三八	房總鐵道	四二二	松山町	四三九
長岡市	三〇六	長江水師本營(清)	三三八	沼垂町	三三八	房總半島	四二二	松浦灣	四三九
長岡町	三〇六	長山縣(清)	三三八	沼田町	三三八	房縣(清)	四二二	松浦川	四三九
長尾岬	三〇六	長山列島(清)	三三八	沼津町	三三八	房山縣(清)	四二二	松浦五島	四三九
長湫	三〇六	長子縣(清)	三三八	念珠關	三三八	牧野原	四二二	松浦山	四三九
長崎街道	三〇六	長沙(清)	三三八	泊瀬川	三三八	牧山城址	四二二	松嶽(清)	四三九
		長州縣(清)	三三八	泊瀬山	三三八	牧東應岬(清)	四二二	松京(清)	四三九

松花江(清)	五九〇	例幣村	五〇二	杭扇(清)	五七〇	尙州(韓)	五九一	奉天(清)	六七〇
松江府(清)	五九〇	若狹	五〇五	姑蘇山(清)	五七〇	芮城縣(清)	六〇一	奉天府(清)	六七〇
松滋縣(清)	五九一	若狹富士	五〇五	崑山縣(清)	五七四	拓城縣(清)	六一六	孟津縣(清)	六七八
松田海(韓)	五九二	若狹灣	五〇五	昆陽縣(清)	五七四	泥岷(韓)	六二七	拉薩(清)	六八〇
松都(韓)	五九二	若松市	五〇六	芷江縣(清)	五七九	迪化府(清)	六二八	拉林城(清)	六八八
松桃廳(清)	五九三	若松町	五〇六	始興縣(清)	五七九	宕渠(清)	六三二		
松藩廳(清)	五九四	易水(清)	五〇六	泗州(清)	五七九	宕昌(清)	六三六		
松嶺山脈(清)	五九五	易門縣(清)	五〇二	泗水(清)	五七九	乳原縣(清)	六四三		
門司市	四七一	宛平縣(清)	五〇二	泗川(清)	五七九	沛縣(清)	六四三		
門司港	四七一	於潛縣(清)	五〇三	岫巖(清)	五七九	泌陽縣(清)	六四三		
物部神社	四七二	屋山(清)	五〇四	招遠縣(清)	五八七	岷州(清)	六五〇		
物部川	四七二	岳州(清)	五〇六	昌吉縣(清)	五八九	岷州(清)	六五〇		
油利島	四八八	岳州府(清)	五〇九	昌化縣(清)	五九〇	阜康縣(清)	六五〇		
呼子島	四八八	岳池縣(清)	五〇九	昌城(韓)	五九一	阜寧縣(清)	六五五		
呼爾城(清)	四八八	岳陽縣(清)	五〇九	昌德宮(韓)	五九一	阜寧縣(清)	六五五		
呼倫池(清)	四八八	岳陽樓(清)	五〇九	昌岡府(清)	五九三	阜平縣(清)	六五五		
呼倫貝爾(清)	四八八	呼倫縣(清)	五〇九	昌平郡(清)	五九四	阜陽縣(清)	六五五		
呼倫湖(清)	四八八	呼倫縣(清)	五〇九	昌邑縣(清)	五九四	阜陽縣(清)	六五五		
兩湖橋	四八八	呼倫縣(清)	五〇九	昌黎(清)	五九五	鄧州(清)	六五五		
兩毛線	四八八	官話(清)	五〇一	昌黎(清)	五九五	奉化縣(清)	六五五		
兩班(韓)	四八八	肯特山(清)	五〇一	邵武(清)	五九一	奉化縣(清)	六五五		
兩江(清)	四八八	固安縣(清)	五〇二	邵武(清)	五九一	奉化縣(清)	六五五		
兩廣(清)	四八八	固原州(清)	五〇二	邵武府(清)	五九二	奉新縣(清)	六五五		
兩當(清)	四八八	固始縣(清)	五〇二	邵武縣(清)	五九二	奉節縣(清)	六五五		
	四八八	固城(韓)	五〇二	邵陽縣(清)	五九三				
	四八八	杭州(清)	五〇二						

九畫

飛鳥	一三	香山縣(清)	五六六	紀川	一三〇	建水縣(清)	五六一	品井沼	二一六
飛鳥川	一四	香爐峰(清)	五七四	紀三井寺	一三二	建德縣(清)	五六一	品川町	二一六
飛鳥山公園	一四	香港(清)	六七二	祇園會	一三五	建寧縣(清)	五六一	品川灣	二一七
飛鳥	三三二	柏崎町	一〇三	祇園林	一三五	建寧府(清)	五六二	柴山灣	二一九
飛驒國	三三二	柏島	一〇三	枳殼邸	一三五	建平縣(清)	五六二	柴山灣	二一九
飛龍閣(清)	六五一	春日神社	一〇三	城崎溫泉	一三五	建陽(清)	五六二	首里	二二〇
威(清)	五一一	春日野	一〇四	城夕島	一三五	恒春	一七〇	洲崎	二二〇
威海衛(清)	五一一	春日山	一〇四	城南神社	一〇四	後樂園	一七三	洲崎神社	二二〇
威寧(清)	五一一	春川(清)	一〇四	城端町	一〇四	後樂園	一七三	洲本川	二二〇
英彦山	五二〇	冠嶽	一一三	城山	二二九	後志國	一八六	洲本町	二二〇
英永縣(清)	五二〇	冠嶽(清)	一一三	城固縣(清)	二二九	後志國	一八六	洲本川	二二〇
垣曲縣(清)	五二二	冠嶽(清)	一一三	城口廳(清)	二二九	後方羊蹄山	二二八	洲本川	二二〇
音無川	五二二	冠嶽(清)	一一三	城津浦(清)	二二九	後瀨山	二二八	洲本川	二二〇
音無川	五二二	冠嶽(清)	一一三	城步縣(清)	二二九	信樂谷	二二八	泉岳寺	二二〇
音羽澤	五二二	冠嶽(清)	一一三	活火山	二二九	信貴山	二二八	泉浦寺	二二〇
音戶瀨戶	五二二	冠嶽(清)	一一三	建勸神社	二二九	信濃國	二二八	泉州寺	二二〇
嶺捨山	五二二	冠嶽(清)	一一三	建長寺	二二九	信濃川	二二八	泉州(清)	二二〇
表日本	五二二	冠嶽(清)	一一三	建仁寺	二二九	信濃川	二二八	泉州(清)	二二〇
香川縣	五二二	冠嶽(清)	一一三	建部神社	二二九	信濃川	二二八	泉州(清)	二二〇
香椎村	五二二	冠嶽(清)	一一三	建安縣(清)	二二九	信濃川	二二八	泉州(清)	二二〇
香椎宮	五二二	冠嶽(清)	一一三	建康(清)	二二九	信濃川	二二八	泉州(清)	二二〇
香取神社	五二二	冠嶽(清)	一一三	建始縣(清)	二二九	信濃川	二二八	泉州(清)	二二〇
香山港	五二二	冠嶽(清)	一一三	建昌縣(清)	二二九	信濃川	二二八	泉州(清)	二二〇
香山(清)	五二二	冠嶽(清)	一一三			信濃川	二二八	泉州(清)	二二〇

津輕平野	三〇七	南海道	三五四	南嶺地方(韓)	六三九	彦根町	三九七
津市	三〇九	南宮神社	三五四	南寧縣(清)	六四一	卑南	四〇一
津島町	三一〇	南湖	三五四	南寧府(清)	六四一	屏風浦	四〇五
津線	三一〇	南岬	三五五	南皮縣(清)	六四一	屏風山	四〇五
津勢松原	三一〇	南岬山脈	三五五	南平縣(清)	六四一	屏南縣(清)	四〇五
津幡町	三一〇	南禪寺	三五五	南豐縣(清)	六四一	星岡公園	四〇八
津山川	三一〇	南都	三五五	南陽(清)	六四一	星月井	四〇八
津山町	三一〇	南都七火寺	三五五	南陽縣(清)	六四一	星子縣(清)	四〇〇
津和野川	三一〇	南都八景	三五五	南陽府(清)	六四一	星州(韓)	四〇〇
津和野町	三一〇	南都地方	三五五	南陽縣(清)	六四一	保津川	四〇二
勅使河原	三一〇	南都富士	三五五	南樂縣(清)	六四一	保原町	四〇三
梅尾山	三一〇	南風浦	三五五	南陵縣(清)	六四一	保安州(清)	四〇三
洞爺湖	三一〇	南千住町	三五五	南嶺(清)	六四一	保縣(清)	四〇三
洞爺湖(清)	三一〇	南日本	三五五	南嶺(清)	六四一	保鹿縣(清)	四〇三
苦前村	三一〇	南安府(清)	三五五	南和縣(清)	六四一	保昌縣(清)	四〇三
苗木町	三一〇	南苑(清)	三五五	南嶺縣(清)	六四一	保定府(清)	四〇三
苗場山	三一〇	南苑(清)	三五五	南嶺縣(清)	六四一	保靖縣(清)	四〇三
直江津	三一〇	南苑(清)	三五五	南嶺縣(清)	六四一	保山縣(清)	四〇三
直江津港	三一〇	南苑(清)	三五五	南嶺縣(清)	六四一	保昌縣(清)	四〇三
直方町	三一〇	南苑(清)	三五五	南嶺縣(清)	六四一	保定府(清)	四〇三
直隸省(清)	三一〇	南苑(清)	三五五	南嶺縣(清)	六四一	保德州(清)	四〇三
直隸海峽(清)	三一〇	南苑(清)	三五五	南嶺縣(清)	六四一	保寧府(清)	四〇三
流山町	三一〇	南苑(清)	三五五	南嶺縣(清)	六四一	前岳	四〇三
南海鐵道	三一〇	南苑(清)	三五五	南嶺縣(清)	六四一	前橋市	四〇三
						待乳山	四〇三
						美徳山	四〇三

美濃國	四五四	柳渡	四七八	汗陽縣(清)	五六二	昭明宮(清)	五九四	清水(清)	六八二
美保關港	四五六	柳溝(清)	四九〇	孤下島(韓)	五六三	昭明縣(清)	五九四	清川縣(清)	六八二
美保關村	四五六	柳州府(清)	四九〇	孤山(孤)	五六六	承德府(清)	五九三	姚州(清)	六八三
美々津川	四五六	柳城縣(清)	四九〇	恒山(清)	五六六	政和縣(清)	五九五		
美々津町	四五六	耶馬溪	四七九	洪州(韓)	五六八	宣威州(清)	六〇五		
室生寺	四六七	勇兵(清)	六八二	洪澤縣(清)	五七一	宣化府(清)	六〇五		
室津半島	四六八	洋縣(清)	六八三	故城縣(清)	五七〇	宣城縣(清)	六〇六	荒井關	二四
室積港	四六八	洛中	四九八	胡庄屯(清)	五〇七	宣聖廟(清)	六〇六	荒川	二四
室津港	四六八	洛東	四九八	郟陽縣(清)	五七四	宣平縣(清)	六〇七	荒鹿村	二四
室戸岬	四六八	洛水(清)	四八五	思安縣(清)	五七九	前山縣(清)	六〇七	荒津山	二五
室蘭港	四六九	洛川縣(清)	六八五	思恩(清)	五七九	前嶺(清)	六〇七	班鳩寺	三一
延濱町	四六九	洛東江(韓)	六八五	思州府(清)	五七九	珍島(韓)	六〇七	茨城縣	三一
茂林寺	四七二	洛陽縣(清)	六八六	思南府(清)	五八〇	查靈海(清)	六〇七	茨木町	三一
茂山(韓)	四七二	洛陽縣(清)	六八六	思茅(清)	五八〇	真豊州(清)	六〇七	茨田池址	三一
茂州(清)	四七二	洛陽縣(清)	六八六	洱海(清)	五八〇	怒江(清)	六〇七	院內町	三一
茂名縣(清)	四七二	洛陽縣(清)	六八六	施南府(清)	五八〇	突山島(清)	六〇七	院庄	三一
屋久島	四七四	禹城(清)	五〇九	施乘縣(清)	五八〇	拜塔里克河(清)	六〇七	殷山(韓)	三一
屋島山	四七五	拱北(清)	五〇九	洵陽縣(清)	五八〇	哈密(清)	六〇七	殷山溫泉(韓)	三一
屋島寺	四七五	軍機處(清)	五〇九	叙永縣(清)	五八〇	哈拉賓(清)	六〇七	祖谷川	三一
屋島浦	四七五	科布多部(清)	五〇九	昭化縣(清)	五八〇	范縣(清)	六〇七	祖谷山	三一
柳井津町	四七八	科布多城(清)	五〇九	昭通府(清)	五八〇	眉州(清)	六〇七	祝町	三一
柳瀨	四七八	迎恩門(韓)	五〇九	昭文縣(清)	五八〇	苗越種(清)	六〇七	浮島沼	三一
柳川	四七八	迎日灣(韓)	五〇九	昭平縣(清)	五八〇	封邱縣(清)	六〇七	浮山縣(清)	三一
						封川縣(清)	六〇七	浮梁縣(清)	三一

欽傍山	六五	恩福古丹島	九五	神泉苑	二二四	宮古町	四九九
浦賀港	六六	恩福縣(清)	五二四	神通川	二二五	宮崎縣	四九九
浦和町	六六	恩福縣(清)	五二四	神池(清)	五八四	宮崎町	四九九
浦項(清)	六六	恩津彌勒佛(韓)	五二四	神木縣(清)	五八四	宮島	四九〇
浦江縣(清)	六六	峨々溫泉	九八	釜山町	一一二	宮路山	四六〇
浦城縣(清)	六六	峨眉山(清)	五三一	釜石町	一一三	宮津港	四六〇
烏帽子岳	七三	桂川	一〇七	釜戶溫泉	一一四	宮下溫泉	四六〇
烏川	七三	桂東縣(清)	五五八	釜無川	一一四	桐生町	四六〇
烏江(清)	一一〇	桂陽縣(清)	五五九	釜山(韓)	一一四	桐鄉縣(清)	四六〇
烏什(清)	一一〇	桂奈川街道	五五九	釜山鎮(韓)	一一四	桐梓縣(清)	四六〇
烏蘇里江(清)	一一〇	神奈川縣	一〇九	唐崎	一一四	桐城縣(清)	四六〇
烏布薩湖(清)	一一〇	神奈川町	一〇九	唐澤山	一一四	桐柏縣(清)	四六〇
烏魯木齊(清)	一一〇	神子元島	一〇九	唐津町	一一四	桐廬縣(清)	四六〇
追分縣	一一〇	神津島	一〇九	唐津港	一一四	桐廬縣(清)	四六〇
扇谷	一一〇	神崎	一一四	唐招提寺	一一四	草津溫泉	四六〇
扇山	一一〇	神崎川	一一四	唐縣(清)	一一四	草津線	四六〇
家班站(清)	一一〇	神田神社	一一四	唐山(清)	一一四	草津町	四六〇
恐山	一一〇	神並山	一一四	唐山縣(清)	一一四	郡上町	四六〇
恐山溫泉	一一〇	神庭瀑	一一四	唐山(清)	一一四	郡內地方	四六〇
鬼城山	一一〇	神戶町	一一四	唐津(韓)	一一四	郡山町	四六〇
鬼首溫泉	一一〇	神威山	一一四	宮城縣	一一四	郡山浦(韓)	四六〇
鬼界島	一一〇	神戶市	一一四	宮城野	一一四	倉內沼	四六〇
鬼怒川	一一〇	神戶港	一一四	宮古川	一一四	倉敷川	四六〇
		神護寺	一一四	宮古群島	一一四	倉敷町	四六〇
				宮古島	一一四	倉吉町	四六〇

俱利伽羅峠	一五〇	高繩半島	二八〇	書房(韓)	五八五
栗駒山	一五〇	高梁川	二八〇	珠州岬	五八五
栗橋町	一五〇	高梁町	二八〇	珠江(清)	五八五
栗名町	一五〇	高濱	二八〇	珠江流域地方(清)	五八五
桑間川	一五〇	高原山	二八〇	殺生石	二五五
桑折町	一五〇	高天原	二八〇	帶那山	二五五
桑植縣(清)	一五〇	高松村	二八〇	茶白山	二五五
氣多崎	一五〇	高松市	二八〇	茶陵州(清)	二五五
兼六公園	一五〇	高松山	二八〇	桃仔園	二五五
兼二浦(韓)	一五〇	高湯溫泉	二八〇	桃源(清)	二五五
粉河郡	一五〇	高安村(清)	二八〇	桃源縣(清)	二五五
粉河寺	一五〇	高苑縣(清)	二八〇	砥部村	二五五
高台寺	一五〇	高勾輓(清)	二八〇	浪速	二五五
高知市	一五〇	高濱縣(清)	二八〇	浪速橋	二五五
高知縣	一五〇	高濱縣(清)	二八〇	浪合村	二五五
高野山	一五〇	高州(清)	二八〇	浪打村	二五五
高野鐵道	一五〇	高唐州(清)	二八〇	浪居香山(清)	二五五
高麗橋	一五〇	高平縣(清)	二八〇	浪白濱(清)	二五五
高良山	一五〇	高明縣(清)	二八〇	根來山	二五五
高岡市	一五〇	高島縣(清)	二八〇	根來寺	二五五
高岡神社	一五〇	高郵州(清)	二八〇	根室國	二五五
高岡町	一五〇	高陽縣(清)	二八〇	根室海峽	二五五
高雄川	一五〇	高要縣(清)	二八〇		
高尾山	一五〇	高陵縣(清)	二八〇		

根室港	三七四	馬平縣(清)	六四八	留一廳	六九一	莒州(清)	六四六
納沙布岬	三七五	馬邊廳(清)	六四八	臨町	五〇七	若盈州(清)	六四九
納谿縣(清)	六四四	馬邑縣(清)	六四九	庫倫(清)	五五二	容縣(清)	六八三
能代川	三七五	馬養島(韓)	六四九	庫蘇克爾湖(清)	五五二	容城(清)	六八四
能代町	三七六	馬龍州(清)	六四九	庫爾哈拉(清)	五五二	涼州府(清)	六八二
能代港	三七六	馬山角(清)	六七三	鄧(清)	五二九	旅順口(清)	六九二
能勢妙見	三七六	馬山城址(韓)	六七三	翁源縣(清)	六二七	蕪波縣(清)	六九二
能登國	三七六	秦野町	三八四	敷城河(清)	五二四	蕪湖縣(清)	六九五
能登島	三七七	秦安縣(清)	五八一	坡下(清)	五二四	聊城縣(清)	六九五
能登半島	三七七	秦州(清)	五八二	夏縣(清)	五二五	那魯廳(清)	六九二
能取湖	三七七	秦皇島(清)	五八四	夏津縣(清)	五二九	倭館(韓)	六九七
能褒野	三七八	秦嶺山脈(清)	五八五	夏邑縣(清)	五三〇	倭將臺(韓)	六九九
能美島	三七八	秦淮水(清)	五八五	夏津縣(清)	五三〇		
乘鞍岳	三七八	般若寺	五九〇	夏邑縣(清)	五三〇		
馬關海峽	三七九	原釜	五九〇	荊州府(清)	五五七		
馬公	三八〇	原町	五九二	荊州府(清)	五五七		
馬入川	三八七	原州(韓)	五六一	荊州府(清)	五五七		
馬韓(韓)	六四四	原武縣(清)	五六一	荊州府(清)	五五七		
馬港(清)	六四七	益城郡	五二二	荊州府(清)	五五七		
馬山浦(韓)	六四七	益都縣(清)	五二二	荊州府(清)	五五七		
馬息嶺(韓)	六四七	益陽縣(清)	五二二	荊州府(清)	五五七		
馬蹄銀(清)	六四七	峰	五二二	荊州府(清)	五五七		
馬尾港(清)	六四七	祐天寺	五二二	荊州府(清)	五五七		

十一畫

淡路國	二八	蓬坂山	八三	笠置山	一〇一	清國兵器製造所	五八二	釧路町	一四三
淡路島	二八	鹿兒島縣	一〇〇	笠置島	一〇二	清苑縣(清)	五九九	釧路港	一四三
淡水	二九五	鹿兒島市	一〇〇	笠間	一〇二	清遠縣(清)	五九九	國栖	一四三
淡水河	二九六	鹿兒島神社	一〇〇	笠間(韓)	六九〇	清河縣(清)	五九九	國後島	一四三
淡水溪	二九六	鹿兒島鐵道	一〇一	柑柿寺	一一七	清湖縣(清)	五九九	國懸神社	一四三
淡水溪東川	二九六	鹿兒島灣	一〇一	洞沼	一一一	清溪縣(清)	六〇〇	國東半島	一四三
淡水線	二九六	鹿島神社	一〇二	清洲町	一三六	清江縣(清)	六〇〇	國比佐村	一四三
淡輪村	二九六	鹿島洋	一〇三	清澄山	一三六	清江縣(清)	六〇〇	國頭	一四三
淡水廳(清)	六一六	鹿島七不思議	一〇三	清瀧寺	一三七	清山島(韓)	六〇〇	國師嶽	一四三
猪名川	四六	鹿島町	一〇三	清瀧川	一三七	清州(清)	六〇〇	國清寺	一四三
猪名野	四六	鹿沼町	一一一	清見沼	一三八	清水縣(清)	六〇一	國府	一四三
猪苗代湖	四八	鹿野山	一一二	清水瀨	一三八	清泉縣(清)	六〇一	國分村	一四三
猪苗代町	四八	鹿野町	一一二	清水寺	一三八	清川江(韓)	六〇一	國分寺	一四三
猪鼻峯	四九	鹿谷	一一三	清水町	二二二	清江江(韓)	六〇一	國分寺村	一四三
猪鼻嶽	四九	鹿港	二二二	清水谷公園	二二二	清江縣(清)	六〇一	國分尼寺	一四三
陰山(清)	五一六	鹿港街	五〇四	清見寺	二二二	清鎮(清)	六〇二	國府津	一四三
魚津町	五一六	鹿頭關(清)	五〇四	清見寺	二二二	清道(韓)	六〇二	國府臺	一四三
魚翁角	一三六	鹿邑縣(清)	六九六	清光寺	二五〇	清寧州(清)	六〇三	國內城(清)	一四三
魚翁島	一三六	桶狹間	八二	清澄寺	二五〇	清平縣(清)	六〇三	球磨川	一四三
魚翁島(清)	一三六	掛川町	一〇〇	清涼寺	二五〇	清北(韓)	六〇三	華頂山	一四三
梅宮神社	六五	笠岡町	一〇一	清國	六〇四	清豐縣(清)	六〇四	華嚴瀧	一四三
得撫島	六七	笠岳	一〇一	清國宗教	五八二	清涼里(韓)	六〇四	華山(清)	一四三
秋の濱	八〇	笠形山	一〇一	清國住民	五八二	清流縣(清)	六〇四	華州(清)	一四三
秋子島(韓)	六二八	笠置山脈	一〇一	清國造船所	五八二	基隆	一四〇	華州(清)	一四三
逢隈川	八一	笠置寺	一〇一	清國二大幣風	五八二	基隆川	一四〇	華亭縣(清)	一四三
逢坂關	八三	笠置村	一〇一		五八二	釧路國	一四三		

華島(清)	五五五	常磐線	二三四	崇安縣(清)	六〇八	運子	三〇九	習志野	三二七
華容縣(清)	五五五	常磐公園	三二二	崇義縣(清)	六〇八	通天橋	三一	野古島	三二五
華陽縣(清)	五五五	常磐神社	三二二	崇信縣(清)	六〇八	通渭縣(清)	三二	野崎觀音	三二五
假粧坂	一五八	常神崎	三二四	崇仁縣(清)	六〇八	通海縣(清)	六二六	野島崎	三二五
筒飯浦	一五八	常滑町	三二四	崇寧縣(清)	六〇九	通許縣(清)	六二六	野尻湖	三二五
筒飯宮	一五八	常陸國	三二四	崇陽縣(清)	六〇九	通化縣(清)	六二六	野田町	三二六
虚空藏山	一六三	常漢(韓)	五八九	崇明縣(清)	六〇九	通江縣(清)	六二六	野田村	三二六
埼玉縣	一九一	常山縣(清)	五九一	崇陽縣(清)	六〇九	通江子(清)	六二六	野宮	三二六
征子峠	一九七	常熟(清)	五九二	崇禪門(清)	六〇九	通山縣(清)	六二六	野蒜港	三二七
參宮街道	二〇一	常州府(清)	五九二	袖浦	六〇九	通信院(清)	六二六	野邊地町	三二七
參宮鐵道	二〇一	常德府(清)	五九三	袖振山	六〇九	通州(清)	六二六	野邊地	三二七
眞如堂	二二五	常德縣(清)	五九三	島海山	六〇九	通城縣(清)	六二七	野間村	三二七
眞福寺	二二五	常民(韓)	五九四	島取縣	六〇九	通古斯種(韓)	六二七	野洲川	三二七
眞葛原	四三六	宿毛町	二四三	島取市	三二九	都城町	三二九	野洲村	三二七
眞野入江	四三七	宿毛灣	二四三	島羽	三三一	都井岬	三二九	野吸門	三二七
眞野灣	四四三	宿州(清)	二四三	島羽川	三三一	都結州(清)	三二九	野川	三二七
眞岡	四四三	宿松縣(清)	二五〇	島羽戀塚	三三一	都原縣(清)	三二九	野路市	三二七
眞岡町	四七〇	船上山	二五〇	島羽港	三三一	都江縣(清)	三二九	野小島	三二七
寂光院	二二九	船通山	二五八	島居嶺	三三一	都察院(清)	三二九	野吹川	三二七
捨子古丹島	二二九	船津神社	二五八	島上	三三一	都昌縣(清)	三二九	深川公園	三二七
筥ヶ嶽	二二二	船津町	二五八	島部野	三三八	堂邑縣(清)	三二九	深草里	三二七
將軍塚	二二二	梅檀町	二五八	島部山	三三八	梨木神社	三二九	深田瀧	三二七
將軍縣(清)	二二二	崇元寺	二五八					閉伊崎	三二七
淨智寺	二二二	崇政殿(清)	二五八						
淨妙寺	二二二								

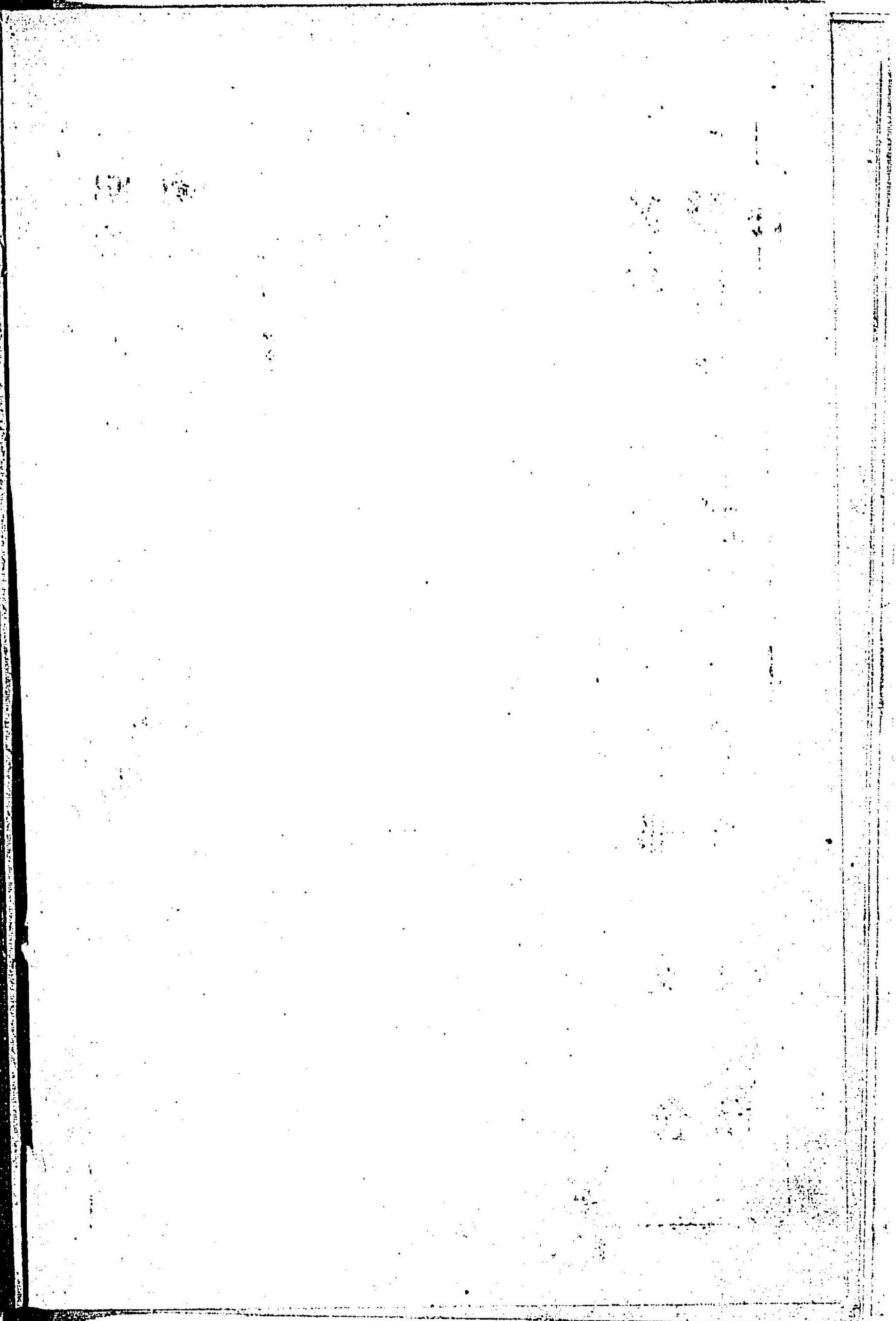
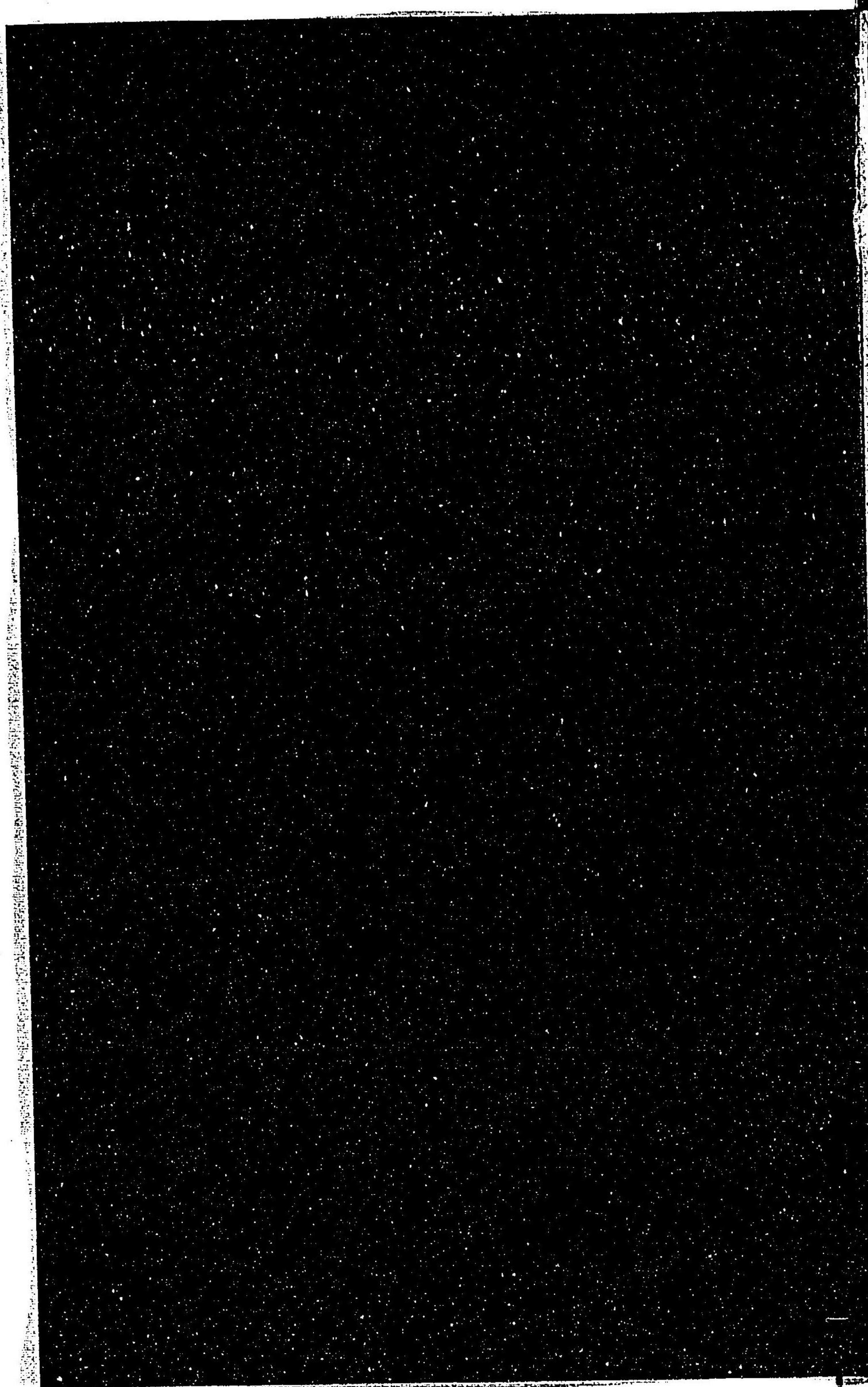
細島町	四二八	嶧縣(清)	五五〇	商州(清)	五九一	望都縣(清)	六七二	葛州(清)	六九七
細河沿(清)	五七五	許州(清)	五五〇	商水縣(清)	五九二	密雲縣(清)	六七二	淮安府(清)	六九八
堀越御所	四三三	莞島(韓)	五五〇	商南縣(清)	五九三	密陽府(清)	六七二	淮陰(清)	六九八
堀内	四三三	健爲縣(清)	五五〇	祥符縣(清)	五九四	務安(韓)	六七二	淮河口(清)	六九八
陸奥	四六五	健康宮(清)	五六一	旌德縣(清)	六〇二	欲知島(韓)	六八五	淮水(清)	六九八
陸奥國	四六六	梧州(清)	五六一	湘川縣(清)	六〇四	理藩院(清)	六八五	淮南(清)	六九八
陸奥灣	四九八	混同江(清)	五七四	莊家口(清)	六〇八	理藩院(清)	六八五	淮陽縣(清)	六九八
陸羽街道	四九八	混明縣(清)	五七四	莊浪驛(清)	六〇八	隆安縣(清)	六九〇	淮陽(清)	六九八
陸前國	四九八	朔州(清)	五七六	眞縣(清)	六〇八	隆昌縣(清)	六九〇		
陸川縣(清)	六八八	朔平府(清)	五七六	曹州府(清)	六〇八	隆中(清)	六九〇		
陸豊縣(清)	六八八	紫禁城(清)	五七九	曹州府(清)	六〇八	隆德縣(清)	六九〇		
陸涼州(清)	六八八	紫竹林(清)	五八〇	曹州府(清)	六〇八	隆平縣(清)	六九〇		
盛岡市	四七二	紫陽縣(清)	五八〇	曹州府(清)	六〇八	隆平縣(清)	六九〇		
盛京省(清)	五九九	淄川縣(清)	五八〇	曹州府(清)	六〇八	隆平縣(清)	六九〇		
盛京城(清)	五九九	莘縣(清)	五八二	陶爾河(清)	六〇八	隆平縣(清)	六九〇		
淀江町	四九四	深州(清)	五八二	陳州府(清)	六〇八	隆平縣(清)	六九〇		
淀川	四九五	深澤縣(清)	五八四	陳西府(清)	六〇八	隆平縣(清)	六九〇		
淀町	四九五	梓潼縣(清)	五八四	耽羅島(清)	六〇八	隆平縣(清)	六九〇		
琉球	四九九	從化縣(清)	五八七	張三城(清)	六〇八	隆平縣(清)	六九〇		
琉球諸島	五〇〇	淳安縣(清)	五八八	涪州(清)	六〇八	隆平縣(清)	六九〇		
掖縣(清)	五二二	淳化縣(清)	五八八	涪水(清)	六〇八	隆平縣(清)	六九〇		
僱師縣(清)	五二二	涉縣(清)	五九〇	涪水(清)	六〇八	隆平縣(清)	六九〇		
郊上縣(清)	五二二	紹興(清)	五九〇	平節縣(清)	六〇八	隆平縣(清)	六九〇		
淇縣(清)	五四三	處州府(清)	五九一	偏關縣(清)	六〇八	隆平縣(清)	六九〇		
淇縣(清)	五四三	商河縣(清)	五八九	望江縣(清)	六〇八	隆平縣(清)	六九〇		

溫泉嶽	六五	絲魚川町	四六	雄縣(清)	六八二	御來屋町	四四八	勝本町	一〇七
溫泉村	四八五	絲崎港	四六	奥羽	七六	御坂峠	四四八	勝山	一〇七
温州(清)	五二七	揖斐川	四六	奥羽三關	七六	御嵩町	四四八	勝持寺	二三四
温州密柑(清)	五二四	揖斐町	五〇	奥羽山脈	七六	御手洗川	四五一	勝龍寺城址	二三五
温州(清)	五二四	雲取山	六六	奥羽線	七七	御袋瀧川	四四七	蛤仔羅山脈	一六九
温州灣(清)	五二四	雲取山	一四八	奥蝦夷	七八	波島國	四四七	寒風溪	一一六
賀名生	一九	雲貴(清)	五二八	奥尻島	八〇	波真瀨川	五〇八	寒風澤島	二〇一
賀茂河	一一八	雲山(韓)	五二八	奥の富士	八一	波肥町	五〇九	寒川神社	二〇一
賀茂神社	一一九	雲中郡(清)	五二八	奥州街道	八五	開開嶽	九二	寒山寺(清)	二〇一
賀茂御祖神社	一一九	雲南省(清)	五二八	御神樂嶽	七七	開化府(清)	五二六	廈門(清)	五〇八
賀茂別當神社	一一九	雲南府(清)	五二八	御月山	八八	開原(清)	五二六	猪氏縣(清)	五〇八
賀縣(清)	五二九	雲夢(清)	五二八	御前崎	九二	開建縣(清)	五二六	菊川	一一五
嵐山	一四	雲龍(清)	五二八	御嶽	九二	開泰府(清)	五二六	菊池神社	一一五
嵐縣(清)	四九八	雲龍(清)	五二八	御物川	九四	開城(韓)	五二七	象頭山	一一五
粟田村	六八七	雲龍(清)	五二八	御所町	九四	開平(清)	五二七	象頭山	一一五
粟田口町	二七	惠山	六九	御殿場	七一	開平(清)	五二七	象頭山	一一五
粟田背遊院	二七	惠山崎	六九	御殿山	七三	開平炭坑(清)	五二七	象州(清)	五九〇
粟田山	二八	惠庭岳	七三	御坊町	七三	開封府(清)	五二八	象山神社	一一六
粟津原	二八	惠安縣(清)	七四	御油町	一七三	開平(清)	五二八	象金山神社	一一六
粟生島	二八	惠州府(清)	五五五	御影社	一八三	梯川	五二八	黃安縣(清)	五二八
硫黃島	三〇	惠氣縣(清)	五五七	御上神社	一八六	梯田	五二八	黃安州(清)	五二八
硫黃山	三〇	惠來縣(清)	五五九	御藏島	四四七	勝浦町	一〇六	黃河(清)	五二八
壹岐國	三二	雄阿寒岳	七五	御厨庄	四四八	勝尾寺	一〇六	黃海(韓)	五二八
幾春別	三三	雄基灣(韓)	六八二	御厨町	四四八	勝沼町	一〇七	黃海(清)	五二八

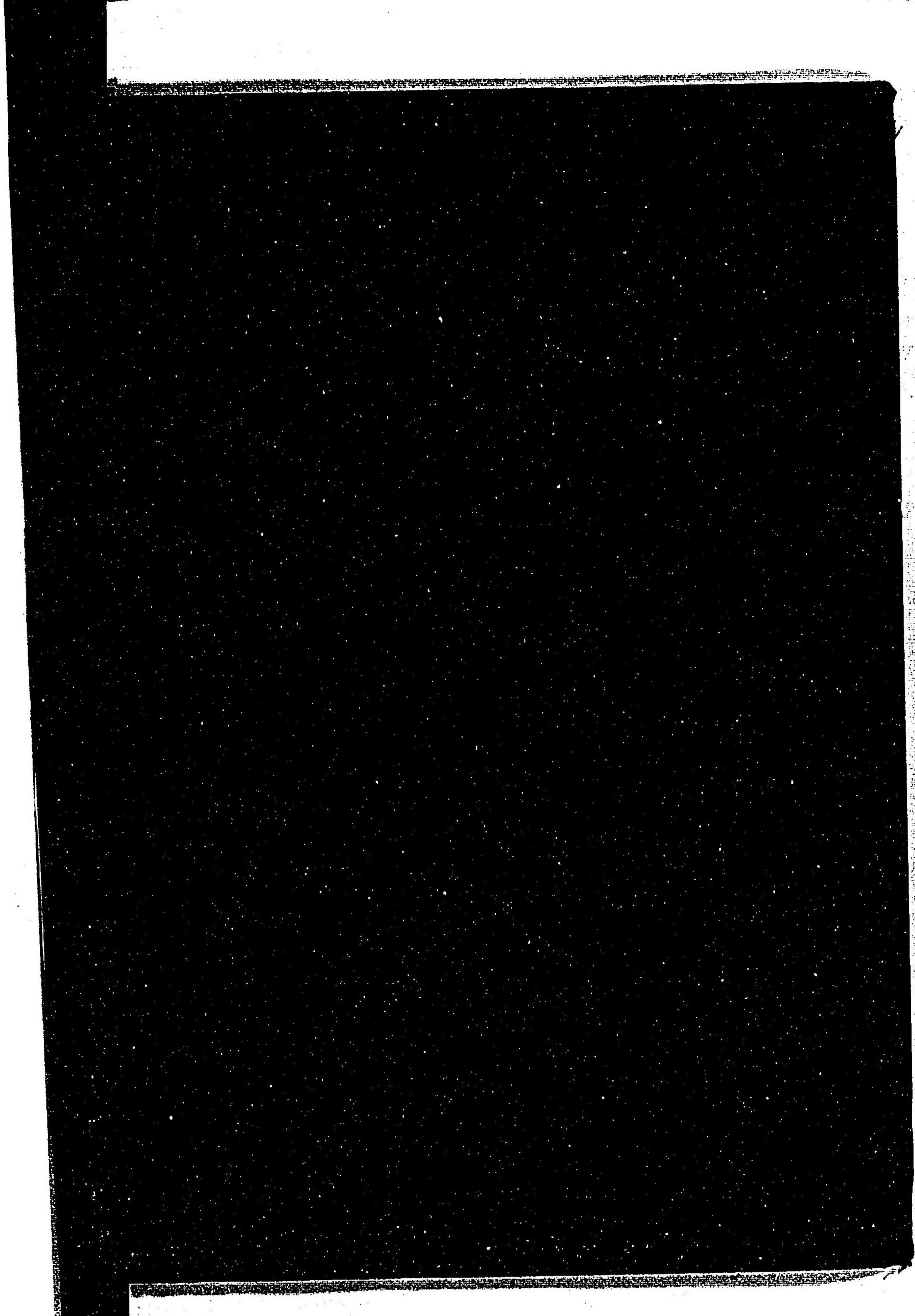
黃河流域地方(清)	五六三	黑江町	一五一	湖廣(清)	五六六	菅原神社	二四三	筑後川	三〇〇
黃岡縣(清)	五六六	黑髮山	一五二	湖口縣(清)	五六六	菅原伏見里	二四三	筑前國	三〇〇
黃山(韓)	五六六	黑木神社	一五二	湖州(清)	五六七	隔田川	二四六	筑豐縣	三〇〇
黃寺(清)	五六七	黑崎町	一五二	湖四(韓)	五七〇	隔田川八景	二四六	筑紫	三〇〇
黃州(清)	五六八	黑澤尻町	一五二	湖南(韓)	五七一	善光寺	二五八	筑紫二耶	三〇〇
黃州府(清)	五六八	黑瀨川	一五二	湖南省(清)	五七三	善光寺街道	二五六	筑紫富士	三〇〇
黃附縣(清)	五七二	黑嶽	一五二	湖北省(清)	五七三	善通寺	二五八	筑波山脈	三〇九
黃平州(清)	五七二	黑田原	一五二	陞川	一八八	善峯寺	二五八	筑波町	三〇九
黃平府(清)	五七二	黑姫山	一五二	最勝寺	一九〇	善寶寺	二五八	筑波町	三〇九
黃嶺縣(清)	五七四	黑部川	一五二	最御崎寺	四三〇	善化縣(清)	六〇五	筑坂寺	三一一
喜多院	一二七	黑法御嶽	一五三	最上川	四七〇	善竹橋(韓)	六〇七	靈神	三一一
喜多方町	一二八	黑谷	一五三	堺港	四七〇	曾我	六〇七	靈關縣(清)	三一一
喜門沼	一三〇	黑龍江(清)	一五三	椎谷町	二〇七	曾我	二六〇	敦賀町	三一一
養生川村	一三一	黑鹽井(清)	一五三	滋賀縣	二〇八	曾根	二六一	敦賀港	三一一
黃船川	一三二	黑水(清)	一五三	滋賀村	二〇八	曾根	二六一	敦賀港	三一一
黃船神社	一三二	黑水(清)	一五三	滋陽縣(清)	二〇八	曾根	二六一	敦賀港	三一一
黃溪縣(清)	一三三	黑水(清)	一五三	開谷	二一五	蓬摩寺	二九〇	敦嶺縣(清)	三一一
黃州(清)	一三三	黑林(清)	一五三	菅蒲田濱	二二五	蓬布瀨湊爾(清)	二九〇	答志島	三一一
黃州省(清)	一三三	黑龍江城(清)	一五三	須賀川町	二二五	蓬里諾爾(清)	二九〇	富岡町	三一一
黃池縣(清)	一三三	黑龍江省(清)	一五三	須川	二二五	智恩院	二九〇	富山	三一一
黃池縣(清)	一三三	極樂寺	一七四	須崎町	二二五	智恩寺	二九〇	富田川	三一一
黃定縣(清)	一三三	琴曳山	一七四	須佐神社	二二五	智積院	二九〇	富田村	三一一
黃德縣(清)	一三三	琴平町	一七四	須磨	二二五	智島(韓)	二九〇	富小川	三一一
貴陽府(清)	一三三	那浦	一七四	菅原寺	二二五	筑後國	三〇〇		
厨川	一五〇	那寧縣(清)	一五〇						
黑石町	一五一	湖山池	一八三						

富岡村	三三四	滑縣(清)	五七一	溱陽縣(清)	四五四	溱陽縣(清)	五九二
富田林	三三五	博多	三九九	港線	四七三	溱陽縣(清)	五九二
富山市	三三五	博多港	三九九	森吉山	四八四	溱陽縣(清)	五九二
富山灣	三三六	博多灣	三九九	湯島溫泉	四八四	溱陽縣(清)	五九二
富貴角	四一一	博興縣(清)	六四六	湯河原溫泉	四八五	溱陽縣(清)	五九二
富士川	四一四	博山縣(清)	六四六	湯島村	四八五	溱陽縣(清)	五九二
富山人脈	四一五	博川(韓)	六四六	湯殿山	四八六	溱陽縣(清)	五九二
富士山	四一五	博白縣(清)	六四六	湯濱溫泉	四八六	溱陽縣(清)	五九二
富士山異名	四一六	博野縣(清)	六四七	湯野村溫泉	四八七	溱陽縣(清)	五九二
富士裾野	四一六	博羅縣(清)	六四七	湯本溫泉	四八七	溱陽縣(清)	五九二
富士八湖	四一六	博羅縣(清)	六四七	湯山町	四八八	溱陽縣(清)	五九二
富津	四二〇	香控港	三九九	湯澤	四八八	溱陽縣(清)	五九二
富順縣(清)	四二〇	香場	三九九	湯陰縣(清)	四八八	溱陽縣(清)	五九二
富川縣(清)	四二〇	斐伊川	三九九	湯溪縣(清)	四八八	溱陽縣(清)	五九二
富平縣(清)	四二〇	備前國	三九九	湯山城(清)	四八八	溱陽縣(清)	五九二
富民縣(清)	四二〇	備中國	三九九	湯山(清)	四八八	溱陽縣(清)	五九二
富陽縣(清)	四二〇	備後國	三九九	渭源縣(清)	四八八	溱陽縣(清)	五九二
富米神社	四二〇	備後灘	三九九	渭水(清)	四八八	溱陽縣(清)	五九二
登米町	四二〇	琵琶湖	三九九	椅子山(清)	四八八	溱陽縣(清)	五九二
登州(清)	四二〇	琵琶坂峠	三九九	鄂城縣(清)	四八八	溱陽縣(清)	五九二
登封縣(清)	四二〇	筆捨山	三九九	鄂爾坤河(清)	四八八	溱陽縣(清)	五九二
滑川(清)	四二〇	程谷	三九九	鄂爾坤河(清)	四八八	溱陽縣(清)	五九二
滑河町	四二〇	程(清)	三九九	鄂爾坤河(清)	四八八	溱陽縣(清)	五九二
滑川	四二〇	鈎里	三九九	鄂爾坤河(清)	四八八	溱陽縣(清)	五九二
滑川町	四二〇	湊川	三九九	鄂爾坤河(清)	四八八	溱陽縣(清)	五九二
		湊川神社	三九九	鄂爾坤河(清)	四八八	溱陽縣(清)	五九二

彭澤縣(清)	六六九	愛鷹山	一三	溱美半島	一九	越路	一九	嵯峨野	一九
彭澤湖(清)	六七三	愛宕公園	一六	溱美湖	一九	越國	一九	嵯峨野	一九
帽兒山(清)	六七八	愛宕山	一六	跡左登	一九	越富士	一九	嵯峨野	一九
渤海(清)	六八九	愛宕神社	一六	園場(清)	一九	越富士	一九	嵯峨野	一九
陽安關(清)	六八三	愛媛縣	七〇	飯坂町	一九	越富士	一九	嵯峨野	一九
陽曲縣(清)	六八三	愛媛縣	七〇	飯野山	一九	越富士	一九	嵯峨野	一九
陽花鎮(清)	六八三	愛媛縣	七〇	飯盛山	一九	越富士	一九	嵯峨野	一九
陽關(清)	六八三	愛媛縣	七〇	飯山町	一九	越富士	一九	嵯峨野	一九
陽穀縣(清)	六八三	愛媛縣	七〇	飯山	一九	越富士	一九	嵯峨野	一九
陽湖縣(清)	六八三	愛媛縣	七〇	飯山	一九	越富士	一九	嵯峨野	一九
陽高縣(清)	六八三	愛媛縣	七〇	飯山	一九	越富士	一九	嵯峨野	一九
陽江縣(清)	六八三	愛媛縣	七〇	飯山	一九	越富士	一九	嵯峨野	一九
陽湖縣(清)	六八三	愛媛縣	七〇	飯山	一九	越富士	一九	嵯峨野	一九
陽山縣(清)	六八三	愛媛縣	七〇	飯山	一九	越富士	一九	嵯峨野	一九
陽信(清)	六八三	愛媛縣	七〇	飯山	一九	越富士	一九	嵯峨野	一九
陽城(清)	六八三	愛媛縣	七〇	飯山	一九	越富士	一九	嵯峨野	一九
陽武縣(清)	六八三	愛媛縣	七〇	飯山	一九	越富士	一九	嵯峨野	一九
陽方(清)	六八三	愛媛縣	七〇	飯山	一九	越富士	一九	嵯峨野	一九
喇嘛教	六八三	愛媛縣	七〇	飯山	一九	越富士	一九	嵯峨野	一九
喇嘛法王	六八三	愛媛縣	七〇	飯山	一九	越富士	一九	嵯峨野	一九
菱湖(清)	六八三	愛媛縣	七〇	飯山	一九	越富士	一九	嵯峨野	一九
菱湖鎮(清)	六八三	愛媛縣	七〇	飯山	一九	越富士	一九	嵯峨野	一九
翠平府(清)	六八三	愛媛縣	七〇	飯山	一九	越富士	一九	嵯峨野	一九
愛知縣	六八三	愛媛縣	七〇	飯山	一九	越富士	一九	嵯峨野	一九



30
452



30
452

022982-000-6

30-452

日本地理辞典

郁文舎

M39

ADB-0925



